九州大学学術情報リポジトリ
Kyushu University Institutional Repository

[015] 九州文化史研究所所蔵古文書目録 : 楠野家文書・古野家文書

九州大学九州文化史研究施設

https://doi.org/10.15017/6796429

出版情報：15, 1985-03-31. 九州大学文学部附属九州文化史研究施設
バージョン：
権利関係：

KYUSHU UNIVERSITY

九州文化史研究所所蔵古文書目録　十五

九州大学九州文化史研究施設

凡例

一、本研究所所蔵に係る古文書目録第十五輯として、「楠野家文書」「古野家文書」を収録した。

一、楠野家文書は昭和十年、古野家文書は同八年に各々寄贈を受けたものである。

一、楠野家は文化十一年より遠賀郡修多羅村の庄屋を務め、文政六年には同郡戸畑村の庄屋へ、同十三年に再度修多羅村庄屋に帰役した。また天保八年より弘化二年まで大庄屋を務め、万延元年より同三年までは同郡頓田村の庄屋をも務めた。この間、同家は土地を集積し、大地主に発展した。

同家文書は二、〇〇〇点余で、江戸時代史料が大半を占めている。同家文書には、年貢納入状況を示す「御徳帳」や同家の土地経営を表わす「田畠名寄帳」「卸方帳」および「作り方帳」等が残存しており、福岡藩の夫役・夫銭・普請等の関係史料も豊富である。遠賀・鞍手両郡は、江戸時代中期以降夫役を代銭納化した夫銭仕組が実施された区域であり、夫銭仕組解明に役立つ。また「焚石会所作法書」等の石炭関係の貴重史料も残存している。

古野家は酒造業を行なって神川屋を屋号とした。同家三郎右衛門は文化八年より天保九年まで鞍手郡四郎丸村の庄屋を務め、天保五年から同九年までは同郡下有木村庄屋を兼帯した。さらに天保九年より弘化三年まで同郡倉久村の庄屋を務め、弘化三年より宮田触大庄屋を務めた。文政五年に二人扶持を与えられ、同九年には苗字、天保六年には永納銀上納により帯刀が許され、同十五年には大庄屋格となった。また同人悴惣五郎は四郎丸村庄屋を務め、明治期には村長をも務めた。

同家文書は三、二〇〇点余で、江戸時代史料が三分の一、明治以降史料が三分の二を占めている。江戸時代史料には、福岡藩の法令や達、石炭や真名子鉄山に関する史料、質地証文関係の史料が残存している。明治以降史料には、村会、郡会等地方行政関係史料や酒造業経営史料の外に、炭坑経営帳簿類が数多く残存しており、明治期の地元資本による炭坑経営の解明に役立つものと思われる。

一、史料の分類にあたっては、福岡藩の特色を生かし、一般的な項目の外に「給人関係」を「村政」の中に設けた。また「古野家文書」の中には他家史料が混在しているため、別に「他家文書」の項目を設けた。

なお、明治四年を境として「江戸時代史料」・「明治以降史料」と区別したが、史料の性質により区別出来ないも

の、或いはいくつかの項目に該当するものは適宜どちらか一方にのみ収めたので、本文書の利用者は、全項目に亘って目を通されることを希望する。

一、形状中、書綴とあるのは書冊様の綴、長綴とあるのは長帳様の綴、小横綴とあるのは小横帳様の綴にしたものである。明治以降の史料には、冊、綴以外の形状は略した。

一、年代を推定したものは（　）を付して区別した。

一、史料題名下の（　）内に表示した番号は、その史料の整理番号である。

一、本目録の作成には、横山浩一、藤野保、丸山雍成、柴多一雄、北条義尭、長崎沢子、楠本美智子があたった。

楠野家文書

目次

一、江戸時代史料……一頁
1 支配……一頁
(1) 触状・達書……一頁
(2) 諸願・伺書……二頁
(3) 巡見使・奉幣使……三頁
(4) 秤改……一三頁
(5) 救恤・囲籾……一四頁
(6) 称誉……二九頁
(7) その他……三〇頁
2 治安・訴訟……三一頁
3 貢租……四〇頁
(1) 年貢……四〇頁
(2) 買米……五一頁
(3) 永納銀・御用銀……五四頁
(4) 臨時切立……五五頁
(5) 免札……五七頁
4 村政……五八頁
(1) 村政……五八頁
(2) 給人関係……六四頁
(3) 村役人……六五頁
(4) 村入用……六七頁
(5) 夫銭・夫役……七一頁

(6) その他……七八頁
5 土地……八二頁
(1) 土地……八二頁
(2) 植林・立木……八九頁
6 交通・通信……九〇頁
(1) 交通……九〇頁
(2) 往来切手……九三頁
(3) 通信……九三頁
7 普請……九四頁
8 津出……一一五頁
9 金融……一一五頁
(1) 貸借……一一五頁
(2) 講……一一九頁
10 商業……一二〇頁
11 産業……一二一頁
12 戸口・宗門……一二二頁
13 寺社……一三七頁
14 日記……一三九頁
15 書状……一四〇頁
16 家……一五八頁
17 その他……一五九頁
二、明治以降史料……一六〇頁
1 行政……一六〇頁
2 租税……一六一頁
3 土地……一六一頁
4 家……一六三頁
5 その他……一六四頁

一、江戸時代史料……一六五頁
1 支配……一六五頁
(1) 触状・達書……一六五頁
(2) 巡見使・廻郡……一六七頁
(3) 災害・救恤……一六八頁
(4) その他……一六九頁
2 治安・訴訟……一七〇頁
3 貢租……一七二頁
4 村政……一七五頁
(1) 村政……一七五頁
(2) 給人関係……一七七頁
(3) 村役人……一七九頁
(4) 村入用……一八〇頁
(5) 夫銭・夫役……一八一頁
(6) その他……一八三頁
5 土地……一八四頁
(1) 土地……一八四頁
(2) 質地……一八六頁
(3) 山・立木……一九四頁
6 普請……一九四頁
7 交通・通信……一九五頁
8 金融……一九六頁
(1) 貸借……一九六頁
(2) 講……二〇一頁
(3) 質……二〇四頁
(4) その他……二〇五頁

9 商業……二〇五頁
10 産業……二〇六頁
11 戸口・宗門……二一〇頁
12 寺社……二一二頁
13 絵図……二一四頁
14 書籍・新聞……二一四頁
15 書状……二一六頁
16 家……二三〇頁
17 その他……二三一頁
二、明治以降史料……二三六頁
1 行政……二三六頁
(1) 法令・規則……二三六頁
(2) 地方行政……二三六頁
(3) その他……二五〇頁
2 司法……二五一頁
(1) 訴訟……二五一頁
(2) 競売……二五三頁
3 租税……二五四頁
(1) 租税……二五四頁
(2) 面徭夫……二六〇頁
4 土地・借家……二六一頁
(1) 地租改正……二六一頁
(2) 土地……二六五頁
(3) 小作……二六八頁
(4) 山林……二七〇頁
(5) 借家……二七一頁
5 産業……二七一頁
(1) 炭坑……二七一頁

(2) 醤油・酒醸造……二八七頁
(3) その他……三〇八頁
6 交通・通信……三〇九頁
(1) 鉄道・道路……三〇九頁
(2) 郵便局切手売下所……三一一頁
7 金融……三一二頁
(1) 貸借……三一二頁
(2) 銀行……三一五頁
(3) 講……三一九頁
(4) その他……三二一頁
8 商業……三二二頁
9 教育……三二四頁
10 寺社……三二五頁
11 書籍・文芸……三二七頁
12 書状……三三一頁
13 家……三七八頁
14 その他……三八一頁
三、他家文書……三八六頁

楠野家文書

一、江戸時代史料

1　支　配

(1)　触状・達書

一　御定　（三二五）
寛保三年　書綴　一綴
直礼の面々並無礼の者共出郷の定

二　達之写　（一〇六）
文政元年十一月　書冊　一冊
小嶋源五右衛門外六名ゟ

三　堤壱件ニ付御達写　（七七六）
文政三年十一月　書冊　一冊

四　倹約御ケ条御達書写　（一〇六五）
文政十一年十二月　書綴　一綴

五　御達書写　（三三四）
（天保十二年）　書冊　一冊
御城方扣

六　（仮題）達　（一九一九）
（天保期）十二月十二日　巻紙　一通
野田惣蔵・林八太夫ゟ大庄屋太一郎宛。欠略取斗の件

七　達　（一五三一）
（天保期）卯閏九月廿八日　切紙　一通
郡代役所ゟ大庄屋太一郎宛。博多釜屋より鋳掛免札を請持歩行商売致候者の件

八　卯年分御納方中御触控　（八二）
（天保期）　長綴　一綴
修多羅触。扶持米・切米等払方の件

九　（仮題）達　（一一六七）
（天保期）十二月　巻紙　一通
弥左衛門ゟ修多羅村大庄屋太一郎宛。当年ゟ三季欠略執行の事

一〇　渓山様御通棺ニ付御役所御状写　（三五二）
天保十二年十二月　書冊　一冊

一一　御達書写　（二四四）
天保十三年　書冊　一冊
囲籾取立囲方執斗心得

一二　御触状写幷談事　（一七九）
（天保期）　小横綴　一綴

一三　御触状写帳　（七三四）
弘化二年三月　長帳　一冊

一四　御触状写帳　（七三二）
安政六年　長帳　一冊

一五　御触状写帳　（七三五）
安政七年　長帳　一冊

一六　御触状口ミ覚帳　（七三六）
文久元年四月　長帳　一冊

一七　修多羅村御達書写控　（七四九）
文久二年九月　書綴　一綴

一八　御触状写帳　（七三七）
元治二年正月　長帳　一冊

一九　底井野御在住御達書写外　（一五六一）
慶応二年九月　長綴　一綴
付、遠賀鞍手大庄屋中仕上ル起証文之事、両郡村蔵囲分覚

二〇　覚　（一四三八）
（江戸後期）六月十二日　切紙　一通
大目附。長防処置の触につき

二一　省略御達書　（一一〇八）
（江戸後期）戌九月　長綴　一綴

二二　口達覚　（一〇七一）
（江戸後期）十一月　書綴　一綴
倹約の事

二三　（仮題）触書　（一〇四九）
（江戸後期）十月二日　一紙　一通
普請役格御小人目付吉岡元平ゟ大坂迄の諸国浦村役人宛。
目付岩瀬伊賀守長崎出立、下関ゟ乗船に付

二四　口達　（一二六六）
（江戸後期）八月　巻紙　一通
芦屋山鹿祇園会の節、風俗取締の件

二五　丑秋御米御差紙付村御達状写　（一二一一）
（江戸後期）　長綴　一綴

二六　来寅十二月迄欠略執行之口ミケ条書上申事　（一七二七）
（江戸後期）丑九月　書綴　一綴

二七　触状　（一一三五）
（江戸後期）寅八月　書冊　一冊

二八　御郡代様御口達覚　（一八八五）
（江戸後期）十一月　一紙　一通
賭勝負取拵候者の処罰に付

(2)　諸願・伺書

二九　非常御願幷注進書控　（七四七）
天保八～十四年　書冊　一冊

三〇 諸願出控帳
天保十一年
（七五一）
書冊　一冊

三一 諸願書
天保十一～十三年
（一三八八）
書冊　一冊

三二 （仮題）諸願幷注進書
天保十三年
（七四八）
書綴　一綴

三三 （仮題）諸願書
天保十四年
（八一七）
書綴　一綴

三四 諸御願書控
天保十四年八月
（七四五）
書冊　一冊

三五 諸御願書控
天保十五年四月
（七四二）
書冊　一冊

三六 諸御伺書控
（天保十五・弘化二年）
（一〇二四）
長綴　一綴

三七 諸願書諸差出記録
安政六～文久二年
（七七四）
書冊　一冊

三八 （仮題）諸願・届出
文久三～慶応元年
（七六八の一）
断簡

三九 諸願書諸差出記録
慶応元年閏五月
（七三八）
書冊　一冊

(3) 巡見使・奉幣使

四〇 巡見上使御答書写
宝永七年四月
（三四〇）
書冊　一冊

四一 巡見御上使一件記録
宝暦十一年三月
（三三八）
書冊　一冊

四二 香椎宮江奉幣使御下向ニ付見聞之毎事覚書
享和四年
本城村庄屋嘉三郎
（三五三）
書冊　一冊

四三 御巡見使様御下向達一巻、御郡御役所ゟ御郡奉行様御役所江来候御達書之写
寛政元年三月
（四二三）
書冊　一冊

四四 御巡見上使就御尋御答一件幷諸控帳
寛政元年四月
若松一ノ御茶屋綿屋新太郎
（三六一）
書冊　一冊

四五 御巡見使御帰路達夫役御聞届前惣高書上帳
寛政元年八月
若松
（三六五の三）
長帳　一冊

四六 巡見上使様御触出一切控
天保八年九月
（三一二）
長帳　一冊

四七 御巡見上使御記録
天保八年
（三二六）
書冊　一冊

四八　御巡見使一切控帳　（三三三）
天保九年二月　書冊　一冊

四九　御巡見使御手当入用諸品左之通若松江郡寄可取斗証拠之事　（一四八二）
天保九年二月　巻紙　一通

五〇　御巡見使御手当諸品割方帳　（三一四の四四）
天保九年二月　長帳　一冊

五一　巡見御上使達諸飛脚御証拠帳　（一七二六）
天保九年二月　長帳　一冊
修多羅村

五二　巡見上使御下向幷諸飛脚間通　（三一四の四五）
天保九年二月　長帳　一冊

五三　御巡見使御下向ニ付出夫控帳　（三一四の二九）
天保九年二月　長帳　一冊

五四　巡見御上使様御茶屋御作事御用諸控　（三一四の三九）
天保九年二月　長帳　一冊

五五　若松口御作事手伝夫割方帳　（三一四の四一）
天保九年二月　長帳　一冊

五六　御巡見使様御手当薪割方根帳　（三一四の三一）
天保九年二月　長帳　一冊
修多羅触

五七　御巡見使御下向ニ付出夫高覚帳　（三一四の二〇）
天保九年二月　長帳　一冊

五八　御巡見使様御手当御入用諸品割方帳　（三一四の三〇）
天保九年三月　長帳　一冊
修多羅村

五九　御巡見使達若松波戸仕構入用郡夫郷夫方渡可相渡証拠之事　（一五一四）
天保九年三月　一紙　一通
弥左衛門ゟ遠賀郡大庄屋中宛

六〇　巡見御上使記録　（三三一）
天保九年三月　書冊　一冊

六一　御巡見上使御達書写　（三三六）
天保九年四月　書冊　一冊

六二　御巡見使御下向達御宿割　（三四二）
天保九年四月　書冊　一冊
若松村

六三　御巡見使御下向達御宿割　（三六二）
天保九年四月　書冊　一冊

六四　送状写　（一四九九）
天保九年四月　長綴　一綴
御巡見使御下向ニ付若松波戸入用松丸太修多羅山ゟ伐持出送状之事外

六五　御巡見使御下向達出方諸品幷ニ人足一切根帳（三一四の一九）
天保九年四月　長帳　一冊

六六　御巡見使御手当書之内大庄屋村役江申談廉々（三一四の四二）
天保九年四月　長帳　一冊

六七　御本陣御入用給仕子名元書上帳（三一四の四三）
天保九年四月　長帳　一冊

六八　御巡見使御下向達御本陣三ケ所御普請手伝夫出方書上帳写（三一四の七）
天保九年四月　長帳　一冊
若松鼻

六九　若松御茶屋弐ケ所非常之節御手当欠附夫幷渡海船数共ニ名元書上帳（三一四の二六）
天保九年四月　長帳　一冊
戸畑村

七〇　覚（一五〇五）
（天保九年　閏四月廿日　一紙　一通
普請方正一ゟ大庄屋太一郎宛。大工賃銭請求

七一　請取申上ル事（一五〇四）
天保九年閏四月廿日　一紙　一通
畠田村庄屋角一郎ゟ。巡見使下向若松宿々仕構諸職人賃銭
并買立物代仕出の内拝借

七二　金子借用仕上ル証文之事（一五〇六）
（天保九年）閏四月十八日　切紙　一通
大庄屋太一郎ゟ若松出役宛。巡見使下向達若松郡家内並御
成方ゟ諸口買物代・賃銭等

七三　御巡見上使達出夫手控（一五六七）
天保九年閏四月　小横帳　一冊

七四　御巡見上使達金子拝借帳（一五〇七）
天保九年閏四月　長綴　一綴
大庄屋太一郎

七五　覚（一二一五）
天保九年閏四月　書綴　一綴
普請方正一ゟ郡役所宛。波戸普請代請取

七六　御巡見使御下向達郡寄諸品仕残黒崎道控帳（三一四の二七）
天保九年閏四月　長帳　一冊

七七　御巡見使御下向ニ付江川浚普請積方其外石工幷手伝夫竈觜
損料諸品買立分村々ゟ仕出分書上帳（三一四の一二）
天保九年閏四月　長帳　一冊

七八　御巡見使御下向ニ降芦屋払川両所御仕構御用竹伐持出夫書
上帳（三一四の二五）
天保九年閏四月　長帳　一冊
小竹村

七九　御巡見使御用ニ付諸御役人様御荷物送人馬通書上帳　（三一四の二三）
天保九年閏四月　長帳　一冊
蟹住村

八〇　御巡見使御下向達芦屋御作事所払薪伐出夫書上帳　（三一四の二八）
天保九年閏四月　長帳　一冊
馬場山村

八一　遠賀郡若松村仮郡家守才蔵申上ル口上覚　（一四八五）
天保九年五月　一紙　一通
巡見使様下向達仮郡家内役人賄料等払方不足の件

八二　巡見上使御帰露（ママ）達（ママ）手御手当テ　（一五五八）
天保九年六月　長帳　一冊
手伝郡夫等

八三　御巡見上使御帰路控　（一七三三）
天保九年七月　（袋入）一紙一通・切紙七通
御巡見使御帰府達若松村入用左之諸品郡寄を以可相渡証拠之事

八四　御巡見使御帰路達御駕籠建場幷妙見崎御波戸築立其外若松御波戸手入往還手入夫共郡中夫積帳　（三一三）
天保九年七月　長帳　一冊

八五　御巡見使御帰路達諸品割方帳　（三一四の二一）
天保九年七月　長帳　一冊
修多羅触

八六　御巡見使御帰路達妙見崎御波戸築立幷往還手入夫共郡中夫拼書上帳　（三一四の一四）
天保九年七月　長帳　一冊

八七　御巡見使御帰路達諸控帳　（三一四の四六）
天保九年七月　長帳　一冊

八八　御巡見使御帰路達御手当向口々書上帳　（三一四の三四）
天保九年七月　長帳　一冊
若松鼻

八九　御巡見使御帰路御取扱次第書　（三三〇）
天保九年八月　書冊　一冊
若松鼻

九〇　御巡見使御帰路達若松鼻人馬根帳　（三一四の三二）
天保九年八月　長帳　一冊

九一　御巡見使御帰路達諸御用諸覚　（三一四の一三）
（天保九）戌八月　長帳　一冊
郡家役所ゟ太一郎宛

九二　給仕子名付帳　（三〇八）
天保九年八月　長帳　一冊
御本陣給仕子

九三　御巡見使御帰路達諸控帳　（三三九）
天保九年八月　書冊　一冊

九四　町内掃除見分帳　（三〇九）
天保九年八月　長帳　一冊

九五　御巡見使御帰路達若松鼻役割　（三三二）
天保九年八月　書冊　一冊

九六　御巡見使御帰路達若松鼻役割　（三四三）
天保九年八月　書冊　一冊

九七　御巡見使御帰路達若松鼻役割　（三四四）
天保九年八月　書冊　一冊

九八　御巡見使御帰路達御宿割帳　（三四一）
天保九年八月　書綴　一綴
若松村

九九　町内掛蒋渡帳　（三一六）
天保九年八月　長綴　一綴

一〇〇　御巡見使御下向達御出郷御役人様賄料書上帳（三一四の三七）
天保九年八月　長帳　一冊

一〇一　御巡見使様御帰路達　御茶屋御作事　御用諸職人手伝夫書上帳　（三一四の二二）
天保九年九月　長帳　一冊
若松鼻

一〇二　御巡見使様御帰路達　御国御役〻様御荷物揚夫幷送人足書上帳　（三一四の八）
天保九年九月　長帳　一冊
若松鼻

一〇三　御巡見使様御帰路達　御巡見使様御帰路達出勤村役人賄代書上帳　（三一四の一五）
天保九年九月　長帳　一冊

一〇四　御巡見使御帰路達若松仮郡家ニ而御役人様賄内夫　給仕子夜具損料貰物代共ニ書上帳　（三一四の一六）
天保九年九月　長帳　一冊

一〇五　御巡見使様御帰路達郡家損料夫役書上帳　（三一四の一七）
天保九年九月　長帳　一冊
若松鼻

一〇六　御巡見使様御帰路達仮郡家ニ而召仕ひ走り夫書上帳　（三一四の一八）
天保九年九月　長帳　一冊

一〇七　御巡見使　様御帰路達仮郡家入用之紙墨蠟燭入切之分買上代銭書上帳　（三一四の一二）
天保九年九月　長帳　一冊
若松鼻

一〇八　御巡見使様御帰路達　外海瀬印建方　幷水尾指水尾案内之者出方書上帳　（三一四の一〇）
天保九年九月　長帳　一冊
若松鼻

一〇九　御巡見使様　御帰路達三之　御波戸同前御荷物揚波戸取繕幷修多羅村抱塔ノ鼻御囲方御役〻様御揚り波戸築立夫書上帳　（三一四の九）
天保九年九月　長帳　一冊
若松鼻

一一〇　御巡見使様御帰路達若松仮郡家御入用諸品損料書上帳　（三一四の四七）
天保九年九月　長帳　一冊

一一一　御巡見使様御帰路達御郡家取繕幷買立物一切夫役書上帳　（三一四の四八）
天保九年九月　長帳　一冊

一一二　御巡見使様御帰路達御郡寄薪請払夫役書上帳　（三一四の四九）
天保九年九月　長帳　一冊
若松鼻

一一三　巡見使御茶屋跡始末状　（一四九五）
（天保九）十二月廿六日　切紙　一通
郡役所ゟ大庄屋太一郎宛

一一四　御巡見使達諸飛脚御証拠帳　（三一四の二四）
天保九年　長帳　一冊

一一五　御巡見使様　御下向達御本陣　下湯殿雪隠仕調幷下宿御用人宿次ノ間手入仮湯殿雪隠仕調共一切仕廻目録書上帳　（三〇〇）
天保九年　長帳四八冊合冊
若松鼻

一一六　御巡見使様御帰路達郡寄諸品請払帳　（三一四の一）
天保九～十五年　長帳　一冊
若松鼻

一一七　天下為浦廻罷越若松村ゟ致止宿ゟニ付内夫召仕申事外　（一六八五）
天保十年四月～九月　一紙　一綴

一一八　御巡見使様達江川大浚石工賃銭受取申上ゟ事　（一五〇一）
天保十年十二月　一紙　一通
小敷村庄屋甚五郎ゟ大庄屋太一郎宛

一一九　御巡見使御上下諸口御作事手伝夫前借金割方帳　（三一四の五〇）
天保十一年正月　長帳　一冊

一二〇　（仮題）夫賃銭渡方覚　（三一七の一三）
天保十一年三月　切紙　一通
修多羅分

二三　書状　（三一七の一四）
（天保期）　切紙　一通
普請方与一郎ゟ庄屋恵兵衛宛。御巡見拼に付村々ゟ出夫の件

二三　（仮題）覚　（三一七の一五）
（天保期）　切紙　一通
御巡見使に付若松御仕構御作事御用賄方の件

二三　蒋渡覚　（三一七の一七）
（天保期）　切紙　一通

二四　（仮題）夫賃銭覚　（三一七の一六）
（天保期）　長綴　一綴
修多羅村

二五　（仮題）夫人数覚　（三一七の一八）
（天保期）　折紙　六通

二六　（仮題）石工雇覚　（三一七の一九）
（天保期）　切紙　一通

二七　御廻浦御巡見達　（三六三の七）
天保十二年九月　小横綴　一綴

二八　公義御役ミ様御廻浦達村役人出勤役割帳　（三三七）
天保十二年九月　書冊　一冊

二九　公義御役ミ様御廻浦達村役人出勤役割帳　（三三五）
天保十二年九月　書冊　一冊

三〇　御巡見使達諸扣　（三一四の三）
天保十二年九月　長帳　一冊

三一　御巡見使達出夫惣郡割ニ相成掛り両郡割方帳　（一一四七）
天保十二年十月　書綴　一綴

三二　遠賀郡修多羅触村ミ諸御役人様御賄受持組頭百性名元書上帳　（八四二）
天保十二年　長帳　一冊

三三　御巡見使様御下向御帰路達口ミ惣目落分書上帳　（三四九）
天保十三年四月　書帳　一冊
蜑住村御成方正五郎外ゟ郡役所宛

三四　公料巡見上使達郡拼夫銭取立帳　（一六一六）
天保十三年四月　長帳　一冊

三五　去丑秋公義御役ミ様御廻浦達郡中夫拼帳外　（三一四の五）
天保十三年七月　長帳三冊合綴
付、公義御役々様御廻浦達惣目（天保十二年）

三六　遠賀郡修多羅触村ミ御囲籾公義御役人様方御見分之節蔵所梁行間数俵数蔵主名元書上帳　（二〇一）
天保十三年十二月　長帳　一冊

一三七　御巡見使達御役所年賦渡触分差引帳　（三一四の四）
天保十四年正月　長帳　一冊

一三八　巡見使御用書付
(1)　御国方御役ミ様御宿割　（三六五の一）
（天保期）　長帳　一冊
(2)　上下無差別一汁一菜之御賄　（三六五の二）
（天保期）　長綴　一綴
(3)　書状　（三六五の四）
（天保期）十月十日　巻紙　一通
松井一内ゟ。福岡旅宿ゟ
(4)　書状　（三六五の五）
（天保期）十月四日　巻紙　一通
平野与次右衛門ゟ宮川宛。公義御役ミ廻浦に付
(5)　黒崎茶屋幷関番所両町茶屋御作事手伝夫　（三六五の六）
（天保期）　切紙　一通
(6)　仕証拠　（三六五の七）
（天保期）戌四月　一紙　一通
普請方楢崎藤助外ゟ大庄屋太一郎宛。巡見使下向に付作事
御用手伝夫に召仕ゟ
(7)　伝三郎状　（三六五の八）
（天保期）閏四月廿四日　巻紙　一通
大庄屋太一郎宛。黒崎作事手伝夫の儀

(8)　覚　（三六五の九）
（江戸後期）閏四月十四日　巻紙　一通
大庄屋手伝伝三郎ゟ大庄屋太一郎宛
(9)　請取　（三六五の一〇）
（天保期）戌四月十一日　切紙　一通
大神八右衛門ゟ大庄屋太一郎宛。波戸仕調に付召仕ゟ船賃
に相渡分借入
(10)　（仮題）諸掛役覚　（三六五の一一）
（天保期）　長綴　一綴

一三九　（仮題）御巡見使下向に関する達書　（三六四）
（天保期）酉二月　書綴　一綴

一四〇　御遠見ケ所付　（三六三の一）
（天保期）丑九月　一紙　一通

一四一　（仮題）宿泊予定覚　（三六三の二）
（天保期）　切紙　一通

一四二　（仮題）御巡見使御下向ニ付諸覚　（三六三の三）
（天保期）　書綴　一綴

一四三　上下無差別一汁一菜之御賄　（三六三の四）
（天保期）　書綴　一綴

一四四　御案内庄屋居村高書附　（三六三の五）
（天保期）　書綴　一綴
付、御泊所並御小休所村高書付

一四五（仮題）御巡見使様日程　（三六三の六）
（天保期）　書綴　一綴

一四六（仮題）御巡見使御下向に付諸役名元覚　（三六三の一〇）
（天保期）　書綴　一綴

一四七（仮題）修多羅触より諸届　（三六三の一一）
（文政～天保期）　書綴　一綴
面役人数、中師賃、夫銭等書上

一四八（仮題）御巡見使御通行ニ付覚　（三六三の一三）
（天保期）　書綴　一綴

一四九（仮題）芦屋ゟ若松迄人馬賃銭等覚　（三六三の一五）
（天保期）　折紙　一通

一五〇（仮題）名前書上　（三六三の一七）
（天保期）　切紙　一通

一五一御休所有毛村人馬継ニ付賃銭割合之覚　（三六三の一八）
（天保期）　切紙　一綴

一五二書状　（三六三の二〇）
（天保期）四月十一日　切紙　一通
太一郎ゟ庄屋武兵衛外宛。御達書送付の事

一五三公儀御役ミ様御道筋見分帳　（三六三の一四）
（天保期）　長帳　一冊

一五四御巡見上使御下向ニ付百性江申渡覚書　（三五四）
（天保期）　書冊　一冊
永田五右衛門

一五五御巡見使御尋事有之節御案内庄屋御宿亭主御答書　（三五〇）
（天保期）　書冊　一冊

一五六御巡見使御尋事有之節御案内庄屋御宿亭主御答書　（三五八）
（天保期）　書冊　一冊

一五七御巡見使御取扱之次第此間御達申ゟ外追ミ決定之分左之通ニ御座ゟ支　（三四八）
（天保期）酉三月　書綴　一綴
郡役所ゟ

一五八御巡見使御取扱之覚　（三一三）
（天保期）　書冊　一冊
甚右衛門役所分

一五九村ミ江止宿書留帳　（三〇六）
（天保期）　長帳　一冊

一六〇御宿亭主心得書控　（三〇三）
（天保期）　長帳　一冊

一六一諸郷触出書抜控　（三〇二）
（天保期）　長帳　一冊
巡見使通行に関して

一六三　御巡見使御帰路出役宿割帳　（三一四の三八）
（天保期）　長帳　一冊

一六四　御指図之口々写　（三一八）
（天保期）九月廿五日　書冊　一冊
浦役所ゟ。公義御役々賄方の件

一六五　御巡見使御帰路人馬根帳　（三一四の三三）
（天保期）　長帳　一冊

一六六　御巡見使諸御用御申談之口々請書　（三一四の三五）
（天保期）　長帳　一冊
大庄屋太一郎

一六七　（仮題）夫役覚　（三一七の一二）
（天保期）　切紙　一通
巡見使に付

一六八　覚　（一五〇八）
（天保期）十二月廿九日　長綴　一綴
大庄屋太一郎ゟ庄屋甚五郎宛。役所ゟ渡方相成り銭

一六九　御巡見使御泊宿別置付御道具　（三五九）
（天保期）　書冊　一冊
若松鼻持込分

一七〇　御巡見使御下向達若松口役割　（三五五）
（天保期）　書綴（尾欠）一綴

一七一　御巡見使御下向達若松口役割　（三五一）
（天保期）　書冊　一冊

一七二　御巡見使御下向達若松口役割　（三四七）
（天保期）　書冊　一冊

一七三　夫役定書　（三四五）
（天保期）　書綴　一綴
御巡見使御下向御帰路共御休泊之所々御作事入用郡夫其外
御道筋手入諸役人継送り共夫役の件

一七四　御引合帳　（三二九）
（天保期）　長綴　一綴
役割・宿割・松明手当外

一七五　諸品　（一九一一）
（天保期）　長綴　一綴
風呂桶（黒崎分）、煙草盆、手燭（若松分）外

一七六　覚　（一九二八）
（天保期）　巻紙　一通
湯桶・たらい等書上

一七七　奉幣使御用諸品通　（三一一）
元治元年五月　小横帳　一冊
普請方中

一七八　奉幣使ニ付往還筋再手入召仕夫村寄帳　（二九九）
元治元年五月　長帳十冊合綴

一七九　御順道付　（三一七の九）
（元治元年）　長綴　一綴

一八〇　（仮題）奉幣内使御下向御日限の事　（三一七の八）
（元治元年）　長綴　一綴

一八一　覚　（一七〇四）
（元治元年）七月　切紙　一通
御勅使様御手当諸品残り分

一八二　奉幣使御下向ニ付黒崎宿関御番所水吐堰新規御堀立仕廻目六書上帳　（三一〇）
元治元年六月　長帳　一冊

(4)　秤　改

一八三　遠賀郡小石村触人別所持之諸秤数書上帳　（一〇八〇）
文政四年九月　長帳　一冊

一八四　筑前国郡ミ諸秤員数調子帳　（六五九）
文政四年十一月　書冊　一冊

一八五　（仮題）達　（一一五四）
（天保十二年）八月五日　巻紙　一通
郡代役所ゟ大庄屋有吉与右衛門外宛。秤改に付

一八六　遠賀郡修多羅触人別所持之諸秤数書上帳　（一〇八三）
天保十二年十二月　書冊　一冊

一八七　遠賀郡修多羅触村ミ諸秤員数書上帳　（一〇八一）
天保十二年十二月　書冊　一冊

一八八　遠賀郡修多羅触村ミ諸秤紛失分書上帳　（一〇六八）
天保十二年十二月　書冊　一冊

一八九　遠賀郡修多羅触村ミ諸秤員数書上帳　（一〇六九）
天保十二年十二月　書冊　一冊

一九〇　遠賀郡修多羅触村ミ人別所持之諸秤数書上帳　（一〇〇四）
天保十二年十二月　書冊　一冊

一九一　何郡何触諸秤新調御願帳　（一一二八）
天保十三年　書冊　一冊

一九二　鞍手郡平触村ミ人別所持之諸秤書上帳　（一一三一）
天保十三年正月　書冊　一冊

一九三　諸秤新調御願案文控帳　（一一三二）
天保十三年五月　長帳　一冊

一九四　遠賀郡修多羅村大庄屋太一郎御請申上ル書物之事（一一五二）
天保十三年五月　巻紙　一通
林八太夫外宛。今般秤改に付諸秤欠数調子の事

一九五　遠賀郡修多羅触諸秤新調御願帳　（一〇八二）
天保十三年五月　書冊　一冊

一九六　遠賀郡修多羅触諸秤新調御願帳　（一〇六七）
天保十三月五月　書冊　一冊

一九七　書状　（一九八八）
（天保十三年）五月十四日　切紙　一通
大庄屋太一郎ゟ郡代役所宛。諸秤書上間違届

一九八　遠賀郡修多羅触諸秤改修覆料幷仕替分代銀上納帳（一五九二）
天保十三年八月　長帳　一冊

一九九　遠賀郡修多羅触諸秤改修覆料幷仕替分代銀上納帳（一五九一）
天保十三年八月　長帳　一冊

二〇〇　遠賀郡触ミ諸秤納目録之事　（一九八七）
天保十三年九月　巻紙　一通
諸秤改役所宛

二〇一　秤御改雑用御触出書類　（一一九九）
天保十三年十二月　（袋入）長綴二綴・切紙二通

二〇二　諸秤御改ニ付諸雑費控帳　（一一九八）
天保十三年十二月　書冊　一冊

二〇三　修多羅村ミ諸秤御改ニ付指出置ゟ内左之通御改相済請取申上ル事　（二〇〇一）
（天保期）寅八月十一日　一紙　一通
大庄屋太一郎ゟ諸秤改出張所宛

二〇四　請取　（二〇〇三）
（天保期）寅七月十八日　切紙　一通
諸秤改役所ゟ大庄屋太一郎宛

二〇五　覚　（一九九九）
（天保期）　書綴　一綴
秤改関係

二〇六　（仮題）秤改覚　（一九九六）
（天保期）　書綴　一綴

二〇七　覚　（一一六六）
（天保期）　切紙　一通

(5)　救恤・囲籾

二〇八　風転家拝借受取帳　（一一四二）
文化十三年十二月　書綴　一綴

二〇九　上納銭拝借銀取立根帳　（一一二六）
文政二年十月　長綴　一綴

二一〇　転家助合銭割方取立帳　（一五五四）
文政十二年八月　長帳　一冊

二一一　現穀米拝借年賦借状帳　（七六三）
文政十二年九月　書冊　一冊

三三　石峯山杉転木拝借代銭取立帳　（一五七三）
文政十二年十二月　長帳　一冊

三三　現穀米拝借分丑年返納取立帳　（一九二）
文政十二年十二月十一日　長綴　二綴
戸畑村。付、現穀米拝借人数割渡根帳(文政九)

三四　遠賀郡山鹿村勘右衛門作十郎平七午恐御願申上ル口上之覚　（一八八七）
天保五年十二月　巻紙　一通
御救役所宛。御仕組銀拝借願

三五　極貧窮者(覚)　（一〇四三）
(天保七年)　長綴　一綴

三六　現穀米拝借仕借状帳　（一三三三）
天保七年五月　書冊　一冊
大鳥居村

三七　遠賀郡何村御救米割渡帳　（一六三二）
天保八年正月　長帳　一冊

三八　(仮題)覚　（一三二〇）
天保八年正月　折紙　一通
村役人ゟ郡役所宛。貧窮百姓詰方出来不仕分

三九　遠賀郡修多羅村御救米割渡帳　（二〇九）
天保八年正月　長帳　一冊

三〇　遠賀郡修多羅村御救米割渡帳　（二二二）
天保八年二月　長帳　一冊

三一　遠賀郡蜑住触村ミ貧民粮米御救米之内当季入用分蔵出俵数書上帳　（二一九）
天保八年二月　長帳　一冊

三二　遠賀郡修多羅村粮米不足仕ゟ分御郡囲米願上帳　（二四一）
天保八年四月　長帳　一冊

三三　遠賀郡修多羅触村ミ貧民御救米当季入用分割渡俵数書上帳　（二七七）
天保八年四月　長帳　一冊

三四　遠賀郡高須村粮米不足仕ゟ分借入金を以雑穀相求粮物償書上帳　（二四二の一）
天保八年四月　長帳　一冊

三五　遠賀郡払川村粮米不足仕ゟ分御郡囲米願上帳　（二四三の一）
天保八年四月　長帳　一冊

三六　遠賀郡蜑住村粮米不足仕ゟ分御郡囲米願上帳　（二四三の二）
天保八年四月　長帳　一冊

三七　遠賀郡塩屋村粮米不足仕ゟ分借入金を以雑穀相求粮物償書上帳　（二四二の一五）
天保八年四月　長帳　一冊

二三八　遠賀郡浅川村粮米不足仕ゟ分御郡囲米願上帳　（二四三の三）
天保八年五月　長帳　一冊

二三九　遠賀郡山鹿村粮米不足仕ゟ分御郡囲米願上帳　（二四三の四）
天保八年五月　長帳　一冊

二四〇　遠賀郡戸畑村粮米不足仕ゟ分御郡囲米願上帳　（二四三の五）
天保八年五月　長帳　一冊

二四一　遠賀郡小竹村粮米不足仕ゟ分御郡囲米願上帳　（二四三の六）
天保八年四月　長帳　一冊

二四二　遠賀郡若松村粮米不足仕ゟ分御郡囲米願上帳　（二四三の七）
天保八年五月　長帳　一冊

二四三　遠賀郡山鹿魚町粮米不足仕ゟ分御郡囲米願上帳（二四三の八）
天保八年五月　長帳　一冊

二四四　遠賀郡山鹿村皮多粮米不足仕ゟ分御郡囲米願上帳
（二四三の九）
天保八年五月　長帳　一冊

二四五　遠賀郡蜑住村皮多粮米不足分御郡囲米願上帳（二四三の一〇）
天保八年五月　長帳　一冊

二四六　遠賀郡修多羅触村ミ貧民粮物麦作取合不足仕ゟ分御郡囲米
願上帳　（二五六）
天保八年五月　長帳　一冊

二四七　修多羅触村ミ粮物過不足差引書上帳　（二二〇）
天保八年六月　長帳　一冊

二四八　遠賀郡修多羅触村ミ難渋百性粮物不足分調子書上帳　（三五）
天保八年五月　長綴　一綴

二四九　遠賀郡竹並村粮米不足仕ゟ分借入金を以雑穀相求粮物償書
上帳　（二四二の二）
天保八年五月　長帳　一冊

二五〇　遠賀郡小敷村粮米不足仕ゟ分借入金を以雑穀相求粮物償書
上帳　（二四二の三）
天保八年五月　長帳　一冊

二五一　遠賀郡大鳥居村粮米不足仕ゟ分借入金を以雑穀相求粮物償
書上帳　（二四二の四）
天保八年五月　長帳　一冊

二五二　遠賀郡頓田村粮米不足仕ゟ分借入金を以雑穀相求粮物償書
上帳　（二四二の五）
天保八年五月　長帳　一冊

二五三　遠賀郡乙丸村粮米不足仕ゟ分借入金を以雑穀相求粮物償書
上帳　（二四二の六）
天保八年五月　長帳　一冊

二五四　遠賀郡有毛村粮米不足仕ゟ分借入金を以雑穀相求粮物償書
上帳　（二四二の七）
天保八年五月　長帳　一冊

二四五　遠賀郡安屋村粮米不足仕ゟ分借入金を以雑穀相求粮物償書上帳　（二四二の八）
天保八年五月　長帳　一冊

二四六　遠賀郡中原村粮米不足仕ゟ分借入金を以雑穀相求粮物償書上帳　（二四二の九）
天保八年五月　長帳　一冊

二四七　遠賀郡小石村粮米不足仕ゟ分借入金を以雑穀相求粮物償書上帳　（二四二の一〇）
天保八年五月　長帳　一冊

二四八　遠賀郡畠田村粮米不足仕ゟ分借入金を以雑穀相求粮物償書上帳　（二四二の一一）
天保八年五月　長帳　一冊

二四九　遠賀郡二嶋村粮米不足仕ゟ分借入金を以雑穀相求粮物償書上帳　（二四二の一二）
天保八年五月　長帳　一冊

二五〇　遠賀郡修多羅村粮米不足仕ゟ分借入金を以雑穀相求粮物償書上帳　（二四二の一三）
天保八年五月　長帳　一冊

二五一　遠賀郡枝光村粮米不足仕ゟ分借入金を以雑穀相求粮物償書上帳　（二四二の一四）
天保八年五月　長帳　一冊

二五二　遠賀郡藤木村粮米不足仕ゟ分借入金を以雑穀相求粮物償書上帳　（二四二の一六）
天保八年五月　長帳　一冊

二五三　遠賀郡修多羅触村ゟ百姓粮物過不足調子書上帳　（二一一）
天保八年六月　長帳　一冊

二五四　遠賀郡戸畑村風転逢百姓貞右衛門家作料御用心除ケ御銀拝借御願申上ル事　（一四三五）
天保八年八月　巻紙　一通

二五五　遠賀郡修多羅触村ゟ御救方拝借銀指引書上帳　（七三一）
天保八年八月　長帳　一冊

二五六　御払下米代銭三歩一上納先納金幷当季上納米共村ゟ指引帳　（二一七）
天保八年十月廿日　長帳　一冊
御郡囲払下米拝借高と返納分

二五七　粮米不足村ゟ割渡帳　（二五九）
（天保八年）酉十一月　長帳　一冊

二五八　何触村ゟ去ゟ申冬粮物救差出之分去酉夏難渋百姓江割渡俵数名元書上帳　（二一五）
天保九年五月　長帳　一冊

二五九　修多羅触村ゟ御拝借金借状帳　（一〇四一）
天保九年六月　書冊　一冊

二六〇　遠賀郡修多羅触村ミ去酉夏貧民救米幷安売米調子書上帳　（二二三）
天保九年六月　長帳　一冊

二六一　（仮題）覚　（三一七の一一）
天保九年　書綴　一綴
御家中知方之面ミ勝手向御救役所根証文勘定所押へニ願替不申ゟ分外

二六二　遠賀郡何触村ミ御拝借金借状帳　（一六八六）
天保九年六月　書冊　一冊

二六三　御拝借利分納証拠　（一三四二）
天保九年十二月　一紙（包紙入）一通
修多羅触

二六四　年賦証文之事　（一八二七）
天保九年十二月　一紙　一通
若松下浦屋重五郎ゟ

二六五　奉伺口上之覚　（三三）
（天保十年）　巻紙　一通
山鹿村悪田地難渋に付

二六六　遠賀郡何触村ミ仕向拝借米難渋百姓貸渡名前俵数書上帳　（七二七）
天保十年二月　長帳　一冊

二六七　仕向拝借仕証文帳　（二九三）
天保十年二月　書冊　一冊

二六八　遠賀郡修多羅触村ミ仕向拝借米難渋百姓貸渡名元俵数書上帳　（五）
天保十年二月　長帳　一冊

二六九　修多羅触村ミ御米拝借村割書上帳　（二五五）
天保十年二月　長帳　一冊

二七〇　仕向拝借仕証文帳　（二六一）
天保十年二月　書綴　一綴

二七一　仕向拝借仕証文帳　（二六二）
天保十年二月　書綴　一綴

二七二　修多羅触村ミ御米拝借村割書上帳　（七三〇）
天保十年二月　長帳　一冊

二七三　仕向拝借証文帳　（七六四）
天保十年二月　書冊　一冊
修多羅村

二七四　仕向御拝借金村ミ割渡帳　（七二九）
天保十年三月　長帳　一冊

二七五　仕向御拝借米年賦割方根帳　（二一八）
天保十年三月　長帳　一冊

二七六　遠賀郡山鹿村庄屋組頭乍恐御願申上ゟ口上之覚　（四〇）
天保十年八月　書綴　一綴
山鹿村悪田地折合の道詮儀加えられ度

二七七　遠賀郡山鹿村田地名頭百姓ゟ悪地田地請持百姓江来子ノ年ゟ来ル辰迄五ヶ年間救米指出ゟ者名元書上帳　（一五八〇）
天保十年十一月　長帳　一冊

二七八　遠賀郡若松村火事逢百姓家作銀拝借年賦借状帳　（七五四）
天保十年十一月　書冊　一冊

二七九　修多羅触村ミ江焚石御益銭之内御救渡分貸渡書上帳　（一二七）
天保十一年三月　長帳　一冊

二八〇　遠賀郡頓田村龍入転家百姓家作銀拝借年賦借状帳（一〇七〇）
天保十一年七月　書綴　一綴

二八一　遠賀郡払川村百姓拾九人質入田地御拝借銀を以請返代銭借状帳　（六）
天保十一年八月　書冊　一冊
庄屋利四郎外ゟ遠賀鞍手郡役所宛

二八二　拝借銀余米年賦御請合書物　（七五五）
天保十一年八月　書冊　一冊

二八三　洪水ニ付御救米頂戴被仰付候ニ付触下村ミ割渡帳　（六八六）
天保十一年八月　長帳　一冊

二八四　洪水ニ付御救米頂戴被仰付候ニ付触下村ミ割渡帳　（六八七）
天保十一年八月　長帳　一冊

二八五　遠賀郡払川村御救渡御米百姓人別割渡小割書上帳　（七〇〇）
天保十一年十月　長帳　一冊

二八六　遠賀郡修多羅触盲女座頭ゟ御救米頂戴仕ゟ□　（一〇六四の二）
天保十一年十月　長帳（一部破損）一冊

二八七　御拝借金利分取立帳　（一〇三六）
天保十一年十一月　長帳　一冊

二八八　洪水ニ付触下村ミゟ御救米割帳　（六九四）
天保十一年十一月　長帳　一冊

二八九　御救渡御米代焚石益銭目違金割渡帳　（一二六）
天保十一年十一月　長帳　一冊

二九〇　二嶋村伝吉産子養育臨時御救米代三ヶ年御渡分諸控（一五一）
天保十一年　書綴（袋入）一綴

二九一　遠賀郡払川村御救渡御米難渋百姓人別割渡小割書上帳　（七〇一）
天保十一年十月　長帳　一冊

二九二　（仮題）御救米割覚　（七二二）
（天保十一年外）　長綴　五綴

二九三　遠賀郡修多羅触村〻洪水ニ付御救米割渡書上帳　（六七二）
天保十一年　長帳　一冊

二九四　（仮題）貧窮百姓書上　（四一一の六）
天保十二年正月　長綴　一綴

二九五　現穀米貸渡調子帳　（一〇五）
天保十二年閏四月　長帳　一冊

二九六　左之米可相渡証拠之事　（一三三九）
天保十三年正月廿六日　一紙　二通
林八太夫外ゟ二嶋村伊七郎宛

二九七　此節御借り入金割方帳　（一〇八）
天保十三年三月　長帳　一冊

二九八　遠賀郡二嶋村ゟ仕上ゟ指出之事　（一九七）
天保十四年三月　一紙　一綴
各村ゟ前借米差紙有無の報告

二九九　遠賀郡修多羅触村〻ゟ前借米御差紙上納欠数名元書帳　（一九六）
天保十四年三月　長帳　一冊

三〇〇　遠賀郡修多羅触山鹿蜑住塩屋三ケ村ゟ現穀米之内拝借仕借状帳　（一三四）
天保十四年十月　書冊　一冊

三〇一　（仮題）前借米御指紙上納分覚　（一五三）
天保十四年　長綴　一綴

三〇二　現穀米御拝借村〻年賦上納割合書上帳　（一四〇）
天保十五年二月　長帳　一冊
修多羅触

三〇三　遠賀郡修多羅村百姓拾人ゟ乍恐御願申上口上之覚（一〇六二）
天保十五年三月　巻紙　一通
久助外ゟ。拝借米願

三〇四　遠賀郡修多羅触村〻ゟ現穀御備米之内拝借仕借状帳　（一三五）
天保十五年三月　書冊　一冊

三〇五　遠賀郡修多羅触払川村ゟ現穀御備米之内拝借仕拝状帳　（一三六）
天保十五年三月　書冊　一冊

三〇六　遠賀郡修多羅触之内塩屋畠田竹並乙丸頓田高須小敷修多羅若松浅川戸畑小竹大鳥居右拾三ケ村ゟ乍恐御願申上ゟ口上覚　（一〇五九）
天保十五年三月　巻紙　一通
米拝借願

三〇七　遠賀郡払川村庄屋組頭乍恐御願申上ゟ口上之覚　（一〇五八）
天保十五年八月　巻紙　一通
拝借米銭返納の件

三〇八　前借御指紙米両口分御返済俵数村〻割渡帳　（一〇六）
天保十五年十一月　長帳　一冊

二九　現穀米年賦当辰年分取立帳　（二三〇）
天保十五年十一月　長綴　一綴

三〇　御願書　（一四二七）
天保十五年　（包紙入）書綴一綴・巻紙一通
頓田・竹並・畠田・大鳥居・小敷・高須・浅川村ゟ。現穀備米拝借年賦上納の件

三一　覚　（一〇六四の一七）
（弘化二年）　切紙　一通
払川村へ貸渡現穀米数

三二　遠賀郡修多羅村百姓拾人ゟ乍恐御願申上口上之覚　（一〇六〇）
弘化二年二月　書綴　一綴
久助外ゟ。拝借米返納の件

三三　遠賀郡修多羅村百姓拾人ゟ乍恐御願申上口上之覚　（一〇六一）
弘化二年二月　巻紙　一通
拝借米返納の件

三四　遠賀郡修多羅村百姓拾人ゟ乍恐御願申上口上之覚　（二五四の一六）
弘化二年二月　書綴　一綴
拝借米返納の件

三五　遠賀郡修多羅村百姓拾人ゟ乍恐御願申上口上之覚　（一〇五六・一〇五七）
弘化二年三月　書綴　二綴
拝借米返納の件

三六　証拠　（一〇六四の一九）
（弘化二年）巳四月十八日　切紙　二通
大庄屋松井仁十郎ゟ修多羅村庄屋慮兵衛宛。現穀米渡方覚

三七　蜑住村庄屋正五郎拝借前現穀米年賦割　（一〇六四の七）
（江戸後期）辰二月　長綴（一部破損）一綴
大庄屋太一郎宛。

三八　（仮題）受取　（一〇六四の一八）
（江戸後期）十二月廿三日　切紙　一通
郡役所ゟ大庄屋太一郎宛。拝借金利分受取

三九　本城村大庄屋松井仁十郎修多羅村大庄屋太一郎乍恐奉伺上口上之覚　（一〇八六）
（江戸後期）辰十二月　長綴　一綴
払川村質入田請返料拝借に付余米上納の件

三〇　本城村大庄屋松井仁十郎修多羅村大庄屋太一郎乍恐奉伺上口上之覚　（一〇八七）
（江戸後期）辰十二月　書綴　一綴
払川村百姓中粮米拝借分返納の件

三三　本城村大庄屋松井仁十郎修多羅村大庄屋太一郎乍恐奉伺上ゟ口上覚　（一〇八八）
（江戸後期）辰十二月　長綴　一綴
払川村百姓中粮米不足分拝借の件

三三　覚　（一一七七）
（江戸後期）　折紙　一通
施米書上

三三　覚　（一一八〇）
（江戸後期）　長綴　三綴
施米

三四　□米御救助割渡　（一二三〇）
（江戸後期）　折紙　二通

三五　覚　（一四九一）
（江戸後期）　切紙　一通
年賦一人当り割出し

三六　山鹿村ゟ前借米御指紙納証拠之事　（一八九九）
（江戸後期）三月廿七日　一紙　一通
庄屋浜中又右衛門ゟ大庄屋太一郎宛

三七　（仮題）通達　（一九一五）
（江戸後期）十二月十二日　切紙　一通
郡代役所ゟ大庄屋太一郎宛。仕組銀の内払川村分上納ゟ様

三八　（仮題）郡ミ医師中ゟ拝借願出の件　（八九四の一〇）
（江戸後期）　書綴　一綴
郡役所ゟ

三九　（仮題）達書　（七六八の六）
（江戸後期）　長綴　一綴
郡町浦へ拝借米被仰付ゟ条雑食取交秋作出来迄喰続ゟ様

三〇　（仮題）達　（一一六九）
（江戸後期）申十一月　切紙　一通
当年田畠非常之損毛ニ付御救米仰付けの件

三一　現穀米年賦当辰年分取立帳　（二二八）
（江戸後期）　長帳　一冊

三二　拝借口取立覚　（二三七）
（江戸後期）　長綴　一綴

三三　御借入米通帳御案文来春御巡見使様御下宿附　（三〇五）
（江戸後期）　長帳　一冊

三四　（仮題）願　（四一一の四）
（江戸後期）丑正月　長綴　一綴
有毛・蜑住村貧窮百姓仕向願出被仰付度

三五　（仮題）願　（四一一の五）
（江戸後期）　長綴　一綴
浅川村外貧窮百姓仕向差支えに付願上

三二六　(仮題)拝借米仰付られ候事　(七二六)
(江戸後期)二月　巻紙　一通

三二七　(仮題)拝借銀上納覚　(七六八の九)
(江戸後期)　長綴　一綴

三二八　覚　(六六九の二)
(江戸後期)　長綴　一綴
難渋者書上外

三二九　申渡　(六六九の六)
(江戸後期)九月　巻紙　一通
修多羅村大庄屋太一郎外宛。洪水に付御救米渡分の事

三三〇　覚　(六六九の九)
(江戸後期)子七月　巻紙　一通
洪水に付御救米仰付けらる

三三一　割渡下地　(二九五)
(江戸後期)八月廿四日　長綴　一綴
米

三三二　触下村ゟ粮米余分不足村〻金子受取証拠引替代金受払根帳　(二九六)
(江戸後期)　長綴　一綴

三三三　(仮題)修多羅触粮米過不足覚　(二九八の二)
天保八年六月　長綴　一綴
大庄屋太一郎〻郡役所宛

三三四　(仮題)各村米代銀覚　(二九八の三)
(江戸後期)　長綴　一綴

三三五　(仮題)御郡囲御払下ケ米覚　(二九八の四)
(江戸後期)　長綴　一綴

三三六　(仮題)御郡囲御払下ケ米覚　(二九八の五)
(江戸後期)　長綴　一綴

三三七　(仮題)申渡写　(二九八の七)
(江戸後期)正月廿八日　長綴　一綴
郡役所〻。買入の雑穀請取方の件

三三八　両郡御払下米高割方　(二九八の八)
(江戸後期)　長綴　一綴

三三九　覚　(二九八の九)
(江戸後期)　長綴　二綴
各村米代銀覚

三四〇　(仮題)粮米過不足覚　(二九八の一二)
(江戸後期)　長綴　一綴

三四一　(仮題)修多羅触米代銭覚　(二九八の一四)
(江戸後期)　長綴　一綴

三四二　遠賀郡修多羅触村ゟ庄屋中乍恐御願申上ル事　(二九八の一六)
天保八年十二月　書綴　一綴
籾囲米借用分返済の件

三三　遠賀郡山鹿村庄屋組頭乍恐御願申上ル事　（二九八の一七）
天保八年十二月　書綴　一綴
籾囲米借用の件

三三四　（仮題）鞍手郡払後レ村書上　（二九八の一八）
（江戸後期）子十二月廿七日　長綴　一綴
囲米関係

三三五　（仮題）蜑住村上納高覚　（二九八の一九）
（江戸後期）　切紙　一通
籾囲関係

三三六　覚　（二九八の二〇）
（江戸後期）　切紙　一通
買入米代納方

三三七　遠賀郡修多羅触村ゟ庄屋中乍恐御願申上ル事　（二九八の二一）
天保八年十二月　巻紙　一通
籾囲米借用の件

三三八　書状　（二九八の二二）
（江戸後期）十二月廿七日　切紙　一通
郡役所ゟ大庄屋太一郎宛。山鹿村損毛に付籾囲米借用の件

三三九　書状　（二九八の二三）
（江戸後期）　切紙（首尾欠）一通
籾囲米の件外

三四〇　（仮題）前借御指紙覚　（二九八の二四）
（江戸後期）卯三月　折紙　一通
小石村庄屋正三郎ゟ。藤木村分

三四一　（仮題）修多羅触年賦米覚　（二九八の二五）
（江戸後期）　折紙　一通

三四二　書状　（二九八の二六）
（江戸後期）七月十一日　切紙　一通
山鹿村庄屋五三郎ゟ大庄屋太一郎宛。山鹿村田方痛の件

三四三　申秋御救米渡方分覚　（二六三）
（江戸後期）　長綴　一綴

三四四　御囲籾預主名元控帳　（一一二五の七）
文政八年十二月　長帳　一冊

三四五　雑穀御備米割方取立帳　（一五七〇）
文政十年十一月　長帳　一冊

三四六　雑穀備蔵入帳　（一五八二）
天保三年二月　長帳　一冊

三四七　雑穀備書上帳　（一七二二）
天保七年十二月　長帳　一冊

三四八　遠賀郡修多羅村雑穀備詰方御届申上ゟ指出之事　（一七二四）
天保七年十二月　一紙　一通
庄屋太一郎外ゟ郡役所宛

三六九　修多羅村ゟ仕上差出之事　（一七二三）
（天保八）酉正月　一紙　二通
庄屋太一郎ゟ大庄屋松井久五郎宛。雑穀備の分は種子籾詰方仕居ハ間当春蔵出願

三七〇　修多羅村ゟ仕上指出之事　（一七七三）
（江戸後期）　一紙　一通
非常雑穀備に種子籾詰方仕居申ハ間蔵出願

三七一　雑穀備控帳　（一三九七）
天保八年二月　長綴（袋入）一綴
庄屋太一郎ゟ郡代役所宛

三七二　御郡囲米植木郷村ゟ請取小割帳　（二七九）
天保八年六月　長綴　一綴

三七三　異船用御囲米拝借帳　（一一八一）
天保八年八月　書冊　一冊

三七四　触中籾囲山鹿村貸渡根帳　（二八八）
天保八年十二月　長帳　一冊

三七五　籾囲借入証文　（二九四）
天保八年十二月　一紙　一通
山鹿村

三七六　山鹿村ゟ触中村ゟ分籾囲米拝借書抜帳　（二九二）
天保八年十二月　長帳　一冊

三七七　修多羅触村ゟ去酉年ゟ卯年迄七年非常雑穀備分当酉冬仕戻小割書上帳　（二五〇）
（天保九年）　長綴　一綴

三七八　遠賀郡藤木村去ル酉ゟ卯迄七ヶ年非常雑穀備分当戌正月仕戻高書上帳　（二〇〇）
天保九年正月　長帳　一冊

三七九　遠賀郡若松村去ル未ゟ丑年迄七ヶ年之間非常雑穀備分当春仕戻高書上帳　（二〇三）
天保九年二月　長帳　一冊

三八〇　遠賀郡蜑住村皮多去ル酉年ゟ丑迄五ヶ年非常雑穀備分当春仕戻書上帳　（二一六）
天保九年二月　長帳　一冊

三八一　遠賀郡枝光村去ル酉ゟ卯之七ヶ年之間非常雑穀備分当春仕戻高書上帳　（二一一）
天保九年二月　長帳　一冊

三八二　遠賀郡頓田村去ル酉ゟ卯迄七ヶ年非常雑穀備去酉年仕戻高書上帳　（二一二）
天保九年二月　長帳　一冊

三八三　遠賀郡払川村去ル酉ゟ卯迄七ヶ年非常雑穀備当戌春仕戻高書上帳　（二一三）
天保九年二月　長帳　一冊

三六四　遠賀郡大鳥居村去ル酉ゟ卯迄七ケ年非常雑穀備去酉年仕戻高書上帳　（二一四）
天保九年二月　長帳　一冊

三六五　遠賀郡山鹿魚町去ル酉年ゟ卯年迄七ケ年非常雑穀備分当酉年仕戻高書上帳　（一九一）
天保九年二月　長帳　一冊

三六六　御郡御囲蔵敷米控　（二五二）
天保十年二月　切紙（袋入）六通

三六七　（仮題）御囲籾高覚　（二四六）
天保十三年　書綴　一綴

三六八　遠賀郡修多羅触村ミ籾囲米上納通帳　（二四五）
天保十三年　長綴　一綴

三六九　公義御籾囲御買上代銀割渡根帳　（二七六）
天保十三年二月　長帳　一冊

三七〇　遠賀郡修多羅触村ミ御籾囲俵数書上帳　（二八一）
天保十三年二月　長帳　一冊

三七一　公義御籾囲代銭渡方帳　（二九一）
天保十三年三月　長綴　一綴

三七二　公義御囲籾御買上ケ代銀割渡根帳　（二六九）
天保十三年二月　長帳　一冊

三七三　籾囲米金四番渡分郡中割方帳　（二六四）
天保十三年七月　長帳二冊合綴
付、籾囲米代金触ミ惣算用帳

三七四　御籾囲米代後渡分之内金百弐拾両郡中割方帳　（二七一）
天保十三年八月　長綴　一綴

三七五　何郡付触村ミ籾囲米上納通帳　（二八七）
天保十三年九月　長帳　一冊

三七六　臨時籾囲郡中根割帳　（一九九）
天保十三年十月　長帳　一冊

三七七　寅年分百姓自分備割方帳　（二〇七）
天保十三年十月　長帳　一冊

三七八　今般新穀ニ付備方被仰付ゟ籾囲米村ミ割方帳　（一九八）
天保十三年十月　長帳　一冊

三七九　遠賀郡修多羅村ミ当寅秋御籾囲御年貢御立用被仰付ゟ分村割俵数書上帳　（一九五）
天保十三年十月　長綴　一綴

四〇〇　（仮題）囲籾覚　（二五四の一五）
天保十三年十一月　長綴　一綴

四〇一　丑冬御囲米代銀御渡残并米ニ而御下渡分間欠共割方帳　（二八六）
天保十四年二月廿三日　長帳　一冊

四〇三　遠賀郡修多羅触村ミ御囲籾御年貢御立用被仰付ゟ分幷百姓自分囲共ニ倹数書上帳　（一九三）
天保十四年二月　長帳　一冊

四〇三　去ミ丑冬籾囲去秋上納銭間欠金子割方帳　（二七〇）
天保十四年二月　長帳　一冊

四〇四　修多羅触現穀米年ミ備御聞届帳　（二三一）
天保十四年四月　書綴　一綴

四〇五　修多羅触現穀御備米之内差引帳　（二〇二）
天保十四年閏九月　長帳　一冊

四〇六　遠賀郡修多羅触村ミ当百姓御籾囲御年貢御立用被仰付ゟ分割方帳　（一九七）
天保十四年九月　長綴　二綴

四〇七　遠賀郡修多羅触村ミ御囲籾御年貢御立用分幷百姓自分囲共ニ寅卯両年分倹数書上帳　（一九四）
天保十四年十一月　長帳　一冊

四〇八　公義御籾囲蔵詰寄村分ケ書上帳　（二〇四）
天保十五年九月　長帳　一冊

四〇九　用心備囲籾組割帳　（二二四）
嘉永元年十二月　長帳　一冊

四一〇　御囲籾代初渡分割渡帳　（二二六）
（江戸後期）　長帳　一冊

四一一　去ミ酉年御郡御囲米若松町蔵敷賃割方帳　（二二五）
（江戸後期）二月十二日　長帳　一冊

四一二　惣蔵様御道割村ミ籾囲御見分　（一八九の五）
（江戸後期）　長綴　一綴

四一三　若松植木両所御郡囲蔵敷米割方帳　（二二九）
（江戸後期）　長帳　一冊

四一四　籾囲米代九月五日渡　（二六五）
（江戸後期）　長綴　一綴

四一五　籾囲米上納高割方　（二七二）
（江戸後期）　長綴　一綴

四一六　御書附写　（一二五九）
（江戸後期）　書冊　一冊
非常備として郡ミへ籾囲被仰付口達控

四一七　（仮題）備米高書上（雛形）　（一四一三）
（江戸後期）　折紙　一通

四一八　御籾囲追増分割方　（一七六七）
（江戸後期）　切紙　一通

四一九　修多羅村大庄屋太一郎乍恐奉伺口上覚　（二四七）
（江戸後期）酉十二月　長綴　一綴
太一郎ゟ伝宛。囲米の件

四三　囲籾救米書付　（袋入）

(1) 書状　（二五四の一）
（江戸後期）十一月十日　切紙　一通
正五郎ゟ庄屋慮兵衛宛。年賦米の件

(2) （仮題）囲籾覚　（二五四の二）
（江戸後期）　書綴　一綴

(3) 遠賀郡修多羅村百姓拾人ゟ乍恐御願申上口上之覚　（二五四の三）
天保十五年三月　書綴　一綴
現穀備米の内ゟ拝借願

(4) 覚　（二五四の四）
（江戸後期）　長綴　一綴
各人割当銭覚

(5) 書状　（二五四の五）
（江戸後期）十一月十五日　切紙　一通
蜑住村庄屋正五郎ゟ大庄屋太一郎宛。前借米差紙納方の件

(6) 請取　（二五四の六）
（江戸後期）　切紙　一綴

(7) 覚　（二五四の七）
（江戸後期）　折紙　一通
囲米

(8) （仮題）蜑住触現穀米蔵詰高覚　（二五四の八）
（江戸後期）　切紙　一通

(9) 書状　（二五四の九）
（江戸後期）二月四日　切紙　一通
庄屋藤蔵ゟ庄屋慮兵衛宛。現穀米年賦の件

(10) 書状　（二五四の一〇）
（江戸後期）二月朔日　切紙　一通
大庄屋松井仁十郎ゟ庄屋慮兵衛宛。現穀米一件

(11) 覚　（二五四の一一）
（江戸後期）　折紙　一通
各村の米覚

(12) 書状　（二五四の一二）
（江戸後期）八月十四日　切紙　一通
郡役所ゟ大庄屋松井仁十郎外宛。払川村拝借の件

(13) （仮題）蜑住触現穀米蔵詰高覚　（二五四の一三）
（江戸後期）　折紙　一通

(14) 御郡囲米蔵敷　（二五四の一四）
（江戸後期）　折紙　一通

(15) （仮題）御用会覚　（二五四の一七）
（江戸後期）　小横綴　一綴
囲穀の件

(16) (仮題)備救囲米につき伺　(二一五四の一八)
(江戸後期)　長綴　一綴
大庄屋太一郎外ゟ郡役所宛

(17) 救囲米上納一件　(二一五四の一九)
天保十三年九月　切紙(袋入)三通

四三一 (仮題)囲米関係　(二一九八の三六)
(江戸後期)　切紙　三通

(6) 称誉

四三三 夜郷郡朝日村孝子弥四郎御称誉留書　(七五〇)
文化六年十二月　書冊　一冊

四三三 修多羅触村〻之内孝心善行之者名元書上帳　(一〇五三)
天保九年三月　長帳　一冊

四三四 安屋武作祖母百才一件魚町庄屋小田定右衛門御称誉一件　(一二一四)
天保十三年正月　(袋入)書綴一綴・切紙六通

四三五 遠賀郡安屋村百姓武作乍恐御願申上ル口上之覚　(一三二一)
天保十三年二月　書綴　一綴
祖母百才に相成重き御書付頂戴被仰付ゟに付

四三六 覚　(一九三七)
(天保十三年)寅二月　切紙　一通
山鹿村魚町庄屋小田定右衛門称誉の事

四三七 (仮題)達　(一九五五)
(天保十三年)四月十四日　切紙　一通
郡代役所ゟ大庄屋太一郎宛。武作祖母に被下米

四三八 (仮題)達　(一九五七)
(天保十三年)四月廿二日　切紙　一通
郡代役所ゟ大庄屋太一郎宛。武作祖母への称誉米

四三九 遠賀郡安屋村百姓武作乍恐御願申上口上之覚　(二一〇一四)
天保十三年三月　書綴　一綴
祖母より木綿献上仕度

四四〇 (仮題)達　(二一〇二九)
(天保十三年)三月十八日　切紙　一通
郡代役所ゟ太一郎宛。武作祖母献上木綿差出方の件

四四一 (仮題)達　(二一〇二八)
(天保十三年)正月廿六日　巻紙　一通
郡代役所ゟ太一郎宛。武作祖母への賞与米の事

四四二 覚　(一三四〇)
(天保十三年)寅正月　切紙　一通
林八太夫・野田惣蔵ゟ。武作祖母賞与の件

四四三 覚　(一三五四)
(天保十三年)寅正月　切紙　一通
武作祖母百才に付賞与の件

四三　書状　（二〇二一）
（天保十三年）四月廿四日　切紙　一通
二嶋伊七郎ゟ大庄屋太一郎宛。安屋村武作祖母への渡米の件

四三　（仮題）覚　（二〇四六）
（江戸後期）　切紙　一綴
申年救切并安売米共に差出ゟ者称与の件

(7)　その他

四三　遠賀郡戸畑村ゟ仕上指出之事　（七九七）
天明八年二月　巻紙　一通
戸畑村庄屋喜平次ゟ富永甚左衛門宛。制札内容の調べ

四三　令則　（一九七〇）
文化五年　巻紙　一通
桂棲源長房

四三　遠賀郡山鹿魚町ゟ御制札御書替被仰付ゟニ付納証拠之事　（一九〇六）
文政四年四月　一紙　一通
庄屋清七ゟ郡代役所宛

四三　御奏者番御役ニ付出火之節御供立行列大概　（二〇四八）
天保十三年七月廿五日　小横帳　一冊
平野

四四　鳫鴨締一件控　（一〇八四）
天保十三年八月　長綴三綴・折紙二通・切紙一通
鳫鴨締主之者名元、鳫綱代料

四四一　若松御加子御扶持御切米差引帳　（一〇五一）
弘化四年十一月　長帳　一冊

四四二　五郷様太宰府御滞府ニ付五藩御守衛口ニ引合廉　（一六九〇）
慶応元年　書綴　一綴

四四三　諸御役人様御名付　（九一七）
（江戸後期）　長綴　一綴

四四四　御供付　（一一九三）
（江戸後期）　長綴　一綴
家臣名書上

四四五　酉三月廿九日出立陸地　（一二三八）
（江戸後期）四月廿六日　巻紙　一通
長崎警備関係

四四六　御初入御供立帳　（一七七一）
（江戸後期）　小横帳　一冊

四四七　吉田縫殿助来春江戸御供被仰付ゟニ付諸渡拝領銀　（一六〇六）
（江戸後期）十月十六日　折紙　一通

四八　諸掛左之通御役号替ニ相成ゟ覚　（一七五八）
（明治初期）　折紙　一通

四九　（仮題）覚　（二〇〇〇）
（明治初期）　書綴　一綴
今般御改革各郡掛り分被廃本支合併被仰付更ニ左之通分課被相立

2　治安・訴訟

一　山鹿魚町半三郎乍恐御願申上ル口上之事　（一八八二）
安永二年十二月十二日　巻紙　一通
偽借用証文詮儀願

二　差上ゟ一札之事　（一八二〇）
文化十二年十月　巻紙　一通
善太郎ゟ村役人中宛。博奕致ゟに付

三　差出申一札　（一八二四）
文政十年八月　巻紙　一通
仁五蔵外ゟ庄屋熊太郎外宛。善五郎儀博奕の遺恨を以て狼藉いたしゟ件

四　差出申一札　（一八二三）
文政十三年六月十日　巻紙　一通
万治郎外ゟ。博奕致ゟに付

五　差出し申一札之事　（一八二二）
文政十三年七月　巻紙　一通
馬之助外ゟ。博奕致ゟに付

六　（仮題）盗賊顚末書上　（七七七）
文政十三年写　書綴　一綴
正徳三年の事件

七　過料　（一八三五）
天保四年正月廿八日　巻紙　一通
伝七外ゟ乙嶋村役人中宛。博奕致ゟに付過料年賦上納の事

八　差出申一札之事　（一八四〇）
天保四年二月三日　巻紙　一通
定之丞外ゟ。博奕致ゟに付過料差出

九　差出申一札之事　（一八二六）
天保四年二月四日　巻紙　一通
定之丞外ゟ村役人宛。博奕致ゟに付

一〇　差出申過料銭年賦証文之事　（一八二八）
天保四年二月四日　巻紙　一通
四郎左衛門外ゟ

一一　（仮題）詮儀一件　（七九一の二）
天保八年　長綴　一綴
楠木盗人の件

一三　遠賀郡修多羅村伝作御調子ニ付乍恐申上ル口上覚（一二五七）
天保九年五月　書綴　一綴
郡役所宛。喧嘩口論転末

一三　遠賀郡木守村小林弥一郎乍恐奉願上口上書　（一八四一）
天保九年十一月　巻紙　一通
郡役所宛。若松村市五郎ゟ返金滞ル件

一四　遠賀郡修多羅村大庄屋太一郎乍恐申上ル口上覚（七九一の三）
天保十年四月　切紙　一通
太一郎ゟ貝原市太夫宛。藤木村金七楠木盗伐一件

一五　遠賀郡竹並村市助乍恐申上ル口上覚　（七九一の一）
天保十年四月廿一日　書綴　一綴
稲・芋盗取詮儀受ル件

一六　旅人山鹿村ニ而病死ニ付魚町乙丸調子扣　（七八九の一）
天保十年十二月　長帳　一冊

一七　乙丸一件留書　（七八九の二）
（天保十年）　小横帳　一冊

一八　遠賀郡乙丸村庄屋組頭ゟ御註進申上口上之覚　（七八九の三）
天保十年十二年十一日　書綴　一綴
真龍寺内に見馴れざる墓あり

一九　書状　（七八九の六）
（天保十年）十二月四日　巻紙　一通
改役清三郎ゟ大庄屋太一郎宛。真龍寺内墓の件

二〇　書状　（七八九の七）
（天保十年）十二月四日　巻紙　一通
魚町庄屋小田定右衛門ゟ。真龍寺内墓の件

二一　書状　（七八九の八）
（天保十年）十二月五日　切紙　一通
乙丸村庄屋小七ゟ。真龍寺内墓の件

三一　書状　（七八九の九）
（天保十年）十二月五日　巻紙　一通
頓田村庄屋武兵衛外ゟ、墓の件

三三　申渡覚　（七八九の四・五）
（天保十一年）四月　巻紙　二通
山鹿村庄屋五三郎外宛。墓一件

二四　（仮題）申渡覚　（七八九の一〇）
（天保十一年）子四月　切紙　一通
真龍寺宛

二五　岩屋破船一件書類　（七九八の一四）
（天保十～十二年）　（袋入切紙二綴・切紙廿四通
処分等

二六　有毛村幸次郎御詮儀ニ付乍恐申上口上之覚　（七九三の六）
天保十年二月　巻紙　一通
幸次郎ゟ大庄屋太一郎宛

二七 有毛村藤右衛門幸次郎貞右衛門再応御詮儀ニ付乍恐申上ル口上之覚　（七九三の一）
天保十年二月　書綴　一綴
岩屋浦破船一件

二八 有毛村九三郎御詮儀ニ付乍恐申上ル口上之覚　（七九三の二）
天保十年二月　巻紙　一通
岩屋浦破船荷物一件

二九 有毛村藤右衛門御詮儀ニ付乍恐申上ル口上之覚（七九三の三）
天保十年二月　巻紙　一通

三〇 有毛村平市御詮儀ニ付乍恐申上ル口上覚　（七九三の四）
天保十年二月十三日　巻紙　一通
岩屋浦破船荷物一件

三一 有毛村利右衛門御詮儀ニ付乍恐申上ル口上之覚（七九三の五）
天保十年二月　巻紙　一通
岩屋浦破船荷物一件

三二 有毛村新屋敷百姓中乍恐申上口上之覚　（七九三の七）
天保十年二月　巻紙　一通

三三 有毛村半十御詮儀ニ付乍恐申上ル口上之覚　（七九三の八）
天保十年二月　巻紙　一通
岩屋浦破船荷物一件

三四 頓田村甚八御調子ニ付申上ル口上之覚　（七九三の九）
天保十年二月廿八日　巻紙　一通
大庄屋松井久五郎宛。岩屋浦破船荷物一件

三五 有毛村庄屋組頭ゟ乍恐仕上口上之覚　（七九三の一〇）
天保十年二月　巻紙　一通
大庄屋太一郎宛。岩屋浦破船荷物一件

三六 有毛村組頭取中ゟ乍恐申上ル口上之覚　（七九三の一一）
天保十年二月　巻紙　一通
彦八外ゟ松井久五郎宛

三七 有毛村庄屋組頭ゟ乍恐仕上口上之覚　（七九三の一二）
天保十年二月　巻紙　一通
貞次郎外ゟ太一郎宛

三八 口上覚　（七九三の一三）
（天保十年）二月廿六日　一紙（包紙入）一通
有毛村藤右衛門ゟ小竹村役人宛

三九 書状　（七九三の一五）
（天保十年）三月十二日　切紙　一通
田中七太郎ゟ大庄屋太一郎宛。岩屋浦破船荷物一件

四〇 書状　（七九三の一四）
（天保十年）六月十三日　切紙　一通
太一郎宛。岩屋浦破船荷物一件

四一　本城村大庄屋松井久五郎下底井野村大庄屋有吉与右衛門修
多羅村大庄屋太一郎申上ル口上之覚　（七九三の一六）
（天保十年）　長綴　一綴

四二　改不足代品物覚　（七九四の一）
（天保十年）二月廿二日　折紙　一通
荷主松居久米左衛門ゟ。岩屋浦破船荷物一件

四三　岩屋浦平左衛門殿ゟ預り品　（七九四の二）
（天保十年）亥二月廿八日　一紙　一通
小竹村助十ゟ大庄屋太一郎宛

四四　覚　（七九四の三）
（天保十年）　折紙　一通
岩屋浦破船荷物一件

四五　覚　（七九四の四）
（天保十年）　切紙　一通
岩屋浦破船荷物一件

四六　書状　（七九四の五）
（天保十年）二月十九日　切紙（包紙入）一通
田中七郎ゟ松井久五郎外宛。岩屋浦破船荷物一件

四七　書状　（七九四の六）
（天保十年）二月廿一日　切紙　一通
松井久五郎ゟ太一郎宛。破船荷物に付小竹村調子方の件

四八　書状　（七九四の七）
（天保十年）　切紙（尾欠）一通

四九　有毛村組頭持参之書付　（七九四の八）
（天保十年）　切紙　一通
岩屋浦破船紛失荷物書上

五〇　書状　（七九四の九）
（天保十年）二月廿六日　切紙　一通
頓田村庄屋武兵衛ゟ。岩屋浦破船一件

五一　覚　（七九四の一〇）
（天保十年）　切紙　一通
小竹村助十方預荷

五二　御役所御状写　（七九四の一一）
（天保十年）　巻紙　一通
岩屋浦破船荷物一件

五三　書状　（七九四の一二）
（天保十年）二月廿六日　切紙　一通
岩屋浦平右衛門ゟ小竹村役人宛。破船荷物一件

五四　（仮題）通達　（七九四の一三）
（天保十年）二月五日　切紙　一通
郡役所ゟ太一郎宛。破船荷物一件

五五　（仮題）有毛村新屋敷百姓中名前書上　（七九四の一四）
（天保十年）　折紙　二通

五五　書状　（七九四の一五）
（天保十年）二月廿日　切紙　一通
松井久五郎ゟ太一郎宛。破船荷物一件

五七　覚　（七九四の一六）
（天保十年）二月　切紙　一通
破船荷物一件

五八　未不足代物覚　（七九四の一七）
（天保十年）　切紙　一通
破船荷物一件

五九　遠賀郡有毛村藤右衛門幷悴幸次郎貞右衛門三人之者共乍恐申上ゟ口上之覚　（七八三）
天保十年四月　書綴　一綴
郡役所宛。破船一件

六〇　遠賀郡山鹿村組頭政右衛門岩屋浦ニ而破船一件ニ付黒崎於御郡家御詮儀被仰付乍恐申上口上之覚　（七七九）
天保十一年七月　書綴　一綴
高畠五郎右衛門宛

六一　岩屋浦破船一件ニ付御詮儀之上入牢禁足村預ケ之者家内人数現作田畠数抱田畠高書上帳　（七八四）
天保十一年八月　長綴　一綴

六三　岩屋浦破船一件ニ付御咎メ之者家内人数　（七八五）
（天保十一年）子八月　長綴　一綴

六三　遠賀郡小石村庄屋正三郎乍恐御伺申上ゟ口上之覚　（四〇三）
天保十一年十二月　長綴　一綴
組頭藤次郎・栄七公儀役人に取調べらるの件

六四　修多羅村大庄屋太一郎乍恐御註進申上ル事　（七八八の一）
（天保十一年）　長綴　一綴
破船一件

六五　覚　（七八八の二）
（天保十一年）　長綴　一綴
岩屋破船一件

六六　修多羅村大庄屋太一郎乍恐御注進申上ゟ事　（七八八の三）
（天保十一年）　長綴　一綴

六七　修多羅村大庄屋太一郎乍恐御注進申上ル事　（七八八の四）
（天保十一年）　長綴　一綴

六八　修多羅村大庄屋太一郎乍恐御注進申上ル事　（七八八の五）
（天保十一年）　長綴　一綴

六九　修多羅村大庄屋乍恐御注進申上ル事　（七八八の六）
（天保十一年）　長綴　一綴

七〇　（仮題）乍恐御注進申上ル事　（七八八の七）
（天保十一年）　長綴　一綴
太一郎ゟ。岩屋浦破船失荷物の件

七一　(仮題)岩屋浦破船失荷物の件　(七八八の八)
(天保十一年)　長綴　二綴

七二　(仮題)博奕一件書付　(七九〇)
天保十二年　書綴一綴・一紙一通・切紙四通
太一郎口上覚、申渡、覚(呼出状)外

七三　遠賀郡修多羅触村ミ岩屋浦破船荷物ニ付掛り合之者御呼出名着倒書上帳　(七八二)
天保十二年閏正月　長帳　一冊

七四　修多羅村大庄屋太一郎乍恐申上口上覚　(一二六七)
天保十二年三月　一紙　一通
岸原七太夫宛。藤木村金七楠木盗伐ゟ件

七五　小竹村御詮儀ニ付口上書控　(七七五)
天保十二年四月　書冊　一冊
博奕取扱ゟ件

七六　尾倉村盗人一件口上書控　(七八七)
天保十二年八月九日　書冊　一冊
若松村判元李三郎ゟ郡役所宛

七七　遠賀郡若松村庄屋組頭於木屋瀬御郡家就御詮儀乍恐申上口上之覚　(七九五の一)
天保十三年二月七日　書綴　一綴
若松村庄屋松井一内ゟ野田惣蔵宛。尾倉村曽平弟李三郎盗入の件

七八　申渡　(七五二の二)
(江戸後期)寅七月　書綴　一綴
若松村李三郎宛

七九　遠賀郡枝光村百姓源右衛門乍恐申上ル口上覚　(七九六の一)
天保十二年八月九日　書綴　一綴
郡役所宛。尾倉村盗人一件

八〇　遠賀郡若松村判元李三郎乍恐申上口上之覚　(七九六の二)
天保十二年八月　書綴　一綴
郡役所宛

八一　(仮題)達　(一九二三)
(天保十三年)三月朔日　切紙　一通
郡代役所ゟ太一郎宛。夫銭預茂一郎調子の儀

八二　書状　(一九二二)
(天保十三年)三月十五日　巻紙　一通
小敷村庄屋甚五郎外ゟ太一郎宛。夫銭預茂一郎一件

八三　遠賀郡有毛村五三郎一族中乍恐奉願上口上之覚　(一三五八の一)
天保十三年六月　書綴　一綴
芦屋町田中伝三郎外ゟ郡代役所宛。流罪五三郎帰島赦免願

八四　書状　(一三五八の二)
(天保十三年)　切紙　一通
郡役所ゟ太一郎宛。山鹿村先庄屋五三郎帰島並びに悴貞次郎帰参願の件

八五 遠賀郡山鹿村五三郎同人悴有毛村貞次郎一族中乍恐奉願上口上之覚 （七四三）
天保十四年七月 書綴 一綴
両人の赦免願

八六 遠賀郡若松村滞在又五郎乍恐申上口上覚 （一四〇五）
天保十四年三月 書綴 一綴
石炭を下関へ積越ゟ件

八七 払川村庄屋組頭ゟ仕上ル指出之事 （一一〇六の一）
天保十四年七月廿五日 巻紙(包紙入)一通
利四郎外ゟ太一郎宛。不正の銭勝負致ゟ件

八八 書状 （一一〇六の二）
(天保十四年) 切紙 一通
不正の銭勝負致ゟ件

八九 書状 （一一〇六の三）
(天保十四年)七月廿六日 巻紙 一通
頓田村庄屋武四郎ゟ太一郎宛。不正筋の件

九〇 書状 （一一〇六の四）
(天保十四年)七月廿九日 巻紙 一通
畠田村庄屋茂助外ゟ。払川村十平不正の勝負一件

九一 書状 （一一〇六の五）
(天保十四年)七月廿六日 切紙 一通
払川村庄屋ゟ太一郎宛。十平不正勝負の件

九二 遠賀郡藤木村庄屋二三太於木屋瀬御郡家ニ就御詮儀乍恐申上ル口上覚 （一二六二）
天保十四年二月 書綴 一綴
野田惣蔵宛。鞍手郡木月村畠方大豆代銀御通帳預り居申、納方延引仕ゟ始末

九三 遠賀郡頓田村庄屋組頭ゟ乍恐仕上口上之覚 （一七二一）
天保十四年二月 書綴 一綴
盗賊調べの件

九四 遠賀郡若松村安右衛門乍恐申上口上之覚 （一二〇四）
天保十四年三月 書綴 一綴
郡代役所宛。焚石積荷無届搬出の松吉へ貸船の件

九五 遠賀郡若松村松吉乍恐申上口上覚 （一二〇五）
天保十四年三月 書綴 一綴
貸船世話の始末申出

九六 (仮題)覚 （一七二〇）
(天保十四年)卯九月 書綴 一綴
盗賊調べの件

九七 遠賀郡塩屋村安平乍恐申上口上之覚 （一二六一）
天保十四年十一月 書綴 一綴
郡代役所宛。諸商売免札引上げ後密ニ揚酒等致ゟ件取調子の件

九八　遠賀郡二嶋村惣五郎乍恐申上ル口上之覚　（一二六三）
天保十四年十一月　書綴　一綴
郡代役所宛。密に質場醤油営業致ゟ件取調子の事

九九　遠賀郡二嶋村喜三郎乍恐申上ル口上之覚　（一二六四）
天保十四年十一月　書綴　一綴
密に小間物荒物塩魚店営業に付取調子の件

一〇〇　差上申一札之事　（一八一六）
弘化二年二月　巻紙　一通
岩五郎外ゟ村役人中宛。博奕致ゟに付

一〇一　過料年賦証文之事　（一八二五）
弘化三年二月十二日　巻紙　一通
長左衛門外ゟ役人宛。博奕致ゟに付

一〇二　差出申一札之事　（一八二九）
弘化三年正月卅日　巻紙　一通
乙嶋村三郎右衛門外ゟ村役人中宛。博奕致ゟ件

一〇三　差出申一札之事　（一八三一）
弘化三年正月卅日　巻紙　一通
三郎右衛門外ゟ村役人中宛。博奕致ゟに付

一〇四　差出申一札之事　（一八三二）
弘化三年二月三日　巻紙　一通
元吉外ゟ村役人中宛。博奕致ゟに付

一〇五　差出申一札之事　（一八三三）
弘化三年二月三日　巻紙　一通
伊三郎外ゟ村役人中宛。博奕致ゟに付

一〇六　差出申一札之事　（一八三四）
弘化三年二月　巻紙　一通
長左衛門外ゟ村役人中宛。博奕致ゟに付

一〇七　差出申一札之事　（一八一七）
弘化三年二月十二日　巻紙　一通
長左衛門外ゟ。博奕致ゟに付過料差出

一〇八　差出申一札之事　（一八一八）
弘化三年二月二日　巻紙　二通
文治郎外ゟ。博奕致ゟに付過料差出

一〇九　過料年賦証文之事　（一八一九）
弘化三年二月三日　巻紙　一通
伊三郎外ゟ村役人中宛。博奕致ゟに付

一一〇　差出申一札之事　（一八二二）
弘化三年二月　巻紙　一通
伊三郎外ゟ。博奕致ゟに付

一一一　遠賀郡芦屋町博奕改役勘作乍恐申上ル口上之覚　（一八六二）
弘化三年閏五月十五日　巻紙　一通
盗人取調べの件

一二三　遠賀郡山鹿魚町博奕改役清三郎乍恐申上ル口上之覚　（一八七五）
弘化三年八月
巻紙　一通
郡代役所宛。盗人調べ方の件

一二三　差出申一札之事　（一八三〇）
弘化四年
巻紙　一通
六兵衛外ゟ村役人宛

一二四　伊三郎幸蔵争論一件書類　（一六八九）
安政五、六年
切紙袋入三通
伊三郎盗人の疑いをかけられ候件

一二五　（仮題）罪状書上　（四一一の一）
（万延二年）
書綴　一綴
去十二月度〻打寄備米返納難渋之趣申立密〻申合等いたし畠田山へ大勢打寄願筋企候件

一二六　（仮題）村方騒動顚末書上　（四一一の二）
（万延元年）
書綴　二綴

一二七　（仮題）村方騒動加担者書上　（四一一の三）
（万延元年）
長綴　一綴

一二八　（仮題）村方騒動加担者名書上　（四一一の七）
（万延元年）申十二月
長綴　五綴

一二九　（仮題）達　（一九三三）
（江戸後期）
切紙　十二通
科人の処罰

一三〇　（仮題）盗難品書上　（七六八の五）
（江戸後期）
長綴　一綴

一三一　覚　（七七八）
（江戸後期）亥六月
書綴　一綴
竹並村市助。盗賊改方より詮儀に付処分

一三二　本城村権十と申者大嶋ゟ参居候ニ付内分問合候処左之通持込不申而者指支可申由ニ御座候　（七九八の八）
（江戸後期）
切紙　一通
品物書上

一三三　戸畑村平吉方姪浜市右衛門荷物盗取逃去候ニ付為償同人家財売立候一件　（一〇〇四）
（江戸後期）
長綴五綴・切紙九通

一三四　戸畑村平吉方姪浜商人市右衛門荷物盗取逃去候ニ付為償同人家財売立附　（一三一七）
（江戸後期）
長綴　一綴

一三五　申渡　（一〇七三）
（江戸後期）
一紙　一通
藤木村金七外宛。楠木盗伐候件

一三六　遠賀郡修多羅村大庄屋太一郎藤木村ニ而楠木伐払一件ニ付於黒崎御郡家御詮儀被仰付乍恐申上口上覚　（一三六六）
（江戸後期）
切紙　一通

一二七　（仮題）藤木弥助と里崎宿塩屋との貸財一件　（一七六二）
（江戸後期）　切紙　三通

一二八　覚　（一八四六）
（江戸後期）　切紙　一通
黒崎村友介悴刺され相果ゟ件

一二九　若松村庄屋組頭申上口上覚　（一八七二）
（江戸後期）子正月　書綴一綴・巻紙一通
当村葉山屋与助穂波郡村ゟ積立所払刎米幷金子引請出奔ゟ件

一三〇　乍恐半左衛門ゟ御願申上ル口上覚　（一八七七）
（江戸後期）九月十一日　一紙　一通
魚町庄屋小田藤右衛門宛。勘次郎方犬により傷受ゟ一件

一三一　山鹿村ゟ御注進申上ル口上之覚　（一八八六）
（江戸後期）寅十月廿二日　一紙　一通
山鹿村庄屋浜中又右衛門ゟ大庄屋松井正五郎宛。椎牟田堤井樋抜放ゟ者の件

一三二　（仮題）達　（一九二四）
（江戸後期）十月八日　切紙　一通
郡役所ゟ大庄屋太一郎宛。竹並村市助盗賊方より引合に及びゟ件

一三三　書状　（一九二五）
（江戸後期）九月四日　切紙　一通
竹並村庄屋彦九郎ゟ大庄屋太一郎宛。役所御状差上申ゟ

一三四　書状　（一九二六）
（江戸後期）八月十一日　切紙　一通
竹並村庄屋ゟ太一郎宛。出奔人市助の件

一三五　書状　（一九二七）
（江戸後期）十一月十四日　切紙　一通
竹並村庄屋ゟ太一郎宛。市助の件

3　貢租

(1)　年貢

一　遠賀郡修多羅村徳割帳　（一〇一八）
文化十年六月　長帳　一冊

二　御年貢米大豆諸上納米銭蔵入帳　（八一九）
文化十年九月　長帳　一冊

三　遠賀郡修多羅村御徳割帳　（一〇一六）
文化十一年六月　長帳　一冊

四　遠賀郡修多羅村御徳割帳　（一〇一〇）
文政元年六月　長帳　一冊

五　秋反別極証拠　（一八五九）
文政二年十月　巻紙　一通
小嶋源五右衛門外ゟ山鹿村庄屋外宛

六 遠賀郡修多羅村御徳割帳　（一〇一七）
文政四年六月　長帳　一冊

七 御免状受書控（雛形）　（一〇〇）
文政四年十月　書綴　一綴

八 遠賀郡修多羅村御徳割帳　（一〇〇九）
文政五年六月　長帳　一冊

九 遠賀郡戸畑村夜宮堤床費畝御年貢諸上納米銭作徳米共書上帳　（一一二五の八）
文政六年六月　長帳　一冊

一〇 遠賀郡戸畑村夜宮堤床費畝御年貢作徳米共書上帳　（一一二五の一〇）
文政六年六月　長帳　一冊

一一 夜宮堤床指引目録　（一一二五の一一）
文政六年九月　長帳　一冊
夜宮堤床年貢増減覚外

一二 牧山御開作御年貢取立帳　（一四六〇）
文政七年十月　長帳　一冊

一三 御年貢諸上納米銭蔵入帳　（一一一九）
文政八年九月　長帳　一冊

一四 牧山御開作年貢取立帳　（一四五九）
文政八年十一月　長帳　一冊

一五 牧山御開作年貢見立帳　（一四五六）
文政八年分　長帳　一冊

一六 （仮題）御徳割米等書上　（一四〇三）
（文政八～天保三年）　長綴　一綴

一七 御年貢米大豆諸上納米銭蔵入帳　（一一二三）
文政九年九月　長帳　一冊

一八 遠賀郡戸畑村牧山御開作早田畝御見分帳　（一四五四）
文政十年八月　長帳　一冊
庄屋太一郎ゟ免方役所宛

一九 御米大豆諸上納銭蔵入帳　（八二六）
文政十年九月　長帳　一冊

二〇 牧山開作御年貢米取立帳　（一四五五）
文政十年十一月　長帳　一冊

二一 米大豆諸上納夫銭共ニ諸未進書抜帳　（一五七一）
文政十年十一月　長帳　一冊

二二 春免状　（一〇九三）
文政十一年三月　巻紙　一通
有村卯兵太外ゟ。修多羅村分

二三 遠賀郡修多羅村畑谷堤頭田地追費畝御年貢諸上納幷作徳米共ニ書上帳　（八三二）
文政十一年三月　長帳　一冊

二四　御免状　（一一〇一）
文政十一年九月　一紙（包紙入）一通
春徳米修多羅村分

二五　遠賀郡戸畑村大風ニ付当子秋御下免米割幷転家建方仕法書上帳　（一〇三一）
文政十一年十月　長帳　一冊

二六　戸畑ゟ当子十一月船ミ御菜銀増減書上申上ゟ支　（一一〇二）
文政十一年十月　巻紙　一通
戸畑船庄屋吉平ゟ

二七　遠賀郡修多羅村百姓茂次平乍恐御願上口上覚　（一一〇三）
文政十二年三月　巻紙　一通
免方役所宛。古畠見分の上、居屋敷に御免被仰付度

二八　春反別極証拠　（一一〇四）
文政十二年九月　巻紙（一部破損）一通
修多羅村塩浜

二九　御仕組払転木運上取立帳　（一六一〇）
文政十二年十二月　長帳　一冊

三〇　御年貢米大豆諸上納米銭蔵入帳　（一一一五）
文政十三年九月　長帳　一冊

三一　遠賀郡修多羅村畑谷堤床田地追費畝御年貢書上帳　（八四三）
天保二年六月　長帳　一冊

三二　遠賀郡修多羅村庄屋組頭ゟ乍恐御願申上ル口上覚　（一八九の一）
天保二年六月　一紙　一通
庄屋太一郎ゟ。水漬りの田地の年貢並びに作徳米の件

三三　（仮題）覚　（一七〇八）
天保二年　一紙　一通
修多羅村。蔵方算用残米、籾囲分書上

三四　取替当時手形之事　（一三七四）
天保三年三月　切紙　一通
戸畑村庄屋卯三郎ゟ修多羅村庄屋太一郎宛。蔵方残米預分

三五　遠賀郡修多羅村御徳割帳　（一〇一一）
天保三年六月　長帳　一冊

三六　御米大豆諸上納銭蔵入帳　（一一二〇）
天保三年九月　長帳　一冊

三七　御刎無村年ミ書抜控帳　（五六）
天保四年ゟ　長綴　一綴

三八　（仮題）修多羅村御徳帳　（一〇二一〇の二）
天保四年　長綴（首欠）一綴

三九　遠賀郡修多羅村御徳割帳　（一〇一五）
天保五年六月　長帳　一冊

四〇　遠賀郡修多羅村御徳割帳　（一〇〇八）
天保六年六月　長帳　一冊

四一　（仮題）諸払覚　（一二五一）
天保六年六月　折紙（一部破損）一通
修多羅村庄屋太一郎ゟ川越又右衛門宛

四二　遠賀郡修多羅村稲作秋反別御見分大目論見帳　（一六九二）
天保六年八月　長帳　一冊

四三　遠賀郡修多羅村稲作秋反別御見分百姓見立小合掛帳　（一六九四）
天保六年八月　長帳　一冊

四四　遠賀郡修多羅村稲作秋反別村見立合掛帳　（一六九五）
天保六年八月　長帳　一冊

四五　遠賀郡修多羅村稲作秋反別御見分百姓見立小合掛帳　（一六〇三）
天保六年八月　長帳　一冊

四六　遠賀郡修多羅村稲作御見分帳　（一五九五）
天保六年八月　長帳　一冊

四七　遠賀郡村ミ秋反別極帳　（二〇〇九）
天保六～八年　書冊　一冊
修多羅村

四八　蜑住触村ミ当申四月上納諸運上銀御引合帳　（六六）
天保七年四月　長綴　一綴

四九　遠賀郡蜑住触村ミ二番払御米俵数書上帳　（五五）
天保七年九月　長帳　一冊

五〇　遠賀郡修多羅村稲作秋反別御見分百姓見立小合掛帳　（一五九六）
天保七年九月　長帳　一冊

五一　遠賀郡修多羅村稲作秋反別御見分大目論見帳　（一六〇四）
天保七年九月　長帳　一冊

五二　遠賀郡枝光村ゟ御願申上ル事　（一四八九）
天保七年九月　一紙　一通
庄屋与三郎外ゟ郡役所宛

五三　撰米割方取立帳　（六八）
天保七年九月　長帳　一冊

五四　去未秋御米大豆村中壱番皆済之者俵数名元書上帳　（九〇）
天保八年正月　長帳　一冊

五五　遠賀郡修多羅触村ミ御山方小物成書上帳　（五四）
天保八年八月　長綴　一綴

五六　遠賀郡修多羅村大庄屋太一郎当酉秋田方春御免上納御受申上書物之叓　（九九）
天保八年八月　長綴　一綴

五七　遠賀郡修多羅村稲作秋反別御見分百姓見立小合掛帳　（一〇七四）
天保八年九月　長帳　一冊

五八　秋反別極証拠　（一〇九五）
天保八年十月　巻紙　一通
大庄屋太一郎方庄屋・組頭中宛

五九　御郡銭人馬仕組銭引附帳　（六六七）
天保八年十二月　書冊　一冊

六〇　去酉秋御米大豆村中壱番皆済之者俵数名元書上帳　（八七）
天保九年正月　長帳　一冊
修多羅触

六一　遠賀鞍手両郡大庄屋中仕上ル差出之事　（一〇五）
天保九年八月　書綴　一綴
当田方年貢米若松払撰米弐番払日限の事

六二　御年貢諸上納引附帳　（六三）
天保九年九月　長帳　一冊

六三　遠賀郡修多羅村稲作秋反別御見分百姓見立小合掛帳　（一〇七八）
天保九年九月　長帳　一冊

六四　遠賀郡藤木村稲作秋反別御見分大目論見帳　（一三二六）
天保九年九月　長綴　一綴

六五　遠賀郡藤木村稲作秋反別御見分村見立小畝別小合掛帳　（一四五八）
天保九年九月　長帳　一冊

六六　免状之事　（一〇九六）
天保九年十月　一紙　一通
弥左衛門方修多羅村庄屋・組頭中宛。秋反別極相済ゟ条、若松払可致事

六七　御郡米小割書上帳　（九一）
天保九年十一月　書冊　一冊
修多羅触

六八　戌秋中晩田御免返上大目論見帳　（七〇）
天保九年　長帳　一冊

六九　御米大豆引附帳　（八五七）
天保九年　長帳　一冊
修多羅触

七〇　御米大豆引附帳　（八五六）
天保十年　長帳　一冊
修多羅触

七一　遠賀郡山鹿村庄屋組頭乍恐御願申上ゟ口上之覚　（二八五）
天保十年　書綴　一綴
五三郎外方郡役所宛。下免願

七三　遠賀郡山鹿村庄屋組頭乍恐御願申上ル口上之覚　（三二）
天保十年　一紙　一通
郡役所宛。下免米を古田壱作悪地田地に渡方願

七三　遠賀郡修多羅触村ミ去戌年御米払切日限書上帳　（七四）
天保十年正月　長帳　一冊
郡役所宛

七四　御納方御触一切控帳　（一一七）
天保十年九月　長帳　一冊
若松積立所撰米払二番払日限の事

七五　（仮題）郡内洪水荒田畠見分の事　（七二三の一）
（天保十一年）　長綴　一綴
付、遠賀郡修多羅触村ミ洪水荒田畠急場仕戻出来不仕分御徳米大豆書上帳

七六　去亥秋御米大豆村中壱番皆済之者俵数名元書上帳　（七一）
天保十一年正月　長綴　一綴

七七　遠賀郡修多羅触村ミ去亥年御米払切日限書上帳　（七三）
天保十一年正月　長帳　一冊

七八　御用竹木御仕組払御切出帳写　（一〇一）
天保十一年四月　長帳　一冊

七九　遠賀郡修多羅村御徳割帳　（一〇一九）
天保十一年六月　長帳　一冊

八〇　遠賀郡修多羅触村ミ撰米俵数書上帳　（七八）
天保十一年九月　長帳　一冊

八一　遠賀郡修多羅触村ミ弐番払御米俵数書上帳　（五七）
天保十一年九月　長帳　一冊

八二　去子秋御米大豆村中壱番皆済之者俵数名元書上帳　（八九）
天保十二年正月　長帳　一冊

八三　遠賀郡修多羅触村ミ去子年御米払切日限書上帳　（八四）
天保十二年正月　長綴　一綴

八四　遠賀郡修多羅触村ミ二番払御米俵数書上帳　（八八）
天保十二年九月　長帳　一冊

八五　遠賀郡小鋪村田壱作秋反別御見分小合掛帳　（四一）
天保十二年九月　長綴二綴合綴
付、遠賀郡大鳥居村御郡溜田壱作秋反別御見分帳（天保十一年）

八六　遠賀郡修多羅触村ミ撰米俵数書上帳　（七二）
天保十二年九月　長帳　一冊

八七　遠賀郡修多羅触村ミ壱番皆済之者名着倒（ママ）書上帳　（八三四）
天保十二年九月　長帳　一冊

八八　遠賀郡大鳥居村御郡溜田壱作秋反別御見分帳　（一五）
天保十二年九月　長帳　一冊

八九　御郡銭養育銭人馬仕組銭口〻引合帳　（九六）
天保十二年十月　書冊　一冊

九〇　諸運上銀御備油代共指引目録　（一一一）
天保十二年十月　長帳　一冊

九一　畠方代米願控帳　（八二三）
天保十二年十月　長綴　一綴

九二　遠賀郡山鹿村ゟ畠方大豆代米御願申上ル事　（一八九一）
太保十二年十月　巻紙　一通
浜中又右衛門ゟ

九三　御仕組払竹木代上納触附帳　（四六）
天保十二年十一月　長綴　一綴

九四　丑年十一月納諸上納銀御引合帳　（一〇二二）
天保十二年　長帳　一冊

九五　去丑秋御米大豆村中壱番皆済之者俵数名元書上帳　（六〇）
天保十三年正月　長綴　一綴

九六　遠賀郡修多羅触村〻去丑年御米払切日限書上帳　（八一）
天保十三年正月　長綴　一綴

九七　御下免米割渡帳　（八三）
天保十三年三月　長帳　一冊

九八　材木諸運上取立帳　（五〇）
天保十三年四月　長綴　一綴

九九　諸運上銀取立根帳　（一五八一）
天保十三年五月　長帳　一冊

一〇〇　諸運上銀目違銭割戻帳　（一六二一）
天保十三年五月　長帳　一冊
付、当寅四月諸運上銀両替過銭算用帳

一〇一　籾摺米上納俵数村割控帳　（一九〇）
天保十三年九月　長帳　一冊

一〇二　籾摺米上納ニ付駄賃運賃米払幷上乗之者賃銭共ニ書上帳　（一〇二）
天保十三年十月　長帳　一冊
修多羅触

一〇三　御仕組払竹木代上納触付帳写　（四七）
天保十三年十一月　長綴　一綴

一〇四　去寅秋御米大豆村中壱番皆済之者俵数名元書上帳　（五九）
天保十四年正月　長綴　一綴
修多羅触

一〇五　御仕組払竹木代上納触付帳　（一一八三）
天保十四年四月　長帳　二冊
付、御用櫨実代上納触付帳

一〇六　諸運上銀御引合帳　（六七）
天保十四年四月　長綴　一綴
修多羅触

一〇七　遠賀郡修多羅触村ミ御米払方之者名元書上帳　（五八）
天保十四年九月　長綴　一綴

一〇八　遠賀郡弐ヶ村秋反別極帳　（六六八）
天保十四年十月廿日　書綴　一綴

一〇九　御仕組払竹木代幷御免用末葉代上納触付帳　（一一八二）
天保十四年十一月　長帳　一冊
修多羅触分

一一〇　去卯秋御米大豆村中壱番皆済之者俵数名元書上帳　（六五）
天保十五年正月　長綴　一綴

一一一　遠賀郡修多羅触村ミ去卯年御米払切日限書上帳　（八〇）
天保十五年正月　長綴　一綴

一一二　御仕組払竹木代幷御用櫨実代上納触付帳　（五一）
天保十五年四月　長綴　一綴
修多羅触

一一三　修多羅村大庄屋太一郎乍恐御伺申上ル事　（六一）
天保十五年八月　長綴　一綴
蔵出願外

一一四　遠賀修多羅触村ミ弐番払御米通写書上帳　（六九）
天保十五年九月　長帳　一冊

一一五　遠賀修多羅触村ミ弐番払御米俵数書上帳　（七七）
天保十五年九月　長帳　一冊

一一六　修多羅触村ミ御郡銭養育銭人馬仕組銭口ミ引合帳　（九五）
天保十五年十月　書冊　一冊

一一七　遠賀郡修多羅触村ミ御米蔵中通写書上帳　（六二）
天保十五年十月　長綴　一綴

一一八　御仕組払竹木代上納触付帳　（四八）
天保十五年十一月　長綴　一綴

一一九　諸上納銀銭書抜帳　（一一一）
天保十五年十一月　書冊　一冊
修多羅触

一二〇　開作附口帳　（一〇四七）
安政二年　長帳　一冊

一二一　御年貢斗高幷津出立用控帳　（八三五）
安政四年九月　長帳　一冊
修多羅村蔵元

一二二　遠賀郡修多羅小石両村ゟ御願申上ル事　（一三五〇）
安政四年十一月　切紙　一通
差紙米分両村年貢米立用被仰付度

一三三　遠賀郡修多羅村御徳割帳　（一〇二三）
安政六年六月　長帳　一冊

一三四（仮題）御願　（一一五七）
安政六年九月　切紙（首欠）一通
庄屋楠野太一郎ゟ。畠方代銀上納願

一三五　御納方諸控　（一五六六）
安政六～慶応元年　書冊　一冊
願書、中師賃請取、年貢米払方目録外

一三六　遠賀郡修多羅村御徳割帳　（一〇二二）
文久元年六月　長帳　一冊

一三七　御米大豆諸上銭蔵入帳　（七五）
文久元年九月　長帳　一冊

一三八（仮題）願書　（一七〇六）
文久元年十月　切紙（首欠）一通
庄屋楠野嘉作外ゟ郡代役所宛。代米上納願

一三九　覚　（一八四三）
文久二年十月十日　一紙　一通
山鹿村庄屋浜中双右衛門ゟ。田方御米通帳外

一四〇（仮題）修多羅村御徳割帳　（一〇二一〇の一）
文久三年　長綴（首欠）一綴

一四一　若松御積立所払鞍手郡山口村御年貢米籾囲上納通帳　（二〇〇五）
元治元年　一紙（表紙のみ）

一四二　遠賀郡修多羅村石崎御開作秋反別御見分大目見帳　（九五八）
慶応三年九月　小横帳　一冊

一四三　御土荒家床費御徳引帳　（一五二）
明治二年十月　長綴　一綴

一四四（仮題）御徳割帳　（一〇二四の一）
（江戸後期）　長綴　一綴

一四五　（仮題）修多羅村御徳割帳　（一〇二一〇の三）
（江戸後期）　長綴（首尾欠）一綴

一四六（仮題）御徳割帳　（八九二）
（江戸後期）　長綴　一綴

一四七（仮題）卯右衛門田畑御徳米大豆書上　（二〇〇七）
（江戸後期）九月十三日　折紙　一通

一四八　戌年御年貢米大豆銭未進帳　（一一一二）
（江戸後期）　長帳　一冊

一四九　戌年□作米年貢取立帳　（一一一五）
（江戸後期）　長綴　一綴

一四〇　修多羅村大庄屋太一郎乍恐奉伺上口上之覚　（六九一）
（江戸後期）丑十一月　長綴　一綴
林八太夫・野田惣蔵宛。洪水荒田畠に付年貢米用捨願

一四一　（仮題）覚　（一二〇六）
（江戸後期）　折紙（一部破損）二通
徳大豆諸上納米等書上

一四二　（仮題）御年貢払方目録　（一二二九）
（明治二年）　断簡　四通

一四三　（仮題）覚　（一四一五）
（江戸後期）　折紙（一部破損）二通
市右衛門・幸助分年貢等上納分覚

一四四　覚　（一五一八）
（江戸後期）巳三月　切紙　一通
水野貞之進外ゟ修多羅村庄屋外宛。年貢無刎にて皆済に付寄特の至り

一四五　田地子年貢租作徳取立帳　（一六二〇）
（江戸後期）　長帳　一冊

一四六　（仮題）田数・附口米書上　（一六九三）
（江戸後期）　書綴　一綴

一四七　（仮題）証拠上納分勘定覚　（一七六六）
（江戸後期）四月廿五日　切紙　一通
覚右衛門ゟ大庄屋太一郎宛

一四八　山鹿村ゟ当申年諸上納銀銭納証拠之事　（一八五一）
（江戸後期）申十一月十四日　一紙　一通
庄屋浜中双右衛門ゟ大庄屋松井久五郎宛

一四九　山鹿村ゟ当辰年諸上納銀銭納証拠之事　（一八六六）
（江戸後期）辰十一月十四日　一紙　一通
庄屋浜中双平ゟ大庄屋松井正五郎宛

一五〇　山鹿村ゟ当戌年諸上納銀銭納証拠之事　（一八七九）
（江戸後期）戌十一月十一日　一紙　一通
庄屋浜中双右衛門ゟ大庄屋三輪佐一郎宛

一五一　山鹿村ゟ当子年諸上納銀銭納証拠之事　（一八八〇）
（江戸後期）子十一月十四日　巻紙　一通
庄屋浜中又右衛門ゟ大庄屋松井正五郎宛

一五二　山鹿村ゟ当丑年諸上納銀納証拠之事　（一八九二）
（江戸後期）丑十一月十四日　一紙　一通
浜中又右衛門ゟ大庄屋松井正五郎宛

一五三　山鹿村ゟ当巳年諸上納銀銭納証拠之事　（一九〇四）
（江戸後期）巳十一月十四日　巻紙　一通
庄屋浜中又右衛門ゟ大庄屋松井仁十郎宛

一五四　修多羅村ミ去夏洪水荒畠御用捨大豆立用書上帳　（七一六）
（江戸後期）　長帳　一冊

一三五　（仮題）触達　（一六九六）
（江戸後期）　書綴　一綴
弥左衛門ゟ宮田村大庄屋吉柳作十郎外宛。田方御免返上相願下見分申付置ﾚﾊ

一三六　御年貢米大豆村中触中壱番皆済定　（九三）
（江戸後期）巳九月　書冊　一冊

一三七　秋月様御助勢米半取立帳　（二二一）
（江戸後期）　長帳　一冊
東六ケ村分

一三八　竹皮山札薮坪松葉定格上納分　（五三）
（江戸後期）　長綴　一綴

一三九　遠賀郡山鹿村ゟ御用櫨実上納証拠之事　（一八四二）
（江戸後期）亥四月十日　一紙　一通
山鹿村庄屋大次郎ゟ和田逸平宛

一四〇　山鹿村ゟ当四月諸運上銀納証拠之事　（一八四九）
（江戸後期）五月十四日　一紙　一通
山鹿村庄屋浜中又右衛門ゟ大庄屋松井正五郎宛

一四一　山鹿村ゟ御山方納運上銀納証拠之事　（一八五二）
（江戸後期）申十一月十四日　一紙　一通
庄屋浜中双右衛門ゟ大庄屋松井久五郎宛

一四二　山鹿魚町小田彦五郎願木御運上納証拠之事　（一八六八）
（江戸後期）辰十一月十四日　一紙　一通
庄屋浜中双平ゟ大庄屋松井正五郎宛

一四三　山鹿村ゟ諸運上銀納証拠之事　（一八六九）
（江戸後期）寅十月八日　一紙　一通
浜中双右衛門ゟ三輪佐一郎宛

一四四　山鹿村ゟ当四月諸運上銀幷御山方御運上銀納証拠之事　（一九〇三）
（江戸後期）辰四月　一紙　一通
浜中双平ゟ松井正五郎宛

一四五　（仮題）運上銀覚　（一三九八）
（江戸後期）戌十一月　長綴　一綴

一四六　遠賀郡修多羅村ゟ乍恐御願申上ル口上覚　（一二二五）
（江戸後期）申十月十五日　切紙　二通
庄屋太一郎ゟ大庄屋松井正五郎宛。糯米若松積立所上納仕度、諸運上銀納証拠之事

一四七　（仮題）運上余米書付　（一二〇）
（江戸後期）　長綴（包紙入三綴）

一四八　子十月諸運上銀取立帳　（六四）
（江戸後期）　長帳　一冊

一四九　預手形　（一三一八）
（江戸後期）酉三月二日　切紙　一通
大庄屋平十郎ゟ山口村庄屋兵四郎宛。蔵米

一五〇　辰年蔵方算用残米書抜帳　（二三二）
（江戸後期）　長帳　一冊

一七一　去丑年蔵方算用残米控　（一三七）
（江戸後期）　長帳　一冊

一七二（仮題）覚　（一四五二）
（江戸後期）　巻紙　一通
郡代役所ゟ松井正五郎宛。修多羅・払川・蟹住村蔵納高通知外

一七三（仮題）覚　（一二四三）
（江戸後期）　切紙　一通
修多羅村へ除置申ゟ米の覚

一七四　書状　（二九八の二六）
（江戸後期）九月十七日　切紙　一通
松井仁十郎外ゟ大庄屋太一郎宛。古米上納の件

一七五　書状　（二九八の二七）
（江戸後期）三月四日　切紙　一通
有吉与右衛門ゟ太一郎宛。米払の件外

一七六（仮題）達　写　（一六六〇）
（江戸後期）十一月十二日　切紙　一通
郡代役所ゟ。若松積立所払、払切いたしゟ通帳納ゟ様

一七七　請取　（一一五三の五）
（江戸後期）辰閏十一月廿日　切紙　一通
若松川口屋喜七郎ゟ修多羅村吉蔵宛。畠方大豆代米替り

一七八　受取　（二九八の三五）
（江戸後期）九月十六日　切紙　二通
阪尾伝助ゟ太一郎宛。切米の内受取

(2) 買米

一七九　御買入雑穀触ミ割方帳　（三九九）
天保八年二月　長綴　一綴

一八〇　御買入小麦割方雑用帳　（三八八）
天保八年二月　長綴　一綴

一八一　御払下米御買入米運賃中師賃幷諸雑費控帳　（二八二）
天保八年六月　長帳　一冊

一八二　御買入米之内此節芦屋積付分村割帳　（二六八）
天保八年六月　長帳　一冊

一八三　御郡囲御払下米幷御買入米共ニ村割根帳　（二八〇）
天保八年六月　長帳　一冊

一八四　御払下御米間銀分取立帳　（二五八）
天保八年六月　長帳　一冊

一八五　御買米代銀村ミ渡方帳　（一五六九）
天保十年十二月　長帳　一冊

一八六　平触村ミ御買上ケ米上納俵数送り状之事　（一八一一）
天保十一年　書綴　一綴

一八七　鞍手郡鶴田村御買上米払証拠之事外　（一七九七）
天保十一年　書綴　一綴
大庄屋太一郎宛

一八八　覚　（二九八の一一）
天保十一年二月　長綴　一綴
御買上米永蔵へ積廻しの件

一八九　本城触之内熊手藤田鳴水三ケ村去冬御買上米送状之事　（一八六三）
天保十一年三月五日外　書綴　一綴

一九〇　二嶋村ゟ御買米津出俵数送状之事外　（一八七三）
天保十一年三月　書綴　一綴
大庄屋太一郎宛

一九一　御買米御永蔵廻送状控　（二六七）
天保十一年三月　長帳　一冊

一九二　本城触村ミ御買上米根帳　（一七三）
天保十一年三月　長綴三綴合綴
付、平触御買上米村ミ俵数之覚、上境触御買上米俵数之覚、御買上ケ米若松払俵数書上帳

一九三　御買上米積立一件諸雑用帳　（一七四）
天保十一年三月　長帳　一冊

一九四　御買上米船渡帳　（一八三）
天保十一年三月四日　長帳　一冊

一九五　御買上米取立帳　（四〇二）
天保十一年三月四日　長帳　一冊

一九六　（仮題）受取　（二九八の三一）
天保十一年七月　一紙　一通
太一郎ゟ郡役所宛。買上米積船運賃並びに上乗賃受取

一九七　遠賀郡若松村庄屋組頭乍恐御願之支　（一一二）
天保十五年九月　書綴　一綴
米売却願

一九八　送状　（一九三一）
（江戸後期）子三月九日　一紙一通・切紙一通
庄屋角一郎・松井一内ゟ大庄屋太一郎宛。買米

一九九　御買上米送り状　（一九〇〇）
（江戸後期）子三月　一紙（包紙入）一通
鞍手郡宮田触ゟ

二〇〇　去亥冬遠賀鞍手両郡内ゟ御買上米御永蔵積廻分送り状之事　（一八九八）
（江戸後期）子二月　一紙　一通
上境村大庄屋加藤仁助ゟ大庄屋太一郎宛

二〇一　御買上米積□一件書類　（一一五三の一）
(1)　書状
（江戸後期）十二月十一日　切紙　二通
太一郎ゟ。買米当触分七五〇俵割方の件

(2) 書状　（一一五三の二）

（江戸後期）十二月十一日　巻紙　一通

若松村庄屋松井一内ゟ大庄屋太一郎宛。買上米積船調子の件

(3) 書状　（一一五三の三）

（江戸後期）十一月十日　切紙　一通

大庄屋香月勘兵衛ゟ大庄屋有吉長平宛。大坂借入金返弁米若松にて請取方の義

(4) 書状　（一一五三の四）

（江戸後期）十一月十一日　切紙　一通

大庄屋有吉長平ゟ大庄屋弥作宛。米積立の件

二〇三　御買上米之内斤軽分控　（一六六）

（江戸後期）　長帳　一冊

二〇三　御買入米　（一三八）

（江戸後期）　長綴　一綴

二〇四　買入米麦幷ニ買入米麦売払ひ分共ニ算用目録帳　（一一〇）

（江戸後期）酉十月　長帳　一冊

二〇五　遠賀鞍手両郡内ゟ御買上米上納通帳　（一七五）

（江戸後期）　長帳　一冊

二〇六　御買入麦現割方帳　（一七八）

（江戸後期）酉二月　長帳　一冊

二〇七　御払下米幷御買入米村ミ渡方指引覚　（一六〇）

（江戸後期）　長綴　一綴

二〇八　御払下ケ米書抜　（一五七）

（江戸後期）　長綴　一綴

二〇九　書状　（六五五の二二）

（江戸後期）　切紙　一通

大庄屋佐藤又三郎ゟ大庄屋太一郎宛。雑穀買入の件外

二一〇　書状　（一九八の二八）

（江戸後期）三月六日　切紙　一通

本城村五八郎ゟ大庄屋太一郎宛。此節上納の買米の件

二一一　書状　（一九八の二九）

（江戸後期）三月三日　切紙　一通

大庄屋吉柳作十郎ゟ大庄屋太一郎宛。買上米の件

二一二　書状　（一九八の三〇）

（江戸後期）三月朔日　巻紙　一通

大庄屋安永弥四郎ゟ大庄屋有吉与右衛門外宛。買上米積立の件

二一三　覚　（一九八の三一）

（江戸後期）子七月十一日　巻紙　一通

郡役所。買米運賃並びに上ハ乗賃前借残分

二一四　書状　（一九八の三三）

（江戸後期）七月十三日　切紙　一通

一内ゟ太一郎宛。買米運賃並びに上乗賃の件

二五　書状　（二九八の三四）
（江戸後期）七月十一日　切紙　一通
郡役所ゟ太一郎宛。買米若松ゟ福岡へ積廻運賃並びに上八乗賃渡方の件

(3) 永納銀・御用銀

二六　遠賀郡修多羅触村ミ永納銀自力ヲ以相納ゟ分書上　（七六五）
天保八年八月　長帳　一冊

二七　遠賀郡修多羅触村ミ御用金上納取立　（一七一）
天保十年　長綴　一綴

二八　御用金調子帳　（九八七）
天保十年十月　長綴　一綴

二九　修多羅触寸志御用銀之内御買米代銀御立用指引書上帳　（一〇二七）
天保十年十二月　長帳　一冊

三〇　寸志上納銀半高取立後追割取立帳　（一五六〇）
天保十年十二月　長帳　一冊

三一　修多羅触村ミ御用銀上納証拠之支　（一〇九九）
天保十年十二月　一紙　一通

三三　遠賀郡修多羅触居住医師御用銀寸志上納銀書上帳　（一〇三五）
天保十年十二月　長帳　一冊

三三　御用銀御引合帳　（一〇三四）
天保十年十二月　長帳　一冊

三四　御用銀半高取立帳　（一〇三三）
天保十年十二月　長帳　一冊

三五　申年御用金御返済御請取申上ル証拠之事　（八九四の一六）
天保十三年五月二日　一紙　一通
山鹿村庄屋浜中又右衛門ゟ大庄屋太一郎宛

三六　丑年納方割合養育御足米三ケ年寸志上納壱ケ年分触中割方帳外　（二四九）
天保十三年　長綴三綴合綴

三七　皿山運上割返帳　（八六四）
天保十三年四月　長帳　一冊

三八　皿山運上銀御返済ニ付御送家へ返済帳　（八四四）
天保十三年五月　長帳二冊合綴
付、去ル天保七年桐樒御仕立御借り入御返済ニ付村ミ銀主返金帳

三九　山鹿村ゟ御借入銀私分納証拠之事　（一八一三）
嘉永五年十二月　一紙　一通
山鹿村庄屋浜中又右衛門ゟ大庄屋松井正五郎宛

二三〇 （仮題）永納銀覚　（七六八の八）
（江戸後期）　書綴一綴・長綴二綴

二三一 覚　（七六八の四）
（江戸後期）　書綴　一綴
永納銀調べ

二三二 （仮題）覚　（一四〇七）
（江戸後期）　切紙　一綴
午秋寸志米指出ゟ者へ称与被仰付ゟ件

二三三 覚　（一三九一）
（江戸後期）　長綴　一綴
献納銀

二三四 遠賀郡修多羅触永納扣帳　（七三三）
（江戸後期）　長帳　一冊

二三五 請取　（二〇五八）
（江戸後期）十一月　切紙　一通
若松村添田理右衛門ゟ楠野太一郎宛。御用金相納ゟ目合戻リ銭請取

二三六 （仮題）申渡写　（二九八の六）
（江戸後期）八月廿二日　長綴　一綴
永納銀自力を以相納ゟ分並びに拝借を以相納ゟ分共に書出の通達

(4) 臨時切立

二三七 遠賀郡修多羅村臨時切立御聞届帳　（一七六）
天明八年十二月　書綴　一綴

二三八 保食神奇附銭取立控 臨時取立諸未進控帳 御笠講掛銀割幷吹上洪水拼控　（一三六）
天保三年十一月　長帳　一冊

二三九 遠賀郡何村臨時切立御聞届帳　（一七四）
天保五年十二月　書綴　一綴

二四〇 遠賀郡修多羅村臨時切立口〻書上帳　（一七五）
天保六年　書冊　一冊

二四一 臨時切立百姓中立会口〻調子帳　（一八四）
天保六年　長綴　一綴

二四二 遠賀郡修多羅村去未年分臨時切立銭割方帳　（一四九）
天保七年三月　長綴　一綴

二四三 申臨時帳　（一五一）
天保七年　長綴　一綴

二四四 触下村〻年〻臨時切立控見帳　（一五七八）
天保九年十二月改　長帳　一冊

二四五　遠賀郡払川村御仕組ニ付御切増御米俵数名元書上帳　（九二）
天保十一年八月　書綴　一綴

二四六　修多羅触村ゝ臨時切立請持年番組頭百姓名元書上帳　（八五五）
天保十一年　長帳　一冊

二四七　修多羅触村ゝ臨時切立請持年番組頭百姓名元書上帳　（八三六）
天保十二年正月　長帳　一冊

二四八　臨時切立割方取立帳　（一三一）
天保十二年十二月　長帳　一冊

二四九　修多羅触臨時割方帳　（一五〇）
天保十二年十二月　長帳　一冊

二五〇　臨時切立割方取立帳　（一三二）
天保十三年十二月　長帳　一冊

二五一　遠賀郡何村庄屋何某ゟ仕上指出之支　（一三〇）
天保十四年　長綴　一綴
村雑用並びに臨時切立方取斗の達に付

二五二　遠賀郡修多羅村大庄屋太一郎ゟ仕上指出之支　（一七二）
天保十四年　書冊　一冊
村雑用並びに臨時切立方取斗に付

二五三　臨時切立割方取立帳　（一六五）
天保十四年十二月　長帳　一冊

二五四　修多羅触村ゝ臨時切立請持年番組頭百姓名元書上帳　（一六四）
天保十五年正月　長帳　一冊

二五五　臨時切立覚帳　（一六二）
弘化三年十二月　長帳　一冊

二五六　諸切立控帳　（一六三）
安政四年四月　長帳　一冊

二五七　申之年臨時控帳　（一六七）
（江戸後期）　長帳　一冊
臨時に入落分書上

二五八　辰年触下村ゝ臨時前願俵当リ書抜帳　（一七〇）
（江戸後期）　長帳　一冊

二五九　（仮題）臨時切立書　（一九〇）
（江戸後期）　書綴　一綴

二六〇　遠賀郡修多羅村大庄屋ゟ御請申上ル口上之覚　（一八九の二）
天保十四年四月　巻紙　一通
臨時切立の件、今般御改正被仰出に付

二六一　（仮題）覚　（一三九三）
（江戸後期）　切紙　一通
安屋村分臨時上納

二六二　（仮題）覚　（一八九の三）
（江戸後期）四月三日　長綴　一綴
大庄屋仰木三兵衛外ゟ同松井仁十郎外宛。雑用米の件

二六三　申正月ゟ酉四月迄臨時出銭分当時役所有銭之内ゟ取替分　（一七三）
（江戸後期）　長綴　一綴

(5)　免札

二六四　遠賀郡修多羅村六右衛門乍恐御願申上ゟ支　（一〇九八）
文政八年九月　巻紙　一通
郡代役所宛。鍋釜振売並びに鋳掛免札願

二六五　遠賀郡修多羅村猟師鉄砲御免札請書物　（一〇七）
文政九年正月　書冊　一冊
又平ゟ郡代役所宛

二六六　諸御免札控帳　（八四八）
文政十一年二月　長帳　一冊
戸畑村

二六七　遠賀郡修多羅村儀平乍恐御願申上口上之覚　（一四二二）
天保四年八月　巻紙　一通
瓦焼渡世仕度願

二六八　遠賀郡払川村源次郎乍恐御願申上口上之覚　（一三三八）
天保十一年八月　巻紙　一通
酢造渡世取続申度

二六九　遠賀郡戸畑村貞平乍恐御願申上口上覚　（一四二四）
天保十一年八月　一紙　一通
紺屋職札住所替の件

二七〇　遠賀郡畠田村猟師鉄炮御免札請書物　（一一〇）
天保十三年四月　書冊　一冊
茂助ゟ郡代役所宛

二七一　遠賀郡修多羅村六右衛門乍恐御願申上ル事　（七六六）
天保十四年二月　書冊　一冊
鍋釜鋳掛免札引揚無き様願

二七二　（仮題）諸届書　（一六九八）
天保十四年　書綴　一綴
馬医職御免、志荷・振売免札等紛失届

二七三　鶏卵半夏振買願書控　（七五六）
天保十四年七月　書冊　一冊
振買免札願

二七四　遠賀郡竹並頓田畠田小竹払川蚕住六ケ村庄屋組頭ゟ乍恐御願　（七七三）
（天保十四年）　書綴（一部破損）一綴
村ミ諸商売指留被仰付ゟ件

二七五　遠賀郡小竹村庄屋組頭仕上ゟ指出之事　（九八）
天保十五年四月　書綴　一綴
弥吉外ゟ郡代役所宛。鉄炮免札相納申ゟ

二七六　遠賀郡山鹿魚町大久保泰山後家ゟ乍恐御願申上ル口上之覚　（一八七〇）
嘉永二年十月　一紙　一通
小児振薬売弘め免札願

二七七　（仮題）達　（一五三二）
（江戸後期）卯閏九月廿八日　切紙　一通
郡代役所ゟ大庄屋太一郎宛。日用品商い免札願の件

二七八　（仮題）平猟師札代願案文　（六七〇）
（江戸後期）　書綴　一綴

二七九　入札之事　（一七二八）
（江戸後期）　書綴　一綴
鴈鴨絶猟

二八〇　鑑札渡リ根帳写　（五〇八）
（江戸後期）　長綴　一綴

4 村政

(1) 村政

一　村書物控　（一二六〇）
文化十一年八月　書冊　一冊
家作銀拝借年賦借状外

二　諸控　（三二八）
文化十二～文政元年　書冊　一冊
付、文化十二～十四年村中控。宗旨改に付証拠之事、面役
証拠之事外

三　（仮題）御用扣　（三六三の一二）
文政二年　書綴　一綴
免札、夫賃銭、面役人数外

四　遠賀郡戸畑村漁人中ゟ乍恐御願申上ル事　（一八三八）
文政六年十一月　巻紙　一通
甚右衛門外ゟ郡代役所宛。漁事御免願

五　遠賀郡戸畑村漁人中ゟ乍恐御願申上ル事　（一八八八）
文政六年十一月　巻紙　一通
甚右衛門外ゟ郡代役所宛。鰯まかせ御免願

六　遠賀郡修多羅村庄屋又平乍恐御願申上ル口上之覚（一七〇一）
文政九年十二月　一紙（尾欠）一通

七　諸帳面引渡帳　（三八七）
天保八年三月　長帳　一冊

八　諸御用手控帳　（三九一）
天保八年四月　小横帳　一冊

九　遠賀郡修多羅触村ミ庄屋中乍恐御願申上口上之覚　（一五一五）
天保八年四月　書綴　一綴
払川村庄屋利四郎外ゟ郡役所宛。田畠損毛に付郡米の内ゟ売下被仰付ゟ様

一〇　諸御用控　（三九八）
天保八年十一月　小横帳　一冊

一一　諸御用扣帳　（七五八）
天保八年　書冊　一冊

一二　諸御用物持出控帳　（九九〇）
天保九年　長帳　一冊
差出書状とその内容覚

一三　年始御用会控帳　（三一九）
天保九年正月　書冊　一冊

一四　年中寄会帳　（四〇〇）
天保九年正月　長帳　一冊

一五　年中御用会帳　（三九七）
天保九年正月　書冊　一冊

一六　諸御用扣帳　（七五七）
天保九年　書冊　一冊

一七　御用諸控　（一一五一）
天保九年四月　小横帳　一冊

一八　御用会帳　（一二〇二）
天保九年正月　小横帳　一冊

一九　遠賀郡塩屋村ゟ仕上指出之事　（一四二〇）
天保九年八月廿九日　一紙　一通
塩屋村庄屋惣次郎ゟ長冨藤右衛門宛。御法度の鳥並びに玉子取ゟ者無御座ゟ

二〇　遠賀郡頓田村百姓伊助乍恐御願申上口上之覚　（一〇八五）
天保九年十二月廿五日　（包紙入巻紙一通・切紙三通）
頓田・乙丸両村馬代掛合の事

二一　修多羅触村ミ御達御用御呼出之者名元書上帳　（一〇五四）
天保十年五月　長帳　一冊

二二　遠賀郡山鹿村同魚町庄屋組頭ゟ乍恐御願申上ル事　（一八三七）
天保十年五月　巻紙　一通
山笠執行御免願

二三　修多羅村大庄屋太一郎ゟ仕上指出之事　（一四八〇）
天保十年六月　一紙　一通
種子大坂へ直登仕ル者無御座ル

二四　御用会控帳　（三九二）
天保十年　小横帳　一冊

二五　諸御用控帳　（七六〇）
天保十一年　書冊　一冊

二六　年中御用会帳　（三九三）
天保十一年　小横綴　一綴

二七　諸御用役場日記帳　（三八二）
天保十一年五月　長綴　一綴

二八　諸御用控帳　（七五九）
天保十二年正月　書冊　一冊

二九　年中御用会帳　（三九五）
天保十二年正月　小横帳　一冊

三〇　御用会辻書控　（三九四）
天保十二年十二月　小横綴　一綴

三一　御請書物　（四〇九）
天保十二年　巻紙（包紙入）一通
山鹿魚町百姓中ゟ郡役所宛。当年ゟ寅十二月迄欠略取行一件の請書

三二　遠賀郡枝光村百姓中ゟ御請申上ル書物之事外　（一八一五）
天保十二年十二月　巻紙　一綴
各村中ゟ。当年ゟ寅十二月迄欠略取行一件の請書

三三　諸控　（一二五六）
天保十三年正月　小横帳　一冊
出福料、公儀御役ニ様案内料外

三四　諸御用控帳　（七六一）
天保十三年　書冊　一冊

三五　修多羅村大庄屋太一郎乍恐御伺申上事　（一四三〇）
天保十三年八月　長綴　一綴
郡代役所宛。寄相撲許可願

三六　遠賀郡山鹿村同魚町庄屋組頭ゟ乍恐御願申上ル事　（一八四四）
天保十四年五月　一紙　一通
郡代役所宛。山笠仕立方御免願

三七　遠賀郡山鹿村同魚町庄屋組頭ゟ乍恐御願申上ル事　（一八五八）
天保十四年五月　巻紙　一通
山笠仕立方御免願

三八　遠賀郡藤木村二三太乍恐御願申上口上覚　（七五二）
天保十五年　書綴　一綴
土蔵建方願出

三九　諸御用控帳　（七六二）
天保十五年　書冊　一冊

四〇　諸帳面引渡帳　（三八〇）
弘化二年三月　長帳　一冊

四一　遠賀郡山鹿村同魚町庄屋組頭ゟ乍恐御願申上ル事　（一八六〇）
嘉永二年五月　巻紙　一通
山笠仕立方御免願

四二　遠賀郡山鹿魚町庄屋小田藤右衛門乍恐御願申上ル口上之覚　（一八五六）
嘉永三年二月　一紙　一通
郡代役所宛。物置建替方御免願

四三　遠賀郡山鹿村同魚町庄屋組頭ゟ乍恐御願申上ル事　（一八七八）
嘉永三年五月　巻紙　一通
郡代役所宛。山笠仕立方御免願

四四　遠賀郡山鹿村多賀谷伊右衛門乍恐御願申上ル事　（一八九四・一八六一）
安政四年三月　巻紙　二通
家作御免願

四五　年〻日記帳　（二〇七四）
安政五年二月　小横帳　一冊

四六　御積立所中師場諸御用控　（三二〇）
文久元年　書綴　一綴

四七　御用談頭書　（七九二）
文久二年正月　書冊　一冊
頓田村庄屋楠野太一郎

四八　遠賀鞍手両郡大庄屋中乍恐奉伺上ゟ事　（一〇六四の八）
慶応元年六月　書綴　一綴
次郎右衛門外宛。此節大倹取締の達に付、大庄屋中評議仕ゟ件

四九　遠賀郡若松修多羅両村中師頭取乍恐御願申上事　（一〇七二）
慶応二年八月　書綴　一綴
積立所出方中師賃米の請取過分の返納の件

五〇　去戌秋若松御積立所若松修多羅両村中師賃米後渡分受取申上ル支　（一一〇九）
（江戸後期）　一紙　一通
修多羅村中師頭取伊太郎外ゟ郡代役所宛

五一　御用諸指出物間通帳　（一六一七）
（江戸後期）酉年分　長帳　一冊
頓田村

五二　諸御用指出物控帳　（九八九）
（江戸後期）亥年中　長帳　一冊

三三　覚　（一三七一）
（江戸後期）　小横帳　一冊
御用覚

三四　諸控　（二〇二六）
（江戸後期）九月　小横帳　一冊
大庄屋太一郎

三五　（仮題）諸御用控　（四一一の八）
（江戸後期）　長綴　一綴
郡役所ゟ遠賀大庄屋中宛。籾囲米の件取調べ外

三六　御用会諸控　（二〇五二）
（江戸後期）戌五月　小横帳　一冊

三七　（仮題）触状数書上　（四一一の九）
（江戸後期）　小横綴　一綴

三八　（仮題）達　（一四二九）
（江戸後期）八月四日　切紙　一通
郡代役所ゟ太一郎宛。角力興行の許可

三九　御奉行様御見分ニ付手控　（三二一）
（江戸後期）　小横帳　一冊

六〇　本城村大庄屋松井久五郎修多羅村大庄屋太一郎乍恐申上ル口上之覚　（七二八）
（江戸後期）亥正月　長綴　一綴
弥左衛門宛。難渋村ミ麦作に取付ゟ迄は私共才覚を以取続せ可申ゟ

六一　廻文　（四一一の一一）
（江戸後期）正月十八日　長綴　一綴
若松庄屋松井一内ゟ。当春仕向銀の義

六二　大鳥居村ゟ仕上指出之支　（四〇七）
（江戸後期）丑正月　一紙三通合綴
当村の義は仕向拝借御願不申上ゟ。付、藤木村、頓田村各庄屋ゟ大庄屋太一郎宛

六三　払川村ゟ仕上ル指出之事　（一二一六）
（江戸後期）寅七月　一紙　一通
医師蘇我生民老に付

六四　若松村ゟ仕上差出之事　（一六五四）
（江戸後期）寅七月　一紙　一通
蘇我生民老の件

六五　枝光村ゟ仕上ル差出之事　（二〇一三）
（江戸後期）寅七月　一紙　一通
庄屋与三郎ゟ大庄屋太一郎宛。医師蘇我生民の件

六六　書状　（二〇二四）
（江戸後期）未七月七日　切紙　一通
太一郎ゟ庄屋中宛。蘇我生民医師との掛り合有無指出の事

六七　書状　（一六六三）
（江戸後期）六月廿一日　巻紙　一通
斉木三兵衛外ゟ大庄屋太一郎宛。医師蘇我生民に付

六八　頓田村ゟ仕上指出之事　（一六五二）
（江戸後期）寅七月　一紙　一通
山鹿魚町滞在蘇我生民老に付

六九（仮題）覚　（一二八五）
（江戸後期）　折紙　一通
触内医師名

七〇　書状　（一三六九）
（江戸後期）七月廿八日　巻紙　一通
組合医師中ゟ大庄屋太一郎宛。医師居合村ミへ御廻文の義

七一　書状　（一三五三）
（江戸後期）　巻紙　一通
太一郎ゟ中嶋代右衛門外宛。蘇我生民老山鹿魚町滞在中医術執行ひ件

七二　藤木村ゟ仕上差出之事　（一二七三）
（江戸後期）寅七月　一紙　一通
藤木村庄屋二三太ゟ大庄屋太一郎宛。蘇我生民老の件

七三　二嶋村ゟ仕上ル指出之事　（一二六八）
（江戸後期）寅七月　一紙　一通
医師蘇我生民の件

七四　有毛村ゟ仕上指出之事　（一二六九）
（江戸後期）寅七月九日　巻紙　一通
医師蘇我生民の件

七五　覚　（一二四四）
（江戸後期）十二月二日　折紙　一通
太一郎ゟ年番庄屋衆宛。伺書・目録返還願

七六（仮題）大庄屋ゟ申述書　（一六九七）
（江戸後期）　小横帳　一冊
触治政に付

七七（仮題）覚　（一七一二）
（江戸後期）　長綴　一綴
壱番ゟ三番迄呼出名書上

七八　覚　（一七六五）
（江戸後期）　切紙　一通
拝借の件、囲米代、酒造屋免札の件等項目書上

七九　御伺廉々　（一七七二）
（江戸後期）　折紙　一通
牛馬代金、頼母子講加入外

八〇　通達　（七九八の一）
（江戸後期）五月廿八日　切紙　一通
郡役所ゟ大庄屋太一郎宛。山鹿村同魚町共に山笠願の件

八一（仮題）達　（一三一三）
（江戸後期）五月廿三日　切紙　一通
郡役所ゟ松井久五郎外宛。苗字書出の件

八二 遠賀郡戸畑村庄屋組頭山ノ口其外百姓中名子荒仕子遊民拾壱才以上御山御法度之趣被仰渡起請文を以御請申上ル前書之事　（一四一六）
（江戸後期）　一紙（一部破損）一通

八三 若松村庄屋松井一内仕上指出之事　（二九八の一五）
（江戸後期）亥四月　一紙　一通
大庄屋太一郎宛。宿元にて薬用仕申度

八四（仮題）覚　（二〇一五）
（江戸後期）　書綴　一綴
郡代役所ゟ。夫銭勘定目録等持参の事外

八五 覚　（一六一一）
（江戸後期）亥十一月　切紙　一通
大庄屋太一郎外ゟ弥左衛門宛。払川村百姓零落仕ゟニ付、立行ゟ仕法被相立度

八六（仮題）覚　（一三八五）
（江戸後期）　切紙　一通
頓田村馬・子供の件

八七 何村庄屋組頭ゟ御請申上ル書物之支　（一九四〇）
（江戸後期）　長綴　一綴
三ケ条并御法度の義

八八（仮題）覚　（一九一八の一）
（江戸後期）十二月七日　巻紙　一通
郡役所ゟ松井久五郎宛。若松村市五郎引当の船破船ゟ差引滞ゟ一件

八九 書状　（一九一八の二）
（江戸後期）十二月十日　切紙　一通
松井久五郎ゟ太一郎宛。弥一郎、市五郎差引一件

九〇 安屋村と伝助掛合一件　（一七三五）
天保八年十一月　切紙（袋入）四通
庄屋次助ゟ同権一郎宛。米払方延引の件

九一 遠賀郡若松村庄屋組頭乍恐御届申上支　（一〇四〇）
天保十五年九月　書綴　一綴
他国の者買入の粮米の件

(2) 給人関係

九二 木山殿壱作御年貢取立帳　（七九）
文政三年十月　長帳　一冊

九三 長留性家作一切控帳　（九〇六）
天保十一年十一月　長帳　一冊

九四 長留様普請日用帳　（一六六）
天保十二年七月十四日　長綴　一綴

九五　嶋留八様御相組御在住地形御普請夫仕一件書付

(1)　御在住御屋敷地御普請丁場割帳　（九六九の一）
　　慶応四年十月　長帳　一冊
　　祇園原鼻

(2)　御在住所御屋敷地御普請夫仕帳　（九六九の二）
　　慶応四年十月　長帳　一冊
　　祇園原鼻

(3)　□歯朶伐出幷夫積帳　（九六九の三）
　　（慶応四年十月）　長綴　一綴

(4)　松苗堀立植立共ニ　（九六九の四）
　　（慶応四年）　長綴　一綴

(5)　御在住所御普請所才判手割　（九六九の五）
　　（慶応四年十月）　切紙　一通

(6)　覚　（九六九の六）
　　（慶応四年十月）　折紙　一通
　　出夫

(7)　地図　（九六九の七）
　　（慶応四年）　一枚

(8)　（仮題）二嶋鼻穴生畠普請方役書上　（九六九の八）
　　（慶応四年）　折紙　一通

九六　御地頭様納物控　（一一一七）
　　（江戸後期）申十二月　長綴　一綴
　　庄屋市郎右衛門

九七　（仮題）達　（五一四の二五）
　　（江戸後期）四月朔日　切紙　一通
　　郡代役所ゟ大庄屋三輪佐一郎宛。吉田主馬自分納所務定為替米大豆村割相極ゟ条

九八　御自分納為替村割帳写　（五一四の二六）
　　（江戸後期）　切紙　一通
　　遠賀在住吉田主馬分

九九　遠賀郡修多羅藤木両村ゟ御請申上ル事　（五一四の二九）
　　（江戸後期）　切紙　一通
　　郡代役所宛。吉田主馬様御地行大豆十ケ年上納の請書

一〇〇　覚　（一三三一）
　　（江戸後期）申十二月廿九日　一紙　一通
　　戸畑次助ゟ庄屋慮兵衛宛。原様一作田地諸雑用費渡方依頼

(3)　村役人

一〇一　遠賀郡戸畑村郡目明専助御受申上ル書物之事　（一八三六）
　　文政五年七月　巻紙　一通
　　郡代役所宛

一〇二　戸畑出勤諸控　（一六二三）
　　文政六年正月　小横帳　一冊

一〇三　御請申上書物之支　（四一〇）
文政六年十月　一紙　一通
波津浦庄屋仁助外ゟ。抜荷手合の者改の件

一〇四　遠賀郡修多羅村庄屋組頭組頭取中起証文ヲ以申上ル前書之事　（一四三三）
文政七年　一紙　一通
養育調子方私共へ受持被仰付に付

一〇五　遠賀郡山鹿村百姓浜中又助御詮儀ニ付乍恐申上之覚　（一八九三）
天保四年三月　巻紙　一通
川越又右衛門宛。当村庄屋大次郎村方才判方不宜一件

一〇六　遠賀郡山鹿村百姓浜中又助御詮儀ニ付乍恐申上口上覚　（一八五五）
天保四年三月　巻紙　一通
川越又右衛門宛。庄屋大次郎村方才判不宜に付

一〇七　遠賀郡修多羅村庄屋太一郎乍恐御願申上ル事　（一四九六）
天保四年五月　一紙一通・切紙一通
郡代役所宛。悴権一郎へ家務相譲申ゟに付

一〇八　遠賀若松村庄屋手伝勝次郎乍恐御願申上ル口上之覚　（一二九六）
天保十年八月　書綴　一綴
庄屋手伝役御免願

一〇九　修多羅触村ゟ諸役人給米半高上納書抜帳　（一〇二六）
天保十年十月　長帳　一冊

一一〇　（仮題）組頭跡役名元伺　（二九八の二三）
天保十一年　長綴　一綴

一一一　修多羅村大庄屋太一郎乍恐奉伺上口上之覚　（四〇四）
天保十一年正月　長綴　一綴
弥左衛門宛。若松村庄屋松井一内儀御称被仰付度

一一二　修多羅村役人印鑑帳　（八五一）
天保十一年二月　長帳　一冊

一一三　修多羅触村役人印鑑帳　（八五二）
天保十二年　長帳　一冊

一一四　（仮題）藤木村久八・彦市覚　（二九八の一）
天保十二年十一月　長綴　一綴
庄屋二三太ゟ。組頭跡役名元伺

一一五　（仮題）村役人履歴書上　（七六八の七）
天保十三年　長綴　一綴

一一六　遠賀郡山鹿村組頭勘右衛門ゟ御願申上ル事　（一八八四）
万延二年三月　一紙　一通
勘一郎と改名

二七　持廻　（一二八八）

（江戸後期）九月廿二日　切紙（包紙入）二通

大庄屋太一郎ゟ。郡代達黒崎郡家へ御揃可被成

二八　修多羅村大庄屋太一郎乍恐申上口上覚　（七六九）

（江戸後期）卯三月　長綴　一綴

藤木村庄屋二三太の弁護

二九　（仮題）藤木、若松、小石、小竹村村役等書上　（一六三七）

（江戸後期）三月廿七日　長綴　一綴

三〇　若松庄屋手伝勝次郎一件　（一三八〇）

（江戸後期）　切紙　八通

三一　塩屋村組頭新平跡役御願申上ル事　（一二二二）

（江戸後期）戌六月　折紙　一通

庄屋惣次郎ゟ大庄屋太一郎宛

三二　覚　（八九四の七）

（江戸後期）　切紙　一通

別府触・修多羅触庄屋等人名書上

三三　（仮題）通達　（七九八の五）

（江戸後期）七月朔日　切紙　一通

郡役所ゟ大庄屋太一郎宛。有毛村庄屋禁足に付同村聞次蜑住村庄屋正五郎へ被仰付

三四　（仮題）博奕改役申付覚　（七六八の三）

（江戸後期）　書綴　一綴

三五　座割　（八九四の六）

（江戸後期）　長綴　一綴

三六　修多羅触呼出名付　（一五八三）

（江戸後期）　長綴　一綴

三七　書状　（六五五の一九）

（江戸後期）　切紙　一通

久五郎ゟ太一郎宛。安屋庄屋郡方不宜村方不居合の件

三八　遠賀郡修多羅村庄屋組頭組頭取中起請文ヲ以申上ル前書之事　（一四三四）

（江戸後期）　一紙　一通

養育調子方

(4) 村入用

三九　村仕組銭幷浜山転木売払代銭其外村田余米銭共ニ請取年賦借状帳　（三一・六四六・六四七・六五〇）

文政十一年十二月　書冊　四冊

三〇　出福雑用帳　（一三八七）

天保八年三月　長帳　一冊

三一　惣代庄屋出福鼻帳　（一五七七）

天保八年四月　長帳　一冊

三二　遠賀鞍手両郡年始惣代廻勤帳　（一五八五）

天保九年正月　長綴　一綴

一三　御奉行様幷御役ミ様御祝儀廻勤進物割方帳　（一五八六）
天保九年三月　長帳　一冊

一三　御裏判様宗旨御奉行様御祝儀進物料両郡八触割方帳　（一六一四）
天保九年十月　長帳　一冊

一三　御拝借米代金請取之節御礼進物料八触割帳　（一〇五二）
天保十年二月　長綴　一綴

一三　別府修多羅両触焚石益銭御救渡御礼出府雑用割帳　（一七八）
天保十年四月　長綴　一綴

一三　払川村拝借願一件　（一七三四）
天保十年五月　（袋入）長綴一綴・折紙二通・切紙一通
中身は蝿殺代銭勘定覚

一三　御裏判様御祝縁幷春吉焼失見舞進物共割方帳　（一四七）
天保十年六月　長帳　一冊

一三　覚　（六六九の四）
天保十一年十月　長綴　一綴
諸雑費触割

一四〇　年始惣代進物書上帳　（九九一）
天保十一年　長帳　一冊

一四一　子年中触中雑用取替銭書出帳　（一六九）
天保十一年　長帳　二冊
付、当触中ゟ諸社御初穂御神納郡中割居分書出帳

一四二　年始惣代進物割書上帳　（一四八）
天保十二年正月　長帳　一冊

一四三　御奉行様御郡代様御役成祝儀出福入目割□　（三一四の二）
天保十二年八月　長帳　一冊

一四四　触中御取替物口ミ払方目録帳　（一六八）
天保十二年十二月　長帳　一冊
庄屋中ゟ大庄屋太一郎宛

一四五　御備油割渡代銀取立帳　（一二一三）
天保十三年六月　長帳　一冊

一四六　遠賀郡竹並村庄屋彦九郎乍恐申上ル口上之覚　（一三三〇）
天保十三年七月　一紙　一通
福岡表往来諸雑費請求の件

一四七　御用ニ付両度出福往来諸雑費書上帳　（一五八九）
天保十三年七月　長帳　一冊
竹並村庄屋彦九郎、田町庄屋藤六

一四八　遠賀郡何村軸帳入村雑用仕方小割書上帳（雛形）　（一二九）
天保十四年四月　長帳　一冊

一四九　四宮孫次郎様登坂御用諸品割方帳　（一一九〇）
天保十四年八月　長帳　一冊

一五〇 伊勢鈴木三太夫殿無心口書類　（一七六三）
天保十五年三月　長綴二綴・一紙六通

一五一 田方御備油代銀取立帳　（一二〇九）
天保十五年十月　長帳　一冊

一五二 御備鯨油空樽調子之事　（一六二八）
（江戸後期）　長綴　一綴

一五三 出福廻勤進物附　（一〇四二）
文久四年三月九日　長綴　一綴

一五四 田作り網算用帳　（八二四）
元治元年五月　長綴　一綴

一五五 諸口勘定帳　（二〇六三）
慶応四年正月　小横帳　一冊

一五六 （仮題）諸勘定書　（一二三五）
（江戸後期）　折紙　十一通
村入用

一五七 遠賀郡若松村庄屋松井一内修多羅村庄屋太一郎乍恐申上口上之覚　（一六四九）
（江戸後期）　一紙　一通
郡役所宛。於若松御積立所御廻米蔵番賃の件

一五八 （仮題）覚　（一七一〇）
（江戸後期）　長綴　一綴
進物費用等村入用分

一五九 覚　（一七八一）
（江戸後期）　切紙　一通
役人への進物

一六〇 御礼廻り　（一九五三）
（江戸後期）　切紙　一通
裏判・惣郡奉行・郡代の住所と名前

一六一 御礼廻り名札斗り　（一九六〇）
（江戸後期）　切紙　一通

一六二（仮題）勘定書　（一三九六）
（江戸後期）　長綴　一綴
目明振舞料外

一六三 年始出福料　（一五八四）
（江戸後期）　長綴　一綴

一六四 （仮題）覚　（一三九二）
（江戸後期）　長綴　一綴
役人への進物覚

一六五 御預　（一一五三の六）
（江戸後期）閏正月七日　折紙　一通
浅川庄屋喜八郎ゟ。鶏卵百

一六六 年始入用玉子　（一三〇五）
（江戸後期）　切紙　一通
修多羅触分

一七八　（仮題）元利勘定書　（一二九七）
（江戸後期）午十二月廿九日改　長綴　一綴
庄屋太一郎ゟ枝村清七宛

一七六　恵平土産割付覚帳　（一四一）
（江戸後期）　長綴　一綴

一七九　覚　（三一七の二）
（江戸後期）　長綴　一綴
竹田村等詮儀ニ付役人滞在諸雑用入高

一八〇　福岡表寒見舞覚　（一四〇）
（江戸後期）　長綴　一綴

一八一　覚　（一二一〇）
（江戸後期）　長綴　一綴
進物覚

一八三　（仮題）安屋村村入用覚　（一二三一）
（江戸後期）　折紙　一通

一八三　八銭覚　（一三二四）
（江戸後期）　長綴　一綴
諸入用銭書上

一八四　（仮題）各村負担高覚　（一四一一）
（江戸後期）　折紙　一通

一八五　畠田村稲作願控（袋の上書）　（一七〇二）
天保十年九月　折紙（袋入）一通
中身は御通（醤油屋酒場ゟ郡家宛）

一八六　御達御用并籾囲米代銀受取方出福入目割方　（一七六四）
（江戸後期）寅二月　切紙　一通
大庄屋有吉与右衛門ゟ郡中同役中宛

一八七　覚　（一七七六）
（江戸後期）　折紙　一通
勘定書

一八八　（仮題）覚　（一九四五）
（江戸後期）　長綴　一綴
修多羅村切銭十五人分外

一八九　覚　（一九五〇）
（江戸後期）四月廿五日　切紙　一通
大庄屋太一郎ゟ同仰木弥兵衛宛。納高

一九〇　（仮題）勘定覚　（二〇三五）
（江戸後期）　長綴　一綴
藤木・修多羅受持分

一九一　（仮題）覚　（二〇五〇）
（江戸後期）　切紙　六通
銭と名前書上げ

一八三　(仮題)村入用書上　(一一六)
(江戸後期)　長綴　一綴

一八三　覚　(一九五六)
(江戸後期)八月十一日　切紙　一通
平野屋彦蔵ゟ楠野宛。半紙代受取

一八四　差出物調子帳　(一三九〇)
(江戸後期)　長綴　一綴

一八五　(仮題)覚　(八九四の二〇)
(江戸後期)　長綴　一綴
各人銭高書上

一八六　(仮題)覚　(八九四の一八)
(江戸後期)　折紙　一通
各人米数書上

一八七　水野様御祝儀廻勤進物割方帳　(一五五五)
(江戸後期)卯九月　長帳　一冊

一八八　覚　(二〇三二)
(江戸後期)亥五月十四日　切紙　一通
御益銭御救渡願雑用四触割分

一八九　(仮題)村入用銭覚　(二〇六四)
(江戸後期)　長綴　一綴

一九〇　覚　(一三一五)
(江戸後期)　切紙　一通
太一郎ゟ久五郎宛。年始惣代日雇賃割合

一九一　覚　(一一七六)
(江戸後期)閏十一月晦日　切紙　一通
若松羽田屋作蔵ゟ庄屋太一郎宛。畠方米受取

一九二　覚　(一二三四)
(江戸後期)　切紙　四通
諸勘定

一九三　覚　(一七〇五)
(江戸後期)丑十二月　折紙　一通
小田彦五郎外ゟ修多羅触年番中宛。元利勘定

(5)　夫銭・夫役

一九四　芦屋石刎為仕調郷夫中指出ゟ宿幷ニ内夫証拠之事　(一八五四)
文化六年九月十四日　一紙　一通
勝野猪右衛門ゟ山鹿村庄屋甚次郎宛

一九五　寅四月夫銭取立帳　(一一二四)
文化十五年　長帳　一冊

一九六　巳十月夫銭取立帳　（一五七九）
文政四年　長帳　一冊

一九七　夫銭取立帳　（一五八八）
文政四年四月　長帳　一冊

一九八　巳十月夫銭割方帳　（一六一）
文政四年十月　長帳　一冊

一九九　午四月夫銭取立帳　（一五五三）
文政五年四月　長帳　一冊

二〇〇　午十月夫銭取立帳　（一一一三）
文政五年十月　長帳　一冊

二〇一　未十月夫銭取立帳　（一五五六）
文政六年　長帳　一冊

二〇二　（仮題）面役極帳（下書）　（一六八三）
文政六年四月　書綴　一綴

二〇三　遠賀郡戸畑村漁人中御調子ニ付口〻御請申上ル事　（一八九七）
文政七年二月　巻紙　一通
郡役御用捨の件

二〇四　上納銭夫銭臨時切立洪水荒夫銭備夫銭油代共取立帳　（七一三）
文政七年十一月　長帳　一冊

二〇五　郡わり夫御鑑札　（一九〇一）
文政八年七月　一紙（包紙入）一通

二〇六　夫銭取立帳　（一五八七）
文政八年十月　長帳　一冊

二〇七　戸畑ゟ仕上指出之事　（一八四七の一）
文政八年二月　一紙　一通
舟庄屋吉平ゟ郡役所宛。異国船渡来の節備立の浦々石船の件

二〇八　遠賀郡戸畑村ゟ御請申上書物之事　（一八四七の三）
文政八年八月　巻紙　一通
戸畑村庄屋太一郎ゟ。異国船渡来の節郡水夫出方の件

二〇九　戸畑仕上ル差出之事　（一八四七の二）
文政九年二月　一紙　一通
戸畑船庄屋吉平ゟ。異国船渡来の節備立の船の件

二一〇　御非番年御旗本組立郡水夫出方引付帳　（一七八六）
文政九年六月　書冊　一冊
郡代役所ゟ蜑住村大庄屋正五郎宛

二一一　遠賀郡山鹿魚町庄屋組頭乍恐御願申上ル口上之覚　（一八八一）
文政十年二月　巻紙　一通
庄屋清七ゟ免方役所宛。面役六二人赦免分引上の件

二三（仮題）面役人数書上　（四一二）
文政十一、十二、弘化二年　書綴　一綴

二三（仮題）賃銭雑用銭等書上　（一八七）
天保五年分
修多羅村　書綴　一綴

二四 遠賀郡蜑住触面役極帳　（四二〇）
天保七年四月　書冊　一冊

二五 遠賀郡蜑住触村ミ当申春面役極引面役増減人数書上帳　（四二二）
天保七年四月　書冊　一冊

二六 遠賀郡修多羅触村ミ当酉春面役極引面役増減人数書上帳　（四二一）
天保八年四月　書冊　一冊

二七 御証拠送出間通帳　（一五五九）
天保八年四月　長帳　一冊

二八 御証拠根帳　（三二七）
天保八年四月
修多羅触　書冊　一冊

二九 遠賀郡修多羅触之内山鹿蜑住両村皮多面役書上帳　（四一八）
天保八年七月　書綴　一綴

三〇 諸口夫銭預差引帳　（八六六）
天保八年八月　長帳　一冊

三一 節村并諸給銭人馬賃銭共ニ御証拠控　（六五八）
天保八年十一月　書冊　一冊

三二 遠賀郡修多羅触面役極帳　（九四）
天保九年三月　書冊　一冊

三三 遠賀郡修多羅触村ミ当戌春面役極引面役増減人数書上帳　（四一三）
天保九年三月　書冊　一冊

三四 遠賀郡修多羅触之内山鹿蜑住両村皮多面役極帳　（四一六）
天保九年五月　書綴　一綴

三五 御証拠送出間通　（九九八）
天保九年　長帳　一冊

三六 御証拠扣帳　（二〇七七）
天保九年正月　書冊二冊合綴

三七 遠賀郡修多羅触村ミ当亥春面役極引面役増減人数書上帳　（四一九）
天保十年三月　書冊　一冊

三八 遠賀郡修多羅触面役極帳　（四二四）
天保十年三月　書冊　一冊

二九　御証拠送出間通帳　（一〇〇〇）
天保十年三月　長帳　一冊

二三〇　遠賀郡修多羅触之内蜑住山鹿両村皮多面役書上帳　（四一四）
天保十年七月　書綴　一綴

二三一　御証拠控帳　（三九〇）
天保十年　書冊　一冊

二三二　御証拠送出間通帳　（一〇〇一）
天保十一年四月　長帳　一冊

二三三　御証拠控帳　（三二四）
天保十二年　書冊　一冊

二三四　諸口用分当丑四月御勘定覚　（一九〇五）
天保十二年六月廿四日　折紙　一通

二三五　宝林院様御塔引夫銭幷石堂橋赤坂薬院土橋破損石垣共ニ仕戻シ夫銭材木出賃共ニ御国中割遠賀鞍手両郡出銭分割方書上帳　（八六七）
天保十二年四月　長帳　一冊

二三六　宝林院様御塔引夫銭幷石堂橋赤坂薬院土橋破損石垣共仕戻夫銭材木出賃共ニ御国中割修多羅触ゟ納証拠之事　（一九七一）
天保十二年四月　一紙　一通
太一郎ゟ郡役所宛

二三七　請取　（一九五一）
（天保十二年）五月一日　切紙　一通
遠賀・鞍手役所ゟ太一郎宛。石堂橋等土橋破損に付国中割出銭分

二三八　修多羅村大庄屋太一郎召連夫賃銭請受申上ゟ事外　（一〇九）
天保十二年十月　書綴　一綴

二三九　（仮題）夫数書付　（七二三の三）
（天保十二年外）　長綴　四綴

二四〇　村中出捨役目覚帳　（三六八）
天保十三年九月　長綴　一綴

二四一　役目諸控帳　（三八一）
天保十四年正月　長帳　一冊

二四二　遠賀郡修多羅触面役極帳　（四一七）
天保十四年三月　書冊　一冊

二四三　長崎御手当郡水夫村割帳　（三五七）
天保十四年四月　書冊　一冊

二四四　夫銭割方取立帳　（一六〇）
天保十四年四月　長帳　一冊

二四五　夫銭割方取立帳　（一五四）
天保十四年十月　長帳　一冊

二四六　遠賀郡修多羅触村ミ諸御役人様御賄受持組頭百姓名元書上帳　（三一五）
天保十五年正月　長綴　一綴

二四七　諸役目覚帳　（三八四）
弘化五年正月　小横帳　一冊

二四八　家別証拠賃取立帳　（八四九）
万延二年三月　長帳　一冊

二四九　御通方人馬拼幷ニ夫銭割方取立帳　（一五九三）
文久三年四月　（袋入）長綴二綴・切紙一通
頓田村

二五〇　仮証拠之事　（一二〇〇）
慶応二年四月　切紙　一通
戸畑村庄屋小林弥一郎ゟ夫銭預り末松文九郎宛

二五一　（仮題）此節御出勢ニ付賄方等の覚　（三一七の五）
慶応二年　長綴　一綴

二五二　戌四月夫銭割方取立帳　（一五五七）
（江戸後期）　長帳　一冊

二五三　当寅四月夫銭割方取立帳　（一二八）
（江戸後期）　長帳　一冊

二五四　寅四月夫銭割方取立帳　（一三九）
（江戸後期）　長帳　一冊

二五五　当丑十月夫銭割方取立帳　（一五三）
（江戸後期）　長帳　一冊

二五六　当寅十月夫銭割方取立帳　（一八二）
（江戸後期）　長帳　一冊

二五七　申十月惣夫引受差引帳　（一五五）
（江戸後期）　長綴　一綴

二五八　卯十一月ゟ巳十月迄御先方渡銭書抜　（一五八）
（江戸後期）　長綴　一綴

二五九　上底井野触巳年面役　（一八三）
（江戸後期）　長綴　一綴

二六〇　御国中割物遠賀鞍手両郡出銭分上前益銭之内ゟ取替分切立帳　（一一三〇）
（江戸後期）　書綴　一綴
付、木屋瀬宿間通り之外臨時諸通り継人馬賃銭惣夫銭ゟ当触取替口ミ書抜

二六一　（仮題）賃銭雑用銭等書上　（一八八）
（江戸後期）　長綴（袋入）六綴

二六二　覚　写　（一八九の四）
（江戸後期）　長綴　一綴
賃銭勘定

二六三　夫銭納証拠書　（二三九）
（江戸後期）　長綴　一綴

二六四　人馬根帳　（三〇一）
（江戸後期）　長綴　一綴

二六五　手伝夫銭取立帳　（三〇四）
（江戸後期）　長帳　一冊

二六六　損料員数定惣郡割夫役幷夫銭定書　（三一一）
（江戸後期）　書冊　一冊

二六七（仮題）覚　（三一七の六）
（江戸後期）　長綴一綴・小横綴一綴

二六八　覚　（四一一の一〇）
（江戸後期）酉十月廿二日　切紙　一通
蚕住村庄屋正五郎ゟ大庄屋太一郎宛。夫賃等

二六九　覚　（一七〇七）
（江戸後期）　折紙　一通
夫数

二七〇（仮題）覚　（一七八〇）
（江戸後期）　折紙　一通

二七一　六月廿三日覚　（一七八二）
（江戸後期）　長綴　一綴
名前書上

二七二　山鹿村ゟ御塔引夫銭四ヶ年賦上納当辰年分納証拠之事　（一八六七）
（江戸後期）辰十一月十四日　一紙　一通
庄屋浜中双平ゟ大庄屋松井正五郎宛

二七三（仮題）覚　（一九一二）
（江戸後期）　一紙　一通
蚕住村夫証拠、飛脚賃銭証拠等

二七四　覚　（一九四四）
（江戸後期）　切紙　一綴
夫数

二七五　覚　（一九六二）
（江戸後期）　巻紙　一通
夫数書上

二七六（仮題）出夫数覚　（二〇三六）
（江戸後期）　長綴　一綴

二七七　丑四月御国中掛夫銭割方帳　（八六八）
（江戸後期）　長帳　一冊

二七八（仮題）日雇夫賃銭覚　（八九三の五）
（江戸後期）子十二月　折紙　一通
中原村庄屋喜太郎

二七九　戌年分御証拠送出間通　（一三九四）
（江戸後期）　長帳　一冊

二八〇　御証拠送出間通帳　（九九九）
（江戸後期）戌十一月分　長帳　一冊

二六一　夫証拠　（一〇〇六）
（江戸後期）　長綴　一綴

二六二　書状　（二〇八一）
（江戸後期）五月六日　切紙　一通
中間村庄屋徳兵衛外ゟ。惣夫銭より拝借一件

二六三（仮題）夫銭覚　（一〇六四の三・四）
（江戸後期）　長綴　二綴

二六四（仮題）夫数覚　（一〇六四の六）
（江戸後期）　長綴　一綴

二六五（仮題）夫数書上外　（一一五六）
（江戸後期）八月七日　長綴　一綴

二六六（仮題）夫数覚　（一一七四）
（江戸後期）　折紙　三通
大鳥居村・畠田村・枝光村分

二六七（仮題）夫役名前書上　（一一七八）
（江戸後期）　折紙一通・切紙一通

二六八　辰面役高　（一三八九）
（江戸後期）　長綴　一綴

二六九　覚　（一二一九）
（江戸後期）四月廿六日　折紙　一通
陣原村末松文九郎ゟ頓田村庄屋楠野太一郎宛。出夫銭・薪代不足分請求

二七〇（仮題）覚　（一二八四）
（江戸後期）　切紙　二通
頓田村出夫人数書上

二七一（仮題）各村出夫銭受取覚　（一三九五）
（江戸後期）　長綴　一綴

二七二　請取之事　（一五〇二）
（江戸後期）亥十二月廿九日　切紙　一通
大庄屋太一郎宛。郷夫宿賃銭証拠外

二七三　覚　（一五〇三）
（江戸後期）亥十二月廿七日　切紙　一通
諸用聞与平ゟ大庄屋太一郎宛。小敷・魚町・山鹿浦郷夫止宿賃銭勘定

二七四（仮題）覚　（八五三）
（江戸後期）　長綴　一綴
夫数

二七五　修多羅村大庄屋太一郎乍恐奉伺上口上覚　（六九六）
（江戸後期）丑十二月　長綴　一綴
本城触へ仕戻夫銭支払の件

二七六　往還筋村〻請持丁場定格手入夫書抜帳　（一一八七）
（江戸後期）　長帳　一冊

二九七　（仮題）人名覚　（一四〇二）
（江戸後期）　長綴　一綴
夫役

二九八　（仮題）定番賃銭雑用書　（一八五）
（江戸後期）　長綴　一綴

二九九　若松村庄屋組頭仕上差出之事　（三一七の一〇）
（江戸後期）辰七月朔日　長綴　一綴
長崎表小非常入用に付、水主・船数調子の事

三〇〇　修多羅村大庄屋太一郎御伺申上ル事　（三一七の三）
（江戸後期）　長綴　一綴
長崎表非常に付若松村小夫並びに浦方ゟ同村へ居合の船ミ調子の事

三〇一　八月六日魚舟非常ニ付手扣　（一七一九）
（江戸後期）　長綴　一綴

三〇二　覚　（一一七五）
（江戸後期）　折紙　一通
船数書上

三〇三　送状　（一九四九）
（江戸後期）二月五日　切紙　一通
松井仁右衛門ゟ楠野宛。吸もの膳等返納

三〇四　覚　（一四〇九）
（江戸後期）六月廿二日　切紙　一通
音衛門外ゟ役所宛。酒代等請求

(6) その他

三〇五　遠賀郡修多羅村屋敷数指出之支　（一〇三）
寛保三年六月　書綴　一綴
庄屋六四郎ゟ樋口貞右衛門外宛

三〇六　遠賀郡修多羅村利右衛門組合中就御詮儀申上口上之覚　（一三三七）
天保三年正月廿日　巻紙　一通
弥市外ゟ。利右衛門悴溺死報告

三〇七　遠賀郡修多羅村庄屋組頭ゟ御註進申上ル口上覚　（一四二一）
天保三年正月廿日　巻紙　一通
郡代役所宛。溺死者に付

三〇八　遠賀郡修多羅村茂作組合中就御詮儀乍恐申上口上覚　（一四二六）
天保三年正月廿日　巻紙　一通
郡代役所宛。溺死者の報告

三〇九　遠賀郡修多羅村茂作就御詮儀乍恐申上口上覚　（一四二八）
天保三年正月　巻紙　一通

三〇　遠賀郡修多羅村利右衛門就御詮儀乍恐申上ル口上覚　（一四三二）
天保三年正月廿日　巻紙　一通
悴溺死一件報告

三一　花山諸用具仕上書出之事　（一二三三）
天保五年六月　切紙　一通
上組若物中ゟ庄屋太一郎宛

三二　遠賀郡修多羅村儀七出火ニ付組合百姓中ゟ申上ル口上之覚　（一六五九）
天保七年七月十八日　一紙　一通
儀七組合作蔵外ゟ郡役所宛

三三　儀七居家焼失御註進書下地　（一六八四）
天保七年七月十八日　書冊　一冊

三四　出火住(注)進書控　（七四一）
（天保十～十五年）　書冊　一冊

三五　旅人相果ゟ節注進書　（一四一九）
天保八年　一紙　二通
戸畑村・払川村ゟ

三六　御巡見使様御通路筋修多羅触村ミ之内家数書上帳　（三一四の三六）
天保九年二月　長帳　一冊

三七　有毛村惣右衛門小児一件　（三五六）
天保九年六月　書冊　一冊

三八　遠賀郡有毛村庄屋組頭ゟ御注進申上ゟ事　（一〇一四の四）
（天保九年）　巻紙　一通
小児行方不知の事

三九　遠賀郡有毛村庄屋組頭ゟ仕上差出之事　（三六三の八）
天保九年七月　書綴　一綴
小児行方不知の件

三〇　遠賀郡修多羅村百姓儀七焼失品附書上帳　（一六四一）
天保七年七月　長帳　一冊

三一　若松村茂八溺死一件扣　（七三九）
天保十年九月　書冊　一冊

三三　若松村金之助於内海櫓返溺死一件口上書扣　（七四〇）
天保十二年九月十日　書冊　一冊

三三　遠賀郡山鹿村庄屋組頭乍恐御注進申上口上之覚　（七七二）
天保十三年六月廿二日　書綴一綴
旅日雇人死去に付

三四　遠賀郡修多羅村大庄屋太一郎ゟ口上之覚　（一〇九四）
天保十四年三月　巻紙　一通
溺死骸始末の件

三二五　御願申上ル口上覚　（七八〇）
天保十四年　書綴　一綴
岩国領の者死去に付

三二六　（仮題）渡船転覆溺死一件　（一二五五）
天保十四年三月三日　書綴　一綴
山鹿村庄屋浜中又右衛門外ゟ郡役所宛

三二七　渡船沈没溺死一件　（一二五四）
天保十四年二月　一紙　一通
山鹿村庄屋浜中又右衛門外ゟ郡代役所宛

三二八　遠賀郡山鹿村伊六組合中ゟ乍恐申上ル口上之覚　（一二六五）
天保十四年三月　書綴　一綴
溺死骸持帰り外一件

三二九　遠賀郡枝光村庄屋組頭ゟ御注進申上ル事　（一二〇三）
天保十四年九月　書綴　一綴
岩国領日雇人女房死去に付

三三〇　枝光村ゟ岩国御領之者参掛り病死一件　（一二一一）
天保十四年九月　切紙（包紙入）四通

三三一　触中殞牛馬高控　（七七一）
天保十四年九月　書綴　一綴

三三二　差入申一札之支　（一八四五）
弘化二年正月廿三日　一紙　一通
清三郎ゟ。女打擲一件の諸入用費差出すとの一札

三三三　芦屋洲口番楠田次右衛門殿押込疵薬割渡帳　（四〇一）
嘉永元年　長綴　一綴

三三四　書物之事　（一二二六）
明治四年八月　巻紙　一通
長三郎ゟ村役人中宛。相慎み職業に指はまり出精可仕

三三五　遠賀郡修多羅村庄屋組頭ゟ御註進申上外口上覚　（一四二三）
（江戸後期）　巻紙　一通
溺死者の報告

三三六　書状　（七六八の一〇）
（江戸後期）九月廿二日　巻紙　一通
郡役所ゟ大庄屋太一郎宛。若松村の者死骸取納の件

三三七　書状　（七九八の四）
（江戸後期）八月十二日　巻紙　一通
山崎重八外ゟ。死骸片付の件

三三八　（仮題）村明細帳　（四四）
（江戸後期）　書綴　一綴

三三九　（仮題）村明細帳　（一〇六四の九）
（江戸後期）　書綴　一綴
修多羅村

二四〇　半助口書　（三六三の九）
（江戸後期）　書綴　一綴
小児行方不明の件

二四一　書状　（三六三の一六）
（江戸後期）七月十一日　巻紙　一通
有毛村庄屋ゟ大庄屋太一郎宛。小児一件

二四二　書状　（三六三の一九）
（江戸後期）六月十七日　巻紙　一通
小児一件

二四三　書状　（三六三の二一）
（江戸後期）六月九日　巻紙　一通
有毛村庄屋ゟ太一郎宛。養育方の件

二四四　（仮題）人名書上　（一二八七）
（江戸後期）　折紙　一通

二四五　請取申上ル事　（一四一八）
（江戸後期）子十二月朔日　切紙　一通
小石村役人中ゟ村上平右衛門宛。書状受取

二四六　葬式道具持役割　（一五七二）
（江戸後期）　長綴　一綴

二四七　受取　（三一二八）
（江戸後期）八月三日　一紙　一通
四郎丸伝作宛。山笠代銀

二四八　此節調子方覚　（四〇五）
（江戸後期）　長綴　一綴
平日不人品の者

二四九　御詮儀一件ニ付取替帳　（四〇六）
（江戸後期）　長綴　一綴
船賃・賄等

二五〇　寅二月種痘　（二九八の一〇）
（江戸後期）　長綴　一綴

二五一　送り状　（一五二九）
（江戸後期）十月七日　一紙　一通
郡代役所ゟ楠野太一郎宛。酒樽外

二五二　（仮題）覚　（一三〇四）
（江戸後期）　折紙一通・切紙一通
周平ゟ勘兵衛宛。北組十二軒分勘定覚

二五三　（仮題）覚　（二〇〇八）
（江戸後期）　折紙　一通
勇七分米精算

二五四　（仮題）証文　（一一〇五）
（江戸後期）　一紙（首欠）一通
修多羅村庄屋又平ゟ藤木村庄屋太次平宛

5 土地

(1) 土　地

一 御牧郡修多良村百姓弥太郎届申上ル野山之事外　（一九九五）
（寛文二～安永六）　書綴　一綴

二 遠賀郡修多羅村御山御証文写書上帳　（六六〇）
文政元年八月写　書冊　一冊
寛文～安永期の証文

三 中原村抱御境目筋取替之証文之覚　（七四四）
（元禄十三年十一月）　書冊　一冊
企救・遠賀両郡境目の件

四 中原村御境目取替シ証文之写　（七五三）
（元禄十三年十一月）　書冊　一冊

五 我等御年貢米ニ指詰り私抱高永代相伝ニ売渡シ申書物之事　（六五五の一五）
明和六年十一月　巻紙　一通
売主太助ゟ六之助宛

六 遠賀郡戸畑村凶年備仕組御山坪数御渡被成請取申上ル事　（一六五三）
安永四年二月　一紙　一通
戸畑村庄屋茂作外ゟ鳥居正兵衛宛

七 遠賀郡修多羅村古田中晩田村見立合掛帳　（八四七）
寛政四年九月　長帳　一冊

八 遠賀郡修多羅村早田畝引帳　（八二七）
寛政四年九月　長帳　一冊

九 遠賀郡修多羅村田畠名寄帳　（六四四）
享和二年七月　書冊　一冊
修多羅村庄屋六四郎ゟ坂田新五郎宛

一〇 遠賀郡修多羅村田畠名寄帳　（六四五）
（享和二年）　書冊　一冊

一一 戸畑村藪坪数上納所名寄帳　（六五六）
文政元年　書冊　一冊

一二 遠賀郡修多羅村田畠名寄帳　（六六二）
文政三年　書冊　一冊

一三 遠賀郡修多羅村田畠名寄帳　（六六五）
（文政三年）　書冊　一冊

一四 遠賀郡修多羅村古畠之内稲作畝数書上帳　（一〇六六）
文政十年十一月　長帳　一冊

一五 田地書入証文之事　（一六四四）
文政十年十二月　巻紙　一通
李平ゟ庄屋太一郎宛

一六　田地質物書入銭借用仕証文之事　（一六五八）
文政十年十二月　巻紙　一通
戸畑村借用主太次郎ゟ藤木村彦市宛

一七　村中田地受返シ一件書留帳　（六四九）
文政十一年十一月　長帳三冊合綴
付、村田仕組銭幷浜山転木売払代銭割帳、浅生堤鮒受負銭受取指引

一八　遠賀郡修多羅村庄屋組頭ゟ乍恐御願申上ゟ口上覚　（一二七七）
文政十二年三月　巻紙　一通
修多羅村庄屋五八郎外ゟ免方役所宛。浜ノ土井古畠の稲作仕立方の件

一九　稲作願諸控帳　（一五九四）
文政十二年三月　長帳　一冊

二〇　遠賀郡修多羅村庄屋組頭ゟ乍恐御願申上ゟ口上覚　（一一〇〇）
文政十二年三月　一紙　一通
免方役所宛。畠堀稲作に仕度

二一　銭借用仕田地証文之事　（一六四三）
文政十二年十二月　一紙　一通
平蔵ゟ庄屋太一郎宛

二二　借用仕田地証文之事　（一六五七）
天保四年十二月　一紙　一通
作助ゟ庄屋太一郎宛

二三　永代売渡証文之事　（一三四三）
天保五年十二月　一紙　一通
石井権助内市助ゟ修多羅村宇八宛

二四　未年ゟ申年迄田方余米不足覚　（八五）
天保七年十二月　長綴　一綴

二五　（仮題）田畠卸方附口帳　（四二）
（天保八年）　長綴　一綴

二六　遠賀郡浅川村荒畠起立畝数書上　（一〇六四の一）
天保八年六月　長帳（一部破損）一冊

二七　永代売渡田地証文之事　（六五五の六）
天保八年十一月　巻紙　一通
戸畑村清三郎ゟ森常陸宛

二八　遠賀郡二嶋村古畠之内稲作奉願上分畝高書上帳　（一三）
天保九年二月　長帳　一冊

二九　遠賀郡二嶋村古畠之内稲作奉願上分畝高書上帳　（二〇一〇）
天保九年二月　長帳　一冊

三〇　枝光八左衛門田地卸方帳　（二一二）
天保十年二月　長綴　一綴

三一　遠賀郡払川村質入田地畝数幷代銭調子書上帳　（三九）
天保十年四月　書冊　一冊

三二　遠賀郡畠田村古畠之内稲作奉願上分畝高書上帳　（一四五七）
天保十年九月　長帳　一冊

三三　遠賀郡畠田村文五郎外乍恐御願申上口上覚　（一四七八）
天保十年九月　書綴　一綴
付、遠賀郡畠田村畠堀画図面

三四　安屋村百姓儀右衛門乍恐申上ル口上之覚　（一七二九）
天保十年九月　巻紙　一通
明和年中田地質入古証文出来に付、その始末

三五　遠賀郡山鹿村後水新川筋費畝書抜帳　（八五九）
天保十年十一月　長帳　一冊

三六　遠賀郡修多羅触之内拾弐ケ村田畠洪水荒小破損之分書上帳　（六七三）
天保十一年七月　長帳　一冊

三七　遠賀郡払川村ゟ仕上ル指出之支　（二八四）
天保十一年七月　書綴　一綴
当村畠壱作地蟹住・竹並両村にて地所御渡被仰付置ゟ処、荒地ニ相成ゟに付地所確認の報告

三八　拙者抱分田地永代売渡申書物之事　（六五五の二）
天保十一年正月　一紙（包紙入）一通
売主新助ゟ

三九　拙者抱分田地永代相伝ニ売渡申書物之事　（六五五の七）
天保十一年正月　一紙　一通
売主新助ゟ

四〇　拙者抱分田地永代売渡申書物之事　（六五五の一二）
天保十一年正月　巻紙　一通
売主新助ゟ

四一　永代売渡証文之事　（一二七九）
天保十一年十二月　切紙　一通
戸畑村清七ゟ修多羅村庄屋権一郎宛

四二　何郡何村洪水荒古田畠稲作一作御見分帳　（六八五）
天保十一年七月　長帳　一冊

四三　遠賀郡有毛村洪水荒古田御見分帳外　（六八一）
天保十一年　長帳　一冊

四四　作方帳　（一八）
天保十二年正月　長帳　一冊

四五　作方帳　（二一〇）
天保十三年正月　長帳　一冊

四六　遠賀郡山鹿村後水開作之内毛附ニ相成不申分畝数書上帳　（九三〇）
天保十三年八月　長帳　一冊

四四 遠賀郡山鹿村後水開作之内毛附ニ相成不申分畝数書上帳　（九二九）
天保十三年八月　長帳　一冊

四五 遠賀郡小敷村ゟ仕上差出之事　（六六三）
天保十三年　書綴　一綴
壱作地見分の件

四六 作方帳　（一九）
天保十四年正月　長帳　一冊

四七 永代売渡畠証文之事　（二〇五一）
天保十四年三月　一紙　一通
売主利市ゟ修多羅村平市宛

四八 田地永代ニ売渡証文之事　（六五五の一）
天保十四年十二月　巻紙　一通
売主安屋村藤五郎ゟ修多羅村庄屋慮兵衛宛

四九 田地年切ニ売渡証文之事　（六五五の一〇）
天保十四年十二月　巻紙(包紙入)一通
安屋村徳平ゟ慮兵衛宛

五〇 作方帳　（三六）
弘化二年正月　長帳　一冊

五一 作方帳　（三七）
弘化五年正月　長帳　一冊

五二 作方帳　（二八）
嘉永二年正月　長帳　一冊

五三 五郎平殿仕約之覚　（一五九〇）
嘉永二年十二月　長帳　一冊
家屋敷田畠売払

五四 作方帳　（七）
嘉永三年正月　長帳　一冊

五五 永代ニ売渡田地証文之事　（六五五の一一）
嘉永三年十一月　巻紙(包紙入)一通
安屋村徳平ゟ太一郎宛

五六 作方帳　（三〇）
嘉永四年正月　長帳　一冊

五七 永代売渡田地証文之事　（一〇九七）
嘉永四年三月　一紙　一通
安屋村貞蔵ゟ太一郎宛

五八 拙者抱貴殿方へ永代ニ売渡申証文之事　（六五五の八）
嘉永四年十二月　巻紙　一通
金蔵ゟ伝内宛

五九 拙者抱分田地永代ニ売渡申証文之事　（六五五の九）
嘉永四年十二月　一紙　一通
幸右衛門ゟ恕平宛

六三　拙者抱分田地永代売渡申証拠之事　（六五五の一四）
嘉永四年十二月　巻紙　一通
藤三ゟ恕平宛

六四　拙者抱分田地永代売渡申証文之事　（六五五の一七）
嘉永四年十二月　巻紙　一通
幸右衛門ゟ伝内宛

六五　永代売渡申証文之事　（六五五の一六）
嘉永四年十二月　巻紙　一通
久平ゟ猪倉伝右衛門宛

六六　添証文之事　（六五五の一三）
嘉永六年十二月　一通
安屋村利蔵ゟ太一郎宛。質入田地の期限延期

六七　添証文之事　（六五五の一八）
嘉永六年十二月　巻紙（包紙入）一通
安屋村十八ゟ太一郎宛。質入田地期限延期

六八　田畠永代ニ売渡証文之事　（六五五の四）
嘉永七年十二月　巻紙　一通
安屋村伊八郎ゟ太一郎宛

六九　田畠永代ニ売渡証文之事　（六五五の五）
嘉永七年十二月　巻紙　一通
安屋村文四郎ゟ太一郎宛

七〇　作方帳　（三八）
安政二年正月　長帳　一冊

七一　作方帳　（二五）
安政三年正月　長帳　一冊

七二　（仮題）山坪数取調子書（雛形）　（一七〇九）
安政三年十月　書綴　一綴

七三　作方帳　（二七）
安政四年正月　長帳　一冊

七四　稲扱立把数覚帳　（九）
安政四年八月　長綴　一綴

七五　作方帳　（三四）
安政六年正月　長帳　一冊

七六　作方帳　（二九）
安政七年正月　長帳　一冊

七七　田畠卸方帳　（三）
文久三年正月　長帳　一冊
付、田畠下作附口名寄帳（文久三年八月）

七八　作方帳　（一七八七）
文久三年　長帳　一冊

七九　田畠卸方帳　（一七九五）
文久四年　長帳　一冊

八〇　作方帳　（一七八九）
文久四年　長帳　一冊

八一　田畠卸方帳　（四）
元治二年　長帳　一冊
付、楠野氏抱分下作帳、田畠下作附口名寄帳

八二　作方帳　（一七八八）
元治二年　長帳　一冊

八三　藤田村地形開作書類　（一二四二）
慶応元年六月　切紙（袋入）三通

八四　拙者抱分居家屋敷御年貢ニ指詰永代相伝ニ売渡証文之事　（一三四六）
慶応元年十二月　一紙　一通
九郎助㊞

八五　作方帳　（一〇）
慶応二年正月　長帳　一冊

八六　田畠卸方帳　（一七九四）
慶応二年　長帳　一冊

八七　拙者抱分居家屋敷御年貢ニ指詰永代相伝売渡証文之事　（一三四七）
慶応二年十二月　一紙　一通
藤次郎㊞蔵元宛

八八　拙者抱分居家敷御年貢ニ指詰永代相伝売渡申証文之事　（一三三五）
慶応二年十二月　一紙　一通
甚平㊞

八九　拙者抱分古野山永代相伝ニ売渡申証文之事　（一三三六）
慶応三年二月　一紙　一通
九郎助㊞蔵元宛

九〇　引当証文之事　（一三三三）
慶応三年四月　巻紙　一通
藤十㊞猪倉入江伝十宛

九一　拙者抱分畠年（ママ）記売渡申証文之事　（一三四八）
慶応三年四月　一紙　一通
藤右衛門㊞猪倉伝右衛門宛

九二　作方帳　（一八一四）
慶応三年　長帳　一冊

九三　作方帳　（一七九〇）
慶応四年　長帳　一冊

九四　田畠卸方帳　（八）
慶応四年　長帳　一冊

九五　田畠卸方帳　（一七九三）
明治三年　長帳　一冊

九六（仮題）田畠卸方附口帳　（四五）
（江戸後期）　長綴　一綴

九七他村下作　（一一八）
（江戸後期）　長綴　一綴

九八遠賀郡修多羅村田畠名寄帳　（六六六）
（江戸後期）　書冊　一冊

九九（仮題）田畠名寄帳　（六六九の一）
（江戸後期）　断簡

一〇〇（仮題）田畑名寄帳　（一二五三）
（江戸後期）　長綴　一綴

一〇一山鹿村ゟ仕上差出之事　（一五二〇）
（江戸後期）酉十月　一紙　一通
山鹿村庄屋五三郎ゟ太一郎宛。田方灼上の報告

一〇二畝数積リ覚　（一四〇四）
（江戸後期）　長綴　一綴

一〇三（仮題）田数覚　（一三八六）
（江戸後期）　長綴　一綴

一〇四（仮題）二嶋村田畠高書上　（一二三六）
（江戸後期）　折紙　一通

一〇五（仮題）田地書上　（八九四の一一）
（江戸後期）　長綴　一綴

一〇六（仮題）田畠書上　（六六九の三）
（江戸後期）　書綴　四綴

一〇七今古賀村早田畝合掛拼　（三一七の四）
（江戸後期）　長綴　九綴

一〇八（仮題）籾高覚　（七八六）
（江戸後期）　書綴　一綴

一〇九（仮題）覚　（八五四）
（江戸後期）　長綴　一綴
畝数書上

一一〇（仮題）覚　（二〇五五）
（江戸後期）　長綴　一綴
田地名替の件

一一一（仮題）覚　（二〇六二）
（江戸後期）　断簡　一枚
慮兵衛畠数書上

一一三武助屋敷畠数覚　（一六七九）
（江戸後期）　折紙　一通

一一三（仮題）畠数書上　（一七一一）
（江戸後期）　長綴　一綴

一一四（仮題）太一郎分田畠書上　（一二〇の一）
（江戸後期）　長綴　一綴

二五　（仮題）余米等書上　（一二〇の二）
（江戸後期）　長綴　一綴

二六　過上米渡方之覚　（一二〇の三）
（江戸後期）十一月廿五日　折紙　一通

二七　（仮題）米代銭渡方覚　（一二〇の四）
（江戸後期）　長綴　一綴

二八　遠賀郡熊手村住吉屋篤兵衛一族連印ヲ以乍恐御願申上ル口上之覚　（一六三一）
（江戸後期）　長綴　一綴
篤兵衛質入田地の件

二九　遠賀郡熊手村組頭大庄屋格喜三郎甥牛松乍恐御願申上ル口上之覚　（一六三四）
（江戸後期）　長綴　一綴
質入田地の件

三〇　遠賀郡熊手村住吉屋篤兵衛一族連印を以乍恐御願申上ル口上之覚　（一六三五）
（江戸後期）　長綴　一綴
質入田地の件

三一　大鳥居許山田地先年永代ニ受取ゐへ共余米不例ニ及ゐ間調子　（二〇六五）
（江戸後期）　切紙（包紙入）一通

(2)　植林・立木

三三　小石村沖取山転木杉村ミ渡方木数才数調子書上帳　（一〇二八）
文政十二年八月　長帳　一冊

三三　桐櫛御仕立ニ付御用金書抜帳　（八三八）
天保七年八月　長帳　一冊

三四　遠賀郡蜑住触村ミ之内桐櫛御用金当申秋差出之者名元員数書上帳　（八九四の一）
天保七年八月　長綴　一綴

三五　藤木小石楠一件口上書控　（一六九九）
天保十二年三月　書冊　一冊

三六　遠賀郡修多羅村ミゟ立込居ゐ楠銀杏書上帳　（六六一）
天保十二年五月　書冊　一冊

三七　山鹿魚町ゟ桐苗御仕組之節御上納仕上ゐ御用金返済被仰付ゐ分受取申上ル証拠之事　（八九四の九）
天保十三年五月　一紙　一通
山鹿魚町庄屋小田定右衛門ゟ大庄屋太一郎宛

三八　遠賀郡有毛村百姓兵七御願申上口上覚　（一〇九〇）
天保十三年八月　書綴　一綴
山方役所宛。松伐払許可願

一二九　遠賀郡修多羅村ゟ仕上指出之事　（一〇三七）
天保十四年
松植立の件
書綴　一綴

一三〇　取斗方追ミ申諭ゟ廉ミ頭書　（四三）
（江戸後期）
長綴　一綴
樫(榊)桐仕立進み方の件

一三一　（仮題）木材覚　（一九九七）
（江戸後期）
折紙　一通

一三二　書状　（八九四の一二）
（江戸後期）四月十五日
巻紙　一通
郡役所附　吉積兵助ゟ別府村大庄屋　仁木三兵衛外宛。桐樫(榊)仕立方ゟ御用借に相成ゟ金子の件

一三三　天保七年ニ御用達仕ゟ桐樫御借り入金元利受取申上ゟ事　（八九四の一三）
（江戸後期）寅五月朔日
一紙　一通
蜑住村庄屋正五郎ゟ大庄屋太一郎宛

一三四　書状　（八九四の一四）
（江戸後期）五月二日
巻紙　一通
魚町庄屋小田定右衛門ゟ太一郎宛。桐苗御用金返済受取方

一三五　書状　（八九四の一七）
（江戸後期）五月二日
切紙　二通
竹並村庄屋彦九郎ゟ大庄屋太一郎宛。桐樫(榊)仕立に付出銀仕ゟ分、此節御返済に相成

6　交通・通信

(1)　交　通

一　損料員数定惣郡割夫役幷夫銭定書　（六五七）
文化十五年二月
書冊　一冊
江戸・長崎御往来、山家・底井野御越座共ニ御休泊之節

二　宿継村継人馬作法書　（七八一）
文政二年十一月
書冊　一冊

三　御帰国達船廻り御馬一切書上帳　（一一二五の一）
文政六年四月
長帳　一冊

四　黒崎宿本通人馬賃銭建前帳　（一一九一）
天保九年
書冊　一冊

五　戌秋殿様御参府達御荷物送人馬賃銭夫拼幷当春上村御猟達諸口共ニ指引帳　（三一四の四〇）
天保九年十一月
長帳　一冊
修多羅触

六　黒崎宿間通人馬賃銭一切建前帳　（一一九二）
天保九年十二月
書冊　一冊

七　殿様御下国達惣目帳　（一一九六）
天保十年五月
書綴　一綴

八　殿様御帰国達出勤村役人割帳　（一一九七）
天保十年五月　書冊　一冊
黒崎鼻

九　殿様御参府達郡寄諸品割方帳　（一一九四）
天保十年九月　長帳　一冊

一〇　殿様御参府達惣目録帳　（一一九五）
天保十年九月　長帳　一冊

一一　遠賀郡若松村庄屋組頭乍恐御願申上ル事　（一二一四）
天保十年九月　巻紙　一通
松井一内外ゟ郡役所宛。長崎奉行隔年下向の際、当所止宿中入用内夫賃銭の件

一二　遠賀郡若松村ゟ仕上指出之支　（一一〇七）
天保十年十月　一紙（包紙入）一通
松井一内ゟ郡役所宛。諸口役人止宿入用内夫賃銭の件

一三　遠賀郡若松村ゟ当亥年諸御役人様御宿内夫賃銭請取申上ル事　（一六四七）
天保十年十月　一紙　一通
若松村庄屋松井一内ゟ郡役所宛

一四　殿様御参府達用　（一二一二）
天保十年　切紙（袋入）三通
御郡家用諸品御預申上事外

一五　黒崎宿問屋人馬方給銭扣　（一四〇八）
天保十年十二月　折紙（袋入）一通

一六　黒崎御茶屋御作事手伝夫村ミ割方根帳　（三一四の六）
天保十二年三月　長帳　一冊

一七　浅川村当丑年分人馬仕組銭払証拠之事　（一八九〇）
天保十二年十二月　一紙　一通
庄屋喜八郎ゟ黒崎田町貞次宛

一八　遠賀郡修多羅触村ミ黒崎臨時通り御切増夫銭根割帳　（八九四の二）
天保十二年　長綴　一綴

一九　黒崎宿間通切増夫銭村割帳　（八七〇）
天保十二年五月　長帳　一冊

二〇　長崎通人馬名元書上帳　（八五八）
天保十二年　長帳　一冊

二一　黒崎宿臨時通御切増夫銭割方帳　（一五七）
天保十五年十月　長帳　一冊

二二　黒崎宿臨時通御切増夫銭取立帳　（一五六）
天保十五年十一月　長帳　一冊

二三　遠賀郡山鹿魚町百姓中ゟ御受申上ル事　（一九〇二）
嘉永四年正月　巻紙（袋入）一通
帰馬指出案文

二四　殿様御参府達〻并控留帳　（一六一九）
文久二年ゟ　長帳　一冊
頓田村

二五　修多羅村ゟ仕上指出之支　（一〇三八）
慶応二年七月　書綴　一綴
庄屋楠野嘉作外ゟ。宿割の儀外

二六　黒崎宿御通方人馬賃銭郡中夫并書上帳　（一五九）
明治二年十一月　長帳　一冊

二七　黒崎宿間通切増夫銭割方帳　（八六九）
（江戸後期）　長帳　一冊

二八　持廻　（一二八九の一・二）
（江戸後期）二月三日　切紙（包紙入）二通
大庄屋太一郎ゟ。郡屋火災跡灰取除夫助合の件

二九　（仮題）覚　（一九三〇）
（江戸後期）　巻紙　一通
本陣役人宿割

三〇　（仮題）諸大名宿割　（一九八二）
（江戸後期）　折紙　一通

三一　（仮題）弥左衛門殿道割の事　（三一七の七）
（江戸後期）　長綴　一綴

三二　（仮題）山田平兵衛道割の事　（三一七の一）
（江戸後期）十一月八日　長綴　一綴
郡代役所ゟ両郡大庄屋中宛

三三　道割　（一九〇八）
（江戸後期）　切紙　一通
福岡より黒崎迄の泊、小休、昼休

三四　（仮題）達　（一九一四）
（江戸後期）閏四月　巻紙　一通
郡役所ゟ大庄屋太一郎宛。播磨殿江戸表被罷越ゟに付道割の件

三五　（仮題）覚　（一九八六）
（江戸後期）　折紙　一通
道中休泊書上（下関〜宮内）

三六　（仮題）覚　（二〇〇二）
（江戸後期）　一紙　一綴
弾正廻郡に付心得并道割

三七　黒崎詰夫外　（一六七八）
（江戸後期）　切紙　一綴
頓田村

三八　黒崎宿人馬宿繋米之内其村御郡米之内ゟ請取申事外（一八八九）
（江戸後期）丑十二月　一紙　二通
藤田村庄屋源七ゟ蜑住村庄屋正五郎宛。付、蜑住村御郡米之内御加役給米払証拠之事

三九　(仮題)覚　(二〇一六)
(江戸後期)八月廿三日　切紙　一通
大庄屋ゟ郡役所宛。黒崎宿臨時通人馬賃銭郡中伺書指出

(2) 往来切手

四〇　伊勢参宮人往来御切手願帳　(六三二)
文政七年正月　書冊　一冊

四一　遠賀郡戸畑村伊勢参宮人往来御切手請書物帳　(六三三)
文政十一年　書冊　一冊

四二　遠賀郡塩屋村之者商売ニ付近国往来御切手請書物帳　(六三七)
天保十二年閏正月　書冊　一冊

四三　遠賀郡山鹿村之者商売ニ付旅出仕往来御切手御請申上ル書物帳　(五五七)
天保十五年正月　書綴　一綴

四四　遠賀郡若松村ゟ乍恐御願申上事　(五五八)
天保十五年　書綴　一綴
若松村与賀郎外ゟ郡代役所宛。往来切手願

四五　遠賀郡山鹿魚町之者商売ニ付旅出仕往来御切手御請申上ル書物帳　(六三八)
天保十五年正月　書冊　一冊

四六　伊勢参宮幷讃州金毘羅参詣願書控　(五五五)
天保十五年三月　書冊　一冊

四七　遠賀郡山鹿魚町之者商売ニ付旅出仕往来御切手御請申上ル書物帳　(六三八)
弘化二年正月　書冊　一冊

(3) 通信

四八　蜑住触定飛脚間通帳　(三七一)
天保五年十一月　長帳　一冊
蜑住村大庄屋松井ゟ免方役所宛

四九　修多羅触臨時飛脚間通帳　(三七六)
天保八年四月　長帳　一冊

五〇　修多羅触定飛脚間通帳　(三七四)
天保八年十月　長綴　一綴

五一　修多羅触大庄屋元ゟ遠方召仕ゟ諸御用飛脚証拠帳　(八三三)
天保八年十一月　長帳　一冊

五二　修多羅触定飛脚間通帳　(三七二)
天保九年十一月　長帳　一冊

五三　修多羅触定飛脚間通帳　(三七三)
天保十年五月　長綴　一綴

五四 御用状持出控帳 天保十一年 （九九二） 長帳 一冊

五五 修多羅触臨時飛脚間通帳 天保十一年 （三七五） 長帳 一冊

五六 御用状持出控 天保十二年 （九八六） 長綴 一綴

五七 御用状間通帳 天保十三年 付、御用状持出扣帳 （九九三） 長帳三冊合冊

五八 諸御用差出物間通帳 安政四年三月 （三七九） 長帳 一冊

五九 蜑住触定飛脚間通帳 （江戸後期） （三七〇） 長綴 一綴

六〇 修多羅触臨時飛脚間通帳 （江戸後期） （三六九） 長帳 一冊

六一 御用状間通帳 （江戸後期） （三六六） 長帳 一冊

六二 丑年分御用状間通帳 （江戸後期） 修多羅触 （三七八） 長帳 一冊

六三 諸御用間通帳 （江戸後期） （三七七） 長帳 一冊

六四 卯年分御用状間通帳 （江戸後期） （三八六） 長綴 一綴

六五 御用状間通帳 （江戸後期）子年 （九九四） 長帳 一冊

六六 御用状間通帳 （江戸後期） （九九五） 長帳 一冊

六七 御用状間通帳 （江戸後期）酉正月分 （九九六） 長帳 一冊

六八 御用状間通帳 （江戸後期）戌年分 （九九七） 長帳 一冊

六九 御用状間通帳 （江戸後期） （一〇〇七） 長帳 一冊

七〇 御用状間通帳 （江戸後期）丑年分 （一〇〇二） 長帳 一冊

7 普請

一 遠賀郡戸畑村御馬橋掛替御普請仕廻目録 文化十一年七月 （一一二五の四） 長帳 一冊

二　御普請一件諸控帳　（一七〇〇）
文政三年十月　書冊　一冊

三　遠賀郡戸畑村牧山開作小瀬土手水門材木買立代銭積書上帳
（一一二五の六）
文政四年五月　長帳　一冊

四　遠賀郡戸畑村御馬歩行板出入夫御証拠帳　（一一二五の九）
文政十年正月　長帳　一冊

五　遠賀郡戸畑村御馬橋掛替入用板代銭幷材木出大工手伝一切入用夫共ニ積書上帳　（一一二五の二）
文政十年六月　長帳　一冊

六　遠賀郡戸畑村御馬橋御掛替御普請仕廻目録書上帳
（一一二五の五）
文政十年九月　長帳　一冊

七　遠賀郡戸畑村新川御馬橋御掛替御普請中村夫出方書上帳
（一一二五の三）
文政十年九月　長帳　一冊

八　御山輪地削願書　（八九三の八）
天保二年二月　巻紙　一通
庄屋太一郎外6和田逸平役所宛

九　遠賀郡修多羅村庄屋組頭6乍恐御願申上ル口上覚
（八九三の七）
天保二年二月　一紙　一通

一〇　書状　（八九三の六）
（天保二年）四月八日　一紙　一通
免方役所6大庄屋松井正五郎宛。修多羅村抱山際三ケ所輪地削夫積の件

一一　書状　（八九三の一〇）
（天保二年）四月十二日　切紙　一通
大庄屋松井正五郎6庄屋太一郎宛。山輪地削の件

一二　書状　（八九三の一四）
（天保二年）四月八日　切紙　一通
山方役所6庄屋太一郎宛

一三　遠賀郡修多羅御山輪地削夫積書上帳　（八四六）
天保二年二月　長帳　一冊

一四　遠賀郡修多羅村御山輪地削仕廻目録書上帳　（八四五）
天保二年四月　長帳　一冊

一五　修多羅村畑谷堤御普請中諸御用夫書上帳　（九〇三）
天保五年十一月　長帳　一冊

一六　岩屋御定番御役宅御普請手伝夫割方根帳　（一四八一）
天保八年八月　長帳　一冊
修多羅触

一七　遠賀郡修多羅触6岩屋御定番御役宅御作事御入用財木御挽立松財木幷ニ松丸太其外竹薪持送り夫仕廻目録書上帳
（九一九）
天保八年八月　長帳　一冊

一八 遠賀郡修多羅触ゟ岩屋御定番御役宅御作事御入用御用借杉丸太持送り夫仕廻目録書上帳 （九〇二）
天保八年八月 長帳 一冊

一九 遠賀郡修多羅触之内頓田小竹小石戸畑藤木二嶋有毛高須八ケ村去々申六月度々之大雨洪水ニ而破損仕ゟ分御普請触中夫拼書上帳 （九〇一）
天保九年三月 長帳 一冊

二〇 江川一件 （一三二五）
天保九年
長綴（袋入）三綴
江川口出夫控帳、（仮題）蔵詰米残分書上、書状（江川出夫高）

二一 遠賀郡修多羅村大谷尻新塘御築立夫積書上帳 （一〇四六）
天保九年六月 長帳 一冊
付、絵図一枚

二二 村々当戌冬来亥春御免用書抜帳 （九二〇）
天保九年六月 長帳 一冊
釘

二三 遠賀郡本城下底井野両触之内洪水破損仕戻御普請夫積帳前郡中拼書上帳 （九二二）
天保九年七月 長綴 一綴

二四 老良御普請出夫修多羅触村ミ根割書上帳 （九三六）
天保十年 長帳 一冊

二五 遠賀郡二嶋村水上堤荒手洪水破損仕戻御普請仕廻目録書上帳 （七〇五）
天保十年二月 長帳 一冊

二六 遠賀郡修多羅村畑谷洪水荒御普請仕廻目録書上帳 （七〇二）
天保十年三月 長帳 一冊

二七 遠賀郡山鹿村後水新土手洪水破損所御普請仕廻目録書上帳 （六七一）
天保十年三月 長帳 一冊

二八 二嶋修多羅山鹿三ケ村洪水触中夫拼指引帳 （七〇三）
天保十年四月 長帳 一冊

二九 遠賀郡下底井野触村ミ本城触楠橋村去戌夏洪水破損仕戻シ普請夫郡中拼書上帳 （一二九一）
天保十年六月 長帳 一冊
修多羅触分

三〇 遠賀郡下底井野触村ミ本城触楠橋村去戌夏洪水破損仕戻普請夫郡拼夫書上帳 （一三一九）
天保十年六月 長帳 一冊

三一 （仮題）願 （一六七〇）
天保十年七月 巻紙 一通
修多羅村庄屋権一郎ゟ郡役所宛。土蔵築立用竹木渡方願

三　遠賀郡山鹿村弁天所板橋材木願上帳　（八六二）
天保十年十一月　長帳　一冊

三三　遠賀郡山鹿村後水新土手石垣幷同所新唐戸御仕居石工積書上帳　（八六一）
天保十年十一月　長帳　一冊

三四　遠賀郡山鹿村新川石唐戸御仕居石工積書上帳　（八六〇）
天保十年十一月　長帳　一冊

三五　遠賀郡山鹿村後水川ゟ弁天下迄新川堀立御普請夫積書上帳　（八三九）
天保十年十一月　長帳　一冊

三六　遠賀郡山鹿村後水新土手御築立幷同所新唐戸御仕居両□築立夫積書上帳　（八二八）
天保十年十一月　長綴　一綴

三七　遠賀郡山鹿村後水新土手石垣幷同所新唐戸御仕居石工積書上帳　（八二〇）
天保十年十一月　長帳　一冊

三八　遠賀郡山鹿村築廻若宮前両所板橋材木伐持出夫釘大工一切願上帳　（八三一）
天保十年十一月　長帳　一冊

三九　黒崎火災跡木屋掛入用竹幷灰取除控　（一五六三）
天保十一年二月　長帳　一冊

四〇　黒崎宿藤田町火災ニ付木屋掛御入用竹木伐持出夫船積幷蔣藁払出御仕廻目録書上帳　（一六〇九）
天保十一年三月　長帳　一冊

四一　遠賀郡山鹿村庄屋組頭ゟ御注進申上ル事　（七九八の三）
天保十一年五月　巻紙　一通
庄屋五三郎外ゟ郡役所宛。井手破損に付

四二　遠賀郡修多羅触村〻洪水破損之口〻一切調子書上　（六八四）
天保十一年六月　長帳　一冊

四三　遠賀郡払川村双六番堤土手切仕戻御普請仕上目録書上帳　（七〇八）
天保十一年六月　長帳　一冊

四四　遠賀郡払川村双六番堤土手切仕戻御普請中諸御用夫書上帳　（七〇九）
天保十一年六月　長帳　一冊

四五　遠賀郡修多羅触村洪水荒古田御見分帳　（七一五）
天保十一年七月　長帳　一冊

四六　遠賀郡修多羅触村〻洪水荒田畠仕戻御普請夫積書上帳　（六九〇）
天保十一年八月　長帳　一冊

四七　遠賀郡修多羅触村〻洪水破損夫積書上帳　（六八二）
天保十一年八月　長帳　一冊

四八　修多羅触村ミ当荒田畠畝数書抜帳　（六九二）
天保十一年八月　長帳　一冊

四九　遠賀郡修多羅触村ミ洪水破損塘汐土手溝川御普請夫積書抜帳　（七〇七）
天保十一年八月　長帳　一冊

五〇　遠賀郡修多羅触村ミ洪水荒田畠仕戻御普請夫積書上帳（七一二）
天保十一年九月　長帳　一冊

五一　洪水荒田畠仕戻御普請夫積帳書抜　（七一〇）
天保十一年九月　小横綴　一綴

五二　遠賀郡修多羅触村ミ当子冬未丑春御免用御普請入用鉄物書抜帳　（九〇七）
天保十一年十二月　長帳　一冊

五三　子ノ年畑谷堤再興御普請ニ付夫仕一切扣幷ニ其年中諸御普請一切扣　（八八八～八九一）
天保十一年　長綴（袋入）四綴
畑谷堤御普請出夫書抜帳外

五四　畑谷堤夫仕帳外　（八三七）
天保十一年　小横帳四冊合冊

五五　洪水荒田畠起立夫粮米御当用渡指引帳　（六九三）
天保十一年　書綴　一綴

五六　遠賀郡小石村菖蒲谷堤荒手洪水破損仕戻御普請受負積書上帳外　（六七九）
天保十一、十二年　長帳　一冊

五七　畑谷堤洪水荒仕戻御普請中諸扣　（七二〇）
天保十二年正月　長帳　一冊

五八　修多羅小石両村洪水荒仕戻御普請夫受負賃銭触中割方帳　（六八九）
天保十二年二月　長帳　一冊

五九　修多羅触村ミ洪水荒田畠夫粮米代請取帳　（七二一）
天保十二年四月　長帳　一冊

六〇　遠賀郡枝光村堤溝川洪水荒御普請仕廻目録書上帳外　（六七八）
天保十二年四月　長帳　一冊

六一　洪水破損田畠幷溝川仕戻シ拼夫銭割方帳　（六七七）
天保十二年四月　長帳　一冊

六二　遠賀郡乙丸村境川去子夏洪水破損土手切仕戻シ御普請中諸御用夫書上帳　（六七五）
天保十二年十月　長帳　一冊

六三　遠賀郡乙丸村境川洪水破損土手切御普請仕廻目録書上帳　（六七六）
天保十二年十月　長帳　一冊

六四　遠賀郡修多羅村　去子夏洪水荒仕戻　御普請中諸御用夫書上帳外　（六八〇）
天保十二年十月　長帳　一冊

六五　遠賀郡修多羅触村ミ　去子夏洪水荒仕戻シ　御普請仕廻目録書上帳　（六八八）
天保十二年十月　長帳　一冊

六六　遠賀郡有毛村境川　去子夏洪水荒仕　戻御普請中諸御用夫書上帳　（七〇四）
天保十二年十月　長帳　一冊

六七　修多羅触村ミ去子夏洪水荒堤溝川普請仕廻目録夫数書抜帳　（六九七）
天保十二年十月　長帳　一冊

六八　遠賀郡有毛村境川　去子夏洪水破損　土手切御普請仕廻目録書上帳　（七〇六）
天保十二年十月　長帳　一冊

六九　遠賀郡修多羅触村ミ去子夏洪水仕戻御普請仕廻目録惣目帳　（七一九）
天保十二年十一月　長帳　一冊

七〇　遠賀郡浅川村去夏洪水荒江川汐土手切所御普請中諸御用夫書上帳　（七一八）
天保十二年十一月　長帳　一冊

七一　遠賀郡修多羅触村ミ去子夏洪水仕戻御普請仕廻目録惣目録　（七一九）
天保十二年十一月　長帳　一冊

七二　遠賀郡魚町　高須小鋪蜑住払川　五ケ村板橋御掛替御普請一切諸品積書上帳　（八二二）
天保十二年十一月　長帳　一冊

七三　遠賀郡浅川村去夏洪水土手切御築立御普請仕廻目録書上帳　（六七四）
天保十二年十一月　長帳　一冊

七四　遠賀郡魚町高須　小鋪蜑住払川五ケ村　板橋御掛替御普請一切諸品積書上帳　（八二二）
天保十二年十一月　長帳　一冊

七五　洪水荒仕戻夫郡中拼払出夫銭之内御拝借幷返納割合書上帳　（七一七）
天保十二年十二月　長帳　一冊

七六　洪水荒仕戻夫郡中拼払出夫銭之内御拝借幷返納割合書上帳　（七一四）
天保十二年十二月　長帳　一冊

七七　洪水荒仕戻夫郡中拼払出夫銭之内御拝借幷返納割合書上帳　（六九九）
天保十二年十二月　長帳　一冊
修多羅触

七八　洪水荒郡中拼払出夫銭之内拝借幷返納割合書出帳　（六九八）
天保十二年十二月　長帳　一冊

七九　遠賀郡修多羅触村ミ庄屋中乍恐御願申上ゟ口上覚　（七二五）
天保十二年十二月　書綴　一綴
中原村庄屋太三郎外ゟ。出夫銭本城触へ払出の件

八〇　御国堺御建石御普請ニ付御入用杉丸太御買立代銭書上帳
（二〇七二）
天保十二年十二月　長帳　一冊

八一　中原村御国堺　御建石御普請ニ　付御入用杉丸太御買立代銭書上帳
（二〇七三）
天保十二年　長綴　一綴

八二　江ノ口御境石御建方御入用杉丸太受取申上ゟ支　（二〇七一）
（天保十二年）八月三日　書綴　一綴
太三郎ゟ太一郎宛

八三　覚　（二〇七〇）
（天保十二年）十一月　切紙　一通
太一郎ゟ年番庄屋中宛。中原村御境石建方に付諸費用の事

八四　書状　（二〇六七）
（天保十二年）八月二日　切紙　一通
中原村庄屋太三郎ゟ太一郎宛。境石建方入用材木の件

八五　書状　（二〇六九）
（天保十二年）七月十八日　切紙　一通
郡役所ゟ松井久五郎宛。中原村江ノ口境石建方に付、入用品借立の件

八六　修多羅村大庄屋太一郎ゟ乍恐奉伺口上覚　（七二四）
（天保十二年）十二月　書綴　一綴
林八太夫外宛。去夏洪水荒仕戻夫、本城触へ払出の件

八七　遠賀郡塩屋村庄屋組頭ゟ御願申上口上之覚　（九八五の二）
天保十三年六月　書綴　一綴
枕崎石唐戸仕居替の件

八八　修多羅村大庄屋太一郎乍恐申上ル事　（一一八八）
天保十四年八月　長綴　一綴
林八太夫外宛。石工書上

八九　高倉宮普請寄附金割方帳　（一一八九）
天保十四年八月　長帳　一冊

九〇　遠賀郡藤木村　和田開作石唐戸　御仕居替仕調幷足石切立諸品共積方書上帳　（一〇二三）
天保十四年九月　長帳　一冊

九一　遠賀郡中原村堂ケ峯御境目石御建方ニ付積書上帳　（一七三〇）
天保十四年十月　長帳　一冊

九三　高汐破損拼夫銭払証拠之事　（一四〇〇）
（天保十五年）辰四月　切紙　一綴

九三　遠賀郡修多羅触之内修多羅頓田小竹若松戸畑□去卯九月
高汐破損所仕戻シ触中夫拼□　（一〇六四の一〇）
天保十五年四月　長帳（一部破損）一冊

九四　遠賀郡修多羅触之内修多羅頓田小竹若松戸畑山鹿小石七ヶ
村去卯九月高汐破損所仕戻シ触中夫拼書上帳　（一〇五五）
天保十五年四月　長帳　一冊

九五　修多羅触修多羅頓田小竹小石若松戸畑山鹿七ヶ村去卯九月
高汐破損所仕戻シ触中夫拼帳　（一〇二五）
天保十五年四月　長帳　一冊

九六　鞍手内大川筋御普請出夫賃銭村拼帳　（九三五）
嘉永三年四月　長帳　一冊
修多羅村

九七　遠賀郡中原村抱御境目隔年定格御普請夫積書上帳　（九〇九）
文久二年六月　長帳　一冊

九八　遠賀郡黒崎湊船入浚方幷波戸御築立道繕御普請夫積書上帳
（九二四）
文久三年二月　長帳　一冊

九九　御橋材木才掛代金積帳　（一一二三）
文久三年六月　長冊　一冊

一〇〇　御橋材木代金勘定帳　（一一一六）
文久三年六月　長帳　一冊

一〇一　遠賀郡頓田村御田地囲浜垣御普請仕廻目録書上帳
（一五六二）
万延元年七月　長綴　一綴

一〇二　遠賀郡払川触之内大蔵前田両村御山輪地削幷焼夫仕廻目録
書上帳　（九七三の六）
元治元年二月　長帳　一冊

一〇三　遠賀郡中原村抱御境目隔年定格御普請仕廻目録書上帳
（一五九七）
元治元年三月　長帳　一冊

一〇四　黒崎船入御普請中夫仕帳　（九二八）
元治元年四月　長帳　一冊

一〇五　田町船入浚御普請ニ付御出役幷普請方賄付　（九一〇）
元治元年四月　長帳　一冊

一〇六　黒崎舟入御普請出夫寄帳　（九一一）
元治元年四月　長帳　一冊

一〇七　黒崎宿継所石張入用石取寄中諸御用夫帳　（九〇五）
元治元年四月　長帳二冊合冊
付、文久四年三月分

一〇八　黒崎船入御普請口ミ之内ニ而当春仕調廉ミ仕舞目録書上帳　（九二五）
元治元年五月　長帳　一冊

一〇九　名古屋崎御台場御出張御役ミ様雨除木屋仕調扣　（一四一〇）
元治元年七月　（袋入）切紙一通・長綴二綴

一一〇　名古屋崎御台場矢除土手幷雨除木屋御普請諸約書上帳　（一七一六）
元治元年七月　長帳　一冊

一一一　名古屋崎御休足木屋仕調出夫材木寄帳　（一七一七）
元治元年七月　長帳　一冊

一一二　名古屋崎御台場御出張役ミ様雨除木屋仕廻目録書上帳　（一七一八）
元治元年七月　長帳　一冊

一一三　名古屋崎御台場矢留土手　御築立幷ニ砂押江蔣代銭共ニ書上帳　（二〇四〇）
元治元年八月　長帳　一冊

一一四　名古屋御台場内矢留土手仕調幷ニ御用心蔣共ニ書上帳　（二〇一一）
元治元年八月　長帳　一冊

一一五　遠賀郡藤田村地行壱作汐土手御普請夫積書上帳　（六五三）
元治元年八月　長帳　一冊

一一六　遠賀郡修多羅村抱永瀬川石の門損石仕替御普請石工仕廻目録書上帳　（八八四）
元治元年九月　長帳　一冊

一一七　遠賀郡藤田村抱地行壱作下干潟御開作土手石垣仕調積書上帳　（六五一）
元治元年十一月　長帳　一冊

一一八　遠賀郡中原村仮御番所入用御道具建幷小一郎灯台共ニ仕廻目録書上帳　（八三〇）
元治元年十二月　長帳　一冊

一一九　黒崎舟入御普請出夫賃銭受取申上ル証拠之支　（九二七）
元治元年十一月　長綴　一綴

一二〇　（仮題）中原村仮御番所日雇賃銭覚　（八九三の五）
（元治元年）　折紙　一通

一二一　（仮題）達　（八九三の九）
（元治元年）十二月廿六日　切紙　一通
郡役所ゟ修多羅村普請方楠野太一郎宛。中原村仮御番所入用道具建代渡方の事

一二二　書状　（八九三の一一）
（元治元年）　切紙　一通
中原村仮御番所入用道具建の件

一三　覚　（八九三の一二）
（元治元年）　折紙　一通
大工弥平ゟ普請方太一郎宛。中原村仮御番所道具立材木代等

一四　仕帳　（八九三の一三）
（江戸後期）　折紙　一通
夫数覚

一五　修多羅戸畑山ノ口牧山両堤帳面　（九六五）
慶応元年　（袋入長綴一綴・切紙四通
普請書類

一六　藤田村抱地行壱作下干潟御開作土手石垣仕調積書上帳　（一〇九一）
元治二年二月　長綴　一綴

一七　遠賀郡若松村洲口御番所御建替ニ付地形幷ニ石垣共ニ石工夫積書上帳　（九一二）
元治二年三月　長帳　一冊

一八　藤田村広河内新堤御普請丁場割夫仕帳　（一六二六）
元治二年三月　長帳　一冊

一九　藤田村広河内新堤御普請中諸御用夫帳　（一六二七）
元治二年三月　長帳　一冊

一〇　藤田村広河原新堤御普請村ミ夫寄帳　（一六三〇）
元治二年四月　長帳　一冊

一一　遠賀郡藤田村広河原新堤御普請材木釘大工仕廻目録書上帳　（一六二九）
元治二年四月　長帳　一冊

一二　藤田村広河原新堤御普請出夫賃銭仮証拠之事　（一六二四）
（元治二年）丑四月　書綴　一綴
大庄屋三輪佐一郎

一三　中嶋幷ニ名護屋崎御台場幷ニ御矢来破損所取繕惣詰替竹杭縄日雇夫積書上帳　（一三二二）
元治二年四月　長帳　一冊

一四　若松村中川浚御普請夫仕帳　（八八七）
元治二年四月　長帳　一冊

一五　遠賀郡若松村川浚御普請仕廻目録書上帳　（八八六）
元治二年四月　長帳　一冊

一六　遠賀郡枝光村水引溝御普請仕廻目録書上帳　（八八五）
元治二年四月　長帳　一冊

一七　名古屋崎御台場矢留土手取繕幷御筒留土俵御仕替共ニ積書上帳　（一三二三）
元治二年六月　長綴　三綴

一八　遠賀郡戸畑村阿ま堤土手繰下ケ御普請瓶樋釘大工願上帳　（九四七）
慶応元年六月　長帳　一冊

一三九　遠賀郡戸畑村あま堤土手繰下ケ御普請夫積書上帳　（九四六）
　慶応元年六月　長帳　一冊

一四〇　遠賀郡藤田村抱地行壱作下干潟御開作土手内根柵仕調積書上帳　（一〇四四）
　慶応元年六月　長帳　一冊

一四一　若松御積立所御増蔵御地形入用石段積書上帳　（九三四）
　慶応元年七月　長帳　一冊

一四二　若松御積立所御増蔵御建方ニ付地行仕調積り書上帳　（九三三）
　慶応元年七月　長帳　一冊

一四三　若松御積立所御増蔵御建方ニ付地行積書上帳　（九二三）
　慶応元年七月　長綴　一綴

一四四　黒崎湊浚御普請中夫仕帳　（九三一）
　慶応元年七月　長帳　一冊

一四五　御積立所御増蔵地形帳
(1)　石段積り覚　（九八四の一）
　（慶応元年）　折紙　一通
(2)　書状　（九八四の二）
　（慶応元年）七月一日　巻紙　一通
　楠野太一郎ゟ森仁兵衛外宛。御積立所迄出方仕ゟ様被仰付ゟ件

(3)　（仮題）地形見積　（九八四の三）
　（慶応元年）　長綴　一綴

(4)　（仮題）夫数覚　（九八四の四）
　（慶応元年）八月　長綴　一綴
　黒崎舟町湊浚出夫等

一四六　黒崎水尾筋浚土積捨員数書留帳　（九一六）
　慶応元年七月　長帳　一冊

一四七　遠賀郡若松村洲口御番所御建替ニ付地形石垣土台石仕居共ニ仕廻目録書上帳　（九一三の一）
　慶応元年七月　長帳　一冊

一四八　遠賀郡若松村洲口御番所御建替ニ付地形幷ニ石垣共ニ石工夫積書上帳　（九一三の二）
　（慶応元年）　長帳　一冊

一四九　水尾浚沖手積捨土取約帳　（九一五）
　慶応元年八月　長帳　一冊

一五〇　黒崎藤田地行壱作御築立田町水尾浚賃銭かし渡控帳　（一〇四九）
　慶応元年八月　長帳　一冊

一五一　黒崎藤田地行壱作御築立田町水尾浚賃銭前借控帳　（一〇四八）
　慶応元年八月　長綴　一綴

一五三　若松御積立所御増蔵御建方ニ付地形積書上帳　（九二一）
慶応元年八月　長帳　一冊

一五三　遠賀郡黒崎船入御普請口々之内当夏仕調廉ニ仕舞目録書上帳　（九一四）
慶応元年十月　長綴　一綴

一五四　黒崎舟入浚御普請出夫寄帳　（九三二）
慶応元年十月　長帳　一冊

一五五　遠賀郡黒崎船入御普請口々之内当夏仕調廉々仕舞目録書上帳　（九〇四）
慶応元年十月　長帳　一冊

一五六　修多羅村山ノ口堤御普請夫仕帳　（九五九）
慶応元年十一月　長帳　一冊

一五七　遠賀郡大蔵村和田前土橋焼失材木釘大工願上帳　（九五七）
慶応元年十一月　長帳　一冊

一五八　遠賀郡大蔵村和田前橋焼失ニ付取繕御普請夫積書上帳　（九五五）
慶応元年十一月　長帳　一冊

一五九　遠賀郡修多羅村山ノ口堤御普請仕廻目録書上帳　（九六三）
慶応元年十二月　長帳　一冊

一六〇　遠賀郡戸畑村御免用材木釘大工仕廻目録書上帳　（九六二）
慶応元年十二月　長帳　一冊

一六一　遠賀郡戸畑村牧山堤底樋替御普請仕廻目録書上帳　（九六一）
慶応元年十二月　長帳　一冊

一六二　遠賀郡戸畑村牧山堤底樋替御普請仕廻目録書上帳　（九六〇）
慶応元年十二月　長帳　一冊

一六三　諸口控　（八八三）
（慶応元年）　長綴　一綴
杭等

一六四　矢除土手御手入　（八八二）
（慶応元年）　長綴　一綴

一六五　中嶋名古屋両御台場破損所取繕積り帳　（八七九～八八三）
元治二年　長帳　五冊

一六六　黒崎湊浚書類
(1)　垣師雇立人数調子外　（九八二の一）
（慶応元年）　切紙　一綴

(2)　舟入浚御普請ニ付垣師賃銭相渡ゟ分追而本証拠引替可申仮証拠之事　（九八二の二）
（慶応元年）八月十四日　一紙　一通
普請方松井謙次外ゟ田町庄屋手伝茂一宛

(3)　（仮題）夫数覚　（九八二の三）
（慶応四年）　折紙二通・切紙一通

(4)　（仮題）見取図外　（九八二の四）
（慶応元年）　一紙二通・折紙一通

(5)（仮題）夫数覚　（九八二の五）
（慶応元年）　切紙　一通

一六七　大蔵村和田橋焼失仕戻御普請夫仕帳　（九五六）
慶応二年正月　長帳　一冊

一六八　遠賀郡払川触之内拾四ケ村新古御植立山輪地削夫仕廻目録書上帳　（九七三の四）
慶応二年二月　長帳　一冊

一六九　遠賀郡払川触之内大蔵前田両村御山輪地削幷焼立夫仕舞目録書上帳　（九七三の五）
慶応二年二月　長帳　一冊

一七〇　遠賀郡枝光村登せ川土手御普請仕廻目録書上帳　（八七一）
慶応二年三月　長帳　一冊

一七一　遠賀郡枝光村登せ川土手御普請仕廻目録書上帳　（八七二）
慶応二年三月　長帳　一冊

一七二　遠賀郡中原村御堺目筋隔年定格御普請仕廻目録書上帳　（一六〇二）
慶応二年四月　長帳　一冊

一七三　中原村抱御境川御普請夫仕帳　（一六〇一）
慶応二年四月　長帳　一冊

一七四　御立退所道秋月様御乗船道御普請夫仕帳　（一六〇〇）
慶応二年四月　長帳　一冊

一七五　遠賀郡藤田村御立退所道秋月様御乗船道，御普請仕廻目録書上帳　（一五九九）
慶応二年四月　長帳　一冊

一七六　御立退所道幷ニ秋月様御乗船道地所開作御普請修多羅御地勤中出夫杭竹伐出諸控　（一五九八）
慶応二年四月　長帳　一冊

一七七　藤田村地行御開作諸伐出幷夫仕帳　（一〇五〇）
慶応二年四月　長綴　一綴

一七八　名古屋崎御台場御取繕積帳　（九八三）
慶応二年四月　切紙（袋入）十通

一七九　名古屋崎御台場御取繕御普請積書上帳　（九四五）
慶応二年四月　長帳二冊合冊

一八〇　中嶋名護屋御台場御矢来幷ニ御番所破損所御手入杭竹縄莚積日雇夫積書上帳　（八八一）
慶応元年五月　長帳三冊合冊

一八一　両御台場御取繕日雇仕帳　（八八〇）
慶応元年六月　長綴　一綴

一八二　御台場入用諸品幷日雇賃共ニ渡方帳　（八七九）
慶応元年六月　長綴　一綴

一八三　名古屋崎御台場御取繕積書上帳　（九四四）
慶応二年六月　長帳　一冊

一八四　名古屋崎御台場御取繕積書上帳　（八九八）
慶応二年七月　長帳　一冊

一八五　名古屋崎御台場御取繕仕廻目録書上帳　（八九七）
慶応二年七月　長帳　一冊

一八六　若松日吉宮御社内野戦砲御囲木屋御取繕積書上帳　（九六六）
慶応二年八月　長帳　一冊

一八七　若松日吉宮社内ニ野戦砲囲所取繕積控　（九六八）
慶応二年八月　切紙（袋入）九通

一八八　若松日吉宮脇野戦砲囲所取繕仕帳　（九六七）
慶応二年九月　長帳　一冊

一八九　藤田村地行下御開作石垣土手御普請残分積書上帳　（六五二）
慶応二年十月　長帳　一冊

一九〇　遠賀郡戸畑村新川尻御馬橋御掛替御普請材木鉄物願上帳　（九三八）
慶応二年十月、同四年　長帳二冊合冊

一九一　藤田村地行下干潟御開作御築立土手石垣当寅秋迄仕調仕ゟ分垣師賃銭幷出夫賃銭書上帳　（一〇四五）
慶応二年十月　長帳　一冊

一九二　遠賀郡大蔵村和田橋焼失跡仕戻御普請仕廻目録書上帳　（九五四）
慶応二年　長帳　一冊

一九三　遠賀郡大蔵村和田前土橋焼失仕戻御普請材木仕廻目録書上帳　（九五三）
慶応二年　長帳　一冊

一九四　遠賀郡大蔵村和田橋焼失跡仕戻御普請仕廻目録書上帳　（九五二）
慶応二年　長帳　一冊

一九五　黒崎湊沖水尾筋浚仕ゟ分受負賃銭幷ニ杭木出夫書上帳　（九一八）
慶応三年正月　長帳　一冊

一九六　戸畑村枝郷尼堤御普請夫仕帳　（九四八）
慶応三年正月　長帳　一冊

一九七　戸畑村尼堤御普請諸書付　（九五一）
慶応三年二月　切紙（袋入）十一通

一九八　遠賀郡戸畑村尼堤土手繰下ケ御普請出夫幷諸品代共仕廻目録書上帳　（九五〇）
慶応三年二月　長帳　一冊

一九九　遠賀郡戸畑村尼堤土手繰下ケ御普請夫高書上帳　（九四九）
慶応三年二月　長帳　一冊

二〇〇　遠賀郡枝光村本川開作竪川御普請仕廻目録書上帳　（八九六の一）
慶応三年三月　長帳　一冊

二〇一　枝光村御開作竪川御普請夫仕帳　（八九六の二）
（慶応三年）三月十一日　長綴　一綴

二〇二　枝光村本川御開作竪川御普請夫仕帳　（八九五）
慶応三年三月　長帳　一冊

二〇三　藤田地行壱作御普請諸御用夫帳　（六四八）
慶応三年四月　長帳　一冊

二〇四　遠賀郡鳴水村中河頭堤仕掛溝堀立御普請夫積書上帳　（一一八六）
慶応三年七月　長帳　一冊

二〇五　若松御積立所前浪除石波戸新規仕調積書上帳　（九〇〇）
慶応三年七月　長帳　一冊

二〇六　遠賀郡払川触当卯秋御免用御普請入用杭竹書抜帳　（八九九）
慶応三年七月　長帳　一冊

二〇七　遠賀郡藤田村地形下新御開作土手御築立御普請仕廻目録書上帳　（九三七）
慶応三年九月　長帳　一冊

二〇八　熊手村鷺田堤御普請夫仕帳　（八七四）
慶応三年十一月　長帳　一冊

二〇九　遠賀郡熊手村小鷺田堤御普請底樋立樋材木仕廻目録書上帳　（八七八）
慶応三年十二月　長帳　一冊

二一〇　小鷺田堤御普請召仕夫村〻寄帳　（八七五）
慶応三年十二月　長帳　一冊

二一一　遠賀郡払川触之内大蔵前田両村御山輪地削幷ニ焼立夫仕舞目録書上帳　（九七三の三）
慶応四年二月　長帳　一冊

二一二　鳴水村中河頭堤仕掛溝御普請中夫仕帳　（一一八五）
慶応四年三月　長帳　一冊

二一三　藤田村広河原堤御普請中夫仕帳　（九七〇の一）
慶応四年三月　長帳　一冊

二一四　藤田村広河原堤御普請中召仕夫寄帳　（九七〇の五）
慶応四年三月　長帳　一冊

二一五　遠賀郡藤田村広河原堤腹付笠上御普請仕舞目録書上帳　（九七〇の三）
慶応四年三月　長帳　一冊

二一六　遠賀郡藤田村広河原堤腹付笠上御普請仕廻目録書上帳　（九七〇の四）
慶応四年四月　長帳　一冊

二一七　当卯冬ゟ当辰春迄諸普請相仕廻ゟ口〻書抜　（九七〇の六）
（慶応四年）　長綴　一綴

二一八　遠賀郡鳴水村中河頭上堤仕掛溝堀立御普請仕廻目録書上帳　（一一八四）
慶応四年四月　長帳　一冊

三二九　遠賀郡藤田村地行新開内小瀬土手仕調御普請杭竹伐持出共ニ仕廻目録書上帳　（九七〇二）
慶応四年閏四月　長帳　一冊

三三〇　尾倉村小伊藤御郡橋御掛替夫仕帳　（九四二）
慶応四年閏四月　長帳　一冊

三三一　遠賀郡尾倉村往還筋小伊藤御郡土橋御掛替御普請材木仕舞目録書上帳　（九四三）
慶応四年閏四月　長帳　一冊

三三二　遠賀郡若松御積立所下タ浪除柵御普請積書上帳　（九七六）
慶応四年六月　長帳　一冊

三三三　新倉下タ柵御普請中諸控物書付
(1)　新倉下タ柵仕調中夫仕帳　（九七五の一）
慶応四年九月　長帳　一冊

(2)　書状　（九七五の二）
（慶応四年）九月廿五日　切紙　一通
藤木村庄屋代勤副田礼治ゟ普請方楠野太一郎宛

(3)　書状　（九七五の三）
（慶応四年）九月十七日　切紙（包紙入）一通
清水宅右衛門ゟ普請方楠野太一郎宛。受負銀利三郎方へ渡しの間

三三四　戸畑村御馬橋御掛替書類　（九四一）
慶応四年　折紙一通・切紙三通
付、天保三年分普請諸入用書上

三三五　遠賀郡熊手村貞元御開作掛小鷺田堤腹付笠上御普請仕廻目録書上帳　（八七七）
慶応四年　長帳　一冊

三三六　遠賀郡熊手村貞元御開作掛小鷺田堤腹付笠上御普請仕廻目録書上帳　（八七六）
慶応四年　長帳　一冊

三三七　遠賀郡本城触之内拾七ケ村御山輪地削夫仕廻目録書上帳　（九七三の一）
明治二年二月　長帳　一冊
普請方楠野太一郎

三三八　遠賀郡本城触之内拾七ケ村御山輪地削夫仕廻目録書上帳　（九七三の二）
明治二年二月　長帳　一冊

三三九　（仮題）覚　（九七三の七）
（明治二年）　折紙　一通
御山輪地削夫

三四〇　覚　（九七三の八）
（明治二年）　切紙　一通
本城村分御山輪地覚

二三　書状　（九七三の九）
明治二年四月　切紙　一通
御山輪地削仕廻目六の件

二三　中原村御境川御普請中書類　（一六二五）
明治二年四月　（袋入）長綴三綴・切紙十二通

二三　遠賀郡若松御積立所前浪除柵御普請夫積書上帳　（九七八）
明治二年六月　長帳　一冊

二三　修多羅小石頓田安屋四ケ村浜垣御普請控　（九七一）
明治二年七月　長綴（袋入）三綴

二三　遠賀郡戸畑村新川尻御馬橋御掛替仕廻目録書上帳　（九四〇）
明治二年九月　長帳　一冊

二三　戸畑村御馬橋御掛替中手控帳　（九三九）
明治二年九月　長帳　一冊

二三　遠賀郡若松御積立所前浪除柵御普請仕廻目録書上帳　（九七七）
明治二年十月　長帳　一冊

二三　戸畑村巡リ坂幷夜宮両所堤御普請夫仕帳　（九七九の一）
明治三年二月　長帳　一冊

二三　本城触之内拾七ケ村御山輪地削夫仕舞目録書上帳外　（九七九の二）
明治三年二月　長帳四冊合冊

二四〇　修多羅村山ノ口堤洩留臨時御普請夫仕帳　（九七九の三）
明治三年二月　長帳　一冊

二四一　遠賀郡中原村江ノ口御堺杭御建方ニ付御召仕夫数書上帳　（九七九の四）
明治三年二月　長帳　一冊

二四二　中原村一枝仙水両堤御普請中夫仕帳控　（九八〇）
明治三年二月　長綴（袋入）二綴

二四三　遠賀郡戸畑村巡リ坂底樋立樋御仕廻材木仕廻目録書上帳　（一六三六）
明治三年二月　長帳　三冊

二四四　修多羅村山ノ口堤洩留臨時御普請控
(1)　山ノ口堤洩留　（九七二の一）
明治三年二月　長綴　一綴

(2)　遠賀郡修多羅村山ノ口堤洩留臨時御普請夫積書上帳　（九七二の二）
明治三年二月　長帳　一冊

(3)　修多羅村山ノ口堤洩留臨時御普請夫仕帳　（九七二の三）
明治三年二月　長綴　一綴

二四五　中原村江ノ口御境川御普請夫仕控　（九七四）
明治三年三月　長帳　三冊
中原村江ノ口御境川御普請夫仕帳、遠賀郡中原村御境川江ノ口柵損仕戻諸品幷夫積書上帳

二四六　大蔵村川筋御普請夫仕帳　（一六三三）
明治三年四月　（袋入）長綴二綴・切紙八通

二四七　安屋頓田小石修多羅四ケ村浜垣御普請夫仕帳　（九七一の一・二）
明治三年八月　長帳　二冊

二四八　遠賀郡本城触之内 修多羅 小石安屋頓田四ケ村御田地囲浜垣御普請夫積書上帳　（九七一の三）
明治三年六月　長帳　一冊

二四九　戸畑村汐井崎開作小瀬土手御普請諸控　（九八一）
明治三年四月　（袋入）長綴二綴・切紙一通
竹杭受取覚、日雇覚、送状

二五〇　普請御用物譲渡間通　（一六八〇）
明治三年八月　長帳　一冊

二五一　触状　（一三〇七）
（江戸後期）二月十五日　巻紙（包紙入）一通
大庄屋太一郎ゟ、黒崎宿木屋掛入用竹把数の件

二五二　小竹送り状　（一〇八九）
（江戸後期）寅四月十八日　切紙（包紙入）二通

二五三　亥年分浜垣伐出覚　（一三五二）
（江戸後期）　長綴　一綴

二五四　（仮題）洪水破損仕戻シ郡中拼夫修多羅触ゟ払出分覚　（一三九九）
（江戸後期）亥七月　長綴　一綴

二五五　岩屋御定番御役宅御普請材木継送夫　（一四八三）
（江戸後期）　折紙　一通

二五六　廻文　（一九八九）
（江戸後期）五月十六日　切紙（包紙入）一通
普請方楠野太一郎ゟ。秋月様御乗船道普請出夫賃銭の件

二五七　藤田村御立退道幷ニ秋月様御乗船道御普請中召仕ゟ出夫寄帳　（一六〇五）
（江戸後期）寅四月　長綴　二綴

二五八　丑春普請積帳　（一七二五）
（江戸後期）　切紙（袋入）七通
若松村中川浚出夫賃銭、藤田村堤普請、大蔵村抱枝光村水引溝普請外

二五九　普請方来書　（一九三六）
（江戸後期）　切紙　一通
庄屋清三郎宛

二六〇　黒崎宿焼失ニ付木屋掛 入用松丸 太修多羅触ゟ御渡ニ相成ゟ分覚　（一九五九）
（江戸後期）　切紙　一通

二六一　畠田村御証拠前　（二〇五四の一）
（江戸後期）　切紙　一通
太一郎宛。竹・薪御用

二六二（仮題）達　（一九七三）
（江戸後期）四月十三日　切紙　一通
郡役所ゟ太一郎宛。洪水破損所仕戻普請仕廻目録の件

二六三　覚　（一九八四）
（江戸後期）十二月四日　切紙　二通
郡役所ゟ。杉板代銀

二六四　石堂橋材木惣積帳　（一五七四）
（江戸後期）　長帳　一冊

二六五　江川浚御証拠扣　（九八五の一）
（江戸後期）　書綴　一綴

二六六　諸御用夫　（九八五の三）
（江戸後期）　長綴　一綴

二六七（仮題）夫数覚　（九八五の四）
（江戸後期）　長綴　一綴

二六八（仮題）普請用具書上　（九八五の五）
（江戸後期）　長綴　一綴

二六九（仮題）夫数覚　（九八五の六）
（江戸後期）　長綴　一綴

二七〇（仮題）御用夫覚　（九八五の七）
（江戸後期）　長綴　一綴

二七一（仮題）大工賃銭覚　（九八五の八）
（江戸後期）　長綴　一綴

二七二（仮題）各村抱家士覚　（九八五の九）
（江戸後期）　長綴　一綴

二七三　請取　（九八五の一〇）
（江戸後期）　書綴　一綴
普請方楠野太一郎宛。大工賃銭

二七四　書状　（九八五の一一）
（江戸後期）正月十三日　巻紙　一通
太一郎宛。大工賃銭

二七五（仮題）達　（九八五の一二）
（江戸後期）九月三日　切紙　一通
底井野郡役所ゟ普請方楠野太一郎宛。修覆証拠差越ゟ様村方へ達の事

二七六　石堂橋懸替御用材木持出夫銭御国中割遠敷両郡割方帳　（九八四の五）
（江戸後期）　長帳　一冊

二七七（仮題）夫数覚　（九八四の六）
（江戸後期）　長綴　一綴
黒崎田町船入浚出夫書上外

二七八　修多羅村堤井樋唐戸軸帳　（二八九）
（江戸後期）　書綴　一綴

二七九　堤雑用　（一六七二）
（江戸後期）　折紙　一通

二八〇　頓田大鳥居両村高汐荒ならし銭払目録　（一二八二）
（江戸後期）四月廿九日　一紙　一通
頓田村庄屋武四郎外ゟ

二八一　修多羅村山ノ口堤夫寄帳　（九六四）
（江戸後期）　長綴　一綴

二八二　枝光村登せ川御普請ニ召仕ゟ分夫寄帳　（八七三）
（江戸後期）　長綴　一綴

二八三　堤溝川一切夫積帳ノ辻写　（七一一）
（江戸後期）　小横綴　一綴
修多羅触

二八四　（仮題）畑谷堤夫数覚　（八九四の一九）
（江戸後期）　一紙　一通

二八五　川筋洪水出夫高　（二〇二七）
（江戸後期）　長綴　一綴

二八六　覚　（六六九の五）
（江戸後期）　長綴　一綴
洪水夫辻

二八七　村〻洪水荒夫数書抜帳　（六八三）
（江戸後期）　長綴　一綴

二八八　当戌六月洪水荒郡中拼幷触中夫拼割方帳　（一七七）
（江戸後期）　長帳　一冊
修多羅触

二八九　当戌六月洪水荒郡中拼幷触中夫拼割方帳　（六九五）
（江戸後期）　長帳　一冊
修多羅触

二九〇　（仮題）達　（七二三の二）
（江戸後期）　長綴　一綴
荒田畠仕戻の分夫積作成の事

二九一　御免用大工賃請取書　（一〇六三）
（江戸後期）巳二月朔日　切紙（包紙入）一通
竹並村免用大工ゟ普請方楠野太一郎宛

二九二　請取　（一九四三）
（江戸後期）　切紙　一綴
丸太代、賃銭

二九三　（仮題）諸覚　（二〇五三）
（江戸後期）　書綴　一綴
普請郡夫外

二九四　覚　（一七〇三）
（江戸後期）五月十六日　折紙　一通
普請方楠野太一郎ゟ久我彦次郎宛。夫数

二九五　（仮題）勘定書　（六五五の二〇）
（江戸後期）　巻紙　一通
小敷村茂一郎ゟ。普請用

二九六　覚　（一四六五）
（江戸後期）　切紙　二通
陣原村夫銭預末松文九郎ゟ普請方楠野太一郎宛。付、書状一通

二九七　受取　（一九八一）
（江戸後期）八月十一日　切紙　一通
若松ゟ仮郡家宛。丁銭

二九八　請取　（一九五四）
（江戸後期）子八月十六日　切紙　一通
小竹村庄屋香山壮一ゟ。名古屋崎木屋入用諸品代

二九九　受取　（一七一五）
（江戸後期）　切紙　一通
郡家三右衛門ゟ仮郡屋助吉宛。半縄草鞋代

三〇〇　送り状　（一七一四）
（江戸後期）七月廿九日　切紙　一通
枝光村ゟ若松役場宛。半縄

三〇一　（仮題）覚　（一六六一）
（江戸後期）八月七日　切紙　二通
名古屋崎台場矢留土手仕調相成ル間

三〇二　覚　（一六三八）
（江戸後期）　切紙　一綴
藤田村分。灰代、大工賃

三〇三　書状　（一九四七）
（江戸後期）十月廿七日　切紙　一通
藤木村庄屋二三太ゟ大庄屋太一郎宛。洪水荒仕戻郡中拼の件

三〇四　（仮題）覚　（一四三六）
（江戸後期）　長綴　一綴
普請箇所と夫数

三〇五　覚　（一四一二）
（江戸後期）　切紙　一通
半七ゟ楠野嘉作宛。普請諸費用

三〇六　書状　（一三七二）
（江戸後期）三月十二日　切紙　一通
大庄屋松井久五郎ゟ大庄屋太一郎宛。払川砂積寄の件

三〇七　書状　（八九四の四）
（江戸後期）十一月十九日　切紙　一通
応接方ゟ楠野太一郎宛。名古屋崎中ノ嶋台場修覆御用の件

三〇八　書状　（一二四一）
（江戸後期）九月八日　切紙　一通
庄屋小林ゟ普請方楠野太一郎宛。名古屋崎仮陣屋建方の節茶湧夫の件

三九　新歳つもり覚　（九二六）
（江戸後期）　長綴　一綴

8 津出

一　御米津出覚帳　（五二）
天保十一年九月　長帳　一冊

二　遠賀郡山鹿村ゟ洲口出御願申上ル事　（一八四八）
嘉永七年九月　一紙　一通
庄屋浜中又右衛門ゟ郡役所宛

三　覚　（一七七四）
（江戸後期）十一月十八日　切紙　一通
安田作次郎ゟ楠野太一郎宛。返済米洲口出証拠等請取

四　七月廿九日津出俵数覚　（一一九）
（江戸後期）　折紙　一通

五　修多羅村洲口出証拠　（一〇九二）
天保六年十月　一紙（包紙入二通
米

六　書状　（二〇七八）
（江戸後期）一月廿四日　切紙　一通
松井正五郎ゟ太一郎宛。洲口出願の件

9 金融

(1) 貸借

一　大福帳　（八一六）
寛政七年　長帳　一冊

二　大福萬覚帳　（八〇八）
文化八年　長帳　一冊

三　大福萬覚帳　（八〇六）
文化十年　長帳　一冊

四　大福萬覚帳　（八〇四）
文政三年　長帳　一冊

五　大福萬覚帳　（八〇三）
文政六年　長帳　一冊

六　大福萬覚帳　（八〇七）
文政十年　長帳　一冊

七　大福萬覚帳　（八〇一）
文政十一年　長帳　一冊

一八　大福萬覚帳　（八〇五）
文政十四年　長帳　一冊
戸畑分

一九　大福帳　（八一二）
天保八年　長帳　一冊

一〇　大福帳　（八一〇）
弘化二年　長帳　一冊

一一　大福帳　（八一三）
弘化三年　長帳　一冊

一二　大福帳　（七九九）
嘉永四年　長帳　一冊

一三　大福帳　（八〇九）
嘉永五年　長帳　一冊

一四　大福帳　（八一一）
安政六年　長帳　一冊

一五　大福帳　（八一四）
文久二年　長帳　一冊

一六　大福帳　（八一五）
文久四年　長帳　一冊

一七　大福帳　（八〇〇）
元治二年　長帳　一冊

一八（仮題）大福帳　（八〇二）
（江戸後期）　長綴　一冊

一九　銭借用仕証文之事　（一二九五）
文政九年十二月廿三日　一紙　一通
組頭弥八外ゟ庄屋太一郎宛。村方入用仕詰口々差支え分借用

二〇　書入証文之事　（一二七六）
文政九年十二月廿九日　一紙　一通
李平ゟ庄屋太一郎宛

二一　辰右衛門借用銭之内半分其催合出銭致ゟニ付本証文ハ拙者手元へ預置ゟ間手形当時相渡ゟ事　（一六五六）
文政十二年四月　一紙　一通
庄屋太一郎ゟ伝作宛

二二　瓦引当ニ而借用仕証文之事　（一六四八）
文政十二年七月　一紙　一通
弥平ゟ勘吉宛

二三　銭借用仕証文之事　（一六六四）
天保二年四月　一紙　二通
儀右衛門ゟ太一宛。付、銭借用仕ル家屋敷畠共証文之儀（文政七年六月、儀右衛門ゟ貞五郎宛）

二四　銭借用仕証文事　（一六八一）
天保三年十二月　一紙　一通
平次郎ゟ太一郎宛

二五 借用証文之事　（一二七四）
天保四年十一月廿六日　一紙　一通
李三郎ゟ庄屋楠野太一郎宛

二六 借用証文之事　（一〇六六）
天保五年一月十四日　一紙　一通
儀兵衛ゟ波多野宛

二七 金借用仕証文之事　（一三四一）
天保五年十二月　一紙（包紙入）一通
小石村藤右衛門ゟ修多羅村庄屋太一郎宛

二八 借用仕証文之事　（一三四五）
天保七年十二月　一紙　一通
諸用聞正一ゟ庄屋太一郎宛

二九 銭借用仕畠証文之事　（一六五五）
天保八年三月　一紙　一通
儀三次ゟ庄屋太一郎宛

三〇 借用証文之事　（一二一七）
天保八年十二月　一紙　一通
頓田村庄屋武兵衛ゟ大庄屋太一郎宛

三一 借用証文之事　（一二一七）
天保八年十二月　一紙　一通
頓田村庄屋武兵衛ゟ大庄屋太一郎宛。大鳥居村百姓借用

三二 引当ヲ以銭借用仕証文之事　（八九三の一）
天保九年正月　一紙　一通
木守村小林弥一郎ゟ大庄屋佐藤又三郎宛

三三 借用米証拠之事　（一二一八）
天保九年七月　一紙　一通
頓田村庄屋武兵衛ゟ大庄屋太一郎宛

三四 借用証文之事　（一六七五）
天保九年十二月　一紙　一通
焚石会所手代市五郎ゟ庄屋権市郎宛

三五 猪熊村十右衛門芦屋町源助差引道附書上帳　（二四八）
天保十年二月　長綴　一綴
貸借清算

三六 金子借用仕証文之事　（一六五〇）
天保十年十一月　一紙　一通
上名嶋町長崎屋仁右衛門ゟ大庄屋太一郎宛

三七 若松御加子御切米前出□　（七六）
天保十二年八月　長綴　一綴
貸金勘定

三八 （仮題）年賦取極証文　（一九三八）
天保十二年十二月　一紙　一通
魚町小田彦五郎、中西彦九郎

三元　借用銭手形之事　（一三七〇）
弘化二年四月二日　一紙（包紙入）一通
二嶋村庄屋外ゟ慮兵衛宛

四〇　証拠　（八九四の五）
弘化二年十一月十二日　切紙　一通
安川丈右衛門ゟ庄屋慮兵衛宛。借用

四一　借用一札之事　（二〇七九・二〇八〇）
嘉永二年五月　切紙　二通
中原村森相模ゟ庄屋太一郎宛。付、永代売渡田地証文之事

四二　金子借用仕証文之事　（一二七八）
嘉永二年十二月　一紙　一通
若松船大工忠五郎ゟ楠野太一郎宛

四三　借用手形之事　（一三四九）
嘉永三年十二月　一紙　一通
定次ゟ太一郎宛

四四　借用仕証文之事　（一二八一）
嘉永四年十一月　一紙　一通
米屋喜七ゟ楠野太一郎宛

四五　借用証文之事　（一四五一）
嘉永四年十二月　切紙　一通
市五郎ゟ太一郎宛。年貢上納不足に付

四六　証文之事　（一六四二）
嘉永五年十月　巻紙　一通
卯吉ゟ太一郎宛。借銭返済の件

四七　借用証文之事　（一二七二）
安政二年四月十八日　一紙　一通
七右衛門ゟ楠野太一郎宛

四八　預り手形之事　（二〇五七）
安政二年四月　一紙　一通
岩野周蔵ゟ和田円六宛

四九　借用仕証文之事　（一五三四）
安政六年十二月　巻紙　一通
戸畑まかせ中ゟ楠野太一郎宛。米代

五〇　御年貢米及指支ゐニ付借用証文之事　（一三三四）
慶応二年十二月　巻紙　一通
藤右衛門ゟ蔵元宛

五一　借用仕証文之事　（一二七一）
慶応三年七月　一紙　一通
米買主才次郎ゟ楠野右兵多宛

五二　金子借用証文之事　（一二八〇）
慶応三年九月二日　一紙　一通
利七郎ゟ御用聞町人列楠野右兵衛宛

三三　借用証文之事　（一二七〇）
明治四年十二月　一紙(包紙入)一通
柳瀬与一郎ゟ楠野祖作宛。余米不足に付

三四　当時借用手形　（一九七六）
(江戸後期)午四月十四日　切紙　一通
羽田屋ゟ楠野慮兵衛宛

三五　請取　（二〇四三）
(江戸後期)申二月廿七日　切紙　一通
戸畑村佐市ゟ慮兵衛宛。借用米

三六　触仕組講掛銀不足借用分　（一六七四）
(江戸後期)午七月三日　一紙(包紙入)二通
払川村庄屋九助ゟ修多羅村庄屋太一郎宛

三七　手形　（一三四四）
(江戸後期)戌五月廿八日　一紙　一通
米屋甚七ゟ楠野太一郎宛

三八　覚　（一三三二）
(江戸後期)　切紙　二通
庄屋太一郎。貸金勘定

三九　日田金取立覚　（一二三三）
(江戸後期)　折紙　一通

四〇　覚　（一二三二）
(江戸後期)未正月　折紙　四通
湊屋貞次郎ゟ安屋又兵衛宛。借金元利計算

四一　覚　（六五五の二四）
(江戸後期)　切紙　一通
貸金等勘定

四二　覚　（一〇六四の五）
(江戸後期)未四月　長綴　一綴
楠野租作ゟ松井慎一郎宛。貸金覚

四三　覚　（一三〇九）
(江戸後期)辰十二月　切紙　一通
永八ゟ楠野太一郎。元利計算

四四　仕向金取替覚　（八六三）
(江戸後期)丑三月　長綴　一綴
魚町銀主中ゟ

(2)　講

四五　源平発記講ニ書入証文之事　（一三〇六）
天保二年十一月　一紙　一通
左助、利平ゟ

四六　遠賀郡乙丸村仕組講拾七番座閙当分書入証文御年貢余米高書上之事　（九七）
天保九年十一月　書綴　一綴
乙丸村庄屋小七外ゟ遠賀鞍手郡役所宛

四七　預り手形の事　（一九四六）
嘉永七年七月　一紙　一通
岩野周蔵ゟ和田円六宛。引当羽田屋作次講金

六六　（仮題）仕組講案内　（一二三七）
安政三年九月　一紙　二通
発起簱住村松井仁平衛ゟ松井正五郎外宛

六九　寺頼母子出入証文之事　（一二三七）
安政六年十月　一紙　一通
取主永次郎ゟ

七〇　四宮講文久元年酉仕立講配算帳　（一〇七九）
文久元年　長帳　一冊

七一　講御掛銀帳　（一〇七五）
文久元年　小横帳　一冊
遠賀郡頓田村

七二　四宮様講金受取帳　（一〇七六）
文久二年五月　長綴　一綴
頓田村

七三　書状　（一一六二）
（文久二年）十一月　切紙　一通
四宮ゟ頓田村宛。仕立講開講の通知、包紙上書「四宮市右衛門様御仕組講加入一件」

七四　預り手形之事　（六五五の三）
文久三年三月　一紙　一通
松井仁右衛門ゟ楠野太一郎宛。講座割戻金

七五　頼母子掛銭取立帳　（一八六）
（江戸後期）　長綴　一綴

七六　講金受取書物之事　（二〇六八）
（江戸後期）申十二月　一紙　一通
受人岩野富右衛門。修多羅村源九郎発起頼母子

10　商　業

一　諸品直段下被仰付代銭極書上帳　（一二三）
天保十三年七月　長綴　一綴
遠賀郡若松村

二　諸品仕入直段積出高売払直段書上帳　（一二四）
天保十四年八月　長帳　一冊
遠賀郡修多羅触

三　覚　（一三七七）
（江戸後期）三月五日　切紙　一通
高砂屋ゟ又吉宛。備中表等請取

四　覚　（一五四〇）
（江戸後期）　巻紙　一通
仁兵衛ゟ楠野太一郎宛。米代勘定

五　売仕切　（一一四）
（江戸後期）寅　巻紙　一通
赤間関爪生屋吉右衛門ゟ楠野嘉作宛。筑前蔵米五十俵

（一二八六）

（江戸後期）三月五日　切紙　一通

爪生屋幸右衛門ゟ楠野嘉作宛。米売仕切

七 売仕切

（一一三）

（江戸後期）寅十二月廿二日　巻紙　一通

高砂屋吉兵衛ゟ楠埜嘉作宛。筑前大縄米四百廿俵

八 覚

（一六七一）

（江戸後期）酉八月廿五日　一紙　一通

組頭取甚市外ゟ庄屋太一郎宛。指紙御手元へ買取分御配分被下に付

九 米通証拠帳

（一三七）

嘉永三年九月　長帳　一冊

太一郎ゟ売渡分等

一〇 山鹿米代払出帳

（一〇〇五）

（江戸後期）　書綴一綴・一紙三通

一一 請取

（八九四の二一）

（江戸後期）十一月廿一日　切紙　一通

安川丈右衛門ゟ太一郎宛。糯米

11 産業

一 遠賀郡修多羅触村ミ去卯年菜種作高書上帳

（二四）

天保十五年三月　長帳　一冊

二 遠賀郡山鹿魚町ゟ仕上差出之事

（二〇四七）

天保十五年三月　一紙　一通

庄屋小田定右衛門ゟ郡代役所宛。菜種積登り得共仕切銀参り不申候

三 （仮題）酒造株出入の件書付

（一八一）

（江戸後期）　長綴　一綴

四 山鹿魚町ゟ酒造屋増運上返済弐軒分受取申上ル事

（八九四の八）

（江戸後期）寅五月二日　切紙　一通

魚町庄屋小田定右衛門ゟ大庄屋太一郎宛

五 遠賀郡修多羅触酒造屋中御請申上書物之事

（七四六）

天保十五年十二月　書綴　一綴

三分二酒造可仕

六 御郡御仕組焚石斤数幷御益銭月々勘定帳

（一二五）

天保八年三月　長帳　一冊

七 焚石旅出歳次願ニ付出府雑用割方帳

（一二三）

天保九年十二月　長綴　一綴

八 亥正月ゟ焚石御益銭高書上帳

（一八〇）

天保十年正月　長綴　一綴

若松焚石会所手代

九 焚石丁場願上帳

（一二〇七）

天保十二年七月　書冊　一冊

一〇　焚石会所作法書　（一二〇八）
（江戸後期）　書綴　一綴

一一　証拠之事　（一五三三）
（江戸後期）未六月廿八日　一紙　一通
若松焚石会所ゟ修多羅村役人中宛。野面石渡方依頼

一二　写　（一八九の六）
（江戸後期）酉八月　折紙　一通
若松石炭問屋市五郎。焚石会所手代役申付ゟ

一三　写　（一八九の七）
（江戸後期）酉八月　折紙　一通
若松村焚石問屋武市。焚石旅出売捌方申付ゟ

一四　目違金　（一八九の八）
（江戸後期）　折紙　一通

一五　（仮題）勘定書　（一八九の九）
（江戸後期）　小横綴　一綴

12　戸口・宗門

一　修多羅村人払帳　（四三八）
明和八年三月　書冊　一冊

二　遠賀郡修多羅村中切支丹宗門重畳御改被成ニ附仕上書物之事　（一三二七）
文化十一年八月　巻紙　一通

三　修多羅村人払帳　（四三九）
文政六年三月　書冊　一冊

四　遠賀郡修多羅村人払帳　（四九二）
文政七年三月　書冊　一冊

五　遠賀郡修多羅村人払帳　（四九一）
文政九年三月　書冊　一冊

六　遠賀郡戸畑村庄屋組頭乍恐未進判者払捨御願申上ル事　（一四一七）
文政十二年正月　一紙　一通
戸畑村庄屋太一郎ゟ郡代役所宛

七　修多羅村人払帳　（四四一）
文政十三年三月　書冊　一冊

八　遠賀郡山鹿魚町喜七御願申上ル事　（一八九六）
天保三年正月　巻紙　一通
郡代役所宛。宗旨払

九　遠賀郡修多羅村地神経盲僧書上申事　（一四三一）
天保三年三月　一紙　一通
庄屋太一郎ゟ

一〇　修多羅村人払帳　（四五六）
天保三年三月　書冊　一冊

一一　修多羅村人払帳　（四四〇）
天保四年三月　書冊　一冊

一二　遠賀郡修多羅村ゟ乍恐御願申上口上覚　（一四九二）
天保五年二月　巻紙　一通
与吉ゟ郡代役所宛。与吉名子他郡出宗旨払願

一三　下底井野触ニ入人書抜帳　（五六〇）
天保五年三月　書冊　一冊

一四　修多羅村人払帳　（四四二）
天保五年三月　書冊　一冊

一五　（仮題）宗旨御改帳　（四六五）
天保五年～嘉永二年二月　書綴　一綴

一六　遠賀郡蜑住触村々人柄払捨願書上帳　（五二九）
天保六年正月　書綴　一綴

一七　遠賀郡蜑住触他国者入判願書上帳　（五二一）
天保六年正月　書冊　一冊

一八　仕上書物之事　（一四八六）
天保六年三月　一紙　一通
極楽寺ゟ久野甚平外宛。他国之者当春ゟ拙者旦那差加え

一九　本城触宗旨出入帳　（五六八）
天保六年三月　書冊　一冊

二〇　蜑住触出人書抜帳　（五六七）
天保六年三月　書冊三冊合冊
木守触・下底井野触共

二一　本城触入人帳　（五五一）
天保六年三月　書冊　一冊

二二　木守触江入人書抜帳　（五四九）
天保六年三月　書冊　一冊

二三　蜑住触入人書抜帳　（五四八）
天保六年三月　書冊　一冊

二四　遠賀郡村々江御家中ゟ入人書抜帳　（五五〇）
天保六年四月　書冊　一冊

二五　遠賀郡村々ゟ御家中江出入証拠帳　（四三六）
天保六年四月　書冊　一冊

二六　天保七申春宗旨前願控　（五六九）
天保七年　書綴　一綴
蜑住触

二七　蜑住触入人書抜帳　（五六一）
天保七年三月　書冊　一冊

二八　蜑住触出人書抜帳　（五二三）
天保七年三月　書冊　一冊

二九　遠賀郡蜑住触二嶋村山鹿魚町ゟ上浦出宗旨払願書上帳　（四四六）
天保八年正月　長帳　一冊

三〇　遠賀郡蜑住触他国者入判願書上帳　（五三二）
天保八年正月　書冊　一冊

三一　蜑住触出入書抜帳　（五六三）
天保八年三月　書冊　一冊

三二　蜑住触入人書抜帳　（五六二）
天保八年三月　書冊　一冊

三三　遠賀郡修多羅村地神経盲僧書上申事　（五一四の一）
天保八年三月　一紙（包紙）一通
庄屋権一郎ゟ久野甚平外宛

三四　蜑住触村々宗旨未進判之者書上帳　（四六九）
天保八年三月　書冊　一冊

三五　郷筒平猟師名元控帳　（四五九）
天保八年四月　長帳　一冊
修多羅触

三六　天保八酉春宗旨前願控　（四三三）
天保八年　書綴　一綴
蜑住触

三七　遠賀郡修多羅触村々人柄払捨願書上帳　（四七三）
天保九年正月　書冊　一冊

三八　修多羅触入人書抜帳　（五一九）
天保九年三月　書冊　一冊

三九　遠賀郡中ゟ御家中江出入証拠帳　（五一八）
天保九年三月　書綴　一綴

四〇　遠賀郡修多羅触村々宗旨未進判之者書上帳　（四四四）
天保九年三月十九日　書綴　一綴

四一　触中惣人高帳　（四一五）
天保九年三月　書冊　一冊

四二　宗旨出払願控　（四三一）
天保九年　書冊　一冊

四三　遠賀郡修多羅触小石村小竹村ゟ上浦出宗旨払願書上帳　（四四五）
天保十年正月　長帳　一冊

四四　遠賀郡修多羅触小石村小竹村ゟ上浦出宗旨払願書上帳　（四四九）
天保十年正月　長帳　一冊

四五　宗旨前願類一切控　（四五五）
天保十年正月　書冊　一冊

四六　遠賀郡修多羅触村々人柄払捨願書上帳
　天保十年正月　書冊　一冊　（五二六）
四七　遠賀郡修多羅触村々人柄払捨願書上帳
　天保十年正月　書冊　一冊　（五二五）
四八　遠賀郡修多羅触他国者入判願書上帳
　天保十年正月　書冊　一冊　（五三一）
四九　遠賀郡頓田村ゟ未進判之者書上申事
　天保十年二月　巻紙　一通　（一二七五）
　頓田村庄屋武兵衛ゟ宗旨奉行役所宛
五〇　遠賀郡山鹿魚町人払帳
　天保十年二月　書冊　一冊　（五七九）
五一　遠賀郡払川村人払帳
　天保十年三月　書冊　一冊　（五九七）
五二　修多羅触人高帳
　天保十年三月　長帳　一冊　（四二八）
五三　修多羅触出人書抜帳
　天保十年三月　書冊　一冊　（五二四）
五四　遠賀郡修多羅村人払帳
　天保十年三月　書冊　一冊　（四八八）
五五　修多羅村人払帳
　天保十年三月　書冊　一冊　（四六八）

五六　遠賀郡浅川村人払帳
　天保十年三月　書冊　一冊　（五四〇）
五七　遠賀郡戸畑村人払帳
　天保十年三月　書冊　一冊　（五三六）
五八　遠賀郡山鹿村人払帳
　天保十年三月　書冊　一冊　（五三五）
五九　本城触入人書抜帳
　天保十年三月　書冊　一冊　（五六五）
六〇　本城触出人書抜帳
　天保十年三月　書冊　一冊　（五六四）
六一　遠賀郡中ゟ御家中江出人証拠帳
　天保十年三月　書冊　一冊　（五四七）
六二　修多羅触江入人書抜帳
　天保十年三月　書冊　一冊　（五四六）
六三　遠賀郡乙丸村人払帳
　天保十年三月　書冊　一冊　（五四三）
六四　遠賀郡塩屋村人払帳
　天保十年三月　書冊　一冊　（五四二）
六五　遠賀郡中原村人払帳
　天保十年三月　書冊　一冊　（五四一）

六六　修多羅触出人書抜帳
天保十年三月
書冊　一冊　（五六六）

六七　遠賀郡大鳥居村人払帳
天保十年三月
書冊　一冊　（五七一）

六八　遠賀郡安屋村人払帳
天保十年三月
書冊　一冊　（五七二）

六九　遠賀郡蜑住村人払帳
天保十年三月
書冊　一冊　（五七六）

七〇　遠賀郡高須村人払帳
天保十年三月
書冊　一冊　（五七七）

七一　遠賀郡枝光村人払帳
天保十年三月
書冊　一冊　（五七八）

七二　遠賀郡頓田村人払帳
天保十年三月
書冊　一冊　（六二一）

七三　遠賀郡畠田村人払帳
天保十年三月
書冊　一冊　（六二〇）

七四　遠賀郡小竹村人払帳
天保十年三月
書冊　一冊　（六一九）

七五　遠賀郡小鋪村人払帳
天保十年三月
書冊　一冊　（六〇四）

七六　遠賀郡藤木村人払帳
天保十年三月
書冊　一冊　（六〇一）

七七　遠賀郡二嶋村人払帳
天保十年三月
書冊　一冊　（六〇〇）

七八　遠賀郡竹並村人払帳
天保十年三月
書冊　一冊　（五九九）

七九　遠賀郡払川村人払帳
天保十年三月
書冊　一冊　（五九六）

八〇　遠賀郡蜑住皮多村人払帳
天保十年三月
書冊　一冊　（五九三）

八一　遠賀郡若松村人払帳
天保十年三月
書冊　一冊　（五九二）

八二　遠賀郡小石村人払帳
天保十年三月
書冊　一冊　（五九〇）

八三　遠賀郡有毛村人払帳
天保十年三月
書冊　一冊　（五八九）

八四　遠賀郡山鹿村皮多人払帳
天保十年三月
書冊　一冊　（五八〇）

八五　（仮題）御家中御家来判之者名元等書上
天保十年九月
書綴　一綴　（八九四の三）

八六 （仮題）覚　（一〇一四の三）
天保十年　長綴　一綴
御家中家来判の者調

八七 遠賀郡修多羅村々御家中奉公出之者名元書上帳　（八一八）
天保十年　長綴　一綴

八八 亥年分宗旨受払控帳　（二三）
天保十年　長綴　一綴

八九 遠賀郡修多羅触村々御家中奉公出之者名元書上帳　（八四一）
天保十年　長帳　一冊

九〇 遠賀郡修多羅触二嶋小敷両村ゟ浦出宗旨払願書上帳　（四五〇）
天保十一年正月　長帳　一冊

九一 遠賀郡修多羅触二嶋小敷両村ゟ上浦出宗旨払願書上帳　（四四八）
天保十一年正月　長綴　一綴

九二 遠賀郡修多羅触村々人柄払捨願書上帳　（五二七）
天保十一年正月　書冊　一冊

九三 遠賀郡山鹿魚町さく御願申上ル事　（五一四の四）
天保十一年正月　巻紙　一通
山鹿魚町さくゟ遠賀鞍手郡役所宛

九四 遠賀郡修多羅触他国者入判願書上帳　（五一三）
天保十一年正月　書冊　一冊

九五 修多羅触村々之内御家中判之者名元書上帳　（四五四）
天保十一年二月　長帳　一冊

九六 遠賀郡浅川村人払帳　（五四四）
天保十一年二月　書冊　一冊

九七 遠賀郡塩屋村人払帳　（五八六）
天保十一年二月　書冊　一冊

九八 遠賀郡小鋪村人払帳　（六一〇）
天保十一年二月　書冊　一冊

九九 遠賀郡高須村人払帳　（五八五）
天保十一年三月　書冊　一冊

一〇〇 遠賀郡若松村人払帳　（五八四）
天保十一年三月　書冊　一冊

一〇一 遠賀郡有毛村人払帳　（六〇九）
天保十一年三月　書冊　一冊

一〇二 遠賀郡枝光村人払帳　（六〇三）
天保十一年三月　書冊　一冊

一〇三 遠賀郡戸畑村人払帳　（六〇二）
天保十一年三月　書冊　一冊

一〇四 遠賀郡修多羅村人払帳　（五九五）
天保十一年三月　書冊　一冊

一〇五　遠賀郡払川村人払帳　（五九四）
天保十一年三月　書冊　一冊

一〇六　遠賀郡藤木村人払帳　（五九一）
天保十一年三月　書冊　一冊

一〇七　遠賀郡蜑住皮多村人払帳　（五八八）
天保十一年三月　書冊　一冊

一〇八　遠賀郡山鹿村皮多人払帳　（五八七）
天保十一年三月　書冊　一冊

一〇九　遠賀郡乙丸村人払帳　（六三一）
天保十一年三月　書冊　一冊

一一〇　遠賀郡竹並村人払帳　（六三〇）
天保十一年三月　書冊　一冊

一一一　遠賀郡大鳥居村人払帳　（六一一）
天保十一年三月　書冊　一冊

一一二　遠賀郡蜑住村人払帳　（五八二）
天保十一年三月　書冊　一冊

一一三　遠賀郡安屋村人払帳　（五八一）
天保十一年三月　書冊　一冊

一一四　遠賀郡頓田村人払帳　（五七五）
天保十一年三月　書冊　一冊

一一五　遠賀郡山鹿村人払帳　（五七四）
天保十一年三月　書冊　一冊

一一六　遠賀郡二嶋村人払帳　（五七三）
天保十一年三月　書冊　一冊

一一七　遠賀郡中原村人払帳　（五七〇）
天保十一年三月　書冊　一冊

一一八　遠賀郡畠田村人払帳　（五五四）
天保十一年三月　書冊　一冊

一一九　遠賀郡小竹村人払帳　（五五三）
天保十一年三月　書冊　一冊

一二〇　遠賀郡小石村人払帳　（五五二）
天保十一年三月　書冊　一冊

一二一　遠賀郡修多羅触村々之内御家中判之者調子書上帳　（四五三）
天保十一年五月　長帳　一冊

一二二　遠賀郡修多羅触村々宗旨秋御改未進判之者名元書上帳　（四四三）
天保十一年八月十四日　書冊　一冊

一二三　遠賀郡山鹿魚町人払帳　（五八三）
天保十一年　書冊　一冊

一二四　（仮題）御家中奉公願　（一〇一四の二）
天保十一年　長綴　一綴

一三五　宗旨前願控　（四七五）
天保十二年正月　書冊　一冊
修多羅触

一三六　遠賀郡修多羅触山鹿魚町上浦出宗旨払願書上帳　（五一〇）
天保十二年正月　長帳　一冊

一三七　修多羅触人高帳　（四二九）
天保十二年二月　長綴　一綴

一三八　修多羅村宗旨誓紙段取帳　（一四）
天保十二年三月　長綴　一綴

一三九　宗旨御改ニ付証こ之事　（五一四の一五）
天保十二年四月　長綴　一綴

一四〇　遠賀郡修多羅触村々医師名元書上帳　（八四〇）
天保十二年　長帳　一冊

一四一　遠賀郡修多羅触山鹿魚町上浦出宗旨払願書上帳　（五一一）
天保十二年　長帳　一冊

一四二　遠賀郡修多羅触村々人柄払捨書上帳　（五二八）
天保十二年　書冊　一冊

一四三　遠賀郡修多羅触他国者入判願書上帳　（五三〇）
天保十二年　書冊　一冊

一四四　遠賀郡修多羅村中切支丹宗門重畳御改被成ニ付仕上書物之事　（一六五一）
天保十二年　巻紙　一通
大庄屋太一郎・庄屋慮兵衛外6久野甚平外宛

一四五　（仮題）宗旨改帳　（一二五〇）
天保十二年　断簡　一枚

一四六　（仮題）宗旨覚　（五一四の一六）
天保十二年　断簡　二枚

一四七　遠賀郡修多羅触有毛村6上浦出宗旨払願書上帳　（四四七）
天保十三年正月　長帳　一冊

一四八　宗旨前願控　（四三五）
天保十三年正月　書冊　一冊

一四九　遠賀郡修多羅触村々医師名元書上帳　（四五八）
天保十三年正月　長帳　一冊

一五〇　遠賀郡修多羅触村々江入込居候旅日雇国所名元書上帳　（四六一）
天保十三年正月　長帳　一冊

一五一　遠賀郡修多羅触他国者入判願書上帳　（五四五）
天保十三年正月　書冊　一冊

一五二　修多羅触人高帳　（四三〇）
天保十三年二月　長帳　一冊

一四三　修多羅村宗旨誓紙段取帳　（一二）
天保十三年三月　長綴　一綴

一四四　遠賀郡修多羅村人払帳　（四七一）
天保十三年三月　書冊　一冊

一四五　修多羅触村々宗旨未進判之者書上帳　（四六七）
天保十二年三月　書冊　一冊

一四六　修多羅触出入書抜帳　（五五九）
天保十三年三月　書綴　一綴

一四七　（仮題）庄屋組頭御注進申上ル口上覚　（七六八の二）
天保十三年　書綴　一綴
宗旨の事

一四八　遠賀郡修多羅触村々人柄払捨願書上帳　（五五八）
天保十三年　書綴　一綴

一四九　遠賀郡修多羅触二嶋有毛乙丸山鹿ゟ上浦出宗旨払願書上帳　（四五二）
天保十四年正月　長帳　一冊

一五〇　遠賀郡修多羅触二嶋有毛乙丸山鹿ゟ上浦出宗旨払願書上帳　（四五一）
天保十四年正月　長帳　一冊

一五一　遠賀郡修多羅触村々人柄払捨書上帳　（四九六）
天保十四年正月　書冊　一冊

一五二　遠賀郡修多羅触他国者入判願書上帳　（五一二）
天保十四年正月　書冊　一冊

一五三　遠賀郡山鹿村儀三郎御願申上ル事　（一八六五）
天保十四年正月　巻紙　一通
郡代役所宛。宗旨払願

一五四　遠賀郡有毛村遊民儀之助乍恐御願申上事　（一七三一）
天保十四年正月　書綴　一綴
郡代役所宛。家中奉公仕度願

一五五　遠賀郡山鹿魚町人払帳　（六一五）
天保十四年二月　書冊　一冊

一五六　遠賀郡小鋪村人払帳　（六一六）
天保十四年二月　書冊　一冊

一五七　遠賀郡高須村人払帳　（六二八）
天保十四年二月　書冊　一冊

一五八　遠賀郡修多羅触人高帳　（四二七）
天保十四年三月　長帳　一冊

一五九　遠賀郡中人高帳　（四二五）
天保十四年三月　長帳　一冊

一六〇　修多羅村宗旨誓紙段取帳　（一一）
天保十四年三月　長帳　一冊

一六一　遠賀郡修多羅村人払帳
　天保十四年三月
　書冊　一冊
　（四九四）

一六二　遠賀郡修多羅村人払帳
　天保十四年三月
　書冊　一冊
　（四九五）

一六三　遠賀郡修多羅村宗旨御改帳
　天保十四年三月
　浄土宗
　書冊　一冊
　（四八二）

一六四　遠賀郡修多羅村宗旨御改帳
　天保十四年三月
　真宗
　書冊　一冊
　（四八一）

一六五　遠賀郡山鹿村人払帳
　天保十四年三月
　書冊　一冊
　（六一四）

一六六　遠賀郡有毛村人払帳
　天保十四年三月
　書冊　一冊
　（六一三）

一六七　遠賀郡蜑住皮多村人払帳
　天保十四年三月
　書冊　一冊
　（六一二）

一六八　遠賀郡山鹿村皮多人払帳
　天保十四年三月
　書冊　一冊
　（六〇八）

一六九　遠賀郡塩屋村人払帳
　天保十四年三月
　書冊　一冊
　（六〇七）

一七〇　遠賀郡払川村人払帳
　天保十四年三月
　書冊　一冊
　（六〇六）

一七一　遠賀郡大鳥居村人払帳
　天保十四年三月
　書冊　一冊
　（六〇五）

一七二　遠賀郡藤木村人払帳
　天保十四年三月
　書冊　一冊
　（五三九）

一七三　遠賀郡枝光村人払帳
　天保十四年三月
　書冊　一冊
　（五三八）

一七四　遠賀郡蜑住村人払帳
　天保十四年三月
　書冊　一冊
　（五三七）

一七五　遠賀郡竹並村人払帳
　天保十四年三月
　書冊　一冊
　（五三四）

一七六　遠賀郡若松村人払帳
　天保十四年三月
　書冊　一冊
　（五三三）

一七七　遠賀郡二嶋村人払帳
　天保十四年三月
　書冊　一冊
　（六二九）

一七八　遠賀郡中江入人書抜帳
　天保十四年三月
　書冊　一冊
　（五二〇）

一七九　遠賀郡中ゟ御家中江出入証拠帳外
　天保十四年三月
　書冊　一冊
　（五一七）

一八〇　遠賀郡浅川村人払帳　（六二七）
天保十四年三月　書冊　一冊

一八一　遠賀郡小石村人払帳　（六二六）
天保十四年三月　書冊　一冊

一八二　遠賀郡安屋村人払帳　（六二五）
天保十四年三月　書冊　一冊

一八三　遠賀郡中原村人払帳　（六二四）
天保十四年三月　書冊　一冊

一八四　遠賀郡乙丸村人払帳　（六二三）
天保十四年三月　書冊　一冊

一八五　遠賀郡頓田村人払帳　（六二二）
天保十四年三月　書冊　一冊

一八六　遠賀郡小竹村人払帳　（六一八）
天保十四年三月　書冊　一冊

一八七　遠賀郡畠田村人払帳　（六一七）
天保十四年三月　書冊　一冊

一八八　本城触入人書抜帳　（六三九）
天保十四年三月　書冊四冊合冊
下底井野・別府・修多羅触分共

一八九　本城触出人書抜帳　（五二二）
天保十四年三月　書冊三冊合冊
下底井野・別府触

一九〇　遠賀郡修多羅触村々御家中奉公出之者名元書上帳　（五〇九）
天保十四年　長帳　一冊

一九一　卯年宗旨前願控帳　（四九九）
天保十四年　書冊　一冊

一九二　遠賀郡若松村ゟ仕上差出之事　（四〇八）
天保十五年正月　書綴　一綴
若松村庄屋松井一内外ゟ郡代役所宛。宗旨払の件

一九三　遠賀郡修多羅触村々医師名元書上帳　（四五七）
天保十五年正月　長帳　一冊

一九四　宗旨前願口々控帳　（四七七）
天保十五年正月　書冊　一冊

一九五　遠賀郡修多羅触畠田有毛山　鹿同魚町四ケ所ゟ上浦出宗旨払願書上帳　（五〇七）
天保十五年正月　長帳　一冊

一九六　遠賀郡山鹿村庄屋組頭ゟ御願申上ル事　（一八三九）
天保十五年正月　一紙　一通
郡代役所宛。宗旨払願

一九七　遠賀郡頓田村ゟ乍恐御願申上候口上之覚　（三九六）
天保十五年二月　書綴　一綴
数ケ年村方出奔、村方へ立帰候者共未進判の件

一九八　遠賀郡山鹿魚町人払帳　（五九八）
天保十五年二月　書冊　一冊

一九九　遠賀郡穢多居所附帳　（五〇三）
天保十五年三月　長帳　一冊

二〇〇　遠賀郡修多羅村宗旨御改帳　（五一五）
天保十五年三月　書冊　一冊

二〇一　遠賀郡修多羅村人払帳　（四九三）
天保十五年三月　書冊　一冊

二〇二　宗旨判賃取立帳　（四六三）
天保十五年三月　長帳　一冊

二〇三　遠賀郡修多羅触平猟師之内役儀受持居申候もの幷老人病人共ニ名元書抜帳　（四六〇）
天保十五年七月　長帳　一冊

二〇四　修多羅触人高帳　（四二六）
天保十五年三月　長帳　一冊

二〇五　遠賀郡修多羅触畠田有毛山鹿同魚町四ケ所ゟ上浦出宗旨払願書上帳　（八六五）
天保十五年　長帳　一冊

二〇六　遠賀郡山鹿村甚右衛門御願申上ル事　（一八七四）
弘化二年正月　一紙　一通
山鹿村甚右衛門ゟ郡代役所宛。宗旨払願

二〇七　帰参人書物案書　（一八五三）
弘化二年十一月　一紙　一通
大願寺隼与ゟ小河武兵衛宛

二〇八　帰参人書物案書　（一八一二）
弘化二年十一月　一紙　一通
山鹿村庄屋浜中又右衛門ゟ宗旨方役所宛

二〇九　遠賀郡山鹿魚町未進判之者払捨御願申上ル事　（一八六四）
弘化三年正月　巻紙　一通
郡代役所宛

二一〇　遠賀郡山鹿村未進判之者払捨御願申上事　（一八五〇）
弘化三年正月　巻紙　一通
庄屋浜中又右衛門ゟ郡代役所宛

二一一　遠賀郡修多羅村人払帳　（四九七）
弘化三年三月　書冊　一冊

二一二　遠賀郡修多羅村人払帳　（五〇〇）
弘化四年三月　書冊　一冊

二一三　遠賀郡修多羅村宗旨御改帳　（四八六）
弘化四年三月　書冊　一冊
浄土宗

二一四　修多羅村宗旨段取帳　（一七）
弘化五年三月　長帳　一冊

二五　遠賀郡修多羅村人払帳　（五〇一）
弘化五年三月　書冊　一冊

二六　修多羅村宗旨御改帳　（四六六）
嘉永二年三月　書冊　一冊
浄土宗

二七　遠賀郡修多羅村宗旨御改帳　（四六四）
嘉永二年三月　書冊　一冊

二八　遠賀郡修多羅村人払帳　（四九八）
嘉永二年三月　書冊　一冊

二九　遠賀郡山鹿村庄屋組頭ゟ御願申上ル事　（一八五七）
嘉永五年正月　一紙　一通
庄屋浜中又右衛門ゟ郡役所宛。宗旨払願

三〇　遠賀郡山鹿村ゟ仕上ル指出之事　（一八九五）
安政二年二月　巻紙　一通
庄屋浜中又右衛門ゟ宗旨奉行役所宛。未進判書上

三一　遠賀郡山鹿村法輪寺ゟ奉願口上之覚　（一八八三）
安政二年八月　巻紙　一通
信州ゟ送来候幼女の件

三二　（仮題）修多羅村人数覚　（五一四の一四）
安政四年二月　書綴　一綴

三三　遠賀郡修多羅村宗旨御改帳　（四八七）
安政六年三月　書冊　一冊
禅宗

三四　申ノ宗旨幷ニ面役共ニ出入　（五一四の九）
安政七年正月　長綴　一綴

三五　遠賀郡頓田村宗旨御改帳　（四三二）
安政七年三月　書冊　一冊
真宗

三六　遠賀郡頓田村宗旨御改帳　（四八九）
安政七年三月　書冊　一冊
浄土宗

三七　誓紙拾ひ　（五一四の一八）
安政七年三月　長綴　一綴
頓田村宗旨改

三八　遠賀郡頓田村人払帳　（五〇五）
安政七年三月　書冊　一冊

三九　遠賀郡修多羅村人払帳　（五〇二）
万延二年三月　書冊　一冊

三〇　遠賀郡修多羅村宗旨御改帳　（四八五）
万延二年三月　書冊　一冊
真宗

二三一　遠賀郡修多羅村宗旨御改帳　（四八四）
万延二年三月　書冊　一冊
浄土宗

二三二　遠賀郡修多羅村宗旨御改帳　（一二五八）
万延二年三月　書冊　一冊
禅宗

二三三　遠賀郡頓田村宗旨御改帳　（四八三）
万延二年三月　書冊　一冊
真宗

二三四　遠賀郡頓田村宗旨御改帳　（四七六）
万延二年三月　書綴　一綴
浄土宗

二三五　修多羅村宗旨誓紙段取帳　（一六）
万延二年正月　長帳　一冊

二三六　遠賀郡頓田村人払帳　（四八〇）
万延二年三月　書冊　一冊

二三七　万延二年三月誓紙拾ひ　（四六二）
万延二年　長綴　一綴
頓田村庄屋大庄屋格楠野太一郎外組合人数

二三八　遠賀郡修多羅村人払帳　（四七八）
文久三年三月　書冊　一冊

二三九　宗旨御改ニ付証拠之事　（五一四の六）
文久四年正月　一紙　一通
大嶋浦庄屋佐藤兵作ゟ修多羅村庄屋楠野嘉作宛

二四〇（仮題）未進判者届　（五一四の一三）
文久四年～慶応二年　書綴　一綴

二四一　遠賀郡修多羅村ゟ仕上指出之事　（五一四の三）
元治元年八月　長綴　一綴
修多羅村庄屋楠野嘉作ゟ遠賀鞍手郡役所宛。罪人の大嶋ゟ宗旨払ニ相成候件

二四二　遠賀郡修多羅村幸蔵悴藤次郎ゟ御願申上ル事　（七六七）
元治元年十二月　書綴　一綴
遠賀鞍手郡役所宛。御家中出宗旨払御免被仰付度

二四三　遠賀郡山鹿村吉平乍恐御願申上ル事　（一八七六）
慶応二年正月　一紙　一通
郡役所宛。悴の宗旨払願

二四四　遠賀郡修多羅村宗旨御改帳　（四九〇）
慶応二年　書冊　一冊
真宗

二四五　宗旨一件諸御用控　（四七九）
慶応三年正月　書冊　一冊

二四六　宗旨御改書物　（一一四三）
慶応三年九月　一紙（包紙入）一通

二四七　遠賀郡修多羅村御用聞町人列楠野右兵多家内人払帳　（六三四）
慶応四年三月　書冊　一冊

二四八　遠賀郡修多羅村御用聞町人列楠野右兵多宗門宗旨御改帳　（四三四）
慶応四年三月　書冊　一冊

二四九　遠賀郡修多羅村御用聞町人列楠野右兵多家内人払帳　（六三五）
明治二年二月　書冊　一冊

二五〇　遠賀郡修多羅村御用聞町人列楠野右兵多家内宗旨御改帳　（四七四）
明治二年三月　書冊　一冊

二五一　宗旨受払・面役受払　（一六三七）
（江戸後期）　長綴　一綴

二五二　覚　（一四三九）
（江戸後期）五月十二日　切紙　一通
大庄屋松井仁十郎ゟ庄屋松井一内宛。宗旨未進判帳外諸帳簿送越候様

二五三　極楽寺旦那　（一三一八）
（江戸後期）　長綴　一綴

二五四　（仮題）女、十歳已下男宗旨書上　（一四〇一）
（江戸後期）　長綴　一綴

二五五　（仮題）身元書上　（一四〇六）
（江戸後期）　長綴　一綴

二五六　（仮題）人数覚　（一二五二）
（江戸後期）　切紙　一綴
宗旨別

二五七　戸細村人払帳（雛形）　（五一六）
（江戸後期）　書冊　一冊

二五八　酉春判賃取立帳　（五〇四）
（江戸後期）　長帳　一冊
頓田村

二五九　申年宗旨判賃取立帳　（五〇六）
（江戸後期）　長帳　一冊

二六〇　御用聞町人列楠野右兵多家内宗旨御改帳　（四三七）
（江戸後期）　書冊　一冊

二六一　人払帳ニ証拠附方　（五一四の二）
（江戸後期）亥五月廿八日　書綴　一綴

二六二　入人帰参人之事　（五一四の五）
（江戸後期）　一紙　一通

二六三　（仮題）竈数書上　（五一四の一〇）
（江戸後期）　長綴　三綴
蜑住村

二六四　覚　（五一四の一一）
（江戸後期）　長綴　一綴
修多羅触。宗旨払願等書上

二六五　（仮題）名前書上　（五一四の一二）
（江戸後期）　長綴　一綴

二六六　（仮題）人名書上　（五一四の一七）
（江戸後期）　一紙　七通

二六七　書状　（五一四の一九）
（江戸後期）　切紙　一通
鎮国寺ゟ修多羅庄屋楠野嘉作宛。受証拠為持指出候間払之儀頼申上候

二六八　書状　（五一四の二〇）
（江戸後期）十月十八日　切紙　一通
大庄屋三輪佐一郎ゟ庄屋楠野嘉作宛。御呼出ニ付其前払切御仕廻被成度

二六九　書状　（五一四の二二）
（江戸後期）二月六日　切紙（包紙入）一通
中間村庄屋嶺要一郎ゟ楠野太一郎宛。宗旨受払証拠の件

二七〇　書状　（五一四の二三）
（江戸後期）二月廿九日　切紙　一通
庄屋伝三郎ゟ庄屋楠野嘉作宛。面役受証拠指上申候

二七一　書状　（五一四の二四）
（江戸後期）十月十四日　切紙　一通
遠賀鞍手郡役所ゟ大庄屋三輪佐一郎宛。罪人極楽寺先住職の宗旨受払の件

二七二　書状　（五一四の二七）
（江戸後期）三月朔日　切紙　一通
遠賀鞍手郡代役所ゟ修多羅村庄屋楠野嘉作宛。宗旨払証拠差送り候条

二七三　書状　（五一四の二八）
（江戸後期）正月廿六日　切紙　一通
庄屋楠野嘉作宛。無極寺舎弟極楽寺ニ御入寺ニ相成候ニ付払証拠の件

二七四　書状　（五一四の三〇）
（江戸後期）二月五日　切紙（包紙入）一通
極楽寺ゟ副田二三太宛。人払帳の件

13　寺　社

一　諸社江触中より御初穂御神納控　（一三三）
文政五年　長綴　一綴

二　定　（一九九一）
文政十一年正月　切紙　一通
嶋田但馬守ゟ高塚大夫宛。大社地鎮祭祈祷料受取

三　諸社御初尾銭郡中割方帳　（一三四）
天保七年十二月　長帳　一綴

四　吉祥寺蝗除ケ御祈祷諸入目控帳　（一三八）
天保十年七月　長綴　一綴

五　氏神社家根取繕諸控帳　（九〇八）
天保十二年五月　長帳　一綴

六　奉願口上之覚　（一六四六）
天保十四年八月　書綴　一綴
蟹住村社家幡掛安芸守ゟ浦下総守宛。安屋村喜七郎屋敷内鬼門塞霊水神の儀

七　遠賀郡安屋村ゟ仕上指出之事　（一六四五）
天保十四八月　書綴　一綴
安屋村庄屋幸助外ゟ遠賀鞍手郡代役所宛。霊水神請持之儀に付寺社役所へ申出の件

八　福岡龍華院幷ニ黒田宮底井野猫城八満宮芦屋町神武社奉賀金割方帳　（一四五）
天保十五年十月　長綴　一綴

九　（仮題）寄附依頼状　（一二九四）
弘化三年九月　書綴　一綴
天満宮

一〇　寄進帳　（一二九三）
嘉永二年　書冊　一冊
中津宮河野出雲守

一一　伊勢奉賀取立帳　（一〇二九）
嘉永二年四月　長綴　一綴

一二　大宮司普請中入用銭幷米代書出帳　（九八八）
万延元年十一月　長帳　一冊

一三　極楽寺借財割方帳　（一六二二）
（江戸後期）　長帳　一冊

一四　伊勢御初穂帳　（一四六）
（江戸後期）　長綴　一綴

一五　口上之覚　（一一二九）
（江戸後期）巳正月十二日　書綴　一綴
斉藤石見正ゟ郡役所宛。神田耕作の件

一六　伊勢奉賀金神納証拠之事　（一二四七）
（江戸後期）戌四月六日　切紙　一通
修多羅村庄屋太一郎ゟ大庄屋正五郎宛

一七　修多羅村ゟ伊勢奉賀金神納証拠之事　（一二四六）
（江戸後期）酉閏四月十八日　一紙　一通
修多羅村大庄屋太一郎ゟ蟹住村大庄屋宛。請取

一八　寺出銭覚外　（一九三九）
（江戸後期）　長綴　一綴
勘定書

一九　遠賀郡安屋村ゟ仕上ル指出之事　（一〇四二）
（江戸後期）　長綴　一綴
霊水神受持の件

二〇　書状　（五一四の二一）
（江戸後期）十一月十日　切紙（包紙入）一通
藤木村庄屋副田太八郎外ゟ小石村卯右衛門外宛。極楽寺修覆の件

二一　書状　（五一四の三一）
（江戸後期）二月十九日　切紙　一通
修多羅村組頭新三郎ゟ大庄屋格副田二三太宛。極楽寺夫婦結縁ニ付報知

14　日　記

一　年中日記目録　（三四六）
文政九年正月　書冊　一冊

二　年中日記帳　（一五六八）
天保十一年正月　小横帳　一冊

三　年中日記帳　（一二〇一）
天保十年正月　小横帳　一冊
大庄屋太一郎

四　年中日記帳　（三八九）
天保十二年　小横帳　一冊

五　万諸控　（一〇二一）
天保十三年ゟ　小横帳　一冊
宗旨年番、嘉永三年村方騒動外

六　新津記　（一一四六）
文久元年　小横帳　一冊

七　（仮題）諸事覚　（一七八五）
（慶応年間）　小横帳　一冊
里数、法令等

八　（仮題）旅日記　（二〇〇六）
（江戸後期）　小横帳　一冊
商談関係

九　こころ覚　（一一四一）
（江戸後期）　小横帳　一冊

15 書状

一 書状　（一六八八）
（天保七年）七月十八日　切紙　一通
大庄屋松井正五郎ゟ庄屋太一郎宛。焼失家屋見分の義外

二 書状　（一六七七）
（天保九年）三月一日　一紙（包紙入）二通
頓田村庄屋武兵衛ゟ庄屋権一郎宛。茂一郎借金の件。付、借用仕金子証文之事（天保九年）

三 書状　（八九三の二）
（天保九年）三月十八日　切紙　一通
茂一郎ゟ大庄屋太一郎宛。立屋敷源市受取指上

四 請取申上ル事　（八九三の四）
天保九年三月　一紙　一通
立屋敷村源市ゟ大庄屋太一郎宛

五 書状　（一五一二）
（天保九年）五月十七日　切紙　一通
郡役所ゟ大庄屋太一郎宛。巡見使関係経費の件

六 書状　（一五二一）
（天保九年）十月廿七日　切紙　一通
藤田金蔵外ゟ大庄屋太一郎宛。巡見使費用二嶋伊七郎へ支払分

七 書状　（一六六二）
（天保十年）十一月十八日　切紙　一通
長崎屋仁左衛門ゟ大庄屋太一郎宛。借用金子受取

八 書状　（一三六四）
（天保十一年）十二月十六日　長綴一綴・巻紙一通
大庄屋太一郎ゟ浦田一平宛。畠田村抱鴨生田居住ゐ者共家居建込根元調子の件。付、畠田村之内鴨生田人家建込年代覚

九 書状　（一九二一）
（天保十三年）三月十五日　切紙　一通
塩屋村庄屋市右衛門ゟ大庄屋太一郎宛。茂一郎方一件外

一〇 書状　（一〇六四の一四）
（弘化二年）四月六日　切紙　二通
一内ゟ慮兵衛宛。現穀米願出の件。付、正五郎書状

一一 書状　（一〇六四の一五）
（弘化二年）四月十八日　切紙　一通
松井仁十郎ゟ松井一内外宛。現穀備米拝借の件

一二 書状　（一〇六四の一二）
（弘化二年）四月廿二日外　切紙　二通
大鳥居村庄屋藤兵衛ゟ慮兵衛宛。頓田大鳥居両村分現穀米渡方証拠差上申ゐ外

一三　書状　（一〇六四の一三）
（弘化二年）四月廿三日　切紙　一通
小石村庄屋正三郎ゟ庄屋松井一内宛。頓田・大鳥居村現穀米受取方の者参ℓ時出勤の件

一四　書状　（一〇六四の一六）
（弘化二年）四月廿三日　切紙　一通
払川村庄屋利四郎ゟ慮兵衛宛。現穀米払出の件

一五　書状　（一〇六四の一一）
（弘化二年）四月十八日　切紙　一通
大庄屋松井仁十郎ゟ庄屋慮兵衛宛。難渋百姓ゟ現穀備米拝借願出の件外

一六　書状　（一九八〇）
（江戸後期）　切紙(首欠)一通
郡代役所ゟ大庄屋太一郎宛。書類提出の件

一七　書状　（一五二八）
（江戸後期）八月七日　切紙　一通
郡代役所ゟ大庄屋楠野太一郎宛。郡切立米預ℓ分売払の件

一八　書状　（一四四四）
（江戸後期）十月廿四日　切紙　一通
免方役所ゟ大庄屋松井正五郎宛。瓦焼免札の件

一九　書状　（一三六二）
（江戸後期）六月十日　切紙　一通
郡代役所ゟ本城村大庄屋松井仁十郎外宛。庄屋の件

二〇　書状　（一三五七）
（江戸後期）六月廿四日　巻紙　一通
郡代役所ゟ大庄屋太一郎宛。安屋村武作祖母の件

二一　書状　（一二四八）
（江戸後期）二月十七日　切紙　一通
郡役所ゟ大庄屋太一郎宛。郡銭拝借年賦上納分預り書請取

二二　書状　（一二二〇）
（江戸後期）　切紙　一通
役所ゟ大庄屋太一郎宛。安屋村零水神の儀

二三　書状　（一一七九）
（江戸後期）三月廿六日　切紙(首欠)一通
郡役所ゟ大庄屋太一郎宛。空地調べの事

二四　書状　（一一七二）
（江戸後期）三月十二日　切紙　一通
郡代役所ゟ大庄屋太一郎宛。溺死者取扱の件

二五　書状　（七九八の一四）
（江戸後期）七月十八日　切紙　一通
郡役所ゟ大庄屋太一郎宛。玄界嶋流人有毛村藤右衛門木屋掛料

二六　書状　（七六八の一二）
（江戸後期）六月四日　切紙(首欠)一通
神田惣蔵外ゟ大庄屋太一郎宛。宗旨奉行証拠渡方の件

二七　書状　（一七五三）
（江戸後期）十一月廿日　切紙　一通
木屋瀬郡家役所ゟ。盗木詮儀の件

二八　七右衛門来状　（一四二五）
（江戸後期）十月十八日　切紙　三通
楠野太一郎宛。米勘殿備金の件、下関より帰途報告。付、計算書二通

二九　書状　（六五五の二一）
（江戸後期）七月十二日　切紙　一通
藤木村庄屋清三郎ゟ楠野太一郎宛。燈籠の礼

三〇　書状　（六五五の二三）
（江戸後期）霜月廿六日　折紙　一通
御用銀調べ帳役所提出の件

三一　書状　（七六八の一一）
（江戸後期）六月四日　切紙　一通
八尋次七ゟ大庄屋太一郎宛。宗旨方届の件外

三二　書状　（七九八の二）
（江戸後期）五月廿三日　巻紙　一通
藤木村庄屋二三太ゟ大庄屋太一郎宛。会所建方山鹿へ決定の件

三三　書状　（七九八の六）
（江戸後期）八月四日　切紙　一通
庄屋権一郎ゟ大庄屋太一郎宛。大風被害状況報知

三四　書状　（七九八の七）
（江戸後期）六月晦日　巻紙　一通
嘉穂両郡大洪水に付、種子の世話依頼

三五　書状　（七九八の九）
（江戸後期）二月廿七日　切紙　一通
大庄屋有吉与右衛門ゟ大庄屋太一郎宛。免用釘の件

三六　書状　（七九八の一〇）
（江戸後期）二月廿八日　切紙　一通
村継願

三七　書状　（七九八の一一）
（江戸後期）二月廿六日　切紙　一通
竹並庄屋彦九郎ゟ大庄屋太一郎宛。蔵方算用残米の件

三八　書状　（七九八の一二）
（江戸後期）二月廿七日　切紙　一通
大庄屋松井一内ゟ大庄屋太一郎宛。当村異船用囲米預りの件

三九　書状　（七九八の一三）
（江戸後期）二月廿七日　切紙　一通
大庄屋鈴木弥兵衛ゟ大庄屋太一郎宛。払川村仕組一件書類借用

四〇 書状　（六六九の七）
（江戸後期）八月廿四日　切紙　一通
高須庄屋藤右衛門ゟ大庄屋太一郎宛。去夏洪水仕戻夫書上の儀承知外

四一 書状　（六六九の八）
（江戸後期）八月廿四日　切紙　一通
山鹿村庄屋浜中又右衛門ゟ大庄屋太一郎宛。洪水荒分書上送付の事

四二 書状　（六六九の一〇）
（江戸後期）八月廿四日　切紙　一通
浅川村庄屋喜八郎ゟ太一郎宛。去夏洪水荒田地並びに仕戻夫数書上指出、江川板橋免用釘の件

四三 書状　（八九三の三）
（江戸後期）二月九日　切紙　一通
佐藤五右衛門ゟ太一郎宛。藁縄の件承知

四四 書状　（八九四の一五）
（江戸後期）五月二日　切紙　一通
大庄屋松井仁十郎外ゟ同太一郎宛。御用会の件外

四五 書状　（一〇〇三）
（江戸後期）十一月廿六日　切紙　一通
阿喜多与一外ゟ楠野太一郎宛。米改正に付請持筋よりの挨拶状

四六 書状　（一一五五）
（江戸後期）八月十二日　巻紙　一通
大庄屋三輪佐一郎ゟ。郡奉行より達御用有之ゟ条

四七 書状　（一一五八）
（江戸後期）六月四日　切紙　一通
小林弥一郎ゟ楠野太一郎宛。天頼寺法市へ兼而相談申ゟ件

四八 書状　（一一五九）
（江戸後期）十一月廿日　巻紙　一通
荒木庄屋清三郎ゟ太一郎宛。秋反別余米払方の件

四九 書状　（一一六〇）
（江戸後期）二月十五日　切紙　一通
爪生屋吉右衛門ゟ楠野嘉作宛。若松又吉船を以仕送被仰付蔵米売払の件

五〇 書状　（一九六六）
（江戸後期）二月初日　巻紙　一通
畠田村庄屋角一郎ゟ大保正楠野太一郎宛。御開の者鴨生田居住に付夫役の件

五一 書状　（一七五七）
（江戸後期）六月廿一日　切紙(包紙入)一通
大庄屋太一郎ゟ浦田一平宛。畠田村抱鴨生田居住者の件

五二 書状　（一七五一）
（江戸後期）二月二日　切紙　一通
大庄屋太一郎ゟ久間太六宛。鴨生田の者出夫の件

三三　書状　（一七四九）
（江戸後期）三月　切紙　一通
畠田村庄屋角一郎ゟ大庄屋太一郎宛。鴨生田居住者の件

三四　書状　（一三八一）
（江戸後期）　切紙（首のみ）一通
鴨生田与助夫役の件

三五　書状　（一七六〇）
（江戸後期）二月三日　切紙　一通
角一郎ゟ佐藤権三郎宛。鴨生田居住の者面役の件

三六　書状　（一七六一）
（江戸後期）　長綴　一綴
鴨生田居住者面役の件

三七　書状　（一一六一）
（江戸後期）七月廿九日　切紙　一通
万七ゟ庄屋楠野太一郎宛。講掛金受取

三八　書状　（一一六三）
（江戸後期）五月十三日　切紙　一通
万七ゟ庄屋太一郎宛。仕立講加入の件

三九　書状　（一一六五）
（江戸後期）　切紙　一通
巡見使の節舟方請持の地振替の件

六〇　書状　（一一六八）
（江戸後期）三月九日　巻紙　一通
正五郎ゟ。稲作見分の節不都合有之に付、都合宜敷地所斗願出被成度

六一　書状　（一一七〇）
（江戸後期）十月五日　巻紙　一通
魚町庄屋小田定右衛門ゟ大庄屋太一郎宛

六二　書状　（一一七一）
（江戸後期）三月朔日　切紙（包紙入）一通
妙法寺ゟ楠野嘉作宛。庄屋役就任祝外

六三　書状　（一一七三）
（江戸後期）　切紙　二通
庄屋松井仁右衛門ゟ楠野嘉作宛。科調子天保十三年改正の帳面の件。付、松井久右衛門書状

六四　書状　（一二四五）
（江戸後期）十月廿七日　切紙　一通
中原村庄屋太三郎ゟ大庄屋太一郎宛。籾囲米払方相仕廻報告

六五　書状　（一二八三）
（江戸後期）六月十三日　切紙　一通
松井仁十郎ゟ太一郎宛。用心金借立の件外

六六　書状　（一二九〇）
（江戸後期）　切紙(首欠)一通
大庄屋太一郎宛。御呼出の節銘々出方の事

六七　書状　（一二九八）
（江戸後期）　切紙　一通
太一郎宛。証文渡方願

六八　書状　（一二九九）
（江戸後期）七月十二日　切紙　一通
一内ゟ太一郎宛。勝次郎一件

六九　書状　（一三〇〇）
（江戸後期）七月十六日　巻紙　一通
勝次郎一件

七〇　書状　（一三〇一）
（江戸後期）七月十六日　巻紙　一通
勝次郎一件

七一　書状　（一三〇二）
（江戸後期）七月二日　巻紙　一通
一内ゟ太一郎宛。養子勝次郎一件

七二　書状　（一三七五）
（江戸後期）十月　切紙　一通
一内ゟ楠大宛。勝次郎一件

七三　書状　（一九九三）
（江戸後期）　巻紙　一通
大庄屋松井久五郎ゟ同太一郎宛。勝次郎身分の件

七四　書状　（一三一六）
（江戸後期）七月廿四日　巻紙　一通
勝次郎ゟ太一郎宛。蜑住へ帰村のこと

七五　書状　（一三一九）
（江戸後期）七月十八日　切紙　一通
松井久五郎ゟ楠野太一郎宛。勝次郎身分に付

七六　書状　（一三五一）
（江戸後期）九月廿日　切紙　一通
若松村庄屋松井一内ゟ大庄屋太一郎宛。養子勝次郎実家へ引取居庄屋手伝役退身申出い件

七七　書状　（一九六一）
（江戸後期）七月十二日　巻紙　一通
蜑住村庄屋正五郎ゟ大庄屋太一郎宛。勝次郎一件

七八　書状　（一三五六）
（江戸後期）十月四日　巻紙　一通
一内ゟ太一郎宛。養子勝次郎一件

七九　書状　（一三五九）
（江戸後期）　切紙(尾欠)一通
養子勝次郎一件

八〇 書状　（一三六〇）
（江戸後期）　切紙　一通
一内ゟ太一郎宛

八一 書状　（二〇五六）
（江戸後期）七月十八日　巻紙　一通
彦助・正五郎宛。勝次郎一件始末

八二 書状　（一三〇八）
（江戸後期）七月十九日　巻紙　一通
田町庄屋彦助ゟ大庄屋太一郎宛。勝次郎一件

八三 書状　（一三〇三）
（江戸後期）二月八日　巻紙　一通
門司儀六外ゟ大庄屋太一郎宛。黒崎郡家火災に付加勢の件

八四 書状　（一三一〇）
（江戸後期）六月十日　切紙　一通
戸畑村庄屋卯三郎ゟ太一郎宛。平吉出奔に付その処置伺い

八五 書状　（一三一一）
（江戸後期）六月十九日　切紙　一通
戸畑村庄屋卯三郎ゟ太一郎宛。平吉出奔一件外

八六 書状　（一三一二）
（江戸後期）　巻紙　一通
平吉出奔の件

八七 卯春原様ゟ来状　（一三一四）
（江戸後期）正月十六日　切紙　一通
戸畑村百姓清一差引の件

八八 書状　（一三五五）
（江戸後期）五月廿八日　巻紙　一通
小河半七外ゟ。遠賀郡吉木村の者共大庄屋村役の才判不相用諸納方不埒取斗の件

八九 書状　（一三六一）
（江戸後期）　巻紙（尾欠）一通
楠木無断伐取ゟ件

九〇 書状　（一三六三）
（江戸後期）六月十三日　切紙　一通
竹並村庄屋彦九郎ゟ

九一 書状　（一三六五）
（江戸後期）　切紙　一通
芦屋・山鹿・若松迄川艜改相済、勝次郎一件外

九二 書状　（一三六七）
（江戸後期）八月廿七日　切紙（包紙入）一通
宮崎九八郎ゟ若松村庄屋市内宛。長崎奉行へ内夫壱人可被差出

九三 書状　（一三六八）
（江戸後期）八月廿二日　巻紙　一通
快寿院ゟ大庄屋太一郎宛。安屋村霊水神の件

九四　書状　（一三七三）
（江戸後期）十一月十日　外切紙　三通
大庄屋太一郎ゟ庄屋正三郎外宛。御奉行様達人馬賃銭の件

九五　書状　（一三七六）
（江戸後期）三月五日　切紙　一通
爪生屋吉右衛門ゟ楠野嘉作宛。米売払の報告

九六　書状　（一三七八）
（江戸後期）十月十二日　巻紙　一通
松井ゟ大庄屋楠野太一郎宛。安屋村霊水神一件

九七　書状　（一三七九）
（江戸後期）　切紙　三通
拝借金利分、現穀米返納分納方の件

九八　書状　（一三八二）
（江戸後期）十二月廿日　切紙　一通
頓田村庄屋武四郎ゟ大庄屋太一郎宛。頓田・大鳥居分金銭覚外

九九　書状　（一三八三）
（江戸後期）　切紙　一通
紙の事

一〇〇　書状　（一三八四）
（江戸後期）十二月八日　切紙　一通
大庄屋松井正五郎ゟ庄屋太一郎宛。不足金の請求

一〇一　書状　（一四三七）
（江戸後期）四月十四日　切紙　一通
和田伴次郎外ゟ庄屋権一郎宛。番所普請手伝夫の件

一〇二　書状　（一四四〇）
（江戸後期）三月十二日　切紙　一通
大庄屋松井久五郎外ゟ大庄屋太一郎宛。黒崎茶屋作事手伝郡夫割方の件

一〇三　書状　（一四四一）
（江戸後期）二月十四日　切紙　一通
大庄屋松井仁十郎ゟ庄屋慮兵衛宛。定飛脚通帳幷御用箱共に渡方依頼外

一〇四　勘七書状　（一四四二）
（江戸後期）十月三日　切紙　一通
楠野太一郎宛。御用金割当の件

一〇五　書状　（一四四三）
（江戸後期）八月廿八日　巻紙　一通
安屋村庄屋次助ゟ大庄屋太一郎宛。定格月払の件外

一〇六　書状　（一四四六）
（江戸後期）七月廿九日　切紙　一通
大庄屋松井正五郎ゟ庄屋太一郎宛。儀平瓦出荷願聞届相済ゟニ付

一〇七　書状　（一四四七）
（江戸後期）十二月朔日　切紙　一通
太田素太夫外ゟ所役人中宛。詮儀の件有之ゟ条

一〇八　書状　（一四四八）
（江戸後期）十一月十三日　切紙　一通
三原喜右衛門ゟ太一郎宛。着府報知

一〇九　書状　（一四四九）
（江戸後期）二月十二日　切紙　一通
大庄屋松井仁十郎ゟ同格松井一内宛。跡役相立ゟ節混雑無之様諸用引渡方依頼

一一〇　書状　（一四五〇）
（江戸後期）八月廿五日　巻紙　一通
太一郎ゟ役所宛。浦人出漁入用粮米売渡の報告

一一一　書状　（一四六一）
（江戸後期）六月朔日　切紙　一通
喜七郎ゟ楠野宛。堀川口過上銭差上ゟ件

一一二　書状　（一四六二）
（江戸後期）八月廿三日　切紙　一通
角一郎ゟ楠野宛。七嶋表荷物の件

一一三　書状　（一四六三）
（江戸後期）八月十九日　切紙　一通
小敷村庄屋上野角一郎ゟ庄屋楠野太一郎宛。半縄不足分の件外

一一四　書状　（一四六四）
（江戸後期）八月廿四日　巻紙　一通
庄屋太一郎ゟ同弥一郎宛。縄送付願、下関送りの鶏卵外

一一五　書状　（一四六六）
（江戸後期）六月十日　切紙　一通
庄屋喜七郎ゟ楠野宛。堀川口不足銭払出延引の件

一一六　書状　（一四六七）
（江戸後期）四月十一日　切紙　二通
太一郎宛。藤田開作柵仕調ゟ件外

一一七　書状　（一四六八）
（江戸後期）十一月廿三日　切紙　一通
小敷庄屋上野角一郎ゟ庄屋楠野太一郎宛。醤油屋酒代間違の件外

一一八　書状　（一四六九）
（江戸後期）五月廿四日　切紙　一通
庄屋芳賀与八ゟ普請方楠野太一郎宛。茂六受持土手損壊の件

一一九　書状　（一四七〇）
（江戸後期）十二月廿日　切紙　二通
勅使達諸品残り分預り書指出。付、米屋助吉書状

一三〇　書状　（一四七一）
（江戸後期）　巻紙　一通
上野角一郎ゟ楠野太一郎宛。鶏卵下ノ関送りの件、黒崎郡屋へ仕戻三品分外

一三一　書状　（一四七二）
（江戸後期）十二月十一日　切紙　一通
小敷村庄屋上野角一郎ゟ庄屋楠野太一郎宛。勅使下向の際肴代勘定の件外

一三二　書状　（一四七三）
（江戸後期）十月廿六日　巻紙　一通
小敷村小野角一郎ゟ楠野太一郎宛。勅使達郡家雑用証拠の件

一三三　書状　（一四七四）
（江戸後期）八月廿六日　巻紙　一通
上野角一郎ゟ楠野太一郎宛。勅使達諸雑用書上の件

一三四　書状　（一四七五）
（江戸後期）四月十一日　切紙　一通
角一郎ゟ太一郎宛。中原諸用人夫の件

一三五　書状　（一四七六）
（江戸後期）四月廿三日　切紙　一通
松井仁右衛門ゟ楠野太一郎宛。中原村ゟ半縄払方の件

一三六　書状　（一四七七）
（江戸後期）八月廿七日　切紙　一通
大庄屋松井正五郎ゟ庄屋太一郎外宛。又右衛門様出郡報知

一三七　書状　（一四八四）
（江戸後期）八月八日　巻紙　一通
塩屋村庄屋惣次郎ゟ大庄屋太一郎宛。岩屋御用材木積送人夫の件

一三八　書状　（一四八八）
（江戸後期）八月七日　切紙　一通
大庄屋佐藤又三郎ゟ正五郎外宛。出夫人数の件

一三九　書状　（一四九〇）
（江戸後期）八月廿三日　切紙　一通
大庄屋太一郎ゟ庄屋九助外宛。山判改に付進物入用の件

一四〇　書状　（一四九三）
（江戸後期）十二月廿日　切紙　一通
太一郎ゟ松井久五郎宛。郡囲米に付

一四一　書状　（一四九四）
（江戸後期）閏四月十二日　切紙　一通
浦田一平ゟ大庄屋太一郎宛。枕崎野雪隠所費畝調子の件

一四二　書状　（一四九七）
（江戸後期）十二月廿九日　切紙　一通
魚町庄屋定右衛門ゟ大庄屋太一郎宛。証拠渡方の件

一三　書状　（一四九八）
（江戸後期）七月朔日　巻紙　一通
岩崎村大庄屋藤七ゟ大庄屋太市郎宛。若松焚石会所出勤の件

一三四　書状　（一五〇〇）
（江戸後期）十二月廿九日　切紙　一通
小敷村庄屋甚五郎ゟ大庄屋太一郎宛。当村石工賃銭渡方被仰付

一三五　書状　（一五〇九）
（江戸後期）九月廿二日　切紙　一通
大庄屋有吉与右衛門ゟ同太一郎宛。差引一件役所ゟ催促申来ル件

一三六　書状　（一五一〇）
（江戸後期）八月廿一日　切紙　一通
大庄屋弥作ゟ同太一郎宛。岩屋定番役宅普請出夫村割送付、焚石見ケ〆役書類送付

一三七　書状　（一五一一）
（江戸後期）十二月廿六日　巻紙　一通
大庄屋松井仁十郎ゟ同太一郎宛。巡見使夫拼勤過夫銭の件、洪水拼夫銭の件

一三八　書状　（一五一三）
（江戸後期）八月廿二日　切紙　一通
花房次右衛門ゟ大庄屋太一郎宛。役宅建替に付郡夫の件

一三九　書状　（一五一六）
（江戸後期）　切紙　一通
大庄屋有吉与右衛門ゟ同太一郎宛。夫銭一件

一四〇　書状　（一五一七）
（江戸後期）二月廿五日　切紙　一通
大庄屋松井仁十郎ゟ庄屋慮兵衛宛。籾囲並びに現穀備米の件

一四一　書状　（一五一九）
（江戸後期）十二月十八日　切紙　一通
大庄屋香月勘兵衛ゟ同太一郎宛。若松植木郡囲蔵敷米の件

一四二　書状　（一五二二）
（江戸後期）六月廿三日　切紙　一通
岩野周助ゟ楠野太一郎宛。礼状

一四三　書状　（一五二三）
（江戸後期）三月十二日　切紙　一通
楠野太一郎ゟ吉祥寺宛。贈答の事

一四四　書状　（一五二四）
（江戸後期）六月廿四日　切紙　一通
幸右衛門ゟ楠野太一郎宛。農作物の状況

一四五　書状　（一五二五）
（江戸後期）十二月八日　切紙　一通
長富半太夫ゟ楠野太一郎宛。切米指紙の件

一四六　書状　（一五二六）
（江戸後期）十二月廿八日　切紙　一通
甚五郎ゟ嘉作宛。余米指出の件

一四七　書状　（一五二七）
（江戸後期）十月廿九日　切紙　二通
大庄屋松井久五郎ゟ楠野太一郎宛。切米払方の件

一四八　書状　（一五三〇）
（江戸後期）十一月八日　切紙　一通
庄屋楠野太一郎ゟ郡代役所宛。田方払切通帳納申ℓ

一四九　書状　（一五三五）
（江戸後期）　切紙　二通
郡代見分の報知外。付、松井宗介書状

一五〇　書状　（一五三六）
（江戸後期）三月廿九日　切紙　一通
仁右衛門ゟ太一郎宛。極楽寺僧との一件

一五一　書状　（一五三七）
（江戸後期）　切紙　一通
徳次郎ゟ新助宛。寺一件

一五二　書状　（一五三八）
（江戸後期）四月十七日　巻紙　一通
庄屋蔵助ゟ同太一郎宛。寺一件、御用銀口外

一五三　書状　（一五四一）
（江戸後期）閏月十九日　巻紙　一通
庄屋蔵助ゟ同楠野太一郎宛。寸志金一件

一五四　書状　（一五四二）
（江戸後期）十二月八日　切紙　二通
大藤周防ゟ楠野太一郎宛。祝辞申上

一五五　書状　（一五四三）
（江戸後期）六月十四日　巻紙　一通
甚五郎ゟ太一郎宛。出福の事

一五六　書状　（一五四四）
（江戸後期）十一月廿二日　切紙　一通
枝光村茂六ゟ楠野太一郎宛。鉄砲の件外

一五七　書状　（一五四五）
（江戸後期）三月廿二日　切紙　一通
下浦屋文市ゟ楠野太一郎宛。理右衛門方買米の件

一五八　書状　（一五四六）
（江戸後期）十二月五日　切紙　一通
中村伊右衛門ゟ太一郎宛。仕立講の義

一五九　書状　（一五四七）
（江戸後期）十一月廿七日　切紙　一通
権右衛門ゟ太一郎宛。年貢未進の件

一六〇 書状　（一五四八）
（江戸後期）十一月廿九日　切紙　一通
松井久五郎ゟ楠野太一郎宛。入縁祝い

一六一 書状　（一五四九）
（江戸後期）二月十八日　切紙　一通
鈴木三大夫ゟ楠野太一郎宛。初穂料の件外

一六二 書状　（一五五〇）
（江戸後期）閏十九日　切紙　一通
添田理右衛門ゟ楠野太一郎宛。帰宿報告

一六三 書状　（一五五一）
（江戸後期）閏月廿二日　巻紙　一通
庄屋蔵助ゟ同楠野太一郎宛。寺一件外

一六四 書状　（一五五二）
（江戸後期）六月四日　切紙　一通
米屋勘兵衛ゟ楠野太一郎宛

一六五 書状　（一六三九）
（江戸後期）九月十七日　切紙　四通
庄屋小林弥一郎ゟ普請方楠野太一郎外宛。名古屋仮陣屋建方の節半縄代銭の義

一六六 書状　（一六四〇）
（江戸後期）四月廿二日　切紙　一通
松井謙二ゟ楠野太一郎宛。土台大工の件

一六七 書状　（一六六五）
（江戸後期）　切紙　一通
大庄屋有吉与右衛門外宛

一六八 書状　（一六六六）
（江戸後期）十月十四日　切紙　一通
小竹村普請方弥八郎ゟ楠野太一郎宛

一六九 書状　（一六六七）
（江戸後期）二月七日　切紙　二通
大庄屋三輪佐一郎ゟ普請方楠野太一郎宛。矢留土手築立夫

一七〇 書状　（一六六八）
（江戸後期）十二月十一日　巻紙　一通
原七右衛門ゟ庄屋楠野太一郎宛。家来利二請持田地の件

一七一 書状　（一六六九）
（江戸後期）九月七日　切紙　一通
太一郎ゟ松井一内宛。下源入用金の件

一七二 書状　（一六七三）
（江戸後期）二月十五日　巻紙　一通
荒田（カ）金蔵ゟ大庄屋太一郎宛。木屋掛入用竹伐出証拠の件

一七三 書状　（一六七六）
（江戸後期）十月十三日　巻紙（包紙入）一通
平蔵ゟ楠野太一郎宛。又作一族の娘の件

一七四　書状　（一六八二）
（江戸後期）　切紙　一通
柴田源六外6普請方楠野太一郎外宛。普請願帳仕立方の件

一七五　書状　（一七三六）
（江戸後期）三月五日　切紙　一通
大庄屋佐藤又三郎6同太一郎宛。若松波戸出夫の件外

一七六　書状　（一七三八）
（江戸後期）十月廿日　切紙　一通
大庄屋松井久五郎6同太一郎宛。払川村新土手夫銭証拠送外

一七七　書状　（一七三九）
（江戸後期）三月晦日　切紙　一通
大庄屋松井仁十郎外6同太一郎宛。江ノ口普請に付郡夫割方の件

一七八　書状　（一七四〇）
（江戸後期）　切紙　一通
小石村庄屋正三郎6大庄屋太一郎宛。中原村江ノ口境石立方の件

一七九　書状　（一七四一）
（江戸後期）七月廿一日　切紙　一通
藤木村庄屋二三太6大庄屋太一郎宛。中原村境石建方木屋掛入用摺掛縄の件

一八〇　書状　（一七三七）
（江戸後期）四月四日　切紙　一通
大庄屋松井仁十郎6庄屋慮兵衛宛。茶屋手伝夫・玉子運上等の調子書付送付依頼

一八一　書状　（一七四二）
（江戸後期）三月五日　切紙　一通
野田惣蔵外6大庄屋太一郎宛。溺死者届出の件

一八三　書状　（一七四三）
（江戸後期）　切紙　一通
鞍手の人足出方の件

一八三　書状　（一七四四）
（江戸後期）四月八日　切紙　一通
大庄屋佐藤又三郎6同太一郎宛。巡見使通行の際の出夫数に付

一八四　書状　（一七四五）
（江戸後期）七月八日　切紙　一通
庄屋正五郎6同慮兵衛宛。籾囲書上帳の件

一八五　書状　（一七四七）
（江戸後期）八月二日　切紙　一通
小石村庄屋正三郎6大庄屋太一郎宛。中原境石建方御用杉丸太出方の件

一八六　書状　（一七四八）
（江戸後期）十二月十一日　切紙　一通
庄屋楠野太一郎ゟ吉積佐平次宛。金子借用願

一八七　書状　（一七五〇）
（江戸後期）四月八日　切紙　一通
大庄屋有吉ゟ同太一郎外宛。御国方役々様荷物送人馬継方の件

一八八　書状　（一七五二）
（江戸後期）三月廿日　切紙　一通
大庄屋松井久五郎ゟ同太一郎宛。御開畠田一件

一八九　書状　（五一四の七）
（江戸後期）三月七日　切紙　一通
岩野幸蔵ゟ楠野右兵多宛。利右衛門一件に付

一九〇　書状　（五一四の八）
（江戸後期）十一月十一日　切紙　一通
庄屋副田七八郎ゟ庄屋楠野嘉作宛。故障筋ニ而他行難相成

一九一　書状　（一七五四）
（江戸後期）九月九日　切紙　一通
大庄屋松井久五郎ゟ同太一郎宛。芦屋・魚町・若松川髙改の件外

一九二　書状　（一七五五）
（江戸後期）三月廿一日　切紙　一通
大庄屋松井仁十郎ゟ同太一郎宛。触状送付依頼

一九三　書状　（一七五六）
（江戸後期）廿一日　切紙　一通
権三郎書状等返却依頼

一九四　書状　（一七五九）
（江戸後期）二月廿七日　切紙　一通
大庄屋佐藤又三郎ゟ同太一郎宛。非常雑穀蔵建方の件

一九五　書状　（一七七五）
（江戸後期）十一月三日　一紙　一通
藤衛門ゟ。内借米銭書出帳取集り件外

一九六　書状　（一七七七）
（江戸後期）十二月廿四日　切紙　一通
佐平次ゟ太一郎宛。金子融通の件

一九七　書状　（一九〇七）
（江戸後期）四月廿五日　一紙　一通
頓田村庄屋武四郎ゟ大庄屋太一郎宛

一九八　書状　（一九〇九）
（江戸後期）十一月十七日　切紙　一通
市五郎ゟ太一郎宛。陣原掛金の件外

一九九　書状　（一九一〇）
（江戸後期）六月八日　巻紙　一通
小林蔵六ゟ大庄屋有吉長平宛。若松市五郎一件

二〇〇　書状　（一九一三）
（江戸後期）十二月廿九日　巻紙　一通
木守蔵六ゟ大保正太一郎宛。若松村下浦屋差引の件

二〇一　書状　（一九三四）
（江戸後期）十二月十五日外　切紙　二通
松井一内ゟ大庄屋太一郎宛。下浦屋市五郎木守差引金子の件

二〇二　書状　（一九三五）
（江戸後期）六月十七日　切紙（包紙入）二通
若松村庄屋松井一内ゟ大庄屋太一郎宛。木守村弥一郎差引の件

二〇三　書状　（一九一六）
（江戸後期）四月卅日　巻紙　一通
塩屋村庄屋市右衛門外ゟ大庄屋太一郎宛。小敷村茂一郎への貸金の件

二〇四　書状　（一九一七）
（江戸後期）七月十六日　巻紙　一通
竹並村庄屋彦九郎ゟ大庄屋太一郎宛。当村盗人の件

二〇五　書状　（一九二〇）
（江戸後期）七月廿二日　切紙　一通
竹並村庄屋彦九郎ゟ大庄屋太一郎宛。田畠模様差出ゟ

二〇六　書状　（一九四一）
（江戸後期）二月六日　切紙　一通
大庄屋三輪佐一郎ゟ普請方楠野太一郎宛。普請に付夫数調達の件

二〇七　書状　（一九四八）
（江戸後期）七月廿八日　切紙　一通
安屋村庄屋幸助ゟ大庄屋太一郎宛。寺社願出の件外

二〇八　書状　（一九五二）
（江戸後期）六月廿八日　巻紙　一通
藤木清三郎ゟ太一郎宛。極楽寺切銭諸口払方の件

二〇九　書状　（一九五八）
（江戸後期）三月十日　切紙　一通
安屋村庄屋次助ゟ大庄屋太一郎宛。人払帳・人高帳持参被仰付ゟ件

二一〇　書状　（一九六三）
（江戸後期）二月十三日　巻紙　一通
藤田金蔵外ゟ大庄屋太一郎宛。木屋掛入用丸太等の件

二一一　書状　（一九六四）
（江戸後期）三月廿五日　切紙　一通
大庄屋太一郎ゟ庄屋松井一内外宛。七太夫様行程報知、別府糠塚一件

二三　書状　（一九六五）
（江戸後期）四月廿一日　巻紙　一通
大庄屋松井久五郎外ゟ同有吉与右衛門外宛。郡内渡守賃銭増方願

二三　書状　（一九六七）
（江戸後期）　巻紙　一通
吉田平蔵ゟ松井父外宛。婚姻に関して

二四　書状　（一九六九）
（江戸後期）八月十一日　切紙　一通
若松仮郡屋詰方衆宛。中原村陣屋入用蒋の件

二五　書状　（一九七二）
（江戸後期）八月八日　巻紙　一通
藤木村庄屋二三太ゟ大庄屋太一郎宛。竹並村庄屋旅行用心金拝借分返済の件

二六　書状　（一九七四）
（江戸後期）　切紙　一通
長崎屋仁右衛門ゟ太一郎宛。御願申上ル件

二七　書状　（一九七五）
（江戸後期）十二月廿六日　切紙　一通
楠野太一郎ゟ吉積佐平次宛。金子拝借の件

二八　書状　（一九七七）
（江戸後期）　切紙　一綴
高汐荒仕戻夫銭納の事

二九　書状　（一九七八）
（江戸後期）六月七日　巻紙（首欠）一通
松井正五郎ゟ庄屋太一郎宛。ねだり物の件

三〇　書状　（一九七九）
（江戸後期）十二月十七日　巻紙（首欠）一通
藤木村庄屋清三郎ゟ庄屋太一郎宛。極楽寺切銭払方の件

三一　書状　（一九八三）
（江戸後期）十月廿日　切紙（首欠）一通
一内ゟ楠大宛。丁銭渡方依頼外

三二　書状　（一九九〇）
（江戸後期）未十二月廿五日　切紙　二通
切米指引に参上外。付、手形（慮兵衛ゟ安川丈右衛門宛）

三三　書状　（一九九二）
（江戸後期）　切紙　一通
依頼の品渡方願、銭受取外

三四　書状　（二〇〇四）
（江戸後期）十月七日　切紙　一通
宮川立岱ゟ大庄屋太一郎外宛。公儀役々廻浦の節出方出来不仕件

三五　書状　（二〇一二）
（江戸後期）八月廿八日　切紙　一通
若松村庄屋松井一内ゟ郡役所宛。長崎奉行下向に付内夫の件尋ね

三二六　書状　（二〇一七）
（江戸後期）　切紙　一通
貞六取調子の件

三二七　組頭貞六返書　（二〇一八）
（江戸後期）十二月廿七日　切紙　二通
楠野太一郎宛。小河様米一件

三二八　書状　（二〇一九）
（江戸後期）四月十七日　切紙　一通
楠野太一郎〆原七右衛門宛。天願寺清市取調子の件

三二九　書状　（二〇二〇）
（江戸後期）十月　切紙　一通
一内〆太一郎宛。公儀役人小倉到着の報知

三三〇　書状　（二〇二一）
（江戸後期）　切紙　一通
大庄屋松井久五郎〆同太一郎宛。関番所入用蒋等指出方の件

三三一　書状　（二〇二三）
（江戸後期）三月廿六日　巻紙　一通
太一郎〆庄屋二三太外宛。岸原七太夫殿黒崎入込に付呼出状

三三二　書状　（二〇二五）
（江戸後期）十月十八日　切紙　一通
一内〆楠宛

三三三　書状　（二〇三〇）
（江戸後期）十月廿七日　切紙　一通
半大夫〆太一郎宛。贈物の礼

三三四　書状　（二〇三一）
（江戸後期）六月十三日　切紙　一通
竹並村庄屋彦九郎〆楠野太一郎宛。内分にて萩城下広島迄御用仰付られ候に付

三三五　書状　（二〇三三）
（江戸後期）正月七日　切紙　一通
大庄屋郷本三兵衛〆同太一郎宛。年始諸入目の件

三三六　書状　（二〇三四）
（江戸後期）十月十九日　切紙（首欠）一通
枝光村庄屋与三郎〆太一郎宛。在宅日の報知

三三七　書状　（二〇三七）
（江戸後期）十二月十六日　切紙（包紙入）二通
楠野太一郎〆吉積佐平次宛。拝借の件外。付、井上久四郎〆太一郎宛書状

三三八　書状　（二〇三八）
（江戸後期）十二月廿一日　切紙（包紙入）一通
楠野太一郎〆吉積佐平次宛。金談の件

三三九　書状　（二〇三九）
（江戸後期）子正月五日　切紙　一通
薩州柿本彦左衛門〆赤間脇本陣新屋正右衛門宛。銅屯金斤高並直段報知願

二四〇 書状　（二〇四一）
（江戸後期）五月十日　巻紙　一通
政二ゟ太一郎宛。夫銭の件

二四一 書状　（二〇四四）
（江戸後期）六月十六日　切紙　一通
普請方太四郎ゟ庄屋太一郎宛。冬春普請夫積帳案文等送付

二四二 書状　（二〇四五）
（江戸後期）六月朔日　切紙　一通
森常陸ゟ権市宛。金子借用の礼

二四三 書状　（二〇五四の二）
（江戸後期）八月九日　巻紙　一通
角一郎ゟ大庄屋太一郎宛。岩屋定番宅普請に付

二四四 書状　（二二四〇）
（明治初期）　切紙　一通
材木積出の件外

二四五 書状　（一五三九）
（明治初期）九月八日　切紙　一通
司民曹ゟ御用聞列楠野右兵多宛。昨年扶持方米の件

16 家

一 年始到来帳　（一三五）
天保九年正月　長綴　一綴

二 上巳到来帳　（一四四）
天保十二年三月　小横帳　一冊

三 染物通　（一〇七七）
弘化五年　小横帳　一冊
紺屋定五郎ゟ楠野慮兵衛宛

四 亡母一周忌諸控帳　（一四二）
嘉永四年十一月　長綴　一綴

五 嘉作妻縁一件書類　（一四七九）
安政四年十一月　切紙（袋入）九通

六 嘉作婚礼書類　（一二九二）
安政四年十一月　長綴（袋入）二綴

七 出産祝儀到来帳　（一六一三）
安政七年三月　長帳　一冊

八 着復帳　（一五七五）
慶応元年六月　長帳　一冊
単物類

九 借家賃諸損料月々勘定帳　（一〇三二）
明治三年九月　長帳　一冊

一〇 覚　（一五七六）
（江戸後期）　長綴　一綴
はり箱、刀掛、釜等書上

一一　卯年中日用覚帳　（三〇七）
（江戸後期）　長綴　一綴
日用品代書留

一三　寅年中日用覚帳　（三八五）
（江戸後期）　長帳　一冊

一三　八十一歳嘉一切控帳　（一四三）
（江戸後期）　長帳　一冊

一四　七月一日戸長離杯会人員　（一六一八）
（明治初期）　長綴　一綴

17　その他

一　発句集　（一六〇七）
文政十四年正月　書綴　一綴

二　慶応元文月二番　（一一一四）
慶応元年　長帳　一冊

三（仮題）句集　（一一一八）
慶応二年　長綴　一綴

四　慶応三卯六月書抜　（一一一〇）
慶応三年　長綴　一綴

五（仮題）句集　（一一二一）
慶応三年　長綴　一綴

六（仮題）発句集　（一六〇八）
（江戸後期）　書綴　一綴

七　阿蘭陀一件之写　（一七九六）
文政十一年十月　書冊　一冊

八　将碁指組　（一一四八）
文政十三年　書冊　一冊

九　霸沢良浦一世一代大会番付　（一六一五）
弘化三年三月　長帳　一冊

一〇　二十四孝稚講釈・当流幼児学文・三道真訓　（一一四五）
嘉永二年二月写　書冊　一冊
貝原家訓

一一（仮題）風説書　（一四四五）
（明治初期）　折紙　一通
年号廃止、官吏兵隊の外は脱力外

一二　絵図　（一七七九）
（江戸後期）　一枚

一三　舎利儀記　（一〇三九）
（江戸後期）　書冊　一冊

一四　来迎和讃　（一一四九）
（江戸後期）　書綴　一綴

一五　五常訓　（一一四四）
（江戸後期）　書冊　一冊

一六　（仮題）米書上　（一二四九）
（江戸後期）　断簡

一七　（仮題）台本　（一六一二）
（江戸後期）　長綴　一綴

一八　書札　（一六九一）
（江戸後期）　書綴　一綴

一九　覚　（一七七八）
（江戸後期）　切紙　一通
大黒屋。椎茸代等受取

二〇　一代疱瘡除祭方　（一七八三）
（江戸後期）　切紙　一通

二一　江戸出火（覚）　（一九六八）
（江戸後期）戌二月九日出　巻紙　一通

二二　請取　（一二二一）
（江戸後期）申十二月廿九日　一紙　一通
庄屋太一郎宛

二三　受取　（二〇六〇）
（江戸後期）　切紙　一通
丈右衛門方嘉作宛。金子

二四　覚　（一四五三）
（江戸後期）巳五月三日　切紙　一通
赤間関薬種店方楠野宛。受取

二五　受取　（一七一三）
（江戸後期）十一月十五日　切紙　一通
米屋助右衛門方楠野宛。銀札

二六　広告　（一七六九）
（江戸後期）　一紙　一通

二七　（仮題）芝居広告　（八九四の二〇）
（江戸後期）　一紙　一通

二、明治以降史料

1　行　政

一　（仮題）通達　（一九三二）
明治五年五月　一通
福岡県聴訟課方。山鹿村八右衛門判元預申付

二　御請申上一札之事　（一八七一）
明治五年五月　書綴一綴・切紙一通
庄屋代野間定兵外方。御吟味中人柄御預被成に付

三（仮題）呼出状　（一九二九）
明治五年五月　切紙　一通
福岡県聴訟課ゟ山鹿村八右衛門宛

四出願　（一二三八）
明治九年四月　一通
二嶋村松井健作外ゟ。修多羅村保里新次郎へ貸金の件

五名換御願　（一九四二）
明治九年八月　書綴　一綴
楠野租作ゟ

2 租税

一戸畑村田地楠野抱分附口年貢余米取分帳　（八六）
明治五年正月　長綴　一綴

二貢租作徳日勘定帳　（八二九）
明治十年　長帳　一綴

三田畑附卸貢租作徳取調薄　（六四〇）
明治十三年三月　書冊　一冊
楠野太一郎

四枝光村田畑貢租作徳下作人割調帳　（一七三一）
明治十四年九月　長帳　一冊

五（仮題）田畑地租書上帳　（六五四）
（明治以降）　書綴　一冊

六明治七戌年分石代米取立帳　（一〇三〇）
明治七年　長帳　一綴
戸畑村楠野租作分

七記　（一七四六）
（明治以降）　一通
酉十二月半高上納

3 土地

一作方勘定帳　（二六）
明治十年　長帳　一冊

二作方勘定帳　（一七九二）
明治十一年一月　長帳　一冊

三作方諸約帳　（一七九一）
明治十五年一月　長帳　一冊

四作方勘定帳　（一）
明治十六年　長帳　一冊

五作方帳　（二）
明治十七年　長帳　一冊

六売買ニ付地券名換願　（一八〇一）
明治十八年　書綴　一綴
壱渡人楠野太一郎。買受人竹内又三郎

七　地券証紛失御届　（一八〇九）
明治十八・十九年　七通
楠野太郎右

八　地所売買ニ付名換願　（一八一〇）
明治十九年十一月　書綴　一綴
売渡人楠野右買受人芳賀作十

九　地券紛失ニ付新規御下渡願　（一七九九）
明治十八年十二月　書綴　一綴
楠野太一郎右

一〇　楠野太一郎所有地券証写　（一七九八）
（明治以降）　書冊　一冊
戸畑村分

一一　戸畑村畑宅地林書抜帳　（一八〇〇）
（明治以降）　書冊　一冊

一二　楠野太一郎所有地券証写　（一八〇二）
（明治以降）　書冊　一冊
戸畑村分

一三　（仮題）田畑帳　（一八〇八）
（明治以降）　書綴　一綴

一四　楠野太一郎所有地券証写　（一八〇七）
（明治以降）　書冊四冊合冊
戸畑村、修多羅村

一五　田畑売込定約名寄　（一八〇六）
（明治以降）　書冊　一冊

一六　売込地所名寄簿　（一八〇五）
（明治以降）　書冊　一冊
戸畑村分

一七　（仮題）田畑帳　（一八〇四）
（明治以降）　書綴　一綴

一八　第二十二小区村々地券願上帳ニ付指出之事　（一二三九）
（明治以降）　一通

一九　田畑名寄帳　（六四一）
（明治以降）　書冊　一冊
第五大区修多羅村

二〇　田畑名寄帳　（六四二）
（明治以降）　書冊　一冊
第五大区修多羅村

二一　田畑名寄帳　（六四三）
（明治以降）　書冊　一冊
第五大区修多羅村

二二　記　（二〇六一）
（明治以降）　一綴
作人書上

三三　書状　（一九九四）
（明治以降）　切紙　一通
卯兵衛ゟ和田仁三郎宛。宅地証書の儀

二四　戸畑村分田反別書抜帳　（六六四）
（明治以降）　書冊　一冊

4　家

一　諸控簿　（三八三）
明治十年　長帳　一冊
三代楠野太一郎

二　郵便出状控留書帳　（一一三六）
明治十一年　長綴　一綴

三　雑聚控記簿　（三六七）
明治十三年　長帳　一冊
諸支出書上

四　（仮題）覚　（一四一四）
明治十七年　長綴　一綴

五　酒御通　（一五六五）
明治廿二年二月　小横帳　一冊
宮地店ゟ楠野宛

六　御酒通　（一五六四）
明治廿三年一月　小横帳　一冊
伊勢屋店ゟ楠野太一郎宛

七　物品御通　（一一三七）
明治廿三年　小横帳　一冊

八　諸品御通　（一一五〇）
明治廿三年十月　小横帳　一冊
高崎商店

九　受取　（一一六四）
明治廿七～廿八年　五通
極楽寺壇家護持会喜捨金。付、書状二通

一〇　肴御通　（一一三八）
（明治以降）　小横帳　一冊

一一　負債返却予算表　（一八〇三）
（明治以降）　書冊　一冊
講

一二　覚　（一〇五九）
（明治以降）　二通
柴田幸七ゟ楠野太一郎宛。諸支払

一三　書状　（一七六八）
（明治以降）十六日　一通
品物買入の件外

一四 記　（一〇六三）
（明治以降）　一通
畝杭、浜田様送籍の事外

一五 印紙記載　（一〇八）
（明治以降）　書綴　一綴

一六 （仮題）答辞　（一九九八）
（明治以降）　一通
酒組合品評会褒賞授与式の答辞

一七 切符　（一九八五）
（明治以降）　四綴

5 その他

一 発句言込折冠沓送兼題撰呼書抜帳　（一一二七）
明治十五年　長帳　一綴

二 人道四情之解源義経伝記　（一一四〇）
（明治以降）　書綴　一綴

三 落穂集　（一一三九）
（明治以降）　小横綴　一綴

四 辞早合点　（一一三四）
（明治以降）　書冊　一綴
伊藤常足門人金丸潤一草稿

五 詠草　（一一三三）
（明治以降）　書冊　一綴
常足大人撰

六 （仮題）手相　（一七七〇）
（明治以降）　一紙　一通
武田家秘事

七 恵方神社詣方鑑　（一四八七）
（明治以降）　一紙　一通
久衆昇造ゟ楠野宛

古野家文書

一、江戸時代史料

1 支配

(1) 触状・達書

一 定　(八八二)
(正徳・享保)天保十四年六月刊　書冊　一冊
本屋又助板

二 心得之ケ條　(五四五)
文政元年十一月(文久三年十一月写)　書冊　一冊
小嶋源五左衛門外ゟ宮永大庄屋神谷才一郎外宛。百姓心得

三 心得之ケ条　(五四六)
文政元年十一月　書冊　一冊
小嶋源五右衛門外ゟ芹田村大庄屋藤右衛門外宛

四 心得之ケ條　(一〇二三)
文政元年十一月　書冊　一冊

五 倹約定　(一七五三)
文政十一年　書綴　一綴

六 兼々相達置ゟ倹約定書之外当年ゟ三季之間欠略執行心得ケ条書　(一九七六)
天保九年十二月　書綴　一綴

七 欠略執行心得書　(七六一)
天保九年十二月　書冊　一冊

八 (仮題)追加村方御定条目　(一九七五)
天保十二年十二月　書綴　一綴

九 旅人判外取締一件御達書　(一〇二三)
慶応元年八月　書冊　一冊

一〇 倹約ケ条書　(一〇二四)
慶応元年閏五月　書冊　一冊

一一 御大倹申ニ付御家中幷医師衆江御達書写　(二〇一〇)
慶応元年　書冊　一冊

一二 御達書写　(一四九〇)
(江戸後期)八月廿四日　切紙　一通
稲葉美濃守ゟ大目附宛。長州征伐被仰出

一三 旅人取締一件御触写　(一〇二〇)
慶応二年　書冊　一冊
保正古野三郎

一四 心得御達書写　(一九七七)
慶応三年　書冊　一冊
底井野御茶屋御奉行肥塚次郎右衛門様ゟ御達ニ被成

一五 御達書　(七一二・一〇二五)
慶応三年六月朔日　書冊　二冊
山口村庄屋古野三郎。付、御達書添條目

一六 御達書付写　（七〇五）
慶応四年二月　書綴　一綴
旅人取締向外

一七 御高札案　（一〇一五）
慶応四年八月　書冊　一冊

一八 御高札案　（一〇一四）
慶応四年八月　書冊　一冊

一九 諸鳥猟御達書ケ条書御触写　（七一七）
慶応四年十一月　書冊　一冊

二〇 諸猟御達書　（一六四三）
明治元年　書冊　一冊

二一 王政御制札写　（七〇六）
慶応四年三月　書冊　一冊

二二 王政御制札写　（六八五）
慶応四年　書冊　一冊

二三 大政官御触写　（二九七六）
（明治元年）　書冊　一冊
神祇官の再興及神仏判然令

二四 御大倹御達ケ条書　（二〇〇八）
明治二年七月　書冊　四冊
農長古野惣五郎控

二五 御大倹ニ付心得伺書廉々抜帳　（二〇〇九）
明治二年九月写　書冊　一冊
保正古野三郎控

二六 官名御改正御触写　（八七六）
明治二年九月　小横帳　一冊

二七 御家中御取締ケ条書御触達写　（一六三一）
明治二年　書綴　一綴
庄屋古野三郎右衛門控

二八 宗旨御改書法治定書写　（五三三）
明治二年　書冊　一冊

二九 御家中御取締ケ条書再度御触達写　（一六五三）
明治二年六月　書綴　一綴

三〇 御家中御取締ケ条書再度御触達写　（一六五二）
明治二年六月　書冊　一冊
農長古野惣五郎

三一 （仮題）達　（二五三九）
明治四年二月　書綴　一綴
民事懸ゟ両粕屋宗像岡浦触口中宛

三二 御改革御達書　（一〇二二）
（江戸後期）三月　書冊　一冊
水野貞之進ゟ

三三　御達書写　（七一九）
（江戸後期）五月　長冊　一冊
三四　御達書写　（一七四九）
（江戸後期）巳五月　書冊　一冊
紙役所ゟ上有木村宛。上納楮の件
三五　（仮題）達　（二五四〇）
（江戸後期）巳九月　書冊　一冊
町奉行・郡奉行宛。長崎表へ非常の異国船渡来の節御手当人数の件
三六　御本〆小河専大夫様御達書写　（五六八）
（江戸後期）六月　巻紙　一通
文次郎。褒賞
三七　（仮題）覚　（五三一の六）
（江戸後期）辰七月　長綴　二綴
風俗改正、衣類制度外。本城庄屋正右衛門
三八　御達書写　（一九七三）
（江戸後期）　書冊　一冊
郡方仕法替に付
三九　覚　（一〇二六）
（江戸後期）　書冊（一部破損）一冊
倹約の件

四〇　御達書写　（一四八九）
（江戸後期）八月十七日　切紙　一通
肥塚次郎右衛門ゟ。此節郡方御仕法替被仰付郡奉行掛分ケ請持被仰付ゟ
四一　（仮題）達　（八九一）
（明治初期）七月廿四日　長綴　一綴
弾正台御役々御出張ニ相成、当藩会計掛役々之内不審の次第有之謹慎被仰付ゟ

(2)　巡見使・廻郡

四二　御巡見御道筋書抜覚帳　（二九〇）
文化八年十月　小横帳　一冊
四三　文政二卯年同十一子年両度御廻郡ニ付郡方御引合書　（九一〇）
嘉永七年写　小横帳　一冊
四四　近藤勘七郎様御尋ニ付御答申上ゟケ条之覚　（八九〇）
天保九年八月　書綴　一綴
古門村庄屋甚五郎ゟ郡役所宛。勝野村抱郡境ゟ遠賀郡境迄の道中に付
四五　美作殿出勢　（五三一の二）
慶応二年六月六日　長綴　一綴
宿割等手当の件

一四一　御成ニ付諸役割　（八七三）
明治二年三月　書綴　一綴

(3)　災害・救恤

一四二　鞍手郡四郎丸村　火事逢百姓源七家作料　御用心除御銀拝借御願申上ル事　（七八四）
文政六年正月　巻紙　一通
四郎丸村源七ゟ遠賀鞍手郡代役所宛

一四三　鞍手郡四郎丸村火事逢百姓家作銀拝借年賦借状帳　（七八二）
文政六年正月　書冊　一冊
四郎丸村源七ゟ村上甚十郎宛

一四四　鞍手郡四郎丸村百姓伊助組合中ゟ乍恐御願申上ル事　（二三九四）
文政六年九月　巻紙　一通
四郎丸村組頭取善三外ゟ郡代役所宛。養育臨時御救米頂戴願

一四五　福丸於御郡家ニ御郡代御助役平井久八様ゟ御達被仰付ル御書付之写　（二三三八）
文政七年閏八月十三日　切紙　一通
四郎丸村嘉蔵へ養育費支給の事

一四六　鞍手郡四郎丸村火事逢百姓家作銀拝借年賦借状　（七八五）
天保三年十月　一紙　一通

一四七　鞍手郡四郎丸村火事逢百姓家作銀拝借年賦借状帳　（七八三）
天保三年十月　書冊　一冊
四郎丸村藤作ゟ川越又右衛門宛

一四八　鞍手郡四郎丸村百姓藤作ゟ乍恐申上ル口上之覚　（七八一）
天保三年十月　切紙　一通
四郎丸村藤作外ゟ郡代役所宛。出火の原因

一四九　鞍手郡四郎丸村火事逢百姓藤作焼失品付書上帳　（七八六）
天保三年十月四日　長帳　一冊

一五〇　書状　（七八八）
天保三年　切紙　一通
藤作ゟ郡代役所宛。火事逢百姓藤作家作料御用心除御銀拝借御願申上ル事

一五一　書状　（七八七）
天保三年八月　切紙　一通
宮田村大庄屋吉柳作市ゟ川越又右衛門宛。藤作居家焼失に付

一五二　鞍手郡四郎丸村藤作組合中ゟ申上ル口上之覚　（七八九）
天保三年十月四日　一紙　一通
卯助外ゟ郡代役所宛。藤作居家焼失に付

二五 鞍手郡四郎丸村火事逢百姓藤作家作料御用心除御銀拝借御願申上ゟ事　（七九〇）
天保三年十月　巻紙　一通

二五 鞍手郡何村御救借銀借状帳　（二三九六）
天保五年十一月　書冊　一冊

二六 御救米割渡帳　（二一五八）
天保七年十二月　長帳　一冊

二七 鞍手郡倉久村火事逢百姓家作銀拝借年賦借状帳　（二四一三）
天保九年十月　書綴　一綴

二八 水損備金目六　（二三九七）
天保十四年閏九月調　巻紙(包紙入)一通

二九 水損御備金之内御預リ申上ル分勘定目録之事　（二三一九）
弘化三年十一月　一紙(包紙入)一通
勝野村原田兵太郎ゟ古野三郎右衛門宛

二〇 鞍手郡四郎丸村勘兵衛乍恐御願申上ゟ事　（七一五）
文久二年四月　書冊　一冊
拝借米返納の件

二一 鞍手郡四郎丸村庄屋惣五郎乍恐申上ゟ口上之覚　（八六四）
(江戸後期)二月　巻紙　一通
惣五郎ゟ坂田新五郎役所宛。百姓中難渋に付粮物買入ゟ分御救被為仰付ゟ様

二二 鞍手郡四郎丸村庄屋惣右衛門乍恐申上ゟ口上之覚　（四七七）
(江戸後期)　長帳　一冊
困窮に付村の実情訴え

二三 (仮題)植木村御郡囲米覚　（二八四四）
(江戸後期)　一紙　一通

二四 覚　（三二〇九）
(江戸後期)　折紙(尾欠)一通
金生村大庄屋石井与三郎ゟ。貧民御救の件

二五 (仮題)覚　（三二一二）
(江戸後期)酉二月　折紙　一通
内野太郎右衛門外ゟ。貧民救済の件

(4) その他

二六 御茶幷ニ馬術執行之記　（二二八四）
天保十三年三月　書冊　一冊
小木原三楽

二七 五郷様太宰府御引越御供附幷五藩御守衛御供人数賄一切取書　（二五三一）
慶応元年　書綴　一綴

二八 五郷様宰府御滞府ニ付五藩御守衛口々引合帳　（二一六三）
慶応元年　長帳　一冊

一三（仮題）銃士組名書　（二一七七）
（慶応期）　書綴　一綴

一四 勤王家銘々夫々御仕置覚　（三二〇四）
慶応元年十一月　長帳　一冊

一五 慶応四年辰四月切腹被仰付ゟ覚　（三一五二）
慶応四年　長綴　一綴

一六（仮題）覚　（二一八二四）
（江戸後期）　折紙　一通
吉田大炊・大音兵部等処罰関係記事

一七 若旦那様御額直御規式御手当控　（四六八）
天保八年十一月廿八日　長帳　一冊

一八 留戸売渡拝書之事　（七九六）
嘉永元年十一月　一紙　一通
久平ゟ蔵元宛

2 治安・訴訟

一 鞍手郡四郎丸村四平御詮儀ニ付乍恐申上ル口上之覚　（二四一〇）
文政五年十一月　巻紙　一通
平野茂兵衛宛。倉久村善十目安書入ゟに私儀相携居申ゟ件

二 鞍手郡四郎丸村庄屋組頭乍恐申上ル口上之覚　（二三九三）
文政五年十一月　一紙　一通
四郎丸村庄屋惣五郎外ゟ平野茂兵衛宛。倉久村善平目安書入に当村四平相携居申ゟ件

三 鞍手郡四郎丸村四平組合中ゟ乍恐申上ル口上之覚　（二四一二）
文政五年十一月　一紙　一通
藤三外ゟ平野茂兵衛宛。倉久村善十目安書入ニ当村私共組合四平儀相携居申ゟ件

四 鞍手郡倉久村判元四郎丸村居住源七居家焼失仕火元之次第御詮義ニ付乍恐申上ル口上之覚　（二四一七）
文政五年六月　巻紙　一通
四郎丸村源七ゟ遠賀鞍手郡代役所宛

五 鞍手郡倉久村判元四郎丸村居住弥七居家幷家財穀物焼失之分書上帳　（二三一一）
文政五年六月　長帳　一冊

六 鞍手郡四郎丸村庄屋組頭御詮儀ニ付申上ル口上之覚　（二四〇九）
文政八年二月　巻紙　一通
四郎丸村庄屋惣五郎外ゟ平井久八宛。当村判元弥助義

七 鞍手郡四郎丸村判元弥助御詮儀ニ付申上ル口上之覚　（二三二四）
文政八年二月廿三日　巻紙　一通
四郎丸村判元弥助ゟ平井久八宛

八 鞍手郡四郎丸村判元弥助御詮儀ニ付申上ル口上之覚　（二三〇八）
文政八年二月廿三日　巻紙　一通
四郎丸村判元弥助ゟ平井久八宛

九 御役所御状写　（二三一八）
文政八年四月廿八日　切紙　一通
郡代役所ゟ平村大庄屋平十郎宛。四郎丸村弥助一件

一〇 鞍手郡四郎丸村庄屋組頭ゟ乍恐御願申上ル事　（二三二〇）
文政八年四月　巻紙　二通
四郎丸庄屋外ゟ郡代役所宛。判元弥助の件

一一 鞍手郡四郎丸村判元弥助御詮儀ニ付申上ル口上之覚　（二三〇四）
文政八年五月晦日　巻紙　一通
四郎丸村判元弥助ゟ平井久八宛

一二 鞍手郡四郎丸村七右衛門吉六組合中御詮儀ニ付申上ル口上之覚　（二三一三）
文政八年五月　巻紙　一通
四郎丸村組頭取義助外ゟ平井久八宛。当村判元弥助の件

一三 鞍手郡四郎丸村判元弥助組合中御詮義ニ付申上ル口上之覚　（二三一二）
文政八月五日　一紙　一通

一四 達　（二三三一）
文政八年五月廿五日　巻紙　一通
郡代役所ゟ平村大庄屋平十郎宛。弥助の件

一五 鞍手郡四郎丸村庄屋組頭御詮儀ニ付申上ル口上之覚　（二四〇一）
文政八年五月　一紙　一通
四郎丸村庄屋惣五郎ゟ平井久八宛

一六 鞍手郡四郎丸村吉六七左衛門御詮儀ニ付申上ル口上之覚　（二三九八）
文政八年五月　巻紙　一通
当村判元弥助の義

一七 鞍手郡四郎丸村庄屋組頭御詮議ニ付申上ゟ口上之覚　（二三六八）
文政八年二月　一紙　一通
庄屋惣五郎外ゟ平井久八宛。当村判元弥助改の件

一八 直次一件口上書　（二四二四）
文政八年九月　巻紙袋入二通

一九 鞍手郡四郎丸村庄屋組頭御詮儀ニ付申上ゟ口上之覚　（一〇四三）
天保八年九月　一紙　一通
伝四郎外ゟ古野惣五郎宛

二〇 鞍手郡四郎丸村百姓清八御詮儀ニ付乍恐申上ゟ口上之覚　（七六三）
天保八年九月　巻紙　二通

二　鞍手郡四郎丸村清八御詮儀ニ付乍恐左ニ御受申上ゟ口上之覚　（八五〇）
天保八年九月　巻紙　一通

三　鞍手郡四郎丸村清八組合中御詮儀ニ付申上ゟ口上之覚　（一〇四六）
（天保八年）　切紙　一通
清八人品不宜

三　鞍手郡四郎丸村百姓清八御詮義ニ付乍恐申上ル口上之覚　（一三六〇）
天保八年九月　巻紙　一通

四　（仮題）覚　（一三〇〇）
文久元年六月　書冊　一冊
罪状白状の事

三　鞍手郡四郎丸村十右衛門組合中乍恐奉申上口上之覚　（一四三一）
（江戸後期）　切紙　一通
十右衛門不正筋相携ゟ件

三六　（仮題）口上書　（一四七六）
（江戸後期）　切紙（尾欠）一通
詮儀に付

三七　御不審之次第有之遠慮被仰付左之御面々（覚）　（一七一〇）
（江戸後期）六月廿六日　書冊　一冊

3　貢　租

一　鞍手郡四郎丸村田畠軸帳　（五七七）
安永七年　書冊　一冊
庄野兵左衛門

二　（仮題）軸帳　（一五一九）
慶応元年八月　書冊　一冊
四郎丸村

三　春免状　（一三四八）
文政五年二月　巻紙　一通
村上甚十郎外ゟ平村大庄屋平十郎外宛

四　鞍手郡四郎丸村ゟ商売御免札奉返上納証拠之事　（一三二七）
天保八年正月　一紙　一通
古野惣五郎ゟ遠賀鞍手郡役所宛。藍瓶免札

五　鞍手郡四郎丸村ゟ仕上ル指出之事　（一三九九）
天保八年正月　一紙　一通
庄屋古野惣五郎ゟ遠賀鞍手郡役所宛。藍瓶免札返納

六　四郎丸村紙漉四人滞分請書物之事　（一三〇三）
天保十三年四月　一紙　一通
庄屋惣五郎外ゟ紙方役所宛。上納銭滞り

七（仮題）覚　（五三〇の五）
天保十四年四月　長綴　一綴
倉久村庄屋古野三郎右衛門ゟ遠賀鞍手郡代役所宛。軸帳書上の村雑用米の支途

八 御願書　（二三六九）
嘉永三年九月　巻紙（包紙入）一通
庄屋惣五郎ゟ遠賀鞍手郡役所宛。田方作並不宜ニ付百姓中より指引の義相願ひ件

九 御郡切立米切出帳　（五七三）
嘉永三年十一月　書冊　一冊
古野三郎右衛門控

一〇 鞍手郡四郎丸村御年貢大豆　（一七七七）
嘉永五年　折紙　三通
惣五郎ゟ郡役所宛

一一 鞍手郡黒丸触之内山寄村ニ庄屋中ゟ乍恐御願申上ル口上之覚　（七〇〇）
慶応元年十一月　書綴　一綴
庄屋古野惣五郎外ゟ遠賀鞍手郡役所宛。上納米容赦願

一二（仮題）覚　（五三〇の三）
慶応二年十月　長綴　二綴
四郎丸村庄屋古野惣五郎ゟ。軸帳書上の博多宿米等の支途

一三 何郡何触御用金上納方調子帳　（四八七）
（江戸後期）　長帳　一冊

一四 覚　（一七九二）
（江戸後期）　小横綴　一綴
夫留夫明之事、藪坪銀之事外

一五 郡中御徳米大豆　（二五九二）
（江戸後期）　折紙　一通

一六（仮題）覚　（二一七四）
（江戸後期）　書綴　一綴
上納米

一七 廉書　（二八九八）
（江戸後期）　切紙　一通
当秋納方の件、石代上納期限外

一八 鞍手郡宮田村七平ゟ乍恐御願申上ル事　（二七四九）
（江戸後期）　一紙（尾欠）一通
瓦場免札相続の事

一九（仮題）上納未進分覚　（五三一の一五）
（江戸後期）　長綴　一綴

二〇 入札　（二三〇六）
（江戸後期）　切紙　二通
猟場戸畑枝光両村抱分運上銀

二（仮題）銀納覚　（二八一八）
（江戸後期）午四月　長綴　一綴
庄屋古野惣五郎ゟ

三 書状　（八四〇）
（江戸後期）九月廿八日　切紙　一通
上有木村庄屋古野惣太ゟ御用会所出勤同役中宛。当村上納金指出の件

三（仮題）軸帳入御郡切立米覚　（五三〇の四）
（江戸後期）　折紙　一通
四郎丸村分

二四 請取　（二八〇八）
（江戸後期）二月廿九日　切紙　二通
花田又吉ゟ上有木村庄屋古野惣五郎宛。冬納不足分等

二五 受取　（二九八六）
（江戸後期）戌三月三日外　切紙　二通
四郎丸惣衛門宛。上納銀

二六（仮題）米勘定　（二七〇四）
（江戸後期）亥十二月　切紙　一通
村野屋善助ゟ四郎丸村蔵元宛

二七 覚　（一四九三）
（江戸後期）四月廿日　切紙　一通
黒丸村庄屋吉郎ゟ山口村庄屋古野三郎宛。米の差引

二八 記　（二九九二）
（江戸後期）二月六日　切紙　一通
村の屋清作ゟ四郎丸村蔵元宛。米の清算

二九 演達　（一九七四）
（江戸後期）　長綴　一綴
雁鴨締御免

三〇 入札　（二五七三）
（江戸後期）　書綴　二綴
鳫野締猟

三一 覚　（三一四八）
（江戸後期）十月十五日　切紙　一通
勘定所ゟ四郎丸勘兵衛宛。俵数書上

三二 覚　（三一五三）
（江戸後期）子十月十一日　折紙　一通
上有木村庄屋古野惣太ゟ大庄屋神谷久右衛門宛。借入金上納覚

三三 申七月廿三日雑穀蔵詰　（二四六〇）
（江戸後期）　長綴　一綴

三四 覚　（二四六九）
（江戸後期）　長綴　一綴
上納覚

三五 記　(江戸後期)二月　切紙　一通　(一一一六)
蔵元ゟ惣五郎宛。不足米書上

4 村政

(1) 村政

一 鞍手郡四郎丸村百性利七幷妹りきゟ乍恐御注進奉申上口上之覚　(二四〇三)
文政六年三月十七日　巻紙　一通
父井戸へ投身一件

二 (仮題)口上覚　(二五六六)
文政六年三月　一紙(首尾欠)一通
四郎丸村勝平ゟ遠賀鞍手郡代役所宛。投身一件

三 鞍手郡倉久村百姓中御請申上ル事　(一〇二七)
天保四年　書冊　一冊
欠略取行心得書

四 月払之控　(一九九一)
天保七年　書冊　一冊
古野惣五郎ゟ役所宛。鞍手郡四郎丸村ゟ仕上差出之事外

五 鞍手郡倉久村 山崎内山 百姓中人別連印を以御請申上ル書物之事　(七六八)
天保九年八月　巻紙　一通
倉久村百姓卯助外ゟ大庄屋安永弥四郎宛。万願寺組中との争論に付

六 鞍手郡四郎丸村之内万願寺百姓中人別御請申上ル書物之事　(七七二)
天保九年九月　巻紙　一通
長平外ゟ大庄屋安永弥四郎宛。堤魚依仕組売払ル一件

七 磯光村枝郷日陽寅春田方仕向拝借上納之次第書上申事　(二三一六)
弘化三年十二年　巻紙(包紙入)一通
磯光村庄屋彦四郎ゟ大庄屋古野三郎右衛門宛

八 猿はみ堤へ溺死之者有之御注進書控　(二三四〇)
弘化三年二月　巻紙(包紙入)一通

九 田方仕向拝借調子指出之事　(二三一五)
弘化三年十一月　一紙(包紙入)一通
勝野村庄屋清三郎ゟ大庄屋古野三郎右衛門宛

10 御用会留書　(五四七)
弘化四年正月　小横帳　一冊

一二　鞍手郡四郎丸村百性人別判ヲ以御請申上ル書物之事　（二四一二）
嘉永二年正月　巻紙　一通
久平外ゟ遠賀鞍手郡代役所宛。諸勝負制禁の件・倹約ケ条の件相守

一三　万願寺組中此節渡申合当戌年ゟ来子ノ年迄三ケ年之間欠略御願申上覚書之事　（九一四）
嘉永三年八月　巻紙（包紙入）一通
組頭七右衛門外ゟ庄屋惣五郎宛

一三　本村大久北有元万願寺百姓中ゟ御請申上ル書物之事　（二三六七）
嘉永三年九月　巻紙　一通
打寄徒党ケ間敷義決て仕間敷

一四　万元寺北大久本村下作中御願申上ゖ口上之覚　（二三六六）
嘉永三年九月　書綴　一綴

一五　本村大久北有元百姓中ゟ御請申上ル書物之事　（二四〇四）
嘉永三年九月　巻紙　一通
向後御才判筋相背申間敷

一六　鞍手郡四郎丸村百姓中人別判を以御請申上ル書物之事　（二三九九）
安政三年十月　巻紙　一通
法度・生活規則等を守る誓約

一七　鞍手郡四郎丸村難渋百姓作牛買入銭拝借御願申上ゖ事　（七一四）
慶応四年四月　書冊　一冊
庄屋古野惣五郎外ゟ遠賀鞍手郡役所宛

一八　手数減書写　（一〇一九）
慶応四年六月　書冊　一冊
保正古野惣五郎

一九　依御一新村中申合廉書　（七〇二）
慶応四年七月　書冊　一冊

二〇　御守国御在住一件当記　（二〇一一）
明治二年六月　長帳　一冊
古野惣五郎。郡々隊長幷附属共在住被仰付ゖ条

二一　定格月払案文　（七一〇）
（江戸後期）　書冊　一冊
鉄炮猟被成ゖ御侍方の件、入人の事外

二二　諸願諸差出物年中行事　（一〇一一）
（江戸後期）　書冊　一冊

二三　覚　（二七一一）
（江戸後期）十一月　切紙　三通
篠栗山伐出役所ゟ湯原村庄屋宛。杉酒船・同底賃銭。付、青柳郡役所の請取外

二四 鞍手郡黒丸触村々ゟ御届ケ申上ル事　（六八九）
（江戸後期）　書冊　一冊
天草賊徒押入致に付、峠之請持相立吟味可仕ル

二五 鞍手郡黒丸触村々ゟ御届申上ル事　（七〇一）
（江戸後期）　書冊　一冊
天草郡賊徒押入致に付、取防方手配の事

(2) 給人関係

二六 鞍手郡四郎丸村蒔田源右衛門様御知行分名寄　（五七八）
寛文十一年　書冊　一冊

二七 四郎丸村倉久村御給人様五節句納物諸品書上帳　（四八九）
寛政四年四月　長帳　一冊

二八 鈴鹿金十郎様鞍手郡四良丸村新知田畠名寄帳　（六九九）
寛政六年四月　書冊　一冊

二九 鞍手郡四郎丸村 御給人喜多原左内様 御新知分 田畠畝高書上帳　（六九四）
享和元年六月　書冊　一冊

三〇 小堀作太夫様鞍手郡四郎丸村御加増田畠名寄帳　（五四三）
文化九年十二月　書冊二冊合冊
付、鞍手郡四郎丸村御知行百姓軒附帳

三一 大塚小十郎様鞍手郡四郎丸村御加増知田畠名寄帳　（一〇三五）
文化十一年十二月　書冊　一冊

三二 平野茂平様御知行分鞍手郡四郎丸村田畠名寄帳　（一〇二九）
文政九年十月　書冊　一冊

三三 大野弁左衛門様御加増知分鞍手郡四郎丸村田畠名寄帳　（一〇二八）
文政十三年三月　書冊　一冊

三四 重浜弥右衛門様御加増知分鞍手郡四郎丸村田畠名寄帳　（一〇三一）
天保三年十一月　書冊　一冊

三五 重浜弥右衛門様御加増知分鞍手郡四郎丸村田畠名寄帳　（一〇三四）
天保三年十一月　書冊　一冊

三六 鈴鹿卯兵衛様御加増知分鞍手郡四郎丸村田畠名寄帳　（一〇三三）
天保五年十月　書冊　一冊

三七 鈴鹿卯兵衛様加増知分鞍手郡四郎丸村田畠名寄帳　（一〇三二）
天保五年十月　書冊　一冊

三八 御地頭様御名元幷納物高書上控　（二一六九）
天保五年七月　長帳　一冊
鞍手郡四郎丸村

三九　鞍手郡四郎丸村田畠名寄帳　（六九〇）
天保五年十月　書冊　一冊
鈴鹿卯兵衛様御加増知分

四〇　鞍手郡四郎丸村田畠名寄帳　（六八四）
天保七年十一月　書冊　一冊
喜多原左内様御加増知分

四一　小田正左衛門様御知行分鞍手郡四郎丸村田畠名寄帳　（一〇三〇）
天保十四年八月　書冊　一冊

四二　高木弥八郎様御知行田畠高幷畝数書上帳　（二三二一）
元治元年十二月　長冊　一冊
鞍手郡四郎丸村

四三　御地頭様方節季納物品付帳　（四七五）
慶応元年十二月　長帳　一冊
四郎丸村

四四　拝借仕り証拠之事　（一六〇五）
明治二年十一月　一紙　一通
四郎丸村庄屋古野惣五郎外ゟ鈴鹿金十郎宛。当巳知行米拝借仕り

四五　四郎丸村御地頭鈴鹿金十郎様御給知米直納一件　（二六三四）
明治二年十一月　一紙　四通

四六　毎年四郎丸村ゟ納来　（二六四二）
（明治二年）巳十二月　折紙　一通
鈴鹿金十郎

四七　書状　（一六〇五の二）
（明治二年）十一月十三日　切紙（包紙入）二通
鈴鹿金十郎ゟ四郎丸村宛。米大豆代米共に当秋分は代銀にて請取可申り

四八　書状　（八六九）
明治二年　切紙（包紙入）二通
郡役所ゟ黒丸村触口安永権次郎宛。蒔田平大夫減知の事

四九　山口村御在住大音重丘様御家床代金割渡帳　（九七四）
明治三年正月　長帳　一冊

五〇　覚　（一六〇六）
（江戸後期）十一月十三日　切紙　一通
鈴鹿金十郎ゟ四郎丸村庄屋古野惣五郎宛。夫二人分の代銭
覚

五一　大野様鶏送り目録　（二八〇五）
（江戸後期）十一月十八日　切紙　一通

五二　請取　（二八〇九）
（江戸後期）　切紙　二通
古野惣五郎宛。知行初穂米

三三 節季納　（九五三）

（江戸後期）　切紙　一通

四郎丸村

三四 書状　（一六〇四）

（江戸後期）十二月廿九日　切紙(包紙入)一通

鈴鹿金十郎ゟ古野惣五郎宛。知行米目録帳の件外

三五 書状　（一五二二）

（江戸後期）十一月廿三日　切紙(包紙入)一通

十左衛門ゟ古野惣太宛。地頭津田様ゟ人夫の出方の件

三六 書状　（一五一九）

（江戸後期）九月十一日　切紙　一通

下有木村庄屋有吉藤右衛門ゟ上有木村庄屋古野惣太宛。地頭様召連夫書上の件外

三七 書状　（一四六三）

（江戸後期）九月四日　切紙　一通

武谷善九郎ゟ芹田・上有木宛。地頭様御家頼閥引一条に付

三八 書状　（九四二）

（江戸後期）十一月廿日　切紙(包紙入)一通

大野弁太郎内川村広七ゟ古野惣五郎宛。鶏預申ゟ

三九 書状　（九四一）

（江戸後期）一月廿五日　切紙(包紙入)一通

大野弁太郎内川村広七ゟ古野惣五郎宛。御頼申ゟ鶏幷玉子の件問合せ

四〇 書状　（九四四）

（江戸後期）十二月十六日　切紙(包紙入)一通

嶋田円太夫ゟ古野惣五郎宛。節季餅搗の案内

(3) 村役人

四一 鞍手郡四郎丸村庄屋惣五郎当未九月ゟ来申八月迄大六ケ月小六ケ月ニ〆御扶持方御代官米ヲ以請取相渡申事（二四二〇）

文政六年九月朔日　一紙　一通

村上甚十郎外ゟ

四二 書状　（二四三一）

（文政六年）九月廿八日　一紙　一通

遠賀鞍手郡代役所ゟ四郎丸村庄屋惣五郎宛。惣五郎扶持方米支給の件

四三 鞍手郡宮田触村役人印鑑帳　（三二一四）

弘化五年正月　長帳　一冊

四四 新北触村之組頭山ノ口名元控　（八八七）

慶応二年四月　小横綴　一綴

大庄屋神谷市郎右衛門

四五 鞍手郡四郎丸村古野三衛門悴惣五郎乍恐御願上ゟ事　（二六九六）

（江戸後期）　折紙　一通

父親の罪の代罪願

六六　覚　（一四八六）
（江戸後期）酉一月　巻紙　一通
佐与村大庄屋甚次郎。中村大庄屋七右衛門禁足申付ゟに付、右跡聞次申付置ゟ得共比節聞次差免帰村申付ゟ

六七　覚　（一四八七）
（江戸後期）　切紙　一通
佐与村大庄屋甚次郎外。中村大庄屋七右衛門禁足申付ゟに付右跡聞次役の件

六八　覚　（二二八六）
（江戸後期）　長綴　一綴
大庄屋格の相続等に付

六九　御書附写　（二三三九）
（江戸後期）卯三月　切紙　一通
次郎右衛門外ゟ。代々永続役儀相勤ゟに付御料理申付

七〇　村役順　（二四五六・二六六三）
（江戸後期）戌六月外　切紙　二通

七一　（仮題）覚　（一四八八）
（江戸後期）　切紙　一通
岸本五郎太夫ゟ上境村大庄屋加藤仁助宛。宮田触大庄屋助役次郎助自殺いたしゟニ付

(4) 村入用

七二　桐山様御祝儀幷林様御帰国御祝儀惣代廻勤進物割方帳　（五一四）
天保九年　長帳　一冊

七三　（仮題）覚　（二五三四）
天保十四年四月　長綴　一綴
四郎丸庄屋惣五郎ゟ郡代役所宛。村雑用米・庄屋給に付申立

七四　鞍手郡上有木村捴畠仕次法拝借年賦証文帳　（一六七八）
明治三年　書冊　一冊
上有木村百姓中ゟ紙役所宛

七五　御奉行様御旅行幷御買米一件其外口々進物郡中割　（五一五）
（江戸後期）　長帳　一冊

七六　西郡御借入銀五ヶ年賦御返済分割合付　（八一八）
（江戸後期）戌十一月　一紙　一通
四郎丸村。怡土志摩早良三郡江借入銀年々御返済分

七七　おほへ　（二三一〇）
（江戸後期）　長綴　一綴
夫銭・莚・高木弥八郎様払等

七八　合薬拝借分代銭納目録　（二七六一）
（江戸後期）　折紙　一通

七九　請取　　（二九八五）
（江戸後期）子正月廿五日外　切紙　二通
木屋瀬郡家守八平ゟ庄屋惣五郎宛。薪・莚代等

八〇　酉年分薪問違分書留覚　　（一八五六）
（江戸後期）　長綴　一綴

八一　（仮題）金銭書上　　（五三一の一）
（江戸後期）　長綴　一綴
村入用費等

八二　（仮題）覚　　（三一五五）
（江戸後期）　巻紙　一通
郡奉行幷贈答覚

(5)　夫銭・夫役

八三　諸出夫着到帳　　（五三八）
安政六年　小横綴　一綴

八四　植木触出夫宿割帳　　（五一一）
安政六年　長帳　一冊

八五　長州御追討ニ付人馬出方賃銭其外諸手当凡見込割方帳　　（二一七一）
元治元年十一月　長帳　一冊
上有木村庄屋古野惣太

八六　御左備御人数附　　（二一六四）
元治元年　長帳　一冊

八七　長州御討入之節小荷駄送り出方鬮取定書　　（二一六七）
慶応二年六月　長帳　一冊
付、鶴田触申極書写

八八　長州御再討ニ付組頭出方日割鬮引　　（二五九五）
（慶応二年）　折紙　一通

八九　長州追討直通人馬出方才料組頭名元付　　（二六四四）
（慶応二年）　折紙　一通

九〇　御追討ニ付人馬割覚　　（五七四）
（慶応二年）　書冊　一冊
長州御討入之節

九一　少将様京都御出陣之節小荷駄送り人馬鬮引幷一切控帳　　（五八〇）
慶応四年　長帳　一冊

九二　少将様京都御出陣ニ付小荷駄送り人馬鬮引書類幷上方大変風説書　　（六九六）
慶応四年正月　書冊（袋入）一冊

九三　書状　　（二八〇四）
明治二年十二月廿一日　切紙（封筒入）一通
河村五平ゟ倉久村庄屋武谷善九郎宛。餅搗入用之現夫当季ゟ其村江申付候

九四　覚　（一〇三六）
（江戸後期）　長綴　一綴
出夫夫銭等に付

九五　（仮題）面役人数覚　（一三〇五）
（江戸後期）　長綴　一綴

九六　惣夫銭四月勘定　（一四〇五）
（江戸後期）　長綴　一綴

九七　（仮題）上有木村出夫覚　（一五二五）
（江戸後期）　切紙　一通

九八　今般木屋瀬宿諸通人馬継方致改正役所ゟ出役夫仕減少之仕法相立万事取約ゟ条々　（一五三一）
（江戸後期）戌十二月　長綴　一綴
明石半十郎外ゟ

九九　（仮題）人夫数書出　（一一七二）
（江戸後期）　折紙　一通

一〇〇　請取　（一七〇九）
（江戸後期）　切紙　一通
越川円作ゟ四郎丸庄屋惣右衛門宛。人馬仕組銭上納

一〇一　請取　（一九八三）
（江戸後期）未閏二月廿九日　切紙(包紙入)一通
木屋瀬宿和吉ゟ四郎丸庄屋惣五郎宛。夫銭先納之内

一〇二　未ノ春惣夫銭指支ニ付借立分払方目六　（一九八七）
（江戸後期）未十二月十三日　切紙　一通
庄屋惣右衛門宛

一〇三　口上　（一五二八）
（江戸後期）十一月廿二日　切紙　一冊
中野ゟ上有木村庄屋宛。人足差越ゟ様御達有之に付

一〇四　覚　（三一六四）
（江戸後期）寅五月十三日　切紙　一通
上有木庄屋有吉卯三郎ゟ御成方惣五郎宛。夫拼銭払分覚

一〇五　申四月七日沼口川出夫　（三一四九）
（江戸後期）　切紙　一通

一〇六　書状　（三一八八）
（江戸後期）五月十二日　切紙　一通
大庄屋今井与三郎ゟ御成方惣五郎宛。夫拼銭の事

一〇七　覚　（三一九九）
（江戸後期）　切紙　一綴
夫銭算用

(6) その他

一〇八 鞍手郡倉久村庄屋組頭ゟ乍恐申上ル口上之覚　（二四〇〇）
寛政十三年正月　巻紙　一通
倉久村庄屋惣五郎外ゟ坂田新五郎役所宛。当村善三買入牛馬代金の件

一〇九 倉久村善三牛馬代引負銭覚　（二三〇七）
寛政十三年十二月　巻紙　一通
倉久村遊民善三ゟ井上三太郎宛

一一〇 書状　（二四二三）
（江戸後期）七月廿七日　切紙（包紙入）二通
遠賀鞍手郡代役所ゟ惣右衛門宛。四郎丸村惣右衛門馬代の件

一一一 （仮題）覚　（二三〇九）
（江戸後期）　巻紙（首尾欠）一通
牛馬売買の件

一一二 鞍手郡四郎丸村神社仏閣小庵山川竈数古跡類一切書上帳　（七一三）
文政三年　書綴　一綴
庄屋惣右衛門ゟ郡代役所宛。続風土記書上帳

一一三 明細帳　（一〇一二）
文政四年七月　書冊　一冊

一一四 （仮題）覚　（一八八一）
文政五年正月　長綴　一綴
四郎丸村庄屋惣右門ゟ遠賀鞍手免方役所宛。四郎丸村小字名書上

一一五 荒野孫助殿頼明細書ひかへ帳　（三一一三）
嘉永元年七月　長帳　一冊
四郎丸村分村明細

一一六 萬覚　（五八三）
嘉永四年四月　小横帳　一冊
宗像郡大庄屋名・役号・触名・諸家倍臣万石以上外

一一七 （仮題）村明細　（三一二五）
安政三年五月　書綴　一綴
庄屋惣五郎ゟ郡代役所宛

一一八 故賦志得米雅紀　（二一一五五）
慶応二年　小横帳　一冊
惣郡役所名元、久松触庄屋中名頭

一一九 明細帳案文　（六八二）
（江戸後期）　書綴　一綴

一二〇 覚書　（二九五）
（江戸後期）　小横綴　一綴
触下村々の事

二二　鞍手郡本城村孝女行状　（六九五）
嘉永三年正月　書綴　一綴

二三　（仮題）褒賞状　（二七〇〇）
嘉永五年五月外　折紙　二通
鞍手郡山口村六郎

二三　覚　（一四八五）
（江戸後期）戌五月　巻紙　一通
岸本五郎太夫外ゟ。孝心之志厚く賞誉与ゟ

二四　宗像郡名残村ゟ御届申上ゟ事　（一〇八〇）
（江戸後期）　一紙　一通
当村藤五郎組合善六と申者

二五　鞍手郡四郎丸儀七行状奉申上ゟ事　（五〇六）
（江戸後期）戌三月　長綴　一綴
四郎丸村庄屋惣右衛門ゟ。当村儀七（九十一才）の事

5　土　地

(1)　土　地

一　四郎丸村六之助乍恐御願申上ル口上之覚　（二三六三）
安永三年三月　巻紙　一通
四郎丸村六之助ゟ味岡団右衛門宛。田地請返の件

二　証拠之事　（二三四四）
安永四年九月（明治期写）　巻紙　一通
宮川孫左衛門外ゟ。証拠山に願出相渡ゟ条

三　白山山之口両堤床弁米水掛割方帳　（五二五）
寛政十年　長帳　一冊

四　覚　（三一〇九）
享和四年、文化五年　巻紙一通・折紙一通
彦兵衛田畠持高

五　四郎丸村猿はみ提板井手溝松ケえ溝費惣水掛反割割帳　（五一八）
文化四年九月　長帳　一冊

六　四郎丸村壱丁田堤床幷新溝床共費米割方帳　（五一三）
文化十二年六月　長帳　一冊

七　鞍手郡四郎丸村庄屋惣右衛門乍恐申上ル口上之覚　（七二九）
文化十五年四月　長綴　一綴
当村枝郷御免分り万願寺土地の用水につき願

八　山浦百合野両堤床費米割方帳　（四六九）
文政元年九月　長帳　一冊

九　別所堤水掛田数調子帳　（四七九）
文政二年六月　長綴　一綴

一〇 大庄屋地所御渡分之内証文銭面附帳　（三二四二）
天保十二年十二月　長帳　一冊
寺小路村

一一 四ツ町堤床田数割方帳　（四五五）
安政二年十月　長帳　一冊

一二 山浦百合野両堤床米水下弁割方帳　（四七三）
安政四年九月　長帳　一冊

一三 御下作仕証文之事　（七八〇）
安政五年正月　一紙　一通
卯吉外ゟ庄屋惣五郎宛

一四 （仮題）田畠書上　（二七五〇）
安政七年二月　折紙　一通
四郎丸村庄屋惣五郎ゟ遠賀鞍手郡代役所宛

一五 四郎丸村山浦新堤溝筋倉久村抱田畠費畝書上帳　（四六三）
安政七年二月　長帳　一冊
倉久村組頭卯右衛門外ゟ郡代役所宛

一六 山浦新塘床書上寄帳　（四六五）
文久三年二月　長帳　一冊
四郎丸村組頭平三外ゟ郡代役所宛

一七 鞍手郡四郎丸村山浦新堤床幷溝筋弁米為償御拝借御願申上
ゟ質入田地受返畝高余米算用書上帳　（四九九）
文久三年四月　長帳　一冊

一八 御郡備御買上ケ田地証文帳　（七六〇）
慶応元年十二月　書冊　一冊
山口村庄屋神谷市右衛門ゟ。御郡備金を以御買上被仰付

一九 山浦新堤床幷溝筋費弁米水掛反別割方帳　（四三五）
慶応元年十一月　長帳　一冊

二〇 土地調子之儀ニ付竿数人別左之通　（四七六）
（江戸後期）　長綴　一綴

二一 四郎丸村本村 大久北有元百姓中連名を 以御請申上ゟ書物之事　（七六九）
明治三年三月　巻紙　一通
百姓安左衛門外ゟ庄屋古野惣五郎宛。田地居り合の事に付

二二 倉久田地代指引　（二六〇〇）
（江戸後期）　切紙　一通
香月勘吉ゟ庄屋惣五郎宛

二三 （仮題）私居村藤治郎田畠争論ニ付願　（五三一の四）
（江戸後期）寅七月　長綴　一綴
山口村小方丹波正ゟ大庄屋善五郎宛

二四 口書之覚　（六九八）
（江戸後期）　書綴　一綴
藤二郎ゟ庄屋古野三郎右衛門宛。妙現一作一ケ所の義

二五 （仮題）覚　（三二一〇）
（江戸後期）　折紙　一通
中原村惣八外ゟ。山境の件

二六　貴殿拙者催合買入田地配分約定証文　（一二九八）
（江戸後期）　一紙　一通
古野惣五郎ゟ催合ニ而買入ゟ田地

(2)　質　地

二七　永代相伝ニ売渡申書物之事　（一三四一）
寛保二年十二月十八日　一紙　一通
畠売主左助ゟ惣五郎宛

二八　御年貢米指詰り私抱分之内永代相伝ニ売渡し申書物之事　（七九三）
宝暦二年　一紙　一通
小三郎ゟ惣五郎宛

二九　（仮題）田地売渡証文　（一四二一）
宝暦三年十二月十三日　一紙（首欠）一通
源兵衛ゟ庄屋惣五郎宛

三〇　当上納ニ指詰り私抱分畠貴殿方へ永代相伝ニ売渡シ代米請取申書物之事　（一三六五）
宝暦三年十二月廿一日　一紙　一通
宇吉ゟ庄屋惣五郎宛

三一　売渡し申田地之事　（一〇四五）
明和元年十二月　一紙　一通
忠三郎ゟ庄屋惣五郎宛

三二　倉久四良丸抱田畠年季証文帳　（五四二）
明和三年三月　書冊　一冊

三三　（仮題）永代相伝ニ売渡申ゟ証文　（一三八〇）
明和三年七月　一紙（首欠）一通
上有木村武助ゟ庄屋惣五郎宛

三四　私儀御年貢米ニ指詰り抱分壱作年記四年売渡シ申借状之事　（三一八五）
明和五年十二月　一紙　一通
十三郎ゟ庄屋惣五郎宛

三五　我等抱分之地組高売渡シ代米受取申書物之事　（一三五一）
明和五年十二月　一紙　一通
倉久村左介ゟ四郎丸庄屋惣五郎宛

三六　御年貢米ニ指詰り抱高永代拝借ニ渡代銭受取申書物之事　（三一六五）
明和七年十二月　一紙（一部破損）一通
売主又市ゟ四郎丸村惣五郎宛

三七　永代譲渡畠方之事　（三一一三）
安永二年三月　一紙（一部破損）一通
吉次ゟ九平宛

三八　（仮題）田地売渡覚　（一九八二）
（安）永二年六月　切紙（一部破損）一通
売主七五郎ゟ庄屋惣五郎宛

二九　拙者抱四郎丸村分稲作永代相伝へ売渡申代銭請取之事　（一三四九）
安永三年四月　巻紙　一通
上有木村売主善九郎㊞

四〇　御年貢米指詰拙者四郎丸村田地稲作共左之通永代相伝ニ売渡代米請取申書物之事　（三一一四）
安永四年十二月　巻紙　一通
上有木村武助㊞四郎丸村惣五郎宛

四一　御年貢米指詰り拙者抱地組高之内永代相伝ニ売渡シ代米請取申事　（三一〇四）
安永五年十一月　一紙　一通
倉久村甚四郎㊞六次宛

四二　御年貢米ニ指詰り拙者抱地組高之内永代相伝ニ売渡代米請取申事　（三一二〇）
安永五年十一月　一紙　一通
倉久村九郎次㊞四郎丸六次宛

四三　御年貢米指詰り拙者抱地組高之内永代相伝ニ売渡シ代米請取申事　（三一二二）
安永五年十一月　一紙　一通
倉久村又次郎㊞四郎丸六次宛

四四　永代相伝ニ売渡し申田地之事　（三一二三）
安永六年正月　一紙　一通
七五郎㊞惣五郎宛

四五　御年貢米ニ指詰り拙者抱分之内田地貴殿方へ永代ニ相伝ニ売渡シ申代米請取申書物之事　（五三〇の一）
天明三年十二月　巻紙（袋入）一通
助七㊞惣五郎宛

四六　御年貢米指詰り私抱地組高之内永代相伝売渡シ申書物之事　（八〇六）
天明六年十二月　一紙　一通
小助㊞惣五郎宛

四七　（仮題）永代相伝売渡証文　（二四〇二）
寛政二年七月　巻紙（首欠）一通
上有木村仁平㊞四郎丸村惣五郎宛

四八　諸年賦銀指詰り拙者抱田畠高左之通永代相伝売渡シ代銭受取申書物之事　（三一一一）
寛政五年十一月　一紙　一通
売主惣兵衛㊞

五〇　諸上納指詰り拙者抱高売渡代銭請取証文之事　（三一一〇）
寛政六年十二月　一紙　一通
倉久村売主惣兵衛㊞

三一　御年貢米差詰り拙者抱田地質物召置代銭受取申書物之事　（三一〇二）
寛政八年十二月　一紙　一通
売主件平ゟ惣右衛門宛

三二　御年貢米ニ差詰り拙者抱田地質物ニ召置代銭受取申書物之事　（三一〇八）
寛政八年十二月　一紙　一通
小四郎ゟ惣五郎宛

三三　御年貢米ニ差詰り拙者抱質物ニ召置代銭受取申書物之事　（三一一五）
寛政八年十二月　一紙　一通
売主甚吉ゟ惣五郎宛

三四　御年貢米差詰り拙者田地質物召置代銭受取書物之事　（三一一九）
寛政八年十二月　一紙　一通
清七ゟ惣五郎宛

三五　御年貢米ニ差詰り抱田地質物召置代銭受取書物之事　（三一二四）
寛政八年十二月　一紙　一通
清七ゟ惣五郎宛

三六　拙者抱分田地引当仕銭借用仕証文之事　（八〇四）
享和二年五月朔日　一紙　一通
喜平ゟ忠七宛

三七　御年貢米ニ指詰私抱畠受寄ニ売渡代米受取申書物之事　（三一一八）
享和三年十二月　一紙　一通
売主貞十ゟ惣五郎宛

三八　当上納指詰拙者抱分之畠永代拝借ニ売渡代銭請取申ニ付書物之事　（三一〇三）
文化二年十二月　一紙　一通
売主孫市ゟ惣五郎宛

三九　覚　（一〇五二）
文化三年四月　一紙　一通
勘内ゟ興蔵宛。田畠譲り

四〇　乙野田地証文　（一〇四八）
文化三年五月　一紙（包紙入）一通
勘内ゟ興蔵宛

四一　拙者抱田地引当ニ借用仕証文之事　（二三八四）
文化三年六月十日　一紙　一通
弥四郎ゟ惣五郎宛

四二　拙者抱畠引当ニ仕リ蔵米借用仕ル証文之事　（八三二）
文化三年十二月　一紙　一通
正七ゟ庄屋惣五郎宛

四三　拙者抱畠引当ニ借用仕証文之事　（八二八）
文化十年十二月　一紙　一通
喜三次ゟ惣衛門宛

六四 拙者抱分田地引当ニ仕銭借用仕証文之事 （八二九）
文化十一年六月廿日 一紙 一通
直七ゟ惣右衛門宛

六五 御年貢米ニ差詰拙者抱分之引当ニ仕証文之事 （八三三）
文化十三年十二月 一紙 一通
四平ゟ惣右衛門宛

六六 当上納米ニ差詰り拙者家屋敷共ニ永代相伝ニ売渡代米受取証文之事 （一〇四二）
文化十三年十二月 一紙 一通
弥吉外ゟ惣右衛門宛

六七 拙者抱田地売渡候代米受取申証文之事 （七九一）
文化十四年十二月 一紙 一通
喜八ゟ惣右衛門宛

六八 拙者抱畠年記売仕り代米受取申ニ付証文之事 （一〇三九）
文化十四年十二月十日 一紙 一通
売主兵助ゟ惣五郎宛

六九 拙者抱分壱丁田堤床売渡代銭受取申証文之事 （八三一）
文化十四年十二月廿九日 巻紙 一通
直七ゟ惣衛門宛

七〇 御年貢米ニ指詰り拙者抱畠引当ニ仕証文之事 （三一〇七）
文化十五年二月 一紙 一通
借主喜三次ゟ惣衛門宛

七一 当上納米ニ指詰り拙者抱分田地永代相伝ニ売渡シ代米受取申ニ付証文之事 （八四四）
文政元年十二月十八日 一紙 一通
仁市ゟ惣右衛門宛

七二 御上納米ニ差詰り拙者抱田地永代相伝ニ売渡代米受取申候ニ付証文之事 （二三五九）
文政二年正月廿九日 一紙 一通
正作ゟ惣右衛門宛

七三 拙者抱畠質物ニ召置米銭借用証文之事 （八二五）
文政二年六月 一紙 一通
甚九郎ゟ惣右衛門宛

七四 茂助殿家屋敷証文五百三拾二匁五歩之内借用仕候事 （八二二）
文政二年十月 一紙 一通
直平ゟ惣右衛門宛

七五 当御上納ニ差詰拙者抱分畠壱ケ所質物ニ召置銭借用仕候書物之事 （八三〇）
文政四年二月 一紙 一通
四郎丸村仁市ゟ庄屋惣右衛門宛

七六 拙者抱畠年季ニ而銭借用仕証文之事 （二三七二）
文政六年十二月 一紙 一通
新平ゟ庄屋惣五郎宛

七七　拙者抱古野山永代相伝ニ売渡代銭受取申証文之事　（二三四六）
文政七年五月　一紙　一通
甚九郎ゟ庄屋惣五郎宛

七八　我等抱分之田地売渡代米受取申書物之事　（七九四）
文政七年十二月　一紙　一通
甚九郎ゟ惣五郎宛

七九　私抱分之畠壱作引当ニ仕ゟ書物之事　（二三四七）
文政八年十二月　一紙　一通
伊七ゟ庄屋惣五郎宛

八〇　拙者抱畠貴殿方へ年記売仕代米受取証文之事　（八二一）
文政十二年十二月　一紙　一通
新吉ゟ惣五郎宛

八一　拙者抱分田地永代売渡申証文之事　（八一六）
天保三年三月　一紙　一通
嘉蔵ゟ惣五郎宛

八二　私抱分之畠貴殿方江永代相伝ニ売渡代銭代米受取申書物之事　（八二六）
天保三年十二月　一紙　一通
伝五郎ゟ惣助宛

八三　御年貢米ニ指詰り私抱分家屋敷永代相伝ニ売渡申書物之事　（三一〇五）
天保三年十二月　一紙　一通
売主茂七ゟ

八四　（仮題）受寄ニ而伝四郎へ売渡覚　（五三一の三）
天保三～安政二年　長綴　一綴

八五　永代相伝ニ売渡申証文事　（二三五五）
天保四年正月　巻紙　一通
小七ゟ惣助宛

八六　銭借用仕田地証文之事　（二三五八）
天保七年二月　一紙　一通
平市ゟ貞右衛門宛

八七　御年貢米指詰り拙者抱分田地永代相伝ニ売渡代米請取申書物之事　（九一一）
天保七年　一紙　一通
次吉ゟ

八八　拙者抱分田地引当ニ銭借用仕ル証文之事　（八五七）
天保七年十二月十六日　一紙　一通
喜十ゟ惣助宛

八九　拙者抱分之春作貴殿方へ売渡証文之事　（七七八）
天保十年十二月　巻紙　一通
又市外ゟ伝四郎宛

九〇　借用仕引当証文之事　（七三四）
弘化三年三月　一紙　一通
久平ゟ万願寺組中宛

九一　引当証文之事　（一〇四〇）
嘉永二年六月　一紙　一通
藤三外ゟ上有木村与三郎宛

九二　引当ニ仕証文之事　（九四八）
嘉永二年　一紙　一通
新助ゟ宮座連中宛。借用

九三　拙者抱分畠稲作貴殿方へ永代売渡申証文之事　（六二六）
嘉永三年七月　一紙　三通
藤三ゟ倉久村弥三次宛。付、証拠手形(万延元年十二月)、借用証文(嘉永四年十二月)

九四　当戌年上納ニ指詰り拙者居家永代ニ相渡証文之事　（八二三）
嘉永三年十二月十二日　一紙　一通
十助ゟ蔵元宛

九五　拙者抱分田地永代相渡申証拠之事　（七七三）
嘉永四年四月　巻紙　一通
四郎丸村与助外ゟ倉久村林右衛門宛

九六　拙者抱分田地永代相渡申証文之事　（七七六）
嘉永四年四月　巻紙　一通
四郎丸村与助外ゟ倉久村卯右衛門宛

九七　拙者抱分之田地永代相伝ニ売渡申ニ付証文之事　（六六六）
嘉永四年十二月　巻紙　一通
藤三ゟ恕平宛

九八　永代売渡申畠証文之事　（六六七）
嘉永六年十二月十九日　巻紙　一通
卯三良ゟ恕平宛

九九　(仮題)金子借用居屋敷田地引当証文　（三一一二）
嘉永七年五月　巻紙　一通
古野惣五郎ゟ京屋作兵衛外宛

一〇〇　借用金引当証文之事　（一七五〇）
嘉永七年五月　巻紙　一通
古野惣五郎ゟ京屋作兵衛宛

一〇一　筑前鞍手郡四郎丸村古野惣五郎借用金引当田地畝数調子帳　（二二九二）
嘉永七年　長帳　一冊

一〇二　筑前鞍手郡四郎丸村古野惣五郎借用金引当田地畝数調子帳　（三一一七）
安政四年閏五月　長帳　一冊

一〇三　田地引当証文　（一七五一）
安政四年閏五月　巻紙　一通
古野惣五郎ゟ山田作兵衛・広瀬源兵衛宛

一〇四　拙者抱貴殿ゟ永代ニ売渡証文之事　（七七五）
安政六年十二月　巻紙　一通
藤十外ゟ山崎卯右衛門宛

一〇五　拙者抱分之内畠永代ニ相伝ニ売渡申ゟ証文之事　（七七一）
万延元年　巻紙　一通
甚四郎外ゟ倉久村林右衛門宛

一〇六　拙者抱分之内畠永代売渡申書物之事　（七七四）
万延元年十二月　巻紙　一通
四郎丸村甚四郎ゟ倉久村久蔵宛

一〇七　拙者抱田地永代ニ売渡申証文之事　（七七九）
万延元年十二月　巻紙（包紙入）二通
幸平外ゟ六右衛門宛

一〇八　拙者抱分古野山荒畠共ニ永代相伝ニ売渡申ニ付証文之事　（一七二一）
慶応二年十月　一紙　一通
武助ゟ四郎丸村久平・源左衛門宛

一〇九　拙者抱分田地仕組ニ付年限中相渡申証文之事　（九一二）
慶応四年十二月　一紙　一通
萬願寺藤十ゟ

一一〇　拙者抱分畠稲作永代相伝ニ売渡申証文之事　（六二五）
明治元年　一紙（包紙入）二通
藤十ゟ恕平宛。付、田畠売渡証文（慶応三年十二月）

一一一　拙者抱分畠年季売渡申証文之事　（一六九九）
明治二年十二月　巻紙　一通
源左衛門ゟ宮座連中宛

一一三　拙者居家稲家永代売渡申証文之事　（八六五）
明治二年　一紙　一通
源左衛門ゟ蔵元宛

一一三　拙者抱分之畠本家共永代相伝ニ売渡申ゟ証文事　（九〇八）
明治二年三月　一紙　一通
丈助外ゟ古野惣五郎宛

一一四　拙者抱分家屋しき永代相伝ニ売渡申ゟ証文之事　（七五九）
明治二年十二月　巻紙（包紙入）一通
兵太郎ゟ

一一五　拙者抱分田地永代相伝ニ売渡証文之事　（八四一）
明治二年十二月　一紙　一通
藤四郎ゟ蔵元宛

一一六　拙者抱分畠永代相伝ニ売渡申証文之事　（八四三）
明治二年十二月　一紙　一通
源左衛門ゟ蔵元宛

一一七　拙者抱分田畠永代相伝ニ売渡申証文之事　（七九七）
明治二年十二月　一紙　一通
直平ゟ蔵元宛

一一八　拙者抱分之本家永代相伝ニ売渡申ゟ証文之事　（七四二）
明治二年十二月　一紙　一通
永作ゟ

二九　拙者抱分本家縁家共ニ永代相伝ニ売渡申ゟ証文事　（七三三）
明治二年十二月　一紙　一通
善吉ゟ蔵元宛

三〇　拙者抱分之本家永代相伝ニ売渡申ゟ証文之事　（七三二）
明治二年十二月　一紙　一通
平八路ゟ蔵元宛

三一　拙者抱分本家永代相伝ニ売渡申ゟ証文之事　（七三〇）
明治二年十二月　一紙　一通
孫左衛門ゟ蔵元宛

三二　拙者抱古野山永代売渡証文之事　（七六四）
明治二年十二月　一紙（包紙入）一通
徳左衛門外ゟ蔵元宛

三三　拙者抱分之田地年季売渡申証文之事　（一七〇〇）
明治三年正月　一紙（包紙入）一通
徳左衛門ゟ

三四　拙者抱分田地貴殿方へ年記売渡申ゟ証文之事　（八三六）
明治三年正月　巻紙　一通
文四郎ゟ惣五郎外宛

三五　拙者抱分田地永代売渡申証文之事　（二〇五六）
明治三年六月　巻紙　一通
藤十ゟ古野惣五郎外宛

三六　拙者抱分田地永代売渡証文之事　（一五二四）
明治三年十二月　一紙　一通
入江伝十ゟ万願寺善九郎宛

三七　九郎助抱立出山平三殿江永代相伝ニ売渡申証文之事　（二五二九）
明治三～四年　書綴　一綴

三八　当戌ノ御上納ニ差詰り拙者居家壱軒永代ニ相渡申証文之事　（七九五）
（江戸後期）戌十二月　一紙　一通
卯三郎ゟ蔵元宛

三九　証拠之事　（一七〇一）
（江戸後期）一月十六日　一紙　一通
古野信平ゟ四郎丸村庄屋惣五郎宛。田地質入

三〇　（仮題）田地稲作共ニ永代相伝ニ売渡覚　（二五七八）
（江戸後期）　一紙（尾欠）一通

三一　永代相伝ニ売渡シ田地書物之事　（二四四九）
（江戸後期）　（首部のみ）

三二　幸作申上ゟ口上之覚　（八二〇）
（江戸後期）四月十二日　一紙　一通
幸作ゟ惣五郎宛。永代売渡ゟ田畠請返しの件

三三　書状　（一七〇六）
（江戸後期）二月十四日　切紙　一通
松井ゟ惣五郎宛。古野信平田地受返の儀

一三三　書状　（九二二）
（江戸後期）二月十二日　切紙　一通
吉次ゟ三蔵宛。古野信平田畠受返の件

(3) 山・立木

一三五　鞍手郡倉久村御山坪数書上帳　（七二六）
宝暦九年七月　書冊　一冊

一三六　鞍手郡四郎丸村庄屋惣五郎乍恐御願申上ゟ事　（一七〇五）
安永二年　切紙　一通
惣五郎ゟ遠賀鞍手郡役所宛。萩原松山の立木の件

一三七　山野取帳　（五四九）
安政三年　小横綴　一綴

一三八　杉木数改幷尺廻シ之覚　（四四〇）
慶応四年九月　長帳　一帳

一三九　鞍手郡之内上有木村庄屋善九郎百姓久右衛門木山ニ仕立可申と望ミ申野山之事　（二四一八）
（江戸後期）　一紙　一通
明暦四年・享保廿年の証文写

6 普請

一　楮倉塚ケ鼻新橋新道費組中俵口割　（五一七）
文政二年八月　長帳　一冊

二　山浦御普請出勤帳　（二三〇一）
安政六年三月　小横帳　一冊
組頭惣太

三　乍恐奉申上口上之覚　（一七六八）
安政六年　一紙　一通
赤間宿庄左衛門外ゟ。橋材木値段積書

四　御橋材木直段附　（七〇八）
万延二年三月　書冊　一冊
古野惣太ゟ郡役所宛

五　御橋材木買入才積書寄帳　（五二三）
文久三年六月　長帳　一冊

六　怎恐奉申上口上之覚　（一七四八）
文久四年　一紙　一通
古野惣五郎ゟ。筑前城下石堂橋御用材木買入の件

七　覚　（八一三）
（江戸後期）　一紙（尾欠）一通
伐出の木ハ不残取寄、御両家分夫々取分け持込ゟ事

八　秋月ご出張御□様雨除木屋受銭覚　（二一八〇）
（江戸後期）　折紙　一通

九　（仮題）上有木村ゟ願書　（五三〇の四）
（江戸後期）　長綴　一綴
神川裏湿抜溝堀立、芹田抱石井手中出蔵床諸費軸帳入願

一〇　覚　（八四二）
（江戸後期）
新堤築立度
切紙（尾欠）一通

一一　（仮題）土手築立図　（二一七九）
（江戸後期）
一紙　一枚

一二　（仮題）堀川普請覚　（二四六二）
（江戸後期）
一紙　一通

一三　鞍手郡四郎丸村庄屋古野惣五郎乍恐存寄奉申上口上之覚　（四七二）
（江戸後期）
長綴　一綴

一四　（仮題）堤普請覚　（二五三六）
（江戸後期）
書綴　一綴

一五　覚　（二五九七）
（江戸後期）
新堀普請成就覚
一紙　一通

一六　辰ケ元石取跡仕戻　（二三八三）
（江戸後期）
新溜池目論見
折紙　一通

一七　（仮題）覚　（二四七五）
（江戸後期）
新堤築立の件（白山谷、山ノ口谷）
切紙　一通

一八　内用　（二四七八）
（江戸後期）七月六日
普請に付前借願
切紙　一通

7　交通・通信

一　往来手形之事　（三二〇〇）
寛政十二月
八尋村円宗寺ゟ
一紙　一通

二　鞍手郡磯光村医師大村元昌近国往来御切手請書物帳　（二三二七）
文政五年正月
書冊　一冊

三　鞍手郡四郎丸村人別判を以御請申上ル書物之事　（一〇一六）
天保五年
御馬牽方の義、往来筋の件
書綴　一綴

四　鞍手郡四郎丸村人別連印ヲ以御請申上ル事　（七二三）
天保十四年正月
四郎丸村助市外ゟ。郷馬牽方の義外
書綴　一綴

五　従正月六月迄御役ミ様御泊座入用幷郡方諸割賦帳　（二二八五）
明治四年七月
怡土郡
長帳　一冊

六（仮題）覚　（一八二一）
（江戸後期）
切紙　一通
青柳郡役所ゟ。村継相達

8 金融

(1) 貸借

一 借状之事　（一三七〇）
寛延三年七月五日
一紙　一通
幸作ゟ惣五郎宛。米

二 借用申米之事　（一三四二）
宝暦十一年十二月十八日
一紙　一通
新三郎ゟ惣五郎宛

三 奈方所品帳　（四八〇）
天明四年
長綴　一綴
四郎丸村。元利覚

四 貴殿抱分酒場室場其外永代書物ニ相記被申ゟ通永代相伝買取代銭六ケ年賦ニ而左之通拙者宅ゟ相渡可申ニ付書物の事　（八一一）
寛政二年七月
一紙　一通
惣五郎ゟ上有木村仁平宛

五 御受持銭之内借用仕書物之事　（一三五六）
享和二年十二月
一紙　一通
下有木村弥助ゟ四郎丸村忠七宛

六 私奉公仕借用証文之事　（三一九八）
文化元年十二月
一紙　一通
身売主与八ゟ惣五郎宛

七 借用仕米銭の事　（八三四）
文化二年十二月
一紙　一通
甚三ゟ惣五郎宛

八 借用仕銭書物之事　（九〇九）
文化四年十二月
一紙　一通
清七外ゟ惣五郎宛

九 福岡表ゟ御口入被下銭当冬返済之分私共手元ニ而借出不申御口入ニ下ゟニ付証文之事　（八二七）
文化七年十二月廿七日
巻紙　一通
喜惣次ゟ惣五郎宛

一〇 借用仕銭之事　（八一七）
文化八年三月
一紙　一通
藤三ゟ惣五郎宛

一一 銭借用仕ル証文之事　（三一〇一）
文政三年七月
一紙　一通
水原村貞右衛門ゟ四郎丸村庄屋惣右衛門宛

一三　借用仕米之事　（八一九）
文政九年十二月　一紙　一通
新平ゟ惣五郎宛

一三　米借用仕リ引当証文之事　（八二四）
文政八年十二月　一紙　一通
利七ゟ惣五郎宛

一四　家壱軒引当仕証文之事　（七六五）
天保七年十二月　一紙　一通
源七ゟ蔵元宛

一五　借用仕証文之事　（八五九）
天保九年六月廿日　一紙(包紙入)一通
新屋正右衛門ゟ神川屋惣助宛

一六　預リ手形之事　（八五六）
天保十一年二月　切紙　二通
新屋正右衛門外ゟ原田村伊七宛

一七　預リ手形之事　（七九九）
天保十一年二月　切紙　一通
新屋正右衛門外ゟ原田村十左衛門宛

一八　預り手形之事　（一七二〇）
天保十一年三月　一紙　一通
神川屋惣五郎ゟ黒丸村安永権次郎宛

一九　銭借用仕証文之事　（二三六一）
天保十二年十二月　巻紙　一通
借主作助ゟ庄屋慮兵衛宛

二〇　借用仕証文之事　（一八四六）
天保十二年十二月　一紙　一通
茂平ゟ惣五郎宛

二一　借用仕証文之事　（九一八）
天保十三年十二月　一紙(包紙入)二通
新屋正右衛門ゟ平村大庄屋安永弥四郎宛

二二　借用証拠之事　（八五八）
天保十四年　切紙(包紙入)一通
大庄屋助役藤次郎ゟ四郎丸村庄屋惣五郎宛

二三　借用仕添書之事　（三一九六）
天保十五年七月九日　一紙　一通
四郎丸村借用主幸右衛門ゟ山崎卯左衛門宛

二四　蔵元引附未進引当仕申ゖ証文之事　（九三四）
嘉永三年　一紙　一通
甚九郎ゟ蔵元宛

二五　御抱之内万願寺滞在代助乍恐御願申上ゖ口上之事　（一〇一七）
嘉永三年五月　書綴　一綴
四郎丸村。日田ゟの借銭につき

二六　借用証文之事　（六六五）
嘉永三年五月　巻紙　一通
四郎丸村藤三ゟ倉久村林右衛門宛

二七　当戌御上納ニ差詰リ拙者分牛永代ニ相渡申証文之事　（八一二）
嘉永三年十二月八日　巻紙　一通
藤右衛門ゟ蔵元宛

二八　当戌御上納ニ差支拙者抱分之牛永代相渡申証文之事　（二四二九）
嘉永三年十二月　一紙　一通
久平ゟ

二九　拙者稲家当上納ニ指つまり売渡申書物之事　（八一五）
嘉永三年十二月　一紙　一通
平三外ゟ蔵元宛

三〇　米借用申引当之事　（二四七一）
嘉永四年三月　一紙（包紙入）一通
卯吉ゟ惣平宛

三一　御拝借米代銭御請申ニ付証文之事　（二三五七）
嘉永四年六月　一紙（包紙入）一通
上有木村武助ゟ四郎丸村庄屋惣五郎宛

三二　御年貢味進借用仕書物之事　（二三七一）
嘉永四年十二月　一紙　九通
作平外ゟ庄屋惣五郎宛

三三　（仮題）金子借用証文　（二四二二）
嘉永七年十月　一紙　一通
古野惣五郎ゟ京屋作兵衛外宛

三四　金子預手形の事　（七四三）
安政四年　一紙　一通
古野惣五郎ゟ山田作兵衛外宛

三五　書状　（一五二一）
安政四年一月　切紙（包紙入）一通
日田俵屋介作ゟ古野惣五郎宛。日田ゟの借用金返済猶予の件

三六　預リ手形事　（三一七五）
安政五年八月卅日　切紙　一通
磯光村彦四郎ゟ山田作兵衛宛。古野惣五郎借用金の内

三七　年割金払通　（三一一六）
文久二年十月　長帳　一冊
古野惣五郎ゟ日田広瀬源兵衛・山田作兵衛宛

三八　預リ手形　（三一一六）
慶応元年年十二月　一紙（包紙入）一通
倉久村庄屋武谷善九郎ゟ四郎丸村庄屋古野惣五郎宛

三九　借用証文之事　（二三二五）
慶応二年七月　一紙（包紙入）一通
住主組頭取俊平ゟ庄屋古野三郎宛

四〇　米借用証文之事　（一六九八）
慶応四年二月　一紙（包紙入）一通
源右衛門ゟ古野惣五郎宛

四一　覚　（二九〇五）
慶応四年二月　折紙　一通
預銀覚

四二　日田指引根帳　（一三七三）
（江戸後期）寅十月　長帳　一綴
宮田

四三　覚　（二九一六）
（江戸後期）卯五月　切紙　一通
博多屋松兵衛ゟ古野惣五郎宛。借用金計算書

四四　覚　（二五八八）
（江戸後期）巳三月　切紙　一通
日田山田作兵衛外ゟ古野惣五郎宛。元利計算書

四五　覚　（一四九四）
（江戸後期）八月　切紙　一通
博多屋松兵衛外ゟ古野惣五郎宛。年賦金御渡被下度

四六　覚　（八五四）
（江戸後期）十二月　切紙　一通
広瀬源兵衛外ゟ古野惣五郎宛。貸付

四七　書状　（一四二）
（江戸後期）三月廿六日　切紙（包紙入）一通
博多屋松兵衛ゟ古野惣五郎宛。日田よりの借金に付

四八　請合証文之事　（三一六七）
（江戸後期）　切紙　一通
四郎丸庄屋惣五郎日田表より借入金証文奥印願の事

四九　書状　（一七四七）
（江戸後期）二月　巻紙（包紙入）二通
松兵衛ゟ古野惣五郎宛。返済金の請求

五〇　書状　（一七三六）
（江戸後期）廿日　切紙　三通
日田甚六外ゟ古野惣五郎宛。返済金取立方の件

五一　書状　（一七四一）
（江戸後期）八月　切紙　一通
古野惣太ゟ松兵衛宛。日田への返金の件

五二　書状　（一七四二）
（江戸後期）亥七月　切紙（包紙入）四通
博多屋松兵衛ゟ古野惣五郎宛。年割返済金の請求

五三　書状　（一七一四）
（江戸後期）十一月十三日　切紙（包紙入）一通
博多屋松兵衛ゟ古野惣五郎宛。返済金の件

五四　書状　（一七一九）
（江戸後期）三月廿日　切紙　一通
松兵衛ゟ古野惣五郎宛。返金延引の件

五五　覚　（三一六八）
（江戸後期）卯五月　切紙　一通
博多屋松兵衛ゟ古野惣五郎宛。金子受取

五六　受取　（三一七二）
（江戸後期）十二月　切紙　一通
日田幸市外ゟ古野惣五郎宛。則光刀身外

五七　覚　（三一七三）
（江戸後期）卯五月　切紙　一通
博多屋松兵衛ゟ古野惣右衛門宛。受取

五八　覚　（三一七四）
（江戸後期）午八月　切紙　一通
広瀬源兵衛外ゟ古野惣五郎宛。貸付金

五九　覚　（三一七七）
（江戸後期）　折紙　一通
借入金覚（京屋・博多屋分含）

六〇　書状　（三一七八）
（江戸後期）十二月　切紙　一通
京屋専助外ゟ古野惣五郎宛。返済金督促

六一　書状　（三一七九）
（江戸後期）十二月廿七日　巻紙　一通
博多屋松兵衛ゟ古野惣五郎宛。日田金融資の件

六二　書状　（三一七〇）
（江戸後期）十二月十四日　切紙（包紙入）一通
古野惣五郎ゟ中村豊作宛。京屋・博多屋より借入金の義

六三　覚　（三一六九）
（江戸後期）五月　切紙　一通
博多屋ゟ惣右衛門宛。銀主両家へ進物代等

六四　取立銭　（二六九四）
（江戸後期）　長綴　一綴

六五　書状　（三一九二）
（江戸後期）五月六日　切紙　一通
中間村庄屋徳兵衛外ゟ大庄屋有吉与右門宛。惣夫銭ゟ
拝借一件

六六　御借入金差引之覚　（二三八五）
（江戸後期）　一紙　一通

六七　覚　（二六〇二）
（江戸後期）午四月　切紙　一通
下有木村久四郎ゟ庄屋惣五郎宛。元利銭計算書

六八　覚　（二五九六）
（江戸後期）　切紙　一通
借入金銭の調べ

六六　借用金引当証文之事　（二六五〇）
（江戸後期）　一紙(尾欠)一通

六七　受取　（二五八〇）
（江戸後期）十二月十二日　切紙　一通
山口哉四郎ゟ四郎丸惣右衛門宛。元利金

六八　覚　（二三七七）
（江戸後期）午十二月　切紙　一通
龍徳屋兵太郎ゟ大庄屋古野三郎右衛門宛。金子預り覚

六九　書入証文之事　（二三八七）
（江戸後期）　書綴　一綴
借用証

七〇　預り手形　（一八八二）
（江戸後期）　切紙　一通
茂平(銭浜)ゟ惣五郎宛

七一　金子御預り申上ゟ事　（九二八）
（江戸後期）　切紙　一通
極楽寺宛。借銀

七二　当戌ノ御上納ニ差詰拙者抱分之牛相渡シ申証文之事　（八三八）
戌十二月(江戸後期)　一紙(包紙入)一通
喜助ゟ

七三　証拠之事　（二八〇六）
（江戸後期）子二月　切紙　一通
古野信平ゟ庄屋惣五郎宛

七四　覚　（二九〇二）
（江戸後期）　切紙　一通
山口紙屋甚平ゟ。借用分計算書

七五　預り手形　（三一〇六）
（江戸後期）辰正月　一紙　一通
下村庄屋千助ゟ四郎丸庄屋惣右衛門宛

(2)　講

七六　若宮八幡宮江寄附仕組講帳　（七二一）
天保二年九月　書綴　一綴
四郎丸村

七七　仕組講金借用証文之事　（八六二）
天保四年三月　巻紙　一通
神川屋惣助ゟ仕組講連中宛

七八　請合証文之事　（九一五）
天保四年三月　一紙　一通
吉川屋彦五郎ゟ仕組講連中宛。四郎丸村惣助の証人

七九　請合証文之事　（九一七）
天保七年　一紙　一通
吉川屋彦五郎外ゟ仕組講連中宛。神川屋惣助の証人

㉓ 仕組講金借用証文之事　（九一六）
天保七年　巻紙　一通
四郎丸村神川屋惣助外ゟ仕組講連中宛

㉔ 伊勢講帳　（七二四）
天保十一年十一月　書冊　一冊

㉕ 講金受取申ニ付証文之事　（五五六）
天保十二年三月　一紙　一通
志井守衛ゟ講座連中宛

㉖ 敷証文之事　（七五〇）
天保十二年十一月　一紙(包紙入)一通
松七ゟ講連中宛。尾上講

㉗ 鋪証文之事　（七四九）
天保十三年四月　一紙(包紙入)一通
田熊村半五郎ゟ講連中宛

㉘ 講金鋪證文　（七四八）
天保十三年　一紙(包紙入)一通
黒丸安永権次郎ゟ仕組講連中宛。尾上講

㉙ 尾ノ上伴六殿仕組講取当ニ付拙者抱分高敷書仕候事　（七三一）
天保十四年　一紙　一通
貞吉外ゟ右四郎外講連中宛

㉚ 講敷証文之事　（五五五）
天保十四年十二月　一紙(包紙入)一通
李市外ゟ仕組講連中宛。金子受取

㉛ 敷証文之事　（七五四）
天保十四年四月　一紙(包紙入)二通
福丸村代九郎ゟ倉久講連中宛

㉜ 敷証文之事　（七四六）
天保十五年四月　一紙(包紙入)一通
内山文六ゟ講連中宛

㉝ 講敷証之事　（七四〇）
天保十五年十二月　一紙(包紙入)三通
尾上講惣七外ゟ仕組講連中宛。付、請合証文之事、鋪証文之事

㉞ 講鋪証文之事　（七四一）
天保十五年十二月　一紙(包紙入)二通
下新入村助市ゟ仕組講連中宛。尾上講。付、請合証文之事

㉟ 講敷証文之事　（七四七）
弘化二年四月　一紙(包紙入)四通
九平外ゟ仕組講連中宛

㊱ 講敷証文之事　（七三八）
弘化二年十二月　一紙(包紙入)一通
又七外ゟ仕組講連中宛

九七　倉久林平講金請取敷証文之事　（七三九）
弘化二年十二月　一紙（包紙入）一通
福丸村代九郎ゟ倉久林平講座連中宛

九八　仕組講金借用証文之事　（一六九一）
弘化三年四月　巻紙（包紙入）一通
甚蔵外ゟ仕組講連中宛

九九　講敷証文之事　（七三六）
弘化三年四月　一紙（包紙入）二通
又平ゟ仕組講連中宛

一〇〇　仕組講借用証文之事　（一六九四）
弘化三年四月　巻紙（包紙入）一通
四郎丸伝内外ゟ

一〇一　仕組講金借用仕証文之事　（一六九六）
弘化三年十二月　（包紙入）一通
本城村惣六ゟ仕組講連中宛。善助講敷証文

一〇二　仕組講金借用証文之事　（一六九五）
弘化三年十二月　巻紙（包紙入）二通
本城直吉外ゟ仕組講連中宛

一〇三　林平殿仕立講半口取当銭証文之事　（七三五）
弘化三年十二月　巻紙　一通
早川天瑞ゟ講座連中宛

一〇四　仕組講借用証文之事　（一六九三）
弘化四年十二月　一紙（包紙入）一通
四郎丸伝四郎ゟ

一〇五　仕組講金借用証文之事　（一六九二）
弘化四年五月　一紙（包紙入）一通
四郎丸村惣五郎ゟ仕組講連中宛

一〇六　講敷証文之事　（七三七）
弘化四年五月　一紙（包紙入）二通
又平ゟ仕組講連中宛

一〇七　講敷証文之事　（七五三）
弘化四年十二月　一紙（包紙入）二通
武七外ゟ仕組講連中宛

一〇八　講銭証文之事　（七五二）
嘉永元年四月　一紙　一通
彦三郎ゟ仕組講連中宛

一〇九　倉久村林平殿講金請取敷証文之事　（七五一）
嘉永元年十二月　一紙（包紙入）一通
福丸村武平ゟ講連中宛

一一〇　講敷証文之事　（七五五）
嘉永二年五月　一紙（包紙入）一通
吉次ゟ仕組講連中宛

二一　請合証文之事　（七五七）
　嘉永二年五月　一紙　一通
　卯右衛門ゟ仕組講連中宛

二二　甚平講敷証文之事　（五八七）
　嘉永四年十二月　一紙　一通
　卯吉ゟ恕平宛

二三　講帳十四　（七二二）
　安政二年十一月　書冊　一冊
　法蓮寺

二四　蔵講取当り敷証文之事　（八〇五）
　慶応三年九月　一紙　一通
　文右衛門ゟ蔵講連中宛

二五　蔵講取当り敷証文之事　（八一〇）
　慶応三年九月　一紙　一通
　平三ゟ蔵講連中宛

二六　天満宮日参講性名録　（七〇三）
　慶応三年　書綴　一綴

二七　仕組蔵講闔取当ニ付御蔵米請取申鋪地証文之事　（八〇九）
　慶応四年十一月　一紙　一通
　利三郎ゟ飯之倉蔵講連中宛

二八　蔵講取当ニ付敷証文之事　（八〇七）
　明治元年十二月　一紙　一通
　徳右衛門ゟ蔵講連中宛

二九　蔵講取当ニ付敷証文之事　（八〇八）
　明治元年十二月　一紙　一通
　善蔵ゟ蔵講連中宛

三〇　講帳写　（五八八）
　明治三年　書冊　一冊
　発記香月詠八郎

三一　定　（一六〇一）
　（江戸後期）　長綴　一綴

三二　懸銀指引通　（二三四三）
　（江戸後期）卯六月　長帳　一冊
　極楽寺講元

三三　講帳　（三一四一）
　（江戸後期）　長綴　一綴

三四　書状　（三一四六）
　（江戸後期）四月八日　切紙（包紙入）一通
　井原千右衛門外ゟ中埜惣太宛。講会通知

(3)　質

三五　不流一巻録　（四五〇）
　嘉永七年　長綴　一綴
　質物

一三六 質間通　（五〇九）
安政四年　長帳　一冊
□屋藤三郎ゟ新屋宛

一三七 質買通　（四四四）
文久三年　長綴　一綴
田代屋店ゟ四郎丸分宛

一三八 質通　（三〇九〇）
慶応三年五月　横帳　一冊
油屋質場ゟ神川屋惣五郎宛

一三九 質物諸品預物控帳　（三二一七）
明治二年九月
かミ川屋

(4) その他

一三〇 藩札　（八四八）
（江戸後期）　（袋入）七枚

9 商業

一 復宝録　（五〇二）
安政六年　長綴　一綴
神川屋

二 路能記　（五八二）
文久元年八月　小横帳　一冊
金銭出入外

三 万請引大宝恵帳　（四九一）
文久二年三月　長帳　一冊

四 取替一札之事　（二三五〇）
元治元年五月廿二日　一紙　一通
井筒屋甚平ゟ神川屋惣五郎宛。金銭の清算の件

五 （仮題）店卸　（五八一）
（江戸後期）　小横帳　一冊
貸金、諸差引勘定覚

六 うり仕切　（八三九）
（江戸後期）四月廿二日　一紙　一通
長門国小松屋与八ゟ神川屋宗助宛

七 売仕切　（九一九）
（江戸後期）四月晦日　巻紙　一通
赤間国小松屋与八ゟ神川屋惣助宛。米

八 御買入米庭書　（二六九九）
（江戸後期）未十二月廿九日　切紙（包紙入）一通
宮田村藤太郎外ゟ神川屋惣五郎宛

九 覚　（二九一七）
（江戸後期）十一月廿六日　切紙　一通
たつミや四郎衛門ゟ神川屋惣五郎宛。松原払代金

一〇（仮題）諸費用覚　（二八二五）
（江戸後期）　折紙　一通

一一覚　（二六三二）
（江戸後期）十月八日　切紙　一通
磯光村周平ゟ四郎丸村庄屋惣五郎宛。品物渡し覚

一三覚　（二五九一）
（江戸後期）　切紙　一通
計算書

一三覚　（二七〇五）
（江戸後期）亥十二月九日　一紙　一通
福間要平ゟ四郎丸村仁作宛。木ふし代

一四覚　（二八〇七）
（江戸後期）未十二月　切紙　一通
惣五郎ゟ香月勘吉外宛。大坂屋仁左衛門払分等計算書

一五覚　（二三一四）
（江戸後期）申十二月　巻紙　一通
紺屋七右衛門ゟ四郎九村七郎宛。請求

一六覚　（二五八六）
（江戸後期）九月八日　切紙　一通
音彦ゟ神惣宛。計算書

一七覚　（二五八七）
（江戸後期）八月廿九日　切紙　一通
音羽屋彦市ゟ神川惣太宛。呉服類勘定

一八覚　（二四三五）
（江戸後期）　折紙　一通
焼物類値段

一九覚　（一七四〇）
（江戸後期）九月八日　切紙　一通
神川屋惣太外。木綿等代金

二〇書状　（二四四三）
（江戸後期）卯四月三日　切紙　一通
不算用に付匁高書入被下度

二一請取　（三二二七）
（江戸後期）戌十二月五日　切紙　一通
文右衛門ゟカミ川屋惣五郎宛

二二（仮題）覚　（三二二九）
（江戸後期）　長綴　一綴
呉服類買入分

10 産業

一（仮題）焼石積廻船札証拠の事（写）　（二五四四）
享保五年七月　一紙　一通

二預り手形之事　（一〇四四）
天保十一年　一紙　一通
神川屋惣五郎ゟ安永権次郎宛。櫨実代

三覚　（三一五一）
（江戸後期）亥八月十日　切紙　一通
三光丸源次ゟ役所宛。生蠟仕切

四覚　（二三三五）
（江戸後期）戌四月廿二日　巻紙　一通
福岡東職人町油屋利吉ゟ宮田触惣助宛。玉子御仕組払、櫨実代等計算書

五鞍手郡大庄屋中乍恐御願申上ゟ事　（五六三）
天保十四年八月　長綴　一綴
林八太夫外宛。焚石の件

六覚　（二四五七）
（江戸後期）　切紙　一通
中湿炭代

七上鞍手酒屋中拾壱軒ゟ連名願書幷以来新酒場御停止御書附共写　（一六五）
天明五年　切紙（包紙入）一通

八若宮酒屋中先年より酒場直一件願書類ひかへ　（一六〇）
天明五、文化十五、文政二年　書綴　一綴

九鞍手郡高野触龍徳触之内若宮郷内酒屋中乍恐御願申上ゟ口上之覚　（一六三）
文化十五年四月　一紙　一通
湯原村酒屋仁八外ゟ

古野家文書（一、江戸時代史料）

一〇鞍手郡下有木触宮田触之内若宮郷内酒屋中乍恐御願申上ゟ口上之覚　（一六四）
文政二年四月　一紙（包紙入）二通

一一鞍手郡下有木触宮田触之内若宮郷内酒屋中ゟ乍恐御願申上ゟ事　（一六二）
文政二年四月　巻紙　一通
湯原村酒屋仁八外ゟ郡代役所宛

一二若宮酒屋中乍恐申上ゟ口上覚　（一五七）
文政二年閏四月　長綴　一綴
若宮郷酒屋中ゟ大庄屋惣五郎外宛

一三酒造仲間中申極条々　（一六一）
文政十一年　書綴　一綴

一四筑前国酒造米石高幷休酒造屋高帳　（一五八）
天保八年十二月　長綴　一綴

一五免札　（二九四六の一六）
天保十四、明治二、四年　三通

一六酒造秘法　（二五三）
嘉永三年　小横帳　一冊

一七鞍手郡若宮郷内酒屋中乍恐御願申上ゟ口上之覚　（一五九）
明治二年六月　書綴　一綴

一八 御触写 （二九四六の二四）
明治三年九月 一紙 一通
大政官ゟ司民局宛。酒造の件

一九 酒造醤油造御規則写幷ニ追々御布告写 （一四八）
明治四年 書綴 一綴

二〇 （仮願）酒直段の通知 （二九四六の一三）
明治四年九月 切紙 一通
四郎丸村惣助ゟ

二一 清酒造込御願申上ル事 （二九四六の一〇）
明治四年十一月 一紙 一通
古野惣助ゟ

二二 酒造一件諸願諸書上年々分控 （一五〇）
明治四年十一月 書綴 一綴
古野惣五郎

二三 若宮酒屋中乍恐申上口上之覚 （一五六）
（江戸後期）閏四月七日 長綴 一綴
若宮郷酒屋中ゟ大庄屋藤右衛門外宛

二四 （仮題）杜氏名覚 （二一七八）
（江戸後期） 書綴 一綴

二五 約定書之事 （二三二三）
（江戸後期）巳十二月 一紙 一通
和平太外ゟ古野三郎宛。酒場株貸渡

（二九四六の一七）
切紙 四通

二六 覚
（明治初期）
税金外

（二九四六の一二）
長綴 一綴

二七 覚
（明治初期）
冥加銀の事

二八 真名子鉄山引合一件書類
(1) 書状 （三一七一の一）
（江戸後期）三月六日 切紙 一通
役家多助ゟ庄屋惣五郎宛。炉吹立の報知、裏判外鉄山所見分に付外

(2) 書状 （三一七一の二）
（江戸後期）正月 切紙（包紙入）一通
真名子鉄山役家太助ゟ惣五郎宛

(3) 書状 （三一七一の三）
（江戸後期）七月八日 切紙 一通
真名子鉄山役所ゟ惣右衛門宛。仕入銭の件

(4) 書状 （三一七一の四）
（江戸後期）二月三日 切紙（包紙入）一通
真名護鉄山役所ゟ四郎丸庄屋宛

(5) （仮題）覚 （三一七一の五）
（江戸後期）五月廿六日 折紙 一通
午四月分鉄代銀上納の事

(6) 書状　（三一七一の六）
(江戸後期)正月廿四日　切紙(包紙入)二通
鉄山役家多助ゟ庄屋惣五郎外宛。松炭送付依頼

(7) 書状　（三一七一の七）
(江戸後期)二月十四日　切紙　一通
岡崎屋徳兵衛ゟかみ川屋勘五宛。戸切炭山入用の件

(8) 請取　（三一七一の八）
(江戸後期)巳八月廿一日　切紙(包紙入)一通
相羽武吉ゟ。鉄山御用銀借用。包紙表「金山御役所拝借金上納間通入辰三月八日」

(9) 書状　（三一七一の九）
(江戸後期)　切紙(包紙入)一通
真名子太助ゟ神川屋惣太宛。酒代支払の件

(10) 書状　（三一七一の一〇）
(江戸後期)二月廿六日　切紙　二通
岡崎屋徳兵衛ゟ古野惣五郎宛。戸切炭山入用鉄山所同様の酒渡方依頼

(11) 書状　（三一七一の一一）
(江戸後期)正月廿六日　切紙(包紙入)一通
真名子鉄山役所ゟ。村継依頼

(12) 書状　（三一七一の一二）
(江戸後期)二月廿日　切紙(包紙入)一通
真名護鉄山役所ゟ。村継依頼

(13) 書状　（三一七一の一三）
(江戸後期)十二月晦日　切紙　一通
鉄山役所ゟ惣太宛。代銭請求の件

三元 辰酒御通　（三一九〇）
(江戸後期)　長帳　一冊
神川屋惣太ゟ真名子鉄山役所宛

三〇 御用松炭間通　（三一九一）
安政四年六月　長帳　一冊
鉄山役所

三一 (仮題)廻文　（一一六〇三）
(江戸後期)二月廿一日　切紙(首欠)一通
真名子鉄山役所ゟ

三三 書状　（一一四二）
(江戸後期)七月二日　切紙(包紙入)一通
鉄山役所ゟ惣太宛。炭俵送付の件

三三 書状　（一一三五）
(江戸後期)七月八日　切紙(包紙入)一通
真名子鉄山役所ゟ四郎丸村庄屋惣太宛。炭俵早速送り可申外

三四 書状　（一七一一）
(江戸後期)三月十七日　切紙　一通
鉄山役所ゟ惣太宛。炭焼の者其表差越に相成度旨申出

三五　書状　（一七二四）
（江戸後期）一月二日　切紙　一通
真名護鉄山勘定所ゟ四郎丸惣五郎宛。太助出府の事外

三六　書状　（一七四三）
（江戸後期）一月廿六日　切紙　一通
鉄山役家太助ゟ惣太宛。酒造の件

11　戸口・宗門

一　仕上書物之事　（七五八）
宝永二年三月　折本　一冊
庄屋・組頭ゟ森正右衛門外宛。切支丹宗門改書付

二　安永七年戌春ゟ宗旨御改帳面一宗限一冊宛ニ書法定案文　（三四六）
（安永七年）　書冊　一冊

三　人払証拠請払定法　（三四五）
寛政九年九月　書綴　一綴

四　鞍手郡倉久村庄屋組頭乍恐御願申上ル口上之覚　（二三〇二）
寛政十二年八月　巻紙　一通
坂田新五郎役所宛。遊民善三出奔の件

五　鞍手郡四郎丸村庄屋組頭願書　（二三九五）
文化二年三月　巻紙（包紙入）一通
惣五郎ゟ坂田新五郎役所宛。正伝入判願

六　書状　（二三七五）
（文化二年）二月廿一日　切紙　一通
大庄屋荒牧ゟ庄屋惣五郎宛。盲人正伝帰参願書の件

七　鞍手郡四郎丸村庄屋組頭乍恐御願申上ル口上之覚　（二三七四）
文化二年正月　巻紙　二通
惣五郎ゟ。当村出生盲人村判に加ゆ件

八　鞍手郡四郎丸村庄屋組頭御願書　（二三九二）
文化三年五月　巻紙（包紙入）二通
惣五郎ゟ坂田新五郎役所宛。当村出生盲人帰村願の件

九　鞍手郡四郎丸村庄屋組頭ゟ御願申上ル事　（二四一六）
文政三年二月　巻紙　一通
庄屋惣右衛門ゟ郡代役所宛。座頭の面役御免願

一〇　鞍手郡四郎丸村ゟ居申座頭書上申事　（二三六二）
文政七年三月　一紙　一通
惣五郎ゟ秋山源内外宛

一一　人払帳案書　（三五一）
嘉永元年正月　書冊　一冊

一二　何郡何村宗旨御改帳（雛形）　（三四七）
安政四年　書綴　一綴

一三　鞍手郡上有木村地神経盲僧書上申事　（一七二二）
文久二年三月　巻紙　一通
庄屋古野惣太ゟ牧市内外宛

一四　鞍手郡上有木村ゟ仕上ル指出之事　（一三七三）
文久四年二月　一紙　一通
庄屋古野惣太ゟ宗旨役所宛。居村の盲僧届

一五　御触写　（一三七六）
（文久四年）正月廿八日　切紙　一通
宗旨方役所ゟ。地神経盲僧の件

一六　鞍手郡倉久村居住判外旅人宗旨御改帳　（一〇一八）
元治二年二月　書冊　一冊
真宗

一七　宗旨書物案文　（三四八）
慶応二年三月　書冊　一冊

一八　鞍手郡上有木村宗旨御改帳　（三四九）
慶応四年三月　書冊　一冊
禅宗

一九　鞍手郡上有木村宗旨御改帳　（三五〇）
慶応四年三月　書冊　一冊
浄土宗

二〇　（仮題）宗旨改帳　（一五九三）
慶応四年三月　断簡　一綴
宮田村極楽寺

二一　（仮題）宗門改帳（一部）　（二六九七）
慶応四年三月　一紙　一枚

二三　結縁証拠之事　（三一二七）
明治元年二月　一紙　二通
上有木村ゟ

二三　鞍手郡四郎丸村宗旨御改帳　（三五二）
明治二年三月　書冊　一冊
浄土宗・真宗

二四　明治二年巳三月誓紙前　（九七二）
明治二年　長綴　一綴

二五　明治三年午春宗旨受払　（一七三四）
明治三年　長綴　一綴
四郎丸村

二六　明治三午春宗旨受払　（一七三五）
明治三年　長綴　一綴
上有木村

二七　（仮題）宗旨改　（三六二）
（江戸後期）　断簡

二八　遠賀郡山鹿魚町ゟ行方相知不申者乍恐御国中御触流御願申上ゟ夫ニ付人形衣類書上申事　（一五三〇）
（江戸後期）　書綴　一綴

二九　書状　（一三四五）
（江戸後期）二月十七日　巻紙　一通
新五郎ゟ山口村大庄屋宛。四郎丸村判外正伝入判願の件

三〇 寺証文（雛形）　（江戸後期）　（二四〇八）　一紙　一通

三一 人払証拠之事（雛形）　（江戸後期）　（二四〇七）　一紙　一通

三二 鞍手郡上有木村庄屋組頭乍恐御願申上ゟ支　（江戸後期）　（一七三三）　切紙　一通
宗旨払出の件

三三 （仮題）覚　（江戸後期）九月三日　（三一五六）　長綴　一綴
卯吉ゟ。産子、死人書上

三四 （仮題）宗旨改帳　（江戸後期）　（三一四二）　断簡

三五 四郎丸村巳出入人　（江戸後期）　（五三一の九）　切紙　一通

12 寺社

一 （仮題）長政書状写　（慶長七年十二月外）　（二五八四）　折紙　二通
彦山座主御坊宛

二 誓紙控　文化三年　（七五六）　一紙（包紙入）一通
円覚寺潜龍

三 産神式日燈軸帳　文化六年正月　（三二四一）　長帳　一冊

四 鞍手郡上有木村盲僧恵姓乍恐御願申上ル口上之覚　（二四一九）　巻紙　一通
文政二年
郡代役所宛。宅持の盲僧相続壱人充弟子取仕ゟ義許容被仰付度

五 乾龍院様御入寺御行列　嘉永四年　（四四八）　長帳　一冊

六 天満天神講式　安政三年　（二二四〇）　一紙　一通
厄除

七 宮座当番勘定帳　安政六年十一月　（二一五七）　長帳　一冊
本村組

八 山笠一件算用帳　安政六年十二月　（七二八）　長帳　一冊

九　山笠一切控　（五四八）
（安政六年）未八月十七日　小横帳　一冊

一〇　御宮座備米銭切立幷貸付根帳　（二一七〇）
慶応元年十一月　長帳　一冊

一一　若宮八幡宮御社格旧記　（五七六）
慶応二年　書綴　一綴

一二　普請ニ付諸入目奉賀一切取約帳　（四六七）
慶応二年十月　長帳　一冊
四郎丸本村。観音堂葺替、大師堂取繕

一三　大師堂及大破手入普請奉賀帳　（五五八・五七一）
慶応二年十一月　書冊　二冊
四郎丸本村

一四　覚　（七七七）
慶応二年三月　巻紙　一通
斉藤石見正外6志井武雄宛。笠松宮神楽請持に付

一五　観音堂大師堂奉賀帳　（五五二・五五九・五六〇・五七二）
慶応三年十一月　書冊　四冊

一六　若宮八幡宮御歳祭寄府帳　（二一〇八）
明治二年　書冊　一冊

一七　（仮題）覚　（三一三〇）
慶応六年　一紙　一通
各村席順

一八　乍恐奉願上口上之覚　（六九七）
明治三年九月　書綴　一綴
四郎丸村惣代惣作外6極楽寺宛。威徳庵観音堂開基の次第

一九　乍恐奉願上口上之覚　（八四六）
（明治三年）九月　巻紙　二通
四郎丸惣代惣作外6極楽寺宛。威徳庵観音堂開基の次第

二〇　書状　（八四七）
（明治三年）九月六日　巻紙　二通
極楽寺6古野惣五郎宛。威徳庵観音堂の件

二一　（仮題）供物等覚　（五三一の一〇）
（江戸後期）　長綴　一綴

二二　倉久村大小之神社書上帳　（七二五）
（江戸後期）　書綴　一綴

二三　大社御祈祷料寄附名録写　（二四〇六）
（江戸後期）　書綴　一綴

二四　伊勢奉賀銭預り　（二三二八）
（江戸後期）　折紙　一通
付、江戸護持院ケ原敵討一件

二五　神玉納銀之覚　（二六九五）
（江戸後期）　折紙　一通

二六　覚　（二六三九）
（江戸後期）　長綴　一綴
神社関係支出覚

二七　（仮題）四郎丸村分納付割書付　（四九二）
（江戸後期）申二月　長綴　一綴
大宮司ゟ。庄屋惣五郎外分

二八　書状　（七六六）
（江戸後期）二月七日　切紙　一通
仏厳寺ゟ古野惣五郎宛。貞六・卯右衛門宗派の件

13　絵　図

一　（仮題）屋敷図　（一八二七）
寛政十一年　一枚

二　（仮題）屋敷図　（二五四七）
万延二年三月　一枚

三　絵図　（五三二）
（万延期外）　（袋入）十四枚

四　（仮題）家畜小屋配置図　（二一七三）
（江戸後期）　四枚

五　（仮題）山の図　（二五七九）
（明治初期）　一枚
朝日、天冠、羽衣、高祖、先殿、出穂ケ峯

六　（仮題）人物図　（二五七一）
文政三年三月　一紙　一枚

七　（仮題）狛犬絵図　（三一三七）
（江戸後期）　一紙　四枚

八　（仮題）狛犬図　（二五七二）
文政十二年写　一紙　二通

九　（仮題）画像人物名書上　（二五七四）
（江戸後期）　一紙　一通

一〇　宝塔見取図　（二四七二）
（江戸後期）　一紙　一通

一一　（仮題）狛犬見取図　（二四七三）
（江戸後期）　一紙　二通

一二　（仮題）箱の見取図　（二四七〇）
（江戸後期）　一紙　一通

14　書籍・新聞

一　孝経大義　（一九三六）
元禄二年九月刊　書冊　一冊

二　（仮題）誹諧詞集成　（一九六二）
享保十七年十一月刊　書冊　一冊

三 武漢叢話　巻一、二
寛政十二年刊　書綴　一綴　（一九四九）

四 万葉梯　巻下
天保五年刊　書冊　一冊　（一九五四）
源稲彦輯

五 算法記
天保三年十月　長帳　一冊　（五〇一）
田地小口取之法等計算方法外

六 貝原教訓書
天保六年五月写　書冊　一冊　（一九〇三）

七 初学通俗算法
弘化四年　書冊　一冊　（五四一）

八 田法雑話　上
（江戸後期）　書綴(尾欠)一綴　（三〇八二）

九 四家傳　巻之六
（江戸後期）　書綴　一綴　（一八七二）
徂徠先生評選

一〇 誓文義解写
明治三年　書冊　二冊　（六九二・六九三）
古野威正控

古野家文書（一、江戸時代史料）

一一 衆戯訓　全
（江戸後期刊）　書綴　一綴　（五七九）
将棋

一二 見一算法
（江戸後期）　書冊　一冊　（一二八二）

一三 東昭宮御詑勢無
（江戸後期）　一紙　一通　（一七一二）
古野何某写

一四 祇園祭礼信士記
（江戸後期）　書冊　一冊　（五四四）

一五 寿秋君大孺人七十序
（江戸後期）　（五七五）

一六 岩船
（江戸後期刊）　書綴　一綴　（三一二六）
謡曲

一七 (仮題)書籍目録
（明治初期）　書冊　一冊　（三一三二）

一八 和漢算法　巻之五、六
（江戸後期刊）　書綴　二綴　（一九三一）

一九 藩翰譜
（江戸後期刊）　書冊　一冊　（一九三七）
越前家

二〇 慶安太平記　巻之四　（一九五〇）
（江戸後期刊）　書綴　一綴

二一 武隠叢話　巻之一、二　（三〇八三）
（江戸後期刊）　書綴(首欠)一綴

二二 内外新聞　（三八二～三八四）
慶応元年閏四～五月刊　書冊　三冊
第一・二・六号

二三 (仮題)内外新聞　（三八一）
（慶応元年刊）　書綴　一綴

二四 日々新聞　（三八五～三九八）
慶応四年四～六月　書冊　十四冊
第三・五・六・七・九～一八輯

二五 関東鎮台日誌　（四〇〇～四一一）
慶応四年六～七月刊　書冊　十二冊

二六 新聞雑誌　（三六三～三八〇）
明治四年五月～六年十月刊　書冊　十八冊
第一・一一～一七・一四七～一四九・一五一～一五五・一五七～一五八号

15 書状

一 書状　（一四六二）
（元治元年）八月四日　巻紙　一通
斉賀主殿ゟ肥前屋金右衛門外宛。禁門の変見聞

二 書状　（三一七六）
（江戸後期）　切紙　一通
惣五郎ゟ。黒丸へ参り印形願可申に付

三 書状　（三一六六）
（江戸後期）五月十三日　切紙　一通
宿元惣右衛門ゟ惣五郎宛。証文指出申ゟ

四 書状　（二七三八）
慶応二年一月　切紙(包紙入)二通
四郎丸村大庄屋格入江伝十外ゟ。古野惣五郎抱田地買取ゟ件に付願上

五 書状　（二七三七）
（江戸後期）十二月二日　切紙(包紙入)二通
原田村有吉八助ゟ古野惣五郎宛。四郎丸一件に付出方の義

六 書状　（二七三六）
（江戸後期）十二月廿四日　切紙　一通
大庄屋安永権次郎ゟ四郎丸村庄屋古野惣五郎宛。伝十願書の件外

七 書状　（二七三九）
（江戸後期）十二月朔日　切紙　一通
大庄屋安永権次郎ゟ古野惣五郎宛。出方見合せの件

八 書状　（二七四〇）
（江戸後期）十一月晦日　切紙　一通
大庄屋安永権次郎ゟ古野惣五郎宛。田地受返一件

九　書状　（二七四一）

（江戸後期）十一月晦日　切紙（包紙入）一通

安永権次郎方古野惣五郎宛。田地受返一件

一〇　書状　（二七四二）

（江戸後期）二月十一日　切紙（包紙入）一通

惣五郎方善九郎宛。頼置ﾙ米証拠の件外

一一　書状　（二七四八）

（江戸後期）十二月六日　切紙（包紙入）一通

大庄屋安永権次郎方古野惣五郎宛。不審火の件

一二　書状　（二七三四）

（江戸後期）十一月八日　切紙　一通

大庄屋安永方庄屋古野惣五郎宛。伝十・六右衛門一件

一三　書状　（二三九五）

（江戸後期）十二月　切紙　一通

善九郎方惣五郎宛。六右衛門方願書の件

一四　書状　（二三九六）

（江戸後期）十二月廿二日　切紙　一通

武谷善九郎方古野惣五郎宛。卯平跡居合一件に付出方の事

一五　書状　（二七四三）

（江戸後期）十二月十三日　切紙（包紙入）一通

武谷善九郎方惣五郎宛。奉行達両村割帳の件外

一六　書状　（二七四四）

（江戸後期）十二月十四日　切紙　一通

惣五郎方善九郎宛。秋反別三ケ村割帳渡方依頼外

一七　書状　（二七四五）

（江戸後期）十二月十四日　切紙　一通

善九郎方惣五郎宛。秋反別割方送付の事外

一八　書状　（二七四六）

（江戸後期）十二月十三日　切紙　一通

大庄屋安永権次郎方倉久村庄屋武谷善九郎宛。鶴田大庄屋升木屋詮儀の件外

一九　書状　（二七四七）

（江戸後期）十二月廿四日　切紙　一通

善九郎外方惣五郎宛。六左衛門一件に付打合せ度

二〇　書状　（二七二七）

（江戸後期）十二月廿二日　切紙　一通

倉久村武谷善九郎方古野惣五郎宛。日時決定の件

二一　書状　（二七三〇）

（江戸後期）十二月二日　切紙（包紙入）一通

惣五郎方善九郎宛。立会い願

二二　書状　（二七三一）

（江戸後期）十一月廿七日　切紙（包紙入）二通

下有木村善九郎方惣五郎宛。有吉八助書状の件

二三　書状　（二七三一）　切紙（包紙入）一通
（江戸後期）十一月廿六日
下有木村善九郎ゟ三郎外宛。原田村の件外

二四　書状　（二七三三）　切紙　一通
（江戸後期）十二月朔日
村方不埒の願申出ル件、津丸一件外

二五　書状　（二五二八）　切紙　二通
（江戸後期）十一月廿一日
大庄屋神谷久右衛門ゟ。長州追討時、軍備費借入銀の件

二六　書状　（一七二七）　巻紙　一通
（江戸後期）二月廿日
大村伝兵衛ゟ惣五郎宛。質入田畠の件

二七　書状　（二四四六）　切紙　一通
（江戸後期）霜月廿二日
村上平右衛門ゟ正三郎宛。村人詮儀に付

二八　書状　（二四二八）　切紙　一通
（江戸後期）二月八日
庄屋文平ゟ同惣五郎宛。畠方代米目六等の件

二九　書状　（二四二五）　切紙　一通
（江戸後期）正月晦日
源助ゟ惣五郎宛。役所ゟの紙面に付

三〇　書状　（二四一四）　切紙　一通
（江戸後期）
九郎八ゟ古野惣五郎宛。旅人入判願控の件

三一　書状　（二四一五）　切紙　一通
（江戸後期）正月十六日
庄屋文平ゟ同古野惣五郎宛。入判者願書の件

三二　書状　（二三七八）　切紙　三通
（江戸後期）六月三日
平之助ゟ惣五郎宛。科人一件

三三　書状　（二三七九）　切紙（包紙入）四通
（江戸後期）十一月十八日
新山崎村庄屋円蔵ゟ大庄屋古野三郎右衛門宛。水損仕向拝借銀高の件

三四　書状　（二三五四）　巻紙　一通
（江戸後期）六月二日
庄屋千助ゟ惣五郎宛。科人の件

三五　書状　（二三三七）　巻紙　一通
（江戸後期）
市右衛門外ゟ。古野惣五郎返金一件

三六　書状　（二三三四）　巻紙　一通
（江戸後期）十一月廿七日
勝野村原田兵太郎ゟ大庄屋古野三郎右衛門宛。水損触備金の件

三七　書状　（二三二九）
（江戸後期）五月朔日　切紙　一通
大庄屋平右衛門ゟ庄屋惣五郎宛。弥助一件

三八　書状　（二三三〇）
（江戸後期）六月　切紙　一通
武四郎ゟ惣五郎宛。正伝願指返置ゟ

三九　書状　（二三九四）
（江戸後期）　巻紙（包紙入）一通
有吉ゟ古野惣五郎宛。会所ゟ呼出の件

四〇　書状　（一七七六）
（江戸後期）午九月　一通
米金借貸巳年より十ケ年置居の儀、今般廃止致ゟ

四一　書状　（一四九五）
（江戸後期）十二月廿七日　切紙　一通
六郎ゟ古野宛。村の支払の件

四二　書状　（一四九一）
（江戸後期）八月　切紙　一通
古野三郎宛。古帳引合せの件

四三　書状　（一四九二）
（江戸後期）十一月十七日　切紙　一通
六郎ゟ古野三郎宛。四郎丸村給料の件外

四四　書状　（一四八四）
（江戸後期）三月廿六日　切紙　一通
塩沢善左衛門ゟ。異国船長崎へ渡来の件

四五　書状　（一二五六）
（江戸後期）五月廿八日　切紙（包紙入）一通
博多屋松兵衛ゟ春田恕平外宛。惣五郎返金の件

四六　書状　（一二五五）
（江戸後期）二月六日　切紙（包紙入）二通
博多屋松兵衛ゟ古野惣五郎宛。返金の件

四七　書状　（一二四三）
（江戸後期）七月廿六日　切紙（包紙入）一通
京屋専助ゟ古野惣五郎宛。返金の義

四八　書状　（八五五）
（江戸後期）三月廿日　巻紙（包紙入）一通
博多屋松兵衛ゟ古野惣五郎外宛。返金催促

四九　書状　（九五〇）
（江戸後期）八月一日　切紙（包紙入）一通
日田俵屋介作ゟ古野惣五郎宛。約定の金子の件

五〇　書状　（一〇四一）
（江戸後期）十二月二日　巻紙　一通
博多屋松兵衛ゟ古野惣五郎宛。返済金日延の件

五一　書状　（一二三七）
（江戸後期）閏三月十四日　切紙（包紙入）一通
博多屋松兵衛ゟ古野惣五郎宛。返金一条

五二　書状　（一二三八）
（江戸後期）十月廿二日　切紙（包紙入）一通
京屋専助外ゟ松本屋利作宛。残金日延の件外

五三　書状　（一二三四）
（江戸後期）十一月廿六日　切紙（包紙入）一通
博多屋松兵衛・島屋宗助ゟ古野惣五郎宛。返金の件

五四　書状　（一二三二）
（江戸後期）八月八日　切紙　一通
古野惣五野ゟ京屋専助宛。借金返済の件

五五　書状　（一一八一）
（江戸後期）三月十四日　切紙（包紙入）一通
博多屋松兵衛ゟ古野惣五郎宛。返金の件

五六　書状　（一一八二）
（江戸後期）七月廿日　切紙（包紙入）一通
博多屋松兵衛ゟ春田恕平宛。古野へ貸金の件

五七　書状　（一一七九）
（江戸後期）十一月十三日　切紙（包紙入）一通
博多屋松兵衛ゟ古野惣五郎宛。返金の督促

五八　書状　（一二三三）
（江戸後期）八月十日　切紙（包紙入）一通
日田今津屋甚六ゟ古野惣五郎宛。返金の件

五九　書状　（一一〇〇）
（江戸後期）十月廿一日　切紙　一通
新屋権右衛門ゟ山近貞吉宛。蠟燭作り道具の件

六〇　書状　（一〇九七）
（江戸後期）六月十六日　切紙　一通
神川屋惣太ゟ新屋庄右衛門宛。田代屋歩入の件

六一　書状　（一〇五四）
（江戸後期）七月　切紙（包紙入）一通
白石正三郎ゟ古野惣五郎宛。お千代の事

六二　書状　（一〇五五）
（江戸後期）八月七日　切紙（包紙入）一通
白石正一郎ゟ古野惣五郎宛。お千代の事

六三　書状　（一〇五七）
（江戸後期）九月　切紙（包紙入）一通
白石正一郎ゟ古野惣五郎宛。法事の通知

六四　書状　（一〇五八）
（江戸後期）閏八月二日　切紙　一通
白石正一郎ゟ古野惣五郎宛。お千代の事

六五　書状　（一〇六三）

（江戸後期）七月廿七日　切紙（包紙入）一通

白石正一郎ゟ古野惣五郎宛。お千代の件

六六　書状　（一〇五三）

（江戸後期）十二月　切紙（包紙入）二通

白石正一郎ゟ古野宗五郎宛。お千代の事

六七　書状　（一〇四九）

（江戸後期）八月十八日　切紙（包紙入）一通

白石正一郎ゟ古野惣五郎宛。お千代病状の件

六八　書状　（一〇五〇）

（江戸後期）八月十八日　切紙（包紙入）一通

白石正一郎ゟ古野惣五郎宛。お千代死去通知

六九　書状　（一〇六四）

（江戸後期）九月廿八日　切紙（包紙入）一通

永島庄七ゟ古野惣太宛。塩注文の件

七〇　書状　（一〇六五）

（江戸後期）九月十八日　切紙　一通

江藤彦九郎ゟ古野惣太宛。当村庄屋跡役の義

七一　書状　（一〇六六）

（江戸後期）九月廿二日　切紙（包紙入）二通

島屋庄七ゟ古野惣太宛。父親死去通知

七二　書状　（一〇六七）

（江戸後期）九月十四日　切紙（包紙入）一通

二ゑゟ古野惣太宛。かんさし代送金依頼

七三　書状　（一〇五九）

（江戸後期）十二月廿二日　切紙　一通

島屋謙平ゟ倉田忠右衛門宛。祝言の節の礼

七四　書状　（一〇九二）

（江戸後期）七月五日　切紙（包紙入）二通

謙平ゟ古野惣右衛門宛。付、注文之覚

七五　書状　（一〇六〇）

（江戸後期）臘月廿二日　切紙　一通

島屋謙平ゟ安永藤四郎宛。古野家婚姻相整ひ件

七六　書状　（一〇六一）

（江戸後期）臘月廿三日　切紙　一通

島屋謙平ゟ彦九郎宛。古野家婚姻相整に付礼

七七　書状　（一〇六二）

（江戸後期）臘月廿二日　切紙　一通

謙平ゟ神谷幸助宛

七八　書状　（一〇六八）

（江戸後期）五月　切紙（包紙入）三通

島屋謙平ゟ古野惣五郎宛。お松引越の事

六九　書状　（一〇六九）
（江戸後期）八月五日　切紙（封筒入）一通
島屋謙平ゟ古野惣五郎宛。病人の事

八〇　書状　（一〇七〇）
（江戸後期）文月十一日　切紙（包紙入）一通
勝浦島屋謙平ゟ惣五郎宛。礼状

八一　書状　（一〇五一）
（江戸後期）二月　切紙　一通
島屋謙平ゟ古野惣五郎宛。女中の件

八二　書状　（一〇四七）
（江戸後期）一月九日　切紙　一通
三郎ゟ惣五郎宛。米不足に付

八三　書状　（九四〇）
（江戸後期）　切紙　一通
川村広七ゟ庄屋古野惣五郎宛。玉子注文

八四　書状　（九六〇）
（江戸後期）八月五日　切紙　一通
大野弁太郎取次衆宛。旦那様下国祝に付

八五　書状　（九五四）
（江戸後期）　切紙（包紙入）二通
大野弁太郎内川村広七ゟ古野惣五郎宛。注文の鶏の件

八六　書状　（九五五）
（江戸後期）七月朔日　切紙（包紙入）一通
大野弁太郎ゟ惣次郎宛。江戸表引払い帰福報知

八七　書状　（九五七）
（江戸後期）十二月廿九日　切紙（包紙入）一通
奥山亨ゟ上有木村庄屋古野惣五郎宛。壱作年貢米代納入の件

八八　書状　（九五八）
（江戸後期）十二月十六日　切紙　二通
大塩節操ゟ上有木村庄屋古野惣五郎宛。家来判仁三郎、其村百姓へ金子取替ゟ件

八九　書状　（九四九）
（江戸後期）十二月廿五日　切紙　一通
古野信平ゟ庄屋惣五郎宛。掛物表具の件

九〇　書状　（九三七）
（江戸後期）九月廿九日　切紙（包紙入）一通
牧坂吉作ゟ山口村庄屋古野三郎右衛門宛。酒船一条

九一　書状　（九三八）
（江戸後期）十一月八日　切紙（包紙入）二通
牧坂吉作ゟ古野三郎右衛門宛。酒船板上納の件

九二　書状　（九三九）
（江戸後期）十月七日　切紙（包紙入）一通
牧坂吉作ゟ古野惣五郎宛。掛合の件承知ゟ哉

九三　書状　（九三〇）
（江戸後期）八月二日　巻紙　一通
四郎丸庄屋古野惣五郎ゟ八尋庄屋平三郎宛。非常の節の早太鼓の件

九四　書状　（九三一）
（江戸後期）二月十二日　一紙　一通
武雄ゟ惣五郎宛。神事仕廻方に付

九五　書状　（九三二）
（江戸後期）七月十日　切紙　二通
五十嵐巌ゟ古野惣五郎宛。借用依頼

九六　書状　（九三三）
（江戸後期）二月九日　一紙　一通
玉雄ゟ庄屋惣五郎宛。預金の内ゟ貸下願

九七　書状　（九二四）
（江戸後期）九月八日　一紙（包紙入）一通
吉作ゟ古野惣五郎宛。依頼の板に付

九八　書状　（九二七）
（江戸後期）四月十一日　切紙（包紙入）一通
大野七郎ゟ古野惣五郎宛

九九　書状　（九二三）
（江戸後期）　切紙　一通
入江伝十ゟ古野惣五郎宛。地図注文の件

一〇〇　書状　（八一四）
（江戸後期）三月七日　切紙　一通
多助ゟ惣太宛。不足分送金の事外

一〇一　書状　（八〇三）
（江戸後期）十一月七日　切紙（包紙入）二通
極楽寺ゟ古野惣五郎宛。拝借銀元利共請取。付、請取書

一〇二　書状　（八〇二）
（江戸後期）二月十五日　切紙　一通
大村伝兵衛ゟ惣五郎宛。預け置申ゟ田畠余米の件

一〇三　書状　（七九八）
（江戸後期）十一月廿五日　切紙　一通
庄屋惣五郎宛。次郎右衛門不届の件

一〇四　書状　（三二四五）
（江戸後期）　切紙　一通
喜多岡雄平罪状書上

一〇五　書状　（五八六）
（江戸後期）十九日　切紙　一通
宝木元瑞ゟ惣助宛。金子調達の件

一〇六　書状　（五八五）
（江戸後期）二月十一日　切紙　一通
長浜進兵衛ゟ古野惣助宛。注文品送付の事外

一〇九　書状　（五六九）
（江戸後期）二月廿六日　切紙（包紙入）二通
勘内ゟ市郎右衛門宛

一一〇　書状　（五七〇）
（江戸後期）　切紙（包紙入）一通
住よしや光平ゟ惣助宛

一一一　書状　（五六四）
（江戸後期）四月十四日　切紙（包紙入）一通
幸右衛門ゟ惣五郎宛。本家仕立講の件

一一二　書状　（五六八）
（江戸後期）十一月廿七日　切紙　一通
桐野若中ゟ四郎丸村若手中宛。桐野観世音菩薩万人講富存念居申ハ間寄進依頼

一一三　書状　（五八四）
（江戸後期）二月廿八日　切紙（包紙入）二通
早川元ゟ古野壮助宛。請合いの金子の件

一一四　書状　（五六七）
（江戸後期）十二月廿八日　切紙（包紙入）一通
早川ゟ壮助宛

一一五　書状　（一四六四）
（江戸後期）九月五日　切紙　一通
上納米の件

一一六　書状　（一四六五）
（江戸後期）九月六日　切紙（封筒入）一通
柴田忠蔵ゟ古野惣太宛。上納米請取外

一一七　書状　（一四六六）
（江戸後期）十二月廿四日　切紙（包紙入）一通
高成七右衛門ゟ古野惣太宛。九平、黒崎宿江罷越旦那方出陣中召仕に相成居ハ件

一一八　書状　（一四六七）
（江戸後期）　切紙（包紙入）一通
香椎藤吾ゟ古野惣太宛。非常に付其村ゟ被相渡ハ百姓屋敷へ差出に相成ハ様申談置ハ処、出方不致件

一一九　書状　（一四六八）
（江戸後期）十一月十二日　巻紙　一通
菊地六郎ゟ古野惣五郎外宛。村方組頭不届の件外

一二〇　書状　（一四六九）
（江戸後期）卯月十一日　巻紙　一通
菊地六郎ゟ古野三郎宛。病気願出差出ハ件

一二一　書状　（一四七〇）
（江戸後期）廿一日　切紙　一通
菊地六郎ゟ古野三郎外宛。足米の件外

一二二　書状　（一四七一）
（江戸後期）未二月十一日　切紙　一通
菊地六郎ゟ古野三郎宛。底井野惣役替の件外

一三　書状　（一四九八）

（江戸後期）九月十日　切紙（封筒入）一通

香椎藤吾ゟ古野惣太宛。其村ゟ御渡し百姓弐人足軽に召仕ゟに付

一三一　書状　（一五九二）

（江戸後期）　切紙（包紙入）一通

小原村庄屋香椎藤吾ゟ勝木十左衛門宛。出張の節出方の者持参品の報知

一三二　書状　（一五一〇）

（江戸後期）七月七日　切紙（包紙入）一通

村上ゟ古野惣五郎宛。礼状

一三四　書状　（一五一三）

（江戸後期）二月廿二日　切紙　一通

津田勘兵衛ゟ古野惣太宛。出陣出方に付

一三五　書状　（一五一八）

（江戸後期）一月十日　切紙（包紙入）一通

喜多村弥次郎内酒泉伊三右衛門ゟ古野惣太宛。黒崎表陣払に相成ゟ得共、九平儀今日迄召仕に相成ゟ間

一三六　書状　（一五二〇）

（江戸後期）十一月廿三日　切紙（包紙入）一通

喜多村弥次郎内柴田忠蔵ゟ古野惣太宛。福岡表ゟ増夫申来ゟに付

一三七　書状　（一五二二）

（江戸後期）八月廿日　切紙　一通

柴田忠蔵ゟ古野惣太宛。見舞の礼

一三八　書状　（一五八九）

（江戸後期）七月廿三日　切紙　一通

惣五郎ゟ大庄屋古野三郎右衛門宛。買取の夜着の件外

一三九　書状　（一五九六）

（江戸後期）九月十六日　一紙　一通

宗像津丸小助悴藤助ゟ大庄屋古野三郎右衛門宛。金子借用依頼

一四〇　書状　（一六〇〇）

（江戸後期）　切紙　一通

藤助ゟ宮田村大庄屋古野三郎右衛門宛。借銭願

一四一　書状　（一七〇八）

（江戸後期）三月廿日　切紙　一通

坂本三吾ゟ惣太宛。山所見分の件

一四二　書状　（一七〇九）

（江戸後期）二月三日　巻紙　一通

小伏村勘兵衛ゟ惣右衛門宛。借金返済の件

一四三　書状　（一七一二）

（江戸後期）一月廿八日　巻紙　一通

松井重左衛門ゟ倉久村庄屋惣五郎宛。古野信平方抱地受返の件

一三三　書状　（一七一八）
（江戸後期）十二月廿三日　切紙　一通
古野信平ゟ惣五郎宛。酉年以来借用の分

一三四　書状　（一七四四）
（江戸後期）七月九日　切紙　一通
古野信平ゟ惣五郎宛。山の件

一三五　書状　（一七一六）
（江戸後期）十一月八日　切紙　一通
大庄屋吉柳作十郎ゟ庄屋惣五郎宛。極楽寺拝借銀の件

一三六　書状　（一七二三）
（江戸後期）二月廿一日　切紙　一通
鉄山太助ゟ四郎丸村庄屋惣五郎宛。松山直段の件

一三七　書状　（一七三二）
（江戸後期）二月十六日　切紙　一通
古野惣五郎ゟ浦上内□川惣蔵宛。百姓の請証拠の件

一三八　藤枝宛書状　（三〇八六）
（江戸後期）　切紙　十三通

一三九　書状　（二五九八）
（江戸後期）　巻紙　一通
信□屋安兵衛ゟ古墜宗介宛。訪問日の報知

一四〇　書状　（二六九八）
（江戸後期）十一月廿四日　切紙（首欠）一通
住吉屋喜三郎ゟ神川屋惣五郎宛

一四一　書状　（二七二九）
（江戸後期）二月十三日　切紙（包紙入）一通
権蔵ゟ古野惣助宛。品物の請取

一四二　書状　（二七二八）
（江戸後期）三月廿三日　切紙　一通
新入屋千左衛門ゟ惣右衛門宛。礼状

一四三　書状　（二七九八）
（江戸後期）　切紙　一通
金子借用願

一四四　書状　（三一〇〇）
（江戸後期）七月十二日　切紙　一通
原田伴三郎ゟ古野惣五郎宛。霊前への供物の礼

一四五　書状　（九五六）
（江戸後期）十月三日　切紙（封筒入）一通
喜多原勝五郎ゟ古野惣五郎宛。納物代銀は正金三歩宛毎年十一月限り可被相納ゆ

一四六　書状　（一八七四）
（江戸後期）四月三日　一紙　一通
乙丸村庄屋小七ゟ大庄屋太一郎宛。惣次郎へ差上ゆ分役所へ指出方被仰付度

一四七　書状　（九五二）
（江戸後期）　切紙（包紙入）一通
喜多原□三郎ゟ四郎丸村庄屋・組頭中宛

一四九　書状　（一七一三）
（江戸後期）　巻紙　一通
おとき祝の件

一五〇　書状　（三〇八八）
（江戸後期）　切紙　一通
古野口太郎右庄屋惣五郎宛。谷栗村へ引移通知

一五一　書状　（一五八七）
（江戸後期）一月十二日　切紙　一通
惣五郎右古野三郎右衛門宛。願書案文知らせ方依頼外

一五二　書状　（一五八八）
（江戸後期）　切紙　一通
惣五右三郎右衛門宛。一義の件

一五三　書状　（一八七八）
（江戸後期）　切紙（包紙入）二通
定右衛門右。酒屋右の願書に付

一五四　書状　（一八七七）
（江戸後期）六月九日　切紙（包紙入）一通
毛利次郎平右吉田与左衛門宛。酒屋株増難渋願一件

一五五　書状　（一八四五）
（江戸後期）六月十一日　一通
新入屋善助右神川屋惣五郎宛。茂平預り口不埒の件

一五六　書状　（八五三）
（明治初期）十月　（包紙入）巻紙一通・切紙三通
山崎利八郎右副戸長古野惣五郎宛。石代取組の件

一五七　口上　（八五二）
（明治初期）十一月十三日　切紙　一通
博多屋利八郎右下関菊屋安兵衛宛。石代米三千俵程預ケ置度

一五八　書状　（八五一）
（明治初期）十月　切紙（包紙入）一通
山崎利八郎右古野宗五郎宛。石代一条に付

一五九　書状　（八六三）
（明治初期）三月十四日　切紙　一通
尾形喜六右古野三郎右衛門宛。長浜伊三太右建具依頼に相成り件

一六〇　書状　（八六一）
（明治初期）三月廿六日　巻紙　一通
伊藤彦六右古野惣五郎宛。面談の件

一六一　書状　（八六〇）
（明治初期）八月六日　切紙　一通
神谷幸助右古野惣五郎宛。赤星開業の件

一二三　書状　（九二五）
（明治初期）二月三日　切紙（包紙入）一通
嶋田円太夫ゟ古野惣五郎宛。大赦被仰出ゟ件

一二四　書状　（九二六）
（明治初期）十二月廿六日　切紙（包紙入）一通
奥山小十郎ゟ庄屋惣太宛。陸士頭被仰付

一二五　書状　（九三五）
（明治初期）二月十六日　切紙　一通
利平ゟ惣五郎宛。受持の小区分払入ゟ件

一二六　書状　（一〇五六）
（明治初期）六月　切紙（封筒入）一通
永嶋謙平ゟ古野惣五郎（中身は惣太）宛

一二七　書状　（一〇八四）
（明治初期）三月廿六日　切紙　一通
惣太ゟ惣五郎宛。

一二八　書状　（一〇八五）
（明治初期）十一月　切紙（包紙入）一通
木本ゟ山口村庄屋古野三郎右衛門宛。借金返済の件

一二九　書状　（一〇七八）
（明治初期）十二月十六日　切紙　一通
武谷藤九郎ゟ惣五郎宛。買上げ田地代の件

一三〇　書状　（一〇七三）
（明治初期）　切紙（封筒入）一通
島屋謙平ゟ古野惣五郎宛。歳暮の礼

一三一　書状　（一〇七四）
（明治初期）正月十四日　切紙（包紙入）一通
謙平ゟ古野惣太宛。磯菜等送付の事

一三二　書状　（一〇八九）
（明治初期）五月廿七日　切紙（封筒入）一通
謙平ゟ古野惣太宛。礼状

一三三　書状　（一〇八三）
（明治初期）亥三月廿五日　切紙　一通
小林惣太ゟ古野惣五郎宛

一三四　書状　（一〇八八）
（明治初期）十月　切紙　一通
小林ゟ古野惣五郎宛。火災の報知

一三五　書状　（一〇九八）
（明治初期）七月廿七日　切紙　一通
杉幹之助ゟ古野惣五郎宛。有木事件等報告

一三六　書状　（一七〇七）
（明治初期）七月十四日　切紙　一通
吉田与左衛門ゟ古野惣太宛。礼状

一七六　書状　（一七〇四）
（明治初期）三月廿九日　切紙(包紙入)一通
占い

一七七　書状　（三一八〇）
（明治初期）二月十三日　切紙　一通
梅本茂平ゟ真部宛。古野への礼

一七八　書状　（九〇三）
（明治初期）七月廿九日　一紙　一通
萩尾ゟ古野惣五郎宛。銀預り不通用の件外

一七九　書状　（九〇二）
（明治初期）　切紙(包紙入)二通
平三郎ゟ古野惣五郎宛。弾正権少忠外御通行役々名

一八〇　書状　（五五四）
（明治初期）七月廿二日　切紙　一通
杉屋利伴ゟ梅本弥七郎宛。集会通知

一八一　書状　（五五七）
（明治初期）六月十日　切紙　一通
高崎源六郎ゟ古野惣五郎宛。暑中見舞

一八二　書状　（一七〇三）
（明治初期）三月十三日　切紙　一通
幸助ゟ古野惣太宛。出産祝

一八三　書状　（一二七四）
（明治初期）五月廿日　切紙　一通
謙吾ゟ惣五郎宛。金談相整ひ件の礼外

一八四　書状　（一二七五）
（明治初期）五月廿五日　切紙　一通
謙吾ゟ惣五郎宛。金子相談

一八五　書状　（一二七六）
（明治初期）十一月八日　切紙　一通
謙吾ゟ惣五郎宛。金談の件、現米値段外

一八六　書状　（一二七七）
（明治初期）十月廿三日　切紙　二通
稲川屋謙吾ゟ惣五郎宛。金談の件外

一八七　書状　（一二七八）
（明治初期）十一月四日　切紙　一通
謙吾ゟ惣五郎宛。金子受取、櫨実の件外

一八八　書状　（一〇九四）
（明治初期）二月十五日　切紙　二通
保長入江伝十ゟ副戸長古野惣五郎宛。置米俵数報知

一八九　書状　（九三六）
（明治初期）四月廿八日　切紙　一通
石井ゟ惣五郎宛。小区割の分に付貸方依頼

一九　書状　（八〇〇）
（明治初期）　切紙（包紙入）一通
謙平ゟ惣吉宛。礼状

16 家

一（仮題）家訓　（二五九四）
（江戸後期）　折紙　一通

二 書物之事　（二四五九）
弘化三年五月　切紙　一通
徳次ゟ主人宛。奉公につき誓約

三 太宰府詣記　（五三七）
嘉永五年　小横綴　一綴
古野惣五郎威連

四 唐津庚申詣記　（二一二五）
安政四年三月　小横帳　一冊
古野威興

五 年々日記帳　（二九二）
安政五年　小横綴　一綴

六 威盛吊詞帳　（四六二）
万延元年十月廿日　長帳　一冊

七 威正役成祝儀帳　（四三六）
文久元年七月　長帳　一冊

八 路能記　（二九四）
文久元年八月一九日　小横綴　一綴
日記

九 古野威正帰村役成到来記　（四三四）
慶応元年九月　長帳　一冊

一〇（仮題）誓紙証文　（二三九一）
慶応三年　一紙（首欠）一通
惣五郎名子六次外ゟ

一一 誓紙揃　（三二〇五）
明治二年三月　長綴　一綴
庄屋古野惣五郎

一二 楮冬路の記　（五三六）
（江戸後期）　小横綴　一綴
古野威連

一三 請取　（二八〇二）
（江戸後期）　切紙　五通

一四 請取　（二七〇一）
（江戸後期）子十二月廿九日　一紙　一通
有本卯右衛門ゟ本村善助宛。金子

一五 覚　（一七〇二）
（江戸後期）廿七日　切紙　一綴
喜十郎外ゟ太三郎宛。杉板代蠟燭代等受取覚

一六覚　（二四二六）
（江戸後期）
福間宗十ゟ。呉服類計算書
一紙　一通

一七覚　（二九九三）
（江戸後期）三月十九日
切紙　一通
勘兵衛ゟ庄屋三郎右衛門宛。銀子受取

一八請取　（二九九一）
（江戸後期）亥十二月廿六日
切紙　二通
山口村良平ゟ庄屋惣右衛門宛

一九覚　（二九九〇）
（江戸後期）
切紙　五通
請取

二〇覚　（二九八九）
（江戸後期）十月十一日
切紙　一通
角平ゟ神川屋惣五郎宛

二一覚　（二九八八）
（江戸後期）卯十二月
切紙　二通
かじや幸右衛門外ゟ四郎丸村惣太宛。釘代等

二二覚　（二四四四）
（江戸後期）
切紙　一通
呉服代

17 その他

一江戸町家人数積写外　（二五六九）
天保四年十月改
一通

二信州水内郡善光寺町其外共大変之一件荒増伝聞書写　（七〇七）
弘化四年三月
書冊　一冊

三信州水内郡善光寺町々之外共大変之一件荒増伝聞書写　（七一六）
弘化四年
書冊　一冊

四大石十八ケ条申聞　完　（二三三一）
嘉永四年写
書冊　一冊

五薩摩一家中分限幷后名附　（四六六）
文久二年五月
長帳　一冊

六京都騒動略記　（六八〇）
文久元年七月十九日
書綴　一綴

七長討却軍記　（一八八七）
（江戸後期）
書冊　一冊

八風説書　（二四六五）
（江戸後期）六月十三日
折紙　一通
問屋幸兵衛ゟ。長州征伐等

九　連茂日記観聴抄略　（七二〇）
　慶応三～四年　書冊　一冊

一〇　奥州街道於船橋戦争風説書　（六八一）
　慶応四年閏四月　書冊　一冊

一一　奥州街道船橋ニ而戦争討死手負逃去人数覚　（一五三八）
　（慶応四年）閏四月三日　書綴　一綴

一二　風説写　（一五〇九）
　（江戸後期）　切紙　一通
　火事

一三　金山由来記　（一一二一）
　（江戸後期）　巻紙　一通

一四　江戸大地震出火　（一三五二）
　安政二年十月　一紙　一通

一五　江戸出火（覚）　（一六三三）
　（江戸後期）　一紙　一通

一六　睡望考　（七一八）
　慶応三年　書綴　一綴
　古野三郎。香春岳の地理考

一七　郡中札所幷御詠歌　（一九〇六）
　慶応三年二月十九日　書冊　一冊

一八　覚　（一八九七）
　（江戸後期）　一通
　与一郎外三八名

一九　（仮題）名前書上　（一八九六）
　（江戸後期）　切紙　一通
　半助外十五名

二〇　覚　（一四六六）
　（江戸後期）　切紙　一通
　書籍目録

二一　（仮題）薬種広告　（一五二四）
　弘化三年　一紙　二通

二二　家法妙薬剤記　（一〇〇一）
　明治四年正月　長帳　一冊

二三　薬方　（一四六一）
　（江戸後期）　切紙　一通
　値段

二四　秘伝疫病之節　（一四六三）
　（江戸後期）　切紙　一通

二五　妙薬　（一四五八）
　（江戸後期）　切紙　一通

二六 (仮題)書付 (二七一五)
文政十二年写 一紙 一通
仏教典よりの引用

二七 十種観音経 (二四四五)
(江戸後期) 切紙 一通

二八 蘭語 (二七〇三)
(江戸後期) 切紙 一通

二九 加藤清正公祭文 (二二一三)
(江戸後期) 書冊 一冊

三〇 米楽寿藤糸 (二〇二〇)
文政十年 小横帳 一冊

三一 靄染梅新不扇常糸津里枩新八絃曲 (一八〇八)
弘化二年 一紙 一通

三二 暦 (九二〇)
嘉永二年 書冊 一冊

三三 いろいろ伝授 (七七〇)
嘉永六年 小横帳 一冊
練粉、染物の事

三四 紙ニじ仕法之覚 (三一五〇)
(江戸後期) 切紙 一通

三五 鬼門金神略記 (三二〇六)
(江戸後期) 一紙 一通

三六 万請取渡次第 (六八八)
(江戸後期) 書綴(尾欠)一綴
武具渡方作法等

三七 俊基 (六八三)
天保十年 書綴 一綴

三八 覚 (一八一一)
(江戸後期) 一紙 四通
冨当り金計算書

三九 比翼塚由来記 (一九二〇)
(江戸後期) 書綴 一綴

四〇 覚 (二六七九)
(明治初期) 切紙 三通
閹関係

四一 (仮題)覚 (三一八二)
(江戸後期) 切紙 一通
古野惣五郎外名前書上

四二 (仮題)覚 (三一八四)
(江戸後期) 折紙 一通
古野霍次郎外名前書上

四三（仮題）名前覚　（二五九〇）
（江戸後期）　切紙　一通

四四（仮題）大相撲興行番付　（三一三一）
嘉永五年　一紙　二通

四五（仮題）役者番付　（二三八六）
万延元年七月　一紙　二通

四六（仮題）絵師番付表　（二四五三）
（江戸後期）　一紙　一通

四七（仮題）番付表　（二四五二）
安政三年三月　一紙　一通

四八（仮題）芝居広告　（二五四八）
（江戸後期）　一紙　四通

四九（仮題）芝居等番付表　（二五六四）
慶応二年外　一紙　三通

五〇（仮題）番付表　（二六六九）
安政二年　一紙　一通

五一（仮題）番付　（二七〇二）
（江戸後期）　一紙　一通

五二（仮題）諸番付一覧　（二八一九）
（江戸後期）　一紙　五通

五三 記　（二四五〇）
（江戸後期）　切紙　一通
桶等諸道具

五四 要用　（二四七九）
（明治初期）　切紙　一通

五五 順気御祈祷湯立大神楽役割　（四六四）
嘉永五年七月七日　長綴　一綴

五六 免書　（一八四七）
（江戸後期）　切紙（包紙入）一通

五七 免書　（一八四八）
天保四年　切紙（包紙入）一通

五八 吉凶の方図　（二四二七）
文政六年　一紙　一通

五九 地理家相吉凶之支　（七六二）
文久元年三月　巻紙　一巻

六〇（仮題）吉凶之支　（二四五四）
（江戸後期）　一紙　一通

六一（仮題）疱瘡のまじない　（二四五五）
（明治初期）　一紙　一通

六二（仮題）吉凶覚　（二五五八）
明治三年五月　一紙　五通

六三　将基智恵輪妙手段
（江戸後期）
一紙　一通　（二四六四）

六四　（仮題）和歌
（江戸後期）
切紙　一通　（一〇七一）

六五　祈願書
慶応二年
（三二〇一）
一紙　一通

六六　祝詞
明治四年
（三二〇二）
巻紙　三通

六七　祈願書
明治二年外
（三二〇三）
一紙（包紙入）六通

六八　（仮題）壬戌暦
文久元年
（三一四〇）
書冊（一部破損）一冊

六九　覚
（江戸後期）
買物代
（三一四三）
折紙　一通

七〇　覚
（江戸後期）四月十二日
木戸屋庄三郎ゟ。受取
（三一五八）
切紙　一通

七一　（仮題）覚
（江戸後期）
上頓野、戸切等での値段
（三一八三）
切紙　一通

七二　記
（江戸後期）十二月十六日
徳次ゟ惣五郎宛。利右衛門・惣吉米覚
（五三一の一三）
切紙　一通

七三　諸事品々言定
文政六年十二月
豆腐諚、阿蘭陀伝等
（七〇四）
書冊　一冊

七四　豆腐品作
（江戸後期）
（三一五四）
切紙　一通

七五　馬鈴薯作り方幷製法切能書
明治三年
（一六七七）
書綴　一綴

七六　麻取上手続
（江戸後期）
（七一一）
書綴　一綴

七七　料理秘方
（江戸後期）
（二四四〇）
一紙　一通

七八　（仮題）戯歌外
（江戸後期）
（二四四七・二四六八・二四七七）
切紙　一通

七九　（仮題）戯歌
（江戸後期）
（一四九七）
一紙　一通
久留米の殿さん中津の城下へお泊りなされたいわれいんねん云々

八〇　占章
（明治初期）
（三二一八）
（封筒入）九通

二、明治以降史料

1 行政

(1) 法令・規則

一 (仮題)布告　(二八一一)
明治十四年二月十七日　一通
太政大臣三条実美ゟ。地租徴収期限ノ改定

二 法律第一号・市制町村制　(二一一八)
明治廿一年四月　書冊　一冊

三 福岡県令告示綴　(二一二六)
明治廿二年三月　書冊　一冊

四 土木諸規則　(二一三六)
明治廿二年～廿三年　書冊　一冊

五 土木諸規則　四十一号　(一八九二)
明治廿五年　書冊　一冊

六 神官取締細則施行之件願之趣認可ス　(八八一)
明治廿五年五月　書綴　一綴
福岡県知事安場

七 証券印税規則一覧表　(二九七一)
(明治以降)　一通

八 池川堤防橋梁養水井堰修繕規則　(一六六八)
(明治以降)　書綴　一綴
大分県

(2) 地方行政

九 記　(三一三六)
(明治五年)壬申八月　書綴　一綴
大祭恒例花山差免候ニ付心得

一〇 第十二区之内宮永村副戸長組頭ゟ御願申上候事　(一八一九)
明治五年九月　一通
宮永村組頭毛利源四郎外ゟ

一一 公務留書　(二一五六)
明治七年　小横帳　一冊

一二 村長送迎の辞　(一三九二)
明治七年四月　一通

一三 申渡　(一六七二)
明治七年四月　書綴　一綴
懲役人春田平吉引渡候事

一四 難渋歎願　(九八四)
明治七年十月廿二日　書綴　一綴
入江勝四郎外ゟ。地券証返還ゟ様被仰付度

一五　家床願　（二五二一）
明治七年九月　一通
入江善右衛門ゟ福岡県権参事山根秀介宛

一六　家床願　（八八九）
明治七年七月十五日　書冊　二冊
副戸長古野惣五郎ゟ福岡県令立木兼善宛

一七　七年分大区諸費割元十一区引受書抜　（一五二五）
明治八年一月　長綴　一綴

一八　明治七年分大区費其外口々小区割方帳　（一五二六）
明治八年二月十二日　長帳　一冊

一九　公務留記　（二一二〇）
明治八年一月　書冊　一冊
副戸長古野

二〇　区用金穀出納記　（二一一七）
明治八年一月　小横帳　一冊

二一　定費通算表　（四四六・四四七）
明治八年一月～三月　書綴　二綴
第六大区三十小区

二二　定費通算表　（四五三）
明治八年七月～九月　書綴　一綴
二十七小区沼口村、水原村、竹原村

二三　定費通算表外　（四三三）
明治八年　書綴　一綴

二四　民費書上御布告　（四三八）
明治八年一月　書冊　一冊

二五　民費金出納勘定帳外　（二三一）
明治八年一月～三月　書綴　一綴

二六　民費書上　（四四一）
明治八年　書綴　一綴

二七　民費書上　（四四九）
明治八年　書綴　一綴

二八　管下筑前全国民費計算表　（一八三二）
明治八年　一通
福岡県令渡辺清

二九　明治八年分庁用民費金出納勘定表　（二〇七六）
明治九年　一通

三〇　三十小区明治八年亥年分大小区費口々割方帳　（一五九五）
明治九年旧十二月廿日　長帳　一冊

三一　明治九年分庁用民費出納勘定表　（二〇七五）
明治十年　一通

三三　三ケ年間定約取極候事　（一六七九）
明治九年　書綴　一綴
今般当大区中協議ノ上旧幣ヲ洗除シ無届の費ヲ有益ニ代換セシメン為

三三　日計簿　（二一一一）
明治九年二月　書綴　一綴
役所出納簿

三四　県庁其他新築一件諸入費金内訳表　（二〇七四）
明治九年　一枚

三五　県庁新築入費賦課表　（二〇七三）
（明治九年）　一枚

三六　事務留簿　（二一二二）
明治九年二月　小横帳　一冊
地租金収納概算目的外

三七　（仮題）覚　（二六〇七）
明治九年三月　書綴　一綴
第八扱所ゟ元三拾小区惣代中宛。四郎丸村、倉久村収支覚

三八　始末書　（三三二六）
明治九年八月廿九日　一通
不破保良。下有木村木野金作外金策に際し証書実印押印の件

三九　連合会議案　（二二〇八）
明治十二年六月廿五日　書綴　一綴
委員戸長古野惣五郎

四〇　十三年度郡道修繕費決算　（二二四三）
（明治十三年）　一通

四一　鞍手郡四郎丸村々会規則　（二二〇六）
明治十三年　書綴　一綴

四二　村会規則裁定伺　（二二三三）
明治十三年　書綴　一綴

四三　十三年度土木金決算表　（二二六四）
（明治十三年）　一通
四郎丸村

四四　学務委員人員幷自給旅費職務取扱費予算　（二二五〇）
明治十四年十一月　書綴　一綴
学区改正ニ付

四五　学務委員人員幷自給旅費職務取扱費予算外　（二二五三）
明治十五年一月　書綴　一綴
連合会議録

四六　鞍手郡廿五ケ村連合会規則　（一九一六）
明治十五年一月　書綴　一綴

四四　若宮連合会議案　（三〇七二）
明治十五年三月　書綴　一綴
専門学校設立の件

四五　委任状　（八九六）
明治十五年八月　書綴　一綴
倉久村古野彦四郎外ゟ。戸長辞職、撰挙の件

四六　記　（二七九九）
明治十五年九月　一通
上有木村外一ケ村戸長長浜太三郎ゟ鞍手郡々長宛。国民軍異動届数外

四七　聞次戸長之儀ニ付伺　（八九四）
明治十五年九月　書綴　一綴
古野惣五郎外ゟ肥田史宛

四八　受取　（二八一二）
明治十五年十月　一通
戸長長浜太三郎ゟ春田恕生外宛。郡役所へ伺の書類

四九　（仮題）覚　（二七九六）
明治十五年十一月　一通
鞍手郡役所ゟ。村役場用掛申付

五〇　予算　（三〇五〇）
明治十六年一月　一綴
下有木村外

五一　於氏神両村会（記録）　（三〇六三）
明治十六年五月　一綴

五二　諸伺指令綴　（二〇〇四）
明治十七年七月　書綴　一綴

五三　雑誌　第二号　（二〇〇一）
明治十七年八月　書綴　一綴
古野惣五郎。旅費受取目録

五四　寄留届　（一九八九）
明治十七年八月　書綴　一綴
福岡県鞍手郡四郎丸村森本勝六

五五　送状　（二七五八）
明治十七年十二月　一通
戸長役場ゟ古野宛。親展状外

五六　役場諸費取替　（二〇一九）
明治十七・十八年　書綴　一綴

五七　議案綴　（二〇二四）
明治十七年　書綴　一綴
鞍手郡倉久・四郎丸・上有木・下有木・芹田五ケ村戸長役場設置費及役場諸費予算

五八　各村々会幷人民会ニ付議且申談スル件々　（二〇二三）
明治十七年九月　書綴　一綴

六二　土木取扱手続　（二一三〇）
明治十七年　書綴　一綴
土木委員土木委員補事務取扱手続及ヒ月俸旅費支給法

六三　村会日記　（二一三七）
明治十七年九月　書綴　一綴
下有木村、上有木村、倉久村、四郎丸村、芹田村

六四　戸長役場事務取扱手続　（一九九三）
明治十七年　書綴　一綴
鞍手郡下有木村外四ケ村

六五　（仮題）伍長当選証　（二八四七）
明治十七年十月　二通
戸長古野惣五郎ゟ斉藤百郎宛

六六　筆算生解雇ニ入人名伺　（二〇三九）
明治十七年十一月　書綴　一綴
下有木外四ケ村戸長古野惣五郎ゟ郡長矢野矢宛

六七　仮送附証　（二〇一四）
明治十七年十月　一通
戸長古野惣五郎ゟ鞍手郡々役所宛

六八　鞍手郡議会議案外　（二〇八〇）
明治十七年～廿年　書綴　二綴
役場関係書類

六九　脚気患者無之届　（二七五六）
明治十七年八月　一通
下有木村外四ケ村戸長古野惣五郎ゟ鞍手郡々長宛

七〇　広告　（二〇三一）
明治十七年八月　書綴　一綴
鞍手郡役所ゟ。入札払下に付

七一　御願　（一四三六）
明治十七年九月十五日　書綴　一綴
倉久村字山崎人民惣代ゟ福丸警察分署宛。秣場秣焼払のため官林境伐払度

七二　辞職再願　（一三二二）
明治十八年三月　一通
古野惣五郎ゟ。下有木村外四ケ村戸長辞職願

七三　貧民救助寸志米届　（二二四一）
明治十八年七月　書綴　一綴
四郎丸村有志惣代古野惣五郎ゟ下有木外四ケ村戸長勝木昌一郎宛

七四　（仮題）衛生会に関する諸綴　（二〇四一）
明治十八年　書綴　一綴

七五　郡議会議案　（二〇六一）
明治十八年　書綴　一綴
鞍手郡役所。教育会細則等

七六　慈善者人名幷救助米高外
（明治十八年）
書綴　一綴
（二二四八）

七七　全郡土木費収入精算報告
（明治十八年）
書綴　一綴
（一九〇九）

七八　赴任旅費受取証
明治十八年
古野惣五郎
一通
（一八七五）

七九　伝染病屍埋葬地撰定願
明治十九年五月廿九日
入江伝十ゟ
一通
（一四〇四）

八〇　鞍手郡通常全郡町村会決議録
明治十九年度
書冊　一冊
（一九一〇）

八一　教育費臨時全郡連合町村会決議録
明治十九年度
書綴　一綴
（一九一一）

八二　四郎丸村々協議費予算
明治十九年
書綴　一綴
（二二六一）

八三　欠席届
明治十九年四月廿七日
古野惣五郎ゟ矢野矢宛。連合町村会
一通
（三〇六九）

八四　書状
明治十九年四月廿八日
戸長役場ゟ古野惣五郎宛。連合会開会通知
一通
（三〇六六）

八五　（仮題）通知状
明治十九年
戸長役場ゟ古野惣五郎宛
一通
（二二五七）

八六　固有村会決議録
明治十九年
四郎丸村
書綴　一綴
（二二〇五）

八七　（仮題）村会関係書類
明治十九年九月
一綴
（三〇五八）

八八　伝染病予防費予算外
明治十九年度
一綴
（三〇五六）

八九　土地取調費及土地台帖名寄帳調製費増加予算
明治十九年
書綴　一綴
（二二五五）

九〇　全郡連合町村会議按
明治十九年度
一綴
（三〇三九）

九一　町村費支出精算報告外
明治十九年度
書綴　一綴
（二二三八）

九二　臨時全郡連合町村会決議録
明治十九年度
書綴　一綴
（二二三九）

九三　通常非常土木修繕費決算表　（一九一四）
明治十九年度　書綴　一綴

九四　所轄町村費追加予算決議録　（二一四三）
明治廿年　書綴　一綴
下有木村外四ケ村戸長役場

九五　村協議費不納者書抜　（二一四五）
明治廿年度　書綴　一綴

九六　明治二十年度教育費追加支出予算　（三〇四〇）
明治廿年八月廿日　一通
鞍手郡長

九七　二十年度土木費決算表　（二二一〇）
明治廿二年　書綴　一綴

九八　公会堂株金募集帳　（一九一二）
明治廿年九月　書冊　一綴

九九　福丸高等小学校設置区域臨時連合村会決議録　（二二三五）
明治廿年度　書綴　一綴

一〇〇　村協議取替付出シ　（二三七二）
明治廿年度　長綴　一綴
春田恕生

一〇一　四郎丸村固有村会議按　（二九六四）
明治廿年度　書綴　一綴

一〇二　臨時全郡連合町村会決議録　（一九〇一）
明治廿年度　書綴　一綴

一〇三　全郡連合町村費支出予算議按　（一九二一）
明治廿年度　書綴　一綴

一〇四　戸長所轄通常連合区町村会議決議録　（一九二二）
明治廿年度　書綴　一綴

一〇五　土木費決算表　（一九〇八）
明治廿年度　書綴　一綴
鞍手郡役所

一〇六　明治二十年度通常全郡連合町村会決議録　（一八九八）
明治廿年度　書綴　一綴

一〇七　書上綴　（八七一）
明治廿年　書冊　一冊
面倉請払、町村有財産及負債高取調の義に付質問外

一〇八　全郡通常町村会雑誌　（一八九七）
明治廿一年度　書綴　一綴

一〇九　臨時会議録　（一九〇〇）
明治廿一年六月　書綴　一綴
郡道更正並新設の議

二一〇　全郡連合町村会議按　（一九二三）
明治廿一年度　書冊　一冊
二番議員古野

二一一　（仮題）全郡連合会開設通知状　（二二五一）
明治廿一年二月廿五日　書綴　一綴
下有木村外四ケ村戸長役場ゟ古野惣五郎宛

二一二　出納簿　（二一三八）
明治廿一年一月ゟ　書冊　一冊

二一三　諸進達間通　（二一三七）
明治廿一年一月ゟ同廿二年　書綴　一綴
吉田寛人ゟ下有木村外四ケ村戸長役場宛

二一四　旅費日当受取目録　（二二四二）
明治廿一年三月廿一日　一枚
古野惣五郎ゟ鞍手郡長宛

二一五　（仮題）土工取締及土工方撰挙会開設の義　（三〇五五）
明治廿一年三月廿九日　一綴
下有木村外四村戸長役場ゟ

二一六　旅費日当受取目録　（三〇七〇）
明治廿一年三月　一通
全郡連合会議員古野惣五郎ゟ鞍手郡長宛

二一七　福丸高等小学校設置区域通常連合村会決議録　（三〇五三）
明治廿一年度　（尾欠）一綴

二一八　（仮題）連合町村会開設通知外　（三〇四七）
明治廿一年六月十四日　一綴
戸長役場ゟ

二一九　鞍手郡臨時連合町村会決議録　（一八九九）
明治廿一年十二月廿五日　書綴　一綴

二二〇　倉久村四郎丸両村共議費割方帳　（二二九〇）
明治廿一年十二月　長帳　一冊

二二一　人民会着到簿　（八七四）
明治廿一年　書冊　一冊
四郎丸村

二二二　臨時全郡連合町村会決議録　（一九〇五）
明治廿一年度　書冊　一冊

二二三　鞍手郡通常連合町村会決議録　（一九〇四）
明治廿一年度　書冊　一冊

二二四　連合町村会決議録　（三〇七四）
明治廿一、廿二年度　一綴

二二五　領承証　（三二二一）
明治廿一年二月十日　一通
下有木村外四ケ村戸長役場ゟ古野惣五郎宛。寄附

一二六　送付之証　（一八四六）
明治廿二年四月十三日　一通
戸長役場ゟ。村会議員撰挙会の件

一二七　明治廿二年度通常全連合町村会決議録　（一八九五）
明治廿二年度　書綴　一綴

一二八　（仮題）全郡連合町村会議案　（三〇五二）
明治廿二年一月　一綴

一二九　笠松村大字四郎丸公共財産管理之義ニ付御願　（一九六三）
明治廿二年四月　書綴　一綴
古野惣五郎外ゟ鞍手郡々長宛

一三〇　笠松村公共財産管理之義ニ付御願　（一五五五）
（明治廿二年）　一通
郡長宛

一三一　（仮題）給料控　（四四三）
明治廿二～廿五年　長綴　一綴

一三二　埋葬認可之証　（一八四五）
明治廿二年一月十九日　一通
四郎丸村外四ケ村戸長有吉又作ゟ

一三三　町村会議員撰挙人名簿　（八七二）
明治廿二年　書冊　一冊
笠松村

一三四　鞍手郡連合町村費収支予算議按並ニ精算報告　（一九〇七）
明治廿二年度　書冊　一冊

一三五　通知状　（一三六八）
明治廿二年　一通
下有木村外四ケ村戸長役場ゟ古野惣五郎宛。明治廿二年度全郡町村会開設

一三六　町村会議員選挙人名簿　（一一三九）
明治廿二年四月　書綴　一綴
笠松村

一三七　鞍手郡全町村組合会議案　（一九二四）
明治廿三年四月十八日　書綴　一綴

一三八　福岡県鞍手郡全町村組合明治廿三年度臨時歳入出追加総計予算　（一九二五）
明治廿三年～廿四年　書綴　一綴
付、明治廿四年度歳入出予算並ニ徴収期定

一三九　鞍手郡全町村組合明治廿三年度歳入出予算　（一九二六）
明治廿三年四月　書綴　一綴

一四〇　鞍手郡全町村組合明治廿三年度歳入精算報告　（一三三一）
明治廿三年　書綴　一綴

一四一　明治廿三年度臨時全郡連合町村会議案　（一三一九）
明治廿四年三月廿三日開会　書綴　一綴

一四三　全郡連合会町村会議事留書　（一八九三）
明治廿四年四月　書綴　一綴

一四三　廿四年度全郡連合通常会議案　（一九一九）
明治廿四年度　書綴　一綴
付、廿二年度全郡通常費決算報告、面徐夫拼取調表

一四四　非常土木費議按　（一八九四）
明治廿四年度　書綴　一綴
全郡聯合町村会議

一四五　福岡県鞍手郡全町村組合歳入出総計予算決議　（二二三二）
明治廿四年度　書冊　一冊

一四六　全町村組合会議案　（一九二七）
明治廿四年十月　書綴　一綴

一四七　欠席届　（三〇七一）
明治廿四年十一月十二日　一通
古野惣五郎ゟ郡長宛。全郡町村会

一四八　通知状　（二二六五）
明治廿四年十二月　（封筒入）四通
鞍手郡役所ゟ古野惣五郎宛。全郡共有家屋貸与の件、勤倹貯蓄の集会の件

一四九　全郡町村組合ニ関スル書類　（三〇五七）
明治廿四、廿五年　二通

一五〇　通知状　（二二七一）
明治廿五年三月二日　（封筒入）一通
鞍手郡役所ゟ古野惣五郎宛。全郡町村組合会開設

一五一　全町村組合会議案　（二二一一）
明治廿五年三月八日開会　書綴　一綴
十三番議員古野

一五二　議案（全郡町村組合）　（三〇五一）
明治廿五年三月　一綴

一五三　連合町村税歳入出議案外　（二二三三）
明治廿五年　書綴　一綴
付、廿二年度非常費決算報告、廿三年度通常費決算報告

一五四　鞍手郡連合町村税歳入出追加総計予算表　（三〇四三）
明治廿五年度　一綴

一五五　通知状　（二二六七）
明治廿五年九月　（封筒入）一通
全郡町村組合会開設

一五六　通知状　（二二六九）
明治廿六年一月　（封筒入）一通
鞍手郡役所ゟ古野惣五郎宛。全郡聯合町村会開設

一五七　鞍手郡連合会議案　（二二二〇）
明治廿六年三月　書綴　一綴

一五八　鞍手郡全町村組合会決議録　（二一八〇）
明治廿六年度　書綴　一綴

一五九　鞍手郡元組合会議按　（二一二六）
明治廿六年三月　書綴　一綴

一六〇　請求書　（一六六）
明治廿六年三月　一通
村会議員有吉武三郎外6村会議長古野惣五郎宛。村会開設の請求をし助役改任の建議

一六一　鞍手郡町村組合会議案外　（二一七六）
明治廿六年四月外　書綴　一綴

一六二　全町村組合会議事日誌　（一九一七）
明治廿七年　書綴　一綴

一六三　全町村組合会ニ関スル必要書類　（一九一八）
明治廿七年一月　書綴　一綴

一六四　鞍手郡全町村組合会議案　（一八八九）
明治廿七年一月　書綴　一綴

一六五　笠松村歳入出予算其他議案　（三〇四八）
明治廿七年三月四日　一綴

一六六　（仮題）鞍手郡笠松村役場書類　（二一三四）
明治廿七年四月　書綴　一綴
笠松村戸数等級設置規則

一六七　（仮題）村会決議録　（三〇四一）
明治廿七年度　一綴
笠松村

一六八　（仮題）村会関係書類　（三〇七六）
（明治廿七年）　一綴

一六九　笠松村明治廿七年度歳入出予算外　（三〇七五）
明治廿七年五月　一綴

一七〇　共有金明治廿七年三月組合会ニテ取調　（三〇五九）
明治廿七年　一通

一七一　鞍手郡全町村組合会議案　（二一二〇九）
明治廿八年二月　書綴　一綴

一七二　（仮題）上京費用書上　（二七五）
明治廿八年五月　一括

一七三　鞍手郡全町村組合歳入出追加総計予算　（一八九一）
明治廿八年度　書綴　一綴

一七四　（仮題）鞍手郡全町村会記録　（三〇六五）
明治廿八年十二月　一通

一七五　通知状　（二一七二）
明治廿九年八月七日　（封筒入）一通
鞍手郡役所6古野惣五郎宛。臨時郡会開会の件

一五五　鞍手郡決議録　（二二二七）
明治廿九年十月　書綴　一綴

一五七　（仮題）郡会議案　（三〇四六）
明治廿九年十一月　一綴

一五八　福岡県鞍手郡歳入歳出予算書　（三〇三八）
明治廿九年九月　書綴　一綴

一五九　小廻舟流失廃業届　（一七四五）
明治廿九年一月　一通
古野惣五郎外ゟ福岡県知事岩村高俊宛

一六〇　小廻舟流失届　（六八六）
明治廿九年　書綴　一綴
古野惣五郎外ゟ福岡県知事宛

一六一　小廻舟流失届　（二九七八）
明治廿九年　書綴　一綴
古野惣五郎外ゟ

一六二　小廻舟流失届　（一六六三）
明治廿九年　一通

一六三　村内人民一般談示要領
明治卅年十一月十日　（一六四一）
笠松村役場古野惣五郎。大演習施行の件　書綴　一綴

一六四　通知状　（二二七三）
明治卅年一月　（封筒入三通）
笠松村役場ゟ古野惣五郎宛。明治卅年度通常郡会延期

一六五　福岡県鞍手郡歳入歳出追加予算書　（三〇四五）
明治卅年度　一綴

一六六　（仮題）郡会議按　（三〇四四）
明治卅年一月　一綴

一六七　鞍手郡臨時郡会決議録　（一八九〇）
明治卅一年五月　書綴　一綴

一六八　（仮題）覚　（一八八〇）
明治卅一年　書綴　一綴
村会関係・旅費日当受取証

一六九　書状　（一七八二）
明治卅一年四月廿六日　（封筒入）一通
鞍手郡役所木村達巳ゟ古野惣五郎宛。村会議員選挙の効力に関する件

一七〇　笠松村々会議案並決議録　（一八八八）
明治卅二年度　書綴　一綴

一七一　（仮題）租税その他公課証明書交付願　（二四）
明治卅四年　一綴
宗像郡役所ゟ鞍手郡笠松村役場宛。民事訴訟のため

一九三　米穀検査ノ儀ニ付陳情書　（二〇三六）
明治四十三年十一月　書綴　一綴

一九三　（仮題）村会開会通知　（二五一七）
明治四十四年二月十六日　（封筒入）一通
笠松村会議長萩本藤次郎ゟ

一九四　常議員会規則　（二二六三）
（明治以降）　書綴　一綴

一九五　筑前国鞍手郡四郎丸、倉久村会議事細則　（二二〇四）
（明治以降）　書綴　一綴

一九六　（仮題）会議傍聴規定　（二五二〇）
（明治以降）　断簡

一九七　衛生委員幷ニ土木懸諸用懸給料及ヒ諸費予算　（二二六二）
（明治以降）　書綴　一綴

一九八　臨時議案犬鳴道路試工事費支出予算　（二二〇七）
（明治以降）　書綴　一綴

一九九　村会決議録　（一九九二）
（明治以降）　書綴　一綴
倉久村

二〇〇　村会決議録　（一九九四）
（明治以降）　書綴　一綴
下有木村

二〇一　村会決議録　（一九九五）
（明治以降）　書綴　一綴
芹田村

二〇二　鞍手郡共有金報告　（一八九六）
（明治以降）　書綴　一綴

二〇三　村会決議録　（二〇〇三）
（明治以降）　書綴　一綴
四郎丸村

二〇四　直方警察署新設費及黒田公為会葬登京費寄附帳　（二九六八）
（明治以降）　書冊　一冊
四郎丸村

二〇五　（仮題）会議関係書類　（三〇七七）
（明治以降）　一括

二〇六　（仮題）会議書類　（三〇七三）
（明治以降）　一括

二〇七　（仮題）村会議案　（三〇六〇）
（明治以降）　一括

二〇八　（仮題）第六大区戸長副戸長名　（二八三六）
（明治以降）　書綴　一綴

二〇九　旅費日当請取目録　（二七六九）
（明治以降）　二通

二三〇（仮題）覚　（二六〇五）
（明治以降）　一綴
四郎丸村・倉久村収支覚

二三一　受取　（二六二三）
（明治以降）亥四月十五日　一通
水原村安永喜右衛門ゟ三十小区副戸長古野惣五郎宛。戌年十四ケ村割金受取

二三二（仮題）覚　（二八一〇）
（明治以降）　一通
郡書記月給定額書上

二三三（仮題）覚　（二六四〇）
（明治以降）　長綴　一綴
三十小区諸費用書上、用弁方弁手伝共在勤中給米割

二三四　集会費用等書上　（二九七七）
（明治以降）　書綴　一綴

二三五（仮題）覚　（二八一四）
（明治以降）　一通
村に用掛又は金算生の設置に付

二三六　為替証　（二六二二）
（明治以降）亥三月廿二日　一通
廿五小区副戸長安永半五郎ゟ四郎丸・倉久村役員宛。水原安永喜右衛門へ渡し方の事

二三七（仮題）第十六小区村々保長人選見込書上　（五三一の七）
（明治以降）　長綴　一綴

二三八　御届　（二七五一）
（明治以降）　二通
古野惣五郎宛。倉久村の役人配置の件

二三九　御届　（二九二三）
（明治以降）　一通
倉久村役人の件

二四〇（仮題）古野惣五郎分諸出銭覚　（二一七六）
（明治以降）　書綴　一綴

二四一　通知状　（二二七〇）
（明治以降）　（封筒入）一通
笠松村役場ゟ古野惣五郎宛。会議日時変更通知

二四二　附会案文　（一九九六）
（明治以降）　書冊　一冊
雨乞之文等

二四三（仮題）覚　（三一九四）
（明治以降）　書綴
村会議員選挙後運動費を寄付する事

二四四　乙野村樫山一件ニ付党民贖罪金面々記　（二九〇〇）
（明治以降）　書綴　一綴

三三五　書状　（三二三〇）
（明治以降）八月十七日　一通
古野惣五郎ゟ入江伝十外宛。四ケ村聯合共議会集会通知

三三六　（仮題）春田文六戸籍　（二八三五）
（明治以降）　一通

三三七　（仮題）書付　（一三九六）
（明治以降）　一通
武谷村長留任の件

三三八　取調子之件　（二七五七）
（明治以降）　一通
暴風被害・荒地調子・祭典費外

(3)　その他

三三九　保管証　（二八九〇）
明治九年七月十三日　一通
有吉武三郎ゟ福岡県令宛。木野金作外一名預り

三四〇　農牛打擲ニ付御願　（二九六六）
明治十一年四月九日　書綴　一綴
勝屋善九郎ゟ福丸分署宛。勝屋平三出入一件

三四一　第二期協同期盛会開会議事顚末録　（二〇二七）
明治十四年十月　書綴　一綴

三四二　第二期帝国議会要録（福岡日日新聞附録）　（二一〇五）
明治廿四年十一月廿七日起　書冊　一冊

三四三　（仮題）出頭通知　（二七八〇）
明治十七年　一通
飯塚警察署ゟ木野友吉宛

三四四　代弁写　（七〇九）
（明治以降）三月　書冊　一冊
郡政についての意見

三四五　盗難届　（二九二九）
（明治以降）　一通
古野惣五郎ゟ

三四六　盗難届　（二八三三）
（明治以降）　一通

三四七　覚　（二四三九）
（明治以降）八月十二日　切紙　一通
若松万屋左四郎ゟ役場宛。かめ代

三四八　宿泊証書（案）　（二八二八）
（明治以降）　一通
軍隊関係

2 司法

(1) 訴訟

一 (仮題)裁判所より出頭命令　(二五二七)
明治十年五月十六日　一通
古野惣五郎宛

二 御届　(二一三五)
明治十年六月　書綴　一綴
古野惣五郎外6第四小区扱所宛。勝屋善九郎買入田地の儀に付勝屋平三より出願の件

三 代人請求願　(二一三一)
明治十二年　書綴　一綴
勝屋平三係ル小作米滞り催促勧解出願の件

四 約定証書　(二一三〇)
明治十二年　書綴　一綴
勝屋平三より勝屋善九郎へ係る勧解事件に付

五 勝屋善九郎事件ニ付入費帳　(九七八)
明治十二年　長綴　一綴

六 (仮題)訴訟書類　(二一四七)
明治十二年一月廿六日　書綴　一綴
勝屋平三へ係る小作米滞り催促勧解出願一件

七 (仮題)勝屋平三、勝屋善九郎ニ関わる一件書類　(二九七〇)
明治十二年　一括

八 (仮題)勝屋平三6訴えの件　(二九六一)
明治十二年　一綴
田作り方の件

九 代人請求願　(二一二八)
明治十二年一月　書綴　一綴
勝屋善九郎係る勧解の儀に付

一〇 約定書　(二五四二)
明治十二年　(尾欠)一通
勝屋平三一件

一一 (仮題)裁判関係書類　(一六一六)
明治十八年五月　書綴　一綴
小牧村大庭幸右衛門に係る裁判

一二 米借用証　(二八九二)
明治十八年七月十七日　一通
大庭幸右衛門6萩尾延右衛門宛

一三 代人御願　(一六一四)
明治十八年五月一日　二通
古野惣五郎6小倉治安裁判所長小林完三宛。鞍手郡小牧村大庭幸右衛門に対する貸金催促勧解出願仕ゆに付

一四　酒代並貸金催促勧解願　（五九三）
明治十八年四月十四日　一綴
原告古野惣五郎、被告大庭幸右衛門宛

一五　上申書　（一五九九）
明治十八年六月十六日　一通
古野慶次郎ほか小倉治安裁判所吉田永昭宛。小牧村大庭幸右衛門へ係ル勧解事件の代理人

一六　約定証　（二六一四）
明治十八年二月十日　一通
大庭幸右衛門代人斉藤勝次郎ほか加木原卯平宛

一七　大底幸右衛門ニ係ル勧解新願　（二六一一）
明治十八年　一通

一八　委任状　（一八七八）
明治廿年一月　一通
古野惣五郎外。松尾助右衛門に対する預ケ米催促訴訟の件

一九　催告申請書　（二九）
明治廿二年一月十八日　一通
有吉又十外ほか福岡区裁判所宛。古川嘉平との契約金の分配に付

二〇　訴願書　（八七七）
明治卅一年　書綴　一綴
古野惣五郎ほか。村会議員選挙無効の訴願

二一　訴願書　（八七八）
明治卅一年四月廿日　書綴　一綴
古野惣五郎ほか光安与三郎宛。村会議員選挙無効ノ訴

二二　訴願書　（八七九）
（明治卅一年）　書綴　一綴
選挙無効の訴願理由書

二三　訴願書　（八八〇）
明治卅一年四月廿日　書綴　一綴
古野惣五郎ほか光安与三郎宛。村会議員選挙無効の訴

二四　訴願書　（八八六）
明治卅一年四月廿日　書綴　二綴
古野惣五郎ほか光安与三郎宛。選挙無効の訴。付、裁決書

二五　郵便送達証書　（二六一五）
明治卅五年十二月　一通
福岡区裁判所書記課ほか古野惣五郎宛

二六　計算目録　（二六一三）
（明治以降）　一通
宗像郡赤間村原告代人萩尾延右衛門ほか

(2) 競売

二七 諸方掛合綴　（一九八七）
明治十七年七月
神谷徳四郎抵当公売事件外
書綴　一綴

二八 書状　（一八六六）
明治廿五年十月
福岡区裁判所書記課ゟ古野惣五郎宛。不動産競売期日変更通知書
（封筒入）一通

二九 支払命令ニ対スル異議申立　（一五〇五の一）
明治卅三年八月
古野惣五郎ゟ福岡区裁判所宛
一通

三〇 書状　（一五〇五の二）
明治卅三年
福岡区裁判所書記課ゟ古野惣五郎宛。支払命令外
（封筒入）三通

三一 書状　（四九三）
明治卅五年二月
福岡区裁判所ゟ古野惣五郎宛。不動産競売延期申請書
（封筒入）一通

三二 書状　（一七六一）
明治卅五年二月
福岡区裁判所ゟ古野惣五郎宛。不動産競売延期申請書
（封筒入）一通

三三 書状　（一七五六）
明治卅五年五月
福岡区裁判所ゟ古野惣五郎宛。不動産競売延期申請書
（封筒入）一通

三四 書状　（六一八）
明治卅六年二月
福岡区裁判所ゟ古野惣五郎宛。不動産競売期日通知書
（封筒入）一通

三五 書状　（六〇四）
明治卅六年三月
福岡区裁判所ゟ古野惣五郎宛。競売期日通知書
（封筒入）一通

三六 書状　（五九五）
明治卅五年六月三日
福岡区裁判所ゟ古野惣五郎宛。不動産競売期日変更公告通知書
（封筒入）一通

三七 書状　（五九六）
明治卅五年六月十三日
福岡区裁判所ゟ古野惣五郎宛。不動産競売期日変更公告通知書
（封筒入）一通

三八 書状　（五九七）
明治卅五年九月
福岡区裁判所ゟ古野惣五郎宛。不動産競売延期申請書
（封筒入）一通

三九 書状　（一八五四）
明治卅五年十一月廿七日
福岡区裁判所ゟ古野惣五郎宛。不動産競売期日変更公告
（封筒入）二通

四〇　書状　（五九四）
明治卅五年十二月　（封筒入）二通
福岡区裁判所ゟ古野惣五郎宛。競売期日通知書外

四一　競売公告　（一八〇六）
明治卅五年十二月十六日　一綴

四二　書状　（五九九）
明治卅六年一月廿二日　（封筒入）一通
福岡区裁判所ゟ古野惣五郎宛。競売期日通知書

四三　書状　（一八一二）
明治卅六年四月一日　（封筒入）一通
福岡区裁判所ゟ古野惣五郎宛。不動産競売期日通知書

四四　不動産競売申立取下ケ書　（一九七二）
明治卅六年四月廿日　（封筒入）一綴・一通
申立人宗像郡

四五　書状　（五〇八）
（明治以降）六月十五日　（封筒入）一通
笠松村役場春田ゟ古野惣五郎宛。福岡区裁判所ゟ調査の件

四六　書状　（五〇四）
（明治以降）一月廿七日　（封筒入）一通
木野克巳ゟ古野惣五郎宛。福岡区裁判所より古野所有地取調の上出頭命令書送達致来ル旨に付

3　租税

(1)　租税

一　蔵元上納記　（二六三八・二六四一）
明治四～八年　二通

二　御上納金納間通帳　（二一五四）
明治七年四月　小横帳一冊・切紙一通
保長入江伝十ゟ副戸長古野惣五郎宛

三　（仮題）古野惣五郎分上納米書出　（二一七五）
明治七年　書綴　一綴

四　正米上納ニ付米券弁証書類　（九九三）
明治七年十二月　長帳（小袋入）一冊
黒田長知家禄賞典米上納通帳

五　黒田長知殿家禄賞典米上納通帳　（一〇〇九）
明治七年　長帳　一冊
第六大区三十小区倉久村

六　明治七年分雑税其外軸帳入諸米仕払　（九七六）
明治七年　長綴　一綴
四郎丸村

七　地租其外諸上納諸切立米金納通　（四八二）
明治七年八月　長帳　一冊
古野惣五郎ゟ

八　亥貢租石代五歩上納分取立帳　（四八八）
明治八年　長綴　一綴

九　四郎丸村亥貢租石代上納金根割帳　（四八六）
明治八年十二月　長帳　一冊

一〇　大区費上納証　（一七六三）
明治八年　一通
金丸村

一一　受取証　（三一三三）
明治八年八月三日　一通
植木出張戸長ゟ四郎丸村役人中宛。未納高分

一二　亥貢租石代五歩上納分取立帳　（四八八）
明治八年十二月　長帳　一冊
四郎丸村平村北大久分

一三　四郎丸村弁米幷諸米凡積割方根帳　（九七三）
明治八年十二月　長綴　一綴
堤床溝床等

一四　子年分四郎丸村地価百分ノ一仕払勘定帳　（九八二）
明治九年十二月　長綴　一綴

一五　八年亥切立分四郎丸村地価百分ノ一仕払勘定帳　（一〇〇六）
明治九年十二月　長帳　一冊

一六　明治十年初納地租金納証　（一八六八）
明治十年八月廿四日　一通
四郎丸村惣五郎

一七　地租金幷戸掛り租掛り民費賦課金諸切符　（三二一）
明治十年　一袋

一八　地租金幷戸掛租掛り民費賦課金諸切符　（三一八）
明治十一年　一袋

一九　地租金幷地方税其他諸税納賦課諸切符　（三二二）
明治十二年　一袋

二〇　諸税納其他賦課切符　（三一七）
明治十三年　一袋

二一　諸税納其他賦課切符　（三四一）
明治十四年　一袋

二二　宝裝蕃ニ於十二年度割戻十年改租費割戻達出席人名　（三二四三）
明治十四年四月　一通

二三　御届　（八九五）
明治十五年　書綴　一綴
古野運平ゟ鞍手郡役所宛。地税納税切符の件

二四　地税上納之義ニ付伺　（八九三）
明治十五年八月卅日　書綴　一綴
四郎丸村古野惣五郎外ゟ鞍手郡長肥田史宛

二五　書状　（九〇六）
明治十五年九月五日　（封筒入）二通
鞍手郡役所ゟ古野運平宛。地租納税切符の義に付尋ね

二六　伺　（八九二）
明治十五年十月廿九日　一綴
上有木村外一ケ村戸長長浜太三郎ゟ春田恕生外宛。四郎丸外一ケ村戸長欠員に付納税の件

二七　諸税納其他賦課切符受取　（三三五）
明治十五年　一袋

二八　諸税納其他賦課切符受取　（三三四）
明治十六年　一袋

二九　諸税納其他賦課切符受取　（三三四）
明治十七年　一袋

三〇　営業税不納者御処分之儀ニ付心得伺外　（二七二一）
明治十七年四月十六日　書綴　一綴
戸長今村孫十郎ゟ宗像郡郡長宛

三一　始末証　（一四二四）
明治十七年十月　二通
戸長古野惣五郎代理木野友吉ゟ飯塚警察署宛。酒造税金上納金のうち贋金有

三二　預り証　（二八五二）
明治十七年十月　一通
古野惣五郎ゟ戸長役場宛。地税

三三　（仮題）役場諸費預　（二八五一）
明治十七年度　（包紙入）四通

三四　地税預米蔵頼願　（二〇一七）
明治十八年　書綴　一綴
古野惣五郎外ゟ

三五　地税預米蔵明願之儀ニ付質問　（二〇二九）
明治十八年三月十二日　書綴　一綴
下有木村外四ケ村戸長古野惣五郎ゟ鞍手郡役所宛

三六　地税預米蔵明之儀上申　（二〇三七）
明治十八年三月六日　一通

三七　鞍手郡下有木村外四ケ村戸長所轄地方税戸数割等級表　（二二三九・二二四六）
明治十八年度　書綴　一綴

三八　十八年度地方税戸数割等級賦課法外　（二二三八・二二四八）
明治十八年　書綴　一綴
所轄町村費賦課法共

三九　（仮題）営業税雑種税課目課額　（一六七六）
明治十八年度　書綴　一綴

四〇 書状　（一二五四）
明治十八年七月十一日　書綴　一綴
春田恕生ゟ古野惣五郎宛。地方税及び町村費賦課等級人員届出の件

四一 記　（一四三一）
明治廿年十一月廿一日　長綴　一綴
明治十八、十九年上納金の覚

四二 領収証　（三一二三）
明治十八年十二月十五日　一通
植木村外一ケ村戸長役場ゟ古野惣五郎宛。地租、協議費外

四三 諸税其他賦課切符受取　（三三六）
明治十八年　一袋

四四 諸税切符幷ニ領収証　（三一〇）
明治十九年　一袋

四五 書状　（一六九七）
明治十九年二月二日　一通
戸長又作ゟ古野惣五郎宛。十六年教育費不納金の件

四六 地租金合計帳　（二一四四）
明治廿年度　書綴　一綴
四郎丸村

四七 官地払下賦税願　（一三五三）
明治廿年八月　書綴　一綴
古野惣五郎ゟ福岡県知事宛

四八 書状　（二七五九）
明治廿年九月廿日　一通
下有木村外四ケ村戸長役場ゟ春田恕生宛。第二期地租伝令書送付通知

四九 所得税ニ関ル訓示告示綴　（二一一〇）
明治廿～卅一年　書綴　一綴

五〇 諸税切符及領収証　（三二七）
明治廿年　一袋

五一 所得金高届控　（二一二九）
明治廿～卅年　書綴　一綴
古野惣五郎

五二 諸税切符及領収証　（三三三）
明治廿一年　一袋

五三 諸税切符　（三二八）
明治廿二年　一袋

五四 受領証　（一四四二）
明治廿二年五月廿二日　一通
笠松村収入役木野克巳ゟ古野惣五郎外宛。荷車税

五五　諸税領収証　（三三一）
明治廿三年　一袋

五六　諸税領収証　（三三六）
明治廿四年　一袋

五七　諸税領収証　（三三五）
明治廿五年　一袋

五八　諸税領収証　（三三三）
明治廿六年　一袋

五九　書状　（一五〇八）
明治廿七年三月一日　（封筒入）一通
直方収税署ゟ古野寛人外宛。鉱業税の督促

六〇　諸税領収証　（三三二）
明治廿七年　一袋

六一　諸税領収証　（三三〇）
明治廿八年　一袋

六二　諸税領収証　（三三九）
明治廿九年　一袋

六三　諸税領収証　（三三七）
明治卅年　一袋

六四　諸税領収証　（三三九）
明治卅一年　一袋

六五　諸税領収証　（三三八）
明治卅二年　一袋

六六　諸税金領収証　（三四〇）
明治卅三年　一袋

六七　諸税金領収証　（三四〇）
明治卅四年　一袋

六八　諸税金領収証　（三三九）
明治卅五年　一袋

六九　諸税金領収証　（三四四）
明治卅六年　一袋

七〇　所得決定通知書　（二七八二）
明治卅六年八月十八日　一通
直方税務署ゟ古野惣五郎宛。明治卅六年分

七一　諸税金領収証　（三四三）
明治卅七年　一袋

七二　諸税金領収証　（三四二）
明治卅八年　一袋

六三　売却地租四十三年一月納則チ四分ノ一割出シ取立帳　（一六二六）
明治四十三年　書冊　一冊

六四　（仮題）戸数と租税の覚書　（三〇六七）
（明治以降）　一通

六五　証拠　（二七五三）
（明治以降）旧十二月廿九日　一通
四郎丸村斉藤久平ゟ古野寛人宛。村費支払の請求

六六　石代上納金請取証　（五六の三）
（明治以降）　（袋入）四通

六七　地租其外諸上納諸切立米金納通　（四八二）
（明治以降）　長綴　一綴

六八　記　（五三一の一二）
（明治以降）亥三月　二通
上納分覚

六九　書付　（二八）
（明治以降）　一通
四郎丸村・倉久村納税覚

七〇　納証　（二八三四）
（明治以降）　一通
地税預米封緘分

七一　記　（二八九四）
（明治以降）一月廿七日　一通
黒丸ゟ古野惣五郎宛。貢租上納証認渡被仰付度

七二　記　（二八九五）
（明治以降）一月廿七日　一通
安永繁五郎ゟ篠崎和三宛。宮永村分納証渡被仰付度

七三　（仮題）覚　（二九七四）
（明治以降）　書綴　二綴
室木村・上有木村分米出方覚

七四　記　（二六〇四）
（明治以降）　長綴　一綴
明治十年分学資金、民費等計算書

七五　記　（二六三五）
（明治以降）三月十五日　一通
倉久本村安永和一郎ゟ神川屋古野惣五郎宛。小区割口に払前等差出分覚

七六　（仮題）覚　（二六〇八）
（明治以降）　長綴　一綴
第六大区調所ゟ。三十小区分上納分計算書

七七　（仮題）覚　（二六〇六）
（明治以降）　長綴　一綴
三十小区払分覚

八八　記　（二四六七）
（明治以降）二月十四日　二通
黒丸共次・上野徳次ゟ十六小区取纏所宛。納入金覚

八九　書状　（三二二五）
（明治以降）　（包紙入）一通
第六大区調所ゟ古野惣五郎宛。米券納証御下渡之義

九〇　（仮題）覚　（三二三二）
（明治以降）　長綴一綴・四通
倉久村・四郎丸村米上納覚

九一　記　（三二三四）
（明治以降）　一通
植木井手蔵元ゟ。四郎丸分、倉久村分米覚

九二　記　（三二三七）
（明治以降）　三通
四郎丸・倉久村分米覚

九三　御通写　（三二三六）
（明治以降）　一通
四郎丸分、倉久村分米払方覚

九四　勘定　（三二三五）
（明治以降）　一通
米

(2)　面掛夫

九五　（仮題）人足賃計算書　（二六三七）
明治八年十二月　一綴
第六大区調所ゟ元十九小区役員中宛

九六　書状　（二〇四九）
（明治十六年）二月十二日　一通
古野伴六ゟ戸長古野惣五郎宛。十六年度出夫賃金未だ相渡不申に付

九七　（仮題）覚　（二〇五二）
明治十八年四月一日　一通
鞍手郡第二部土木委員ゟ。人足賃金

九八　（仮題）面掛現夫使役覚　（二七六三）
明治廿～廿一年　一綴

九九　面掛夫出役通知書　（一四五八）
明治廿一年六月十三日　一通
勝木茂一郎ゟ吉田寛人宛

一〇〇　面掛夫出役通知書　（二七六〇）
明治廿二年二月廿八日外　二通
鞍手郡土木方ゟ四郎丸村土木掛り吉田寛人宛

一〇一　明治廿四年度面徭夫拼取調表　（二三二五）
明治廿四年　書綴　一綴

一〇二　明治二十五年面徭夫拼取調表　（二三二四）
明治廿六年六月十九日　書綴　一綴

一〇三　証拠　（二七六四）
（明治以降）四月七日　一通
川上市蔵。四郎丸夫役数

一〇四　書状　（二〇四八）
（明治以降）　一通
倉久村古野伴六ゟ下有木村四ケ村戸長役場宛。出夫賃金夫券取調願状

一〇五　公役出頭　（四四二）
（明治以降）亥六月　長帳　一冊
第十五小区田中

一〇六　（仮題）覚　（三〇八九）
（明治以降）　一綴
夫拼報告の件

4　土地・借家

(1)　地租改正

一　明治九子ノ夏地所取調帳地価地租金計算諸入費約帳　（一〇〇四）
明治九年十二月　長帳　一冊
四郎丸村

二　官民有区別御調査ニ付民有地御下渡地所調帳　（一六四四）
明治九年九月　書冊　一冊
四郎丸村

三　地租条例心得書　（二〇三八）
明治十七年十二月　書冊　一冊

四　豊前国総丈量訓示　（二一一九）
明治十九年四月　書冊　一冊

五　落地編入願書式、宅地丈量手続、道路拡狭更正願　（二九六五）
明治十九年七月　書綴　一綴

六　十九年度土地取調丈量費計算簿　（一〇一〇）
明治廿一年一月廿七日　書冊　一冊

七　土地取調ニ付人足着当帳　（九七一）
明治十九年　長綴　一綴

八　土地取調地押諸記　（二一二三）
明治十九年三月七日　小横帳　一冊
古野

九　土地取調諸帳簿進達間通　（一八八六）
明治廿年八月　書綴　一綴
四郎丸村

一〇　土地取調費賦課台帳　（二〇八一）
明治廿年十二月起　書冊　一冊
鞍手郡四郎丸郷

一一　土地調之儀ニ付伺　（二〇二二）
明治廿年四月廿日　書綴　一綴
下有木村外四ケ村戸長有吉又作ゟ

一二　土地再取調ニ付精算人数覚　（二七五五）
明治廿年外　一綴
村協議費外

一三　土地惣丈量願　（二〇三四）
明治廿年四月四日　書冊　一冊
古野惣五郎外ゟ福岡県知事宛。鞍手郡四郎丸村

一四　倉久村内山山崎土地総丈量受負敷目　（一一三六）
明治廿年　書冊　一冊

一五　四郎丸村地押日誌　（一〇〇二）
明治廿年　書冊　一冊

一六　四郎丸邨追加日誌　（一〇〇五）
明治廿年　書冊　一冊
地所取調分

一七　丈量費竿数割　（一〇〇七）
明治廿年十二月　長帳　一冊
鞍手郡四郎丸邨

一八　土地取調ニ付出頭人名控帳　（九九八）
明治廿年九月　長綴　二綴
付、地押出頭人数控帳（明治廿年四月）

一九　土地地押費予算決議　（九八八）
明治廿年五月　書冊　一冊

二〇　土地調之儀ニ付伺　（九八九）
（明治廿年）　書冊　一冊
地価帳作成関係

二一　土地丈量之件ニ付地主中集会　（九六六）
明治廿年十月　書冊　一冊
地主古野惣五郎外

二三　土地調費支払簿　（二一四〇）
明治二十年十二月起　書綴　一綴
四郎丸村

二三　土地整理事業課程表外　（二〇五四）
明治廿年　書綴　一綴

二四　土地取調人歩名寄　（二一一二）
（明治廿年）　書綴　一綴
鞍手郡四郎丸村

二五　丈量日誌　（一九七〇）
明治廿年十月廿四日起　書冊　一冊
四郎丸村

二六　総丈量土地取扱心得　（一九七一）
明治廿年　書冊　一冊

二七　土地取調心得　（一六六五）
明治廿年　書冊　一冊

二八　土地取調受負誓約証　（一六五八）
明治廿年十月　一通
倉久村古野伴六ほか地主総代古野惣五郎外宛

二九　土地調査心得　（九六七）
（明治二十一年）　書冊　一冊
地価帳作成のため

古野家文書（二、明治以降史料）

三〇　鞍手郡四郎丸村各墓簿取調請負定約　（一三四五）
明治廿一年八月廿六日　一通
宗像郡屋形ほか入江定太郎外宛

三一　証　（二七八六）
明治廿一年六月廿五日　一通
吉田寛人ほか入江貞太郎宛。四人分受負賃銭

三二　受取証　（一四五九）
明治廿一年四月九日　一通
古野永七郎ほか古野惣五郎宛。丈量受負金

三三　御請書　（一一三五）
明治廿一年八月廿日　書綴　一綴
四郎丸村地主惣代古野惣五郎外ほか福岡県収税属宇野哲夫宛。
地押検査済の件

三四　田畑宅山林原野反別地価地租名寄集計簿　（一〇二一）
明治廿一年　書綴　一綴
四郎丸村

三五　土地丈量関係書類　（二七七〇）
明治廿一年九月廿八日外　二通

三六　総丈量新旧租額仕訳書　（七六七）
明治廿一年　書冊　一冊
鞍手郡四郎丸村

三七　墓地取調費取立帳
明治廿一年十月
（一一三六）
書綴　一綴

三八　四郎丸村丈量土地聚計約
明治廿一年十一月
（二一五一の一）
書綴　一綴

三九　土地調費急場賦課台帳
明治廿一年十二月
四郎丸村
（二一五一の二）
書綴　一綴

四〇　総丈量反別地価配賦表
明治廿一年
鞍手郡四郎丸村
（一九七二）
書冊　一冊

四一　総丈量反別地価帳
明治廿一年
鞍手郡四郎丸村
（一九六七）
書冊　六冊

四二　総丈量野取図帳
明治廿一年
鞍手郡四郎丸村
（一九六八）
書冊　八冊

四三　田畑宅縄数取調帳
明治廿二年十一月
（一〇〇三）
書冊　一冊

四四　枚数誤謬野取図
（明治以降）
鞍手郡四郎丸村
（二五六三）
一通

四五　記
（明治以降）九月三日
入江貞右衛門ゟ古野惣五郎外宛。土地取調費関係
（二七八七）
一通

四六　土地調之儀ニ付伺
（明治以降）
土地調査の要領に付
（二〇二一）
書綴　一綴

四七　土地調査心得
（明治以降）
地価帳作成関係
（九九〇）
書綴　一綴

四八　土地取調人歩控帳
（明治以降）
入江貞太郎
（二一〇六）
書綴　一綴

四九　記
（明治以降）九月四日
入江伝十ゟ古野惣五郎外宛。土地調費取替分計算書
（二七八五）
一通

五〇　（仮題）測量器図
（明治以降）
（三〇五四）
（首欠）一綴

(2) 土　地

三一　幸平抱田地六歩□引仕ゟ（證文）　（三一九三）
明治五年　一通

三二　確証　（三一九四）
明治七年十二月十五日　一通
有吉卯三郎ゟ村中地券主百姓中宛。返済の件

三三　地券名前替地所引渡約定証　（一一四〇）
明治七年　一綴
植木村松尾助右衛門外ゟ古野惣五郎外宛

三四　各種地券頭帳　（二九六〇）
明治七年　一綴
倉久村

三五　記　（九九五）
明治九年八月一日　書綴　一綴
第五大区戸長古野惣五郎ゟ福岡県令渡辺清宛。地券証と地代

三六　地券証渡方之儀ニ付伺　（九八三）
明治九年七月廿七日　書綴　一綴

三七　難渋嘆願　（一一三四）
明治九年　書綴　一綴
木野金作ゟ渡辺清宛。抵当地券の事

三八　難渋御願　（一一四三）
明治九年六月　一綴
斉藤英作外ゟ県令渡辺清宛。地券渡方の件

三九　記　（一一三八）
明治九年　書綴　一綴
斉藤勘左衛門外ゟ戸長古野惣五郎宛。地券証

四〇　記　（一一三三）
明治九年　書綴　一綴
古野惣五郎ゟ判事中江正直宛。地券証

四一　買入田地之儀ニ付当村勝屋平三ヨリ願出ゟ御答　（六〇二）
明治十年六月　書綴　一綴
勝屋善九郎ゟ第四小区扱所宛。付、拙者抱分之田地永代売渡証文之事（明治三年、藤十ゟ善九郎宛）

四二　買入田地苗指之儀ニ付御届　（六〇一）
明治十年六月　（包紙入）二通
勝屋善九郎ゟ第四小区扱所宛

四三　買入田地之儀ニ付当村平三ヨリ願出ゟ御答　（六〇〇）
明治十年六月　書綴　一綴
勝屋善九郎ゟ第四小区扱所宛

六四　買入田地指縄ニ付御願　（六〇三）
明治十年六月　書綴　一綴
勝屋平三ゟ第四小区扱所宛

六五　直方催合田地算用書付　（六〇七）
明治十年　書綴　一綴

六六　四郎丸村地所名寄帳　（一九六六）
明治十年一月　書冊　五冊

六七　溜池新築一切記　（二一二一）
明治十二年四月　小横帳　一冊

六八　（仮題）直方催合地覚　（二六四三）
明治十四年十二月　書綴　一綴
古野惣五郎ゟ直方町中西喜一郎宛

六九　地所書入金借用証　（一九九九）
明治十五年四月廿八日　書綴　一綴
植木村松尾助右衛門ゟ四郎丸村古野惣五郎宛

七〇　田畑貸附所得下調　（一六五五）
明治十七年ゟ　書綴　一綴
古野惣五郎

七一　地券名前換地所引渡約定証　（二〇三五）
明治十七年七月十四日　書綴　一綴
植木村松尾助右衛門

七二　地所永代売渡証　（二〇六五）
明治十八年十二月十五日　書綴　一綴
松尾助右衛門ゟ四郎丸村古野惣五郎宛

七三　約定証　（一八五一）
明治十八年十二月　一綴
古野惣五郎外ゟ松尾助右衛門宛。地所買受

七四　（仮題）請求書　（二〇六九）
明治十八年　一綴
下有木外四ケ村戸長役場ゟ。地券証印税

七五　地所売買ニ付地券名替願　（二一四一）
明治十八年　一通
買受人古野惣五郎ゟ郡長矢野矢宛

七六　地所売買ニ付地券名替願　（二一四二）
明治十八年　一綴
買受人古野惣五郎ゟ郡長矢野矢宛

七七　土地取調雑誌　（九八〇）
明治廿年五月　小横帳　一冊

七八　証明願　（一六五六）
明治廿年十一月　書綴　一綴
古野惣五郎ゟ。官地払受ル間

七九　記　（二六六七）
明治廿年十二月廿九日　一通
春田恕生ゟ吉田寛人宛。溜池修繕代

八〇　反別等級仕訳帳　（一六三五）
明治廿一年　書冊　一冊
四郎丸村

八一　田畑宅地山林原野筆数名寄帳　（一六三八）
明治廿一年十二月　書冊　一冊
四郎丸村

八二　笠松村大字四郎丸改正郡村宅地番号記　（二一四六）
明治廿二年四月　書綴　一綴

八三　書状　（一八六三）
明治廿二年六月廿日　一通
笠松村役場土木係吉田寛人ゟ。川岸、溜池用水路等の破壊ケ所取調の件

八四　（仮題）古野惣五郎所有地覚　（二六五四）
明治廿四年五月　一通

八五　記名証書ヲ無記名証書ニ変換請求書　（二五七五）
明治卅二年　一通
古野惣五郎ゟ

八六　（仮題）田畠覚　（二六八四）
（明治以降）　二通

八七　地所借抵当ノ地所借用　（一八〇七）
（明治以降）　一通

八八　（仮題）畑方覚　（二六七三）
（明治以降）　一通
等級、反別地価書上

八九　（仮題）覚　（二六七四）
（明治以降）　二通
等級と人名書上

九〇　（仮題）田畑覚　（二六五六）
（明治以降）　長綴　一綴

九一　記　（二六二四）
（明治以降）　二通
土地関係

九二　字中ノ原・上ノ原田反別書抜帳　（二二〇五の一）
（明治以降）　書綴　一綴

九三　（仮題）田畑覚書　（二五一八）
（明治以降）　書綴　一綴

九四　（仮題）覚　（二〇六〇）
（明治以降）　書綴　一綴
坪番号面積書付

九五　宅地等級地価壱反歩ニ付（覚）　（一六六七）
（明治以降）　書綴　一綴
四郎丸

九六（仮題）田畠覚　（三一八九）
（明治以降）　書綴　一綴

九七（仮題）田畑書上げ　（二九七五）
（明治以降）　書綴　二綴

九八　地券村受始末戻証書　（二一九五）
（明治以降）　一通
木野金作ゟ高持中宛。石代未納の節質入に取斗ひに付受返しの件

九九　地券証請不足分　（九七九）
（明治以降）　書綴　一綴
下有木村百姓中

一〇〇　地券証　（九九六）
（明治以降）　書綴　一綴
古野惣五郎外分

一〇一（仮題）土地の図　（二五七〇）
（明治以降）　一枚

一〇二（仮題）地所売渡証　（三二一九）
（明治以降）　書綴　一綴

一〇三（仮題）土地丈量関係　（三三二〇）
（明治以降）　六通

(3) 小作

一〇四　受取　（二六二六）
明治十九年三月廿八日　一通
直方町仲西喜一郎ゟ古野惣五郎宛。小作米受取

一〇五　地所附卸小作米収入簿　（一九六九）
明治十九年～卅年　書冊　十二冊

一〇六　借宅他請証・小作請証・田畑小作証文之事・借地小作証文ノ事外　（二一一三）
明治廿九年　書綴　一綴

一〇七　小作請証　（一六六〇）
明治卅年一月　書綴　一綴
船越六三郎外ゟ古野惣五郎宛

一〇八　借地請証並びに小作請証　（一六三二）
明治卅年　書綴　七綴

一〇九　小作請証　（一六二七）
明治卅年一月　書綴　一綴

一一〇　田畑小作証宅地借地証綴　（一六二八）
明治卅年一月　書綴　一綴

一一一　借地請証　（一八二六）
明治卅年　一通

一二三　借地請証　（一六四七）
明治卅年一月　一通
借地人成国伊作ほか古野惣五郎宛

一二三　小作米領収証　（一七九九）
明治卅六年度　小横綴　一綴

一二四　小作請証（安部伝次）　（九八六）
（明治以降）　書綴　一綴

一二五　小作請証（春田与作）　（一八七七）
（明治以降）　書綴　一綴

一二六　小作請証　（二九六七）
（明治以降）　書綴　十一綴

一二七　小作請証　（二五一三）
（明治以降）　書綴　一綴

一二八　小作請証　（二〇二八）
（明治以降）　書綴　一綴

一二九　小作請証（春田文六・入江岩吉）　（二一〇四の一・二）
（明治以降）　二通

一三〇　小作請証（高須安三郎）　（二一〇三）
（明治以降）　一通

一三一　小作請証（柿原市三郎）　（二一〇二）
（明治以降）　一通

一三二　小作請証（入江利右衛門）　（二一〇一）
（明治以降）　一通

一三三　小作請証（入江兵次郎・入江新右衛門）　（二一〇〇）
（明治以降）　一通

一三四　小作請証（柿原忠三郎）　（二〇九九）
（明治以降）　一通

一三五　小作請証（春田与作）　（二七六）
（明治以降）　一通

一三六　小作請証（柿原利一）　（二〇九八）
（明治以降）　一通

一三七　小作請証（柿原宅七）　（二〇九七）
（明治以降）　一通

一三八　小作請証（春田喜三郎）　（二〇九六）
（明治以降）　一通

一三九　小作請証（入江吉兵衛）　（二〇九五）
（明治以降）　一通

一四〇　小作請証（入江茂太郎）　（二〇九四）
（明治以降）　一通

一四一　小作請証（入江久右衛門）　（二〇九三）
（明治以降）　一通

一三　小作請証（入江甚十）　（二〇九二）
（明治以降）　一通

一三　小作請証（入江伝四郎）　（二〇九一）
（明治以降）　一通

一三四　小作請証（入江貞太郎）　（二〇九〇）
（明治以降）　一通

一三五　小作請証　（二〇八九の一・二）
（明治以降）　三通
柿原又六・入江甚兵衛・高須安兵衛

一三六　小作請証（吉田重吉）　（二〇八八）
（明治以降）　一通

一三七　小作請証（春田五三）　（二〇八七）
（明治以降）　一通

一三八　小作請証　（二〇八六）
（明治以降）　書綴　一綴

一三九　小作請証（森田房吉）　（二〇八五）
（明治以降）　一通

一四〇　小作請証（森田嘉平）　（二〇八四）
（明治以降）　一通

一四一　小作請証（城戸善六）　（二〇八三）
（明治以降）　一通

一四三　小作請証（古野太助）　（二〇八二）
（明治以降）　一通

一四三　小作請証（雛型）　（一一三〇）
（明治以降）　一通

一四四　替証書　（一八二八）
（明治以降）　二通

一四五　（仮題）小作米書出　（二二五六）
（明治以降）　一通

一四六　覚　（二六二七）
（明治以降）　一通
米・大豆

(4) 山林

一四七　古野山立込之松木黒炭焼立竈願　（一六三九）
明治七年二月　書綴　一綴
安永源次ゟ

一四八　覚　（一八一三）
明治七年十月七日　一通
坂本与三次外ゟ落札人宛。落札伐木根伐証

一四九　転木御届　（一八三七）
明治十年十月　一綴
倉久村副戸長古野惣五郎ゟ福岡県参事宛

一五〇　明治十五年春接穂控　（四六一）
　明治十五年　長綴　一綴

一五一　（仮題）覚　（二五五三）
　明治廿二年三月廿七日
　斉藤久平ゟ吉田宛。立木数　一通

一五二　（仮題）立木覚　（二九六二）
　明治廿二年　書綴　一綴

一五三　植林事業記　（一六三六）
　明治廿七年　書冊　一冊

一五四　（仮題）四郎丸村惣山坪数書上　（二五三五）
　（明治以降）　書綴　一綴

一五五　字笠松境内立木控外　（一八四三）
　（明治以降）　書綴　一綴

一五六　（仮題）立木値段　（二七八八）
　（明治以降）　一綴

一五七　（仮題）通達　（一八八四）
　（明治以降）　一綴
　社寺境内立木取調の件

(5) 借家

一五八　借家規定証書　（一八〇〇）
　（明治以降）　（包紙入）一通
　借宅主千々和競ゟ

5 産業

(1) 炭坑

一　石炭代価書上写　（八〇）
　明治七年　書冊　一冊
　福岡県第七大区穂波郡採出

二　石炭定約書之事　（二二九三）
　明治八年一月　一通
　岡村利一郎外ゟ守永半兵衛宛

三　篠崎炭坑開坑計画図面　（二五七六）
　明治十一年　一通

四　株主申合規則営業規則　（一三六三）
　明治十三年十一月　書冊　一冊
　石炭荷請問屋若松商会

五　月給計算表　（一四三四）
明治十四～十六年　書綴　一綴

六　切石堀出願　（一六六九）
明治十五年　一通
宮田村石工金子千代吉ほか

七　築石堀出願　（一六四〇）
明治十六年六月一日　書綴　一綴
古野惣五郎ほか

八　（仮題）松尾助右衛門石炭損失弁償一札及地所売渡証　（一一九六）
明治十七年七月十四日　書綴　一綴

九　鉱区開坑及増坪願　（一二七五）
明治十七年九月　書冊　一冊
京野炭坑事務所

一〇　（仮題）石炭送り状数書上　（一七七三）
明治十七年十二月十日　一通

一一　借区券船鑑札荷車台帳　（三〇九七）
明治廿二年二月　書冊　一冊
京野炭坑

一三　岡日役帳　（三〇九六）
明治廿二年三月　書冊　一冊
京野炭坑事務所

一三　京野塊粉炭廿二年度廻着報告　（一〇）
明治廿二年　書綴　一綴
植木積替所

一四　諸職人日役帳（複製）　（三〇九三）
明治廿二年五月　書冊　一冊
京野坑事務所

一五　株金請取簿　（一二七八）
明治廿二年　書冊　一冊
京野坑々事務所ほか古野惣五郎宛

一六　明治廿二年度経費支出予算　（一六五九）
明治廿二年　書綴　一綴
石炭取締所

一七　京野塊粉炭廿二年度積出報告　（六七四）
明治廿二年　書綴　一綴
植木積替所

一八　明治廿二年度経費支出予算説明　（一三）
明治廿二年　書綴　一綴

一九　定約証　（一六二九）
明治廿二年　書綴　一綴
四郎丸村楠本炭坑古埜惣五郎外と植木井手越取扱人舌間稲平との定約

二〇　起業諸費控簿　（三〇九八）
明治廿二年　書冊　一冊
京野炭坑

二一　石炭代渡間通　（五）
明治廿二年　小横帳　一冊
若松港有邨磯五郎ゟ古野惣五郎宛

二二　諸願伺届控　（六六）
明治廿二年　書綴　一綴
京野炭坑

二三　諸官衙照会綴　（一）
明治廿三年　書冊　一冊
京野坑事務所。各車税検査、証券印税検査外

二四　諸約定書綴　（二一八四）
明治廿三年　書冊　一冊
京野坑

二五　諸払金計算表　（二〇四二）
明治廿三年三月廿日　書綴　一綴
植木積替所ゟ京野坑務所宛

二六　諸職人日役帳　（三〇九五）
明治廿三年一月　書冊　一冊
京野坑事務所

二七　岡日役帳　（三〇九四）
明治廿三年一月　書冊　一冊
京野坑

二八　石撰賃計算帳　（三〇九二）
明治廿三年一月　書冊　一冊
京野坑

二九　京野塊粉炭廿三年度廻着報告　（八二）
明治廿三年　書冊　一冊
植木積替所

三〇　京野塊粉炭廿三年度積出報告　（七九）
明治廿三年　書冊　一冊
植木積替所

三一　定約書　（二七）
明治廿三年　書綴　一綴
採炭借区出願に付、地主と博多下鰯町古川嘉平との定約書

三二　採炭賃金幷ニ諸約定諸給料覚帳　（二一九一）
明治廿三年　書冊　一冊
京野砿

三三　炭代勘定帳　（四）
明治廿三年　小横帳　一冊

二四（仮題）諸経費計算書　（一五）
明治廿三・廿五年
書綴　一綴
借区報酬金、悪水路水下割外

二五鉱業特許証下附願　（三三）
明治廿五年七月
一通
古野惣五郎外ゟ福岡鉱山監督署長宛

二六植木積替所ノ根帳ヨリ書取　（二〇七八）
明治廿五年
書綴　一綴

二七石炭採掘受負ニ付契約書　（三〇）
（明治廿五年）
一通

二八倉久石炭借区定約書　（三一）
明治廿五年十二月
一通
有吉茂四郎外

二九書状　（三六）
明治廿六年一月廿八日
一通
春田恕生外ゟ古野惣五郎宛。倉久契約金分配の件に付

四〇倉久区人民集会到着人名　（三九）
明治廿六年二月五日
一通
大宇倉久有吉彦九郎宅

四一事実　（二五）
明治廿六年二月十日
一通
安永磯太郎外ゟ古野惣五郎宛。古川嘉平に対し村承諾金残金の件

四二鉱業施業按及認可綴　（二一九二）
明治廿六年分以降
書冊　一冊
京野炭坑

四三鉱区訂正願事蹟　（七六）
明治廿六年
書綴　一綴
京野炭砿

四四鉱区訂正願外　（七七）
明治廿六年
書綴　一綴
古野三郎ゟ農商務大臣榎本武揚宛

四五預り証　（四〇）
明治廿六年二月十三日
一通
古野惣五郎ゟ安永磯太郎外宛。約定書（猿喰含有石炭採掘に付倉久区人民と古川嘉平との条約証）預り

四六（仮題）通知　（六七九の五）
明治廿六年六月廿一日
一通
福岡鉱山監督署ゟ古野惣五郎宛。鉱業条例の儀に付伺出の件

四四　御伺　（一七）
明治廿六年　一通
京野炭坑鉱業惣代人古野惣五郎ゟ。鉱業条例四九条の件

四五　諸官衙往復綴　（一八）
明治廿七年　書綴　一綴
京野炭坑

四六　堤防使用継年期願書類綴　（九）
明治廿七年　書綴　一綴
京野炭坑。宮田村大字長井鶴

四七　辞令書台帳　（八）
明治廿七年　書冊　一冊
京野炭坑事務員

四八　宮田村大字長井鶴字羅漢堤防使用継年期願書類　（五三）
明治廿七年　書綴　一綴
京野炭坑

四九　契約証　（二〇四六）
明治廿七年一月廿五日　書綴　一綴
石炭其地貨物運搬に付

五〇　植木積替所ヨリ報告書綴　（六七二）
明治廿七年一月　書綴　一綴

五一　坑業組合往復綴　（六七三）
明治廿七年一月　書綴　一綴
京野炭坑。門司輸出石炭取締規約案、筑豊石炭砿業組合収支決算書外

五二　事務員器械方月給台帳　（二一八五）
明治廿七年一月起　書冊　一冊
京野砿

五三　□定約証　（二〇四三）
明治廿七年二月二日　書綴　一綴
鞍手郡花の木石洗堰に於て貨物積載通船に関し

五四　契約証　（二〇四四）
（明治廿七年）　書綴　一綴
鞍手郡花ノ木石洗堰に於て貨物積載通船に関し

五五　借用金証書　（七八）
明治廿七年　一通
京野坑主古野三郎ゟ吉田組西浜半平宛

五六　鉱業明細表綴　（八一）
明治廿七年一月　書綴　一綴
京野炭坑

五七　諸願伺届綴　（二一九三）
明治廿七年一月　書冊　一冊
京野炭坑

六一 書類進達通　（二三七九）
明治廿七年一月　書冊　一冊
京野炭坑ゟ笠松村役場宛

六二 契約証　（一七七四）
明治廿七年二月　一通
京野坑々主代理古野寛人外ゟ西浜半平宛。売渡契約

六三 庶往復綴　（七）
明治廿七年二月　書綴　一綴
京野炭坑

六四 受取証　（一八〇五）
明治廿七年五月　一通
渡辺藤吉ゟ京野炭坑古野宛。汽缶手付金

六五 経五尺長廿四尺汽缶約定証書　（二〇六六）
明治廿七年五月十日　書綴　一綴

六六 見積り書　（一八〇一）
明治廿七年五月十日　一綴
渡辺藤吉ゟ京野炭坑宛。陸用汽缶等

六七 辞令原簿　（二一八二）
明治廿七年七月起　書冊　一冊
京野炭坑

六八 鉱区訂正願　（三一）
明治廿七年八月十日　書綴　一綴
古野寛人ゟ農商務大臣榎本武揚宛

六九 薬価受取　（三〇八一）
明治廿七年　二通
本松之粛ゟ京野坑事務所宛

七〇 砿業組合報告綴　（六七）
明治廿七年　書冊　一冊
京野砿

七一 重役会決議留　（二一八六）
明治廿七年九月起　書冊　一冊
京野炭砿

七二 葉書　（二八二六）
明治廿七年十月　一葉
舌間稲平ゟ古野寛人宛。京野炭坑関係

七三 明治廿七年度分借地料支払目録　（二一〇）
明治廿七年十二月　一綴
京野炭坑鉱業惣代人古野寛人ゟ。京野炭坑石炭運搬鉄道敷借地料

七四 末松善平植木為換金計算控　（一六三三）
明治廿八年十月　書冊　一冊

六五　葉書　（三〇七九）
明治廿八年　一葉
門司石炭取引所磯部由之助ゟ京野炭坑宛。定期炭相場

六六　鉱業組合往復綴　（四三）
明治廿八年　書冊　一冊
京野炭砿

六七　鉱業組合報告綴　（五六の二）
明治廿八年　書綴一綴外八点
京野炭砿。付、預り証外

六八　廿七年十二月末日迄植木積出若松未着炭　（三一〇八）
明治廿八年三月十六日　一通
植木出張所入江数吉ゟ京野坑事務所宛

六九　事務員器械方身上ニ関スル諸願伺届綴　（二一八三）
明治廿八年四月起　書冊　一冊
京野炭砿

七〇　採堀石炭切符支払差引帳　（五四）
明治廿八年十一月十五日　書冊　一冊
入江数吉受負中

七一　雑書類綴　（六七〇）
明治廿八年　書綴　一綴
京野炭坑

七二　受取証　（六七一）
明治廿八年十一月十五日　書綴　一綴
京野坑関係

七三　採堀石炭差引帳　（六七八）
明治廿八年　書冊　一冊
京野炭坑

七四　書状　（六七九の四）
明治廿九年一月廿日　書綴　一綴
元京野炭坑事務所ゟ第二大ノ浦大谷炭坑事務所宛。長井鶴
地内鉄道敷借地の件

七五　葉書　（三四）
明治廿九年　一綴
筑豊砿業組合直方支部ゟ京野炭坑宛。觸定約締結の件に付、
協議会開設方の通知外

七六　（仮題）覚　（三一八六）
明治卅一年度　書綴　一綴
経費書上。付、着到簿

七七　明治卅六年四月以降支出伝票指出帳　（一六七〇）
明治卅六年　書冊　一冊

七八　明治卅六年四月中以降収入伝票摘出帳　（一六五七）
明治卅六年　書綴　一綴

八九　雑費帳　　（六五）
明治卅九年三月
笠松コーク製造所
書綴　一綴

九〇　金銭出納帳　　（一一六）
明治卅九年三月
笠松コーク製造所
書冊　一冊

九一　石炭運搬賃計算帳　　（一二三）
明治卅九年四月
笠松コーク製造所
書冊　一冊

九二　煉化製造帳　　（一一八）
明治卅九年五月
笠松コーク製造所
書冊　一冊

九三　日役計算帳　　（一二二）
明治卅九年五月
笠松コーク製造所
書冊　一冊

九四　職工計算帳　　（八七）
明治卅九年五月
笠松コーク製造所
書冊　一冊

九五　製俵コーク受払簿　　（八六）
明治卅九年五月
笠松コーク製造所
書冊　一冊

九六　現金受領簿　　（一七九一）
明治卅九年六月
売捌人古野惣助
書綴　一綴

九七　石炭受払簿　　（八三）
明治卅九年
笠松コーク製造所
書冊　一冊

九八　縄莚受払簿　　（九四）
明治卅九年
笠松コーク製造所
書冊　一冊

九九　仮払帳　　（一四）
明治卅九年
笠松コーク製造所
書綴　一綴

一〇〇　切符出納簿　　（九六）
明治卅九年
笠松コーク製造所
書冊　一冊

一〇一　金受渡通写　　（二二八九）
明治卅九年十二月
笠松コーク製造所ゟ古野惣助宛
書綴　一綴

一〇二　金銭出納簿　　（八五）
明治卅九年十二月卅一日
笠松コーク製造所
書冊　一冊

一〇三　新坑採炭賃計算帳
明治卅九年
笠松炭坑
書冊　一冊　（一二九）

一〇四　採炭賃計算帳
明治卅九年
笠松炭坑・旧坑
書綴　一綴　（七三）

一〇五　撰炭日役計算帳
明治卅九年
笠松コーク製造所
書冊　一冊　（一三九）

一〇六　縄莚買入帳
明治卅九年五月
笠松コーク製造所
書冊　一冊　（八九）

一〇七　採炭日計簿
明治卅九年
笠松炭坑事務所
書冊　一冊　（六二）

一〇八　汽車運賃計算帳
明治卅九年
笠松コーク製造所
書冊　一冊　（一二六）

一〇九　採炭日計簿
明治卅九年
笠松炭坑。新坑第一坑
書冊　一冊　（五七）

一一〇　コーク場計算目録綴
明治卅九年以降
笠松骸炭製造所
書綴　一綴　（四九）

一一一　撰炭賃・坑内外日役賃計算帳
明治卅九年
笠松コーク製造所
書綴　一綴　（七一）

一一二　採炭賃計算帳
明治卅九年
笠松炭坑事務所。旧坑
書綴　一綴　（五九）

一一三　新設費出資金記入帳
明治卅九年
笠松コーク製造所
書冊　一冊　（一〇〇）

一一四　竈出コーク受払簿
明治卅九年
笠松コーク製造所
書冊　一冊　（一〇三）

一一五　工場日誌
明治卅九年
笠松コーク製造所
書冊　一冊　（一〇四）

一一六　職工計算帳
明治四十年一月
笠松コーク製造所
書冊　一冊　（一一一）

二七　骸炭運搬賃計算帳　（二一四）
明治四十年一月　書冊　一冊
笠松コーク製造所

二八　桐野骸炭差引帳　（二一九）
明治四十年四月　書冊　一冊
笠松コーク製造所

二九　仮払帳　（一四二）
明治四十年八月　書冊　一冊
笠松コーク製造所

三〇　採炭日計簿　（一四三）
明治四十年十二月　書冊　一冊
笠松炭坑

三一　旧坑採炭賃計算帳　（一三一）
明治四十年　書冊　一冊
笠松炭坑

三二　勤惰簿　（九九）
明治四十年　書冊　一冊
笠松コーク製造所

三三　工場日誌　（六八）
明治四十年　書冊　一冊
笠松コーク製造所

三四　貯金台帳　（六九）
明治四十年　書冊　一冊
笠松コーク製造所

三五　坑内仕操・日役計算帳　（七〇）
明治四十年　書冊　一冊
笠松炭坑

三六　日役帳　（一三六）
明治四十年三月　書冊　一冊
笠松コーク製造所

三七　煉化製造帳　（一三五）
明治四十年五月　書冊　一冊
笠松コーク製造所

三八　切符出納簿　（一〇八）
明治四十年七月　書冊　一冊
笠松コーク製造所

三九　許斐支店金受入帳　（一二七）
明治四十年十月　書冊　一冊
笠松コーク製造所

三〇　第三坑採炭日計簿　（一三二）
明治四十年十一月　書冊　一冊
笠松コーク製造所

一三　金銭出納簿
明治四十年十一月
笠松コーク製造所
書冊　一冊
（一一二）

一三一　工場日誌
明治四十年十二月
笠松コーク製造所
書冊　一冊
（一三七）

一三二　石炭運搬賃計算帳
明治四十年十二月
笠松コーク製造所
書冊　一冊
（一三三）

一三三　物品買入帳
明治四十年十二月
笠松コーク製造所
書冊　一冊
（一二五）

一三四　（仮題）工場日誌
明治四十一年
人夫と仕事量
書冊　一冊
（一三四）

一三五　仮払帳
明治四十一年
笠松コーク製造所
書冊　一冊
（六〇）

一三六　職工計算帳
明治四十一年一月
笠松コーク製造所
書冊　一冊
（一一五）

一三七　採炭賃計算帳
明治四十一年三月
笠松コーク製造所
書綴　一綴
（七五）

一三八　骸炭運搬賃計算帳
明治四十一年
笠松コーク製造所
書冊　一冊
（一〇一）

一三九　切符出納簿
明治四十一年三月ゟ
笠松コーク製造所
書冊　一冊
（一〇五）

一四〇　坑木買入帳
明治四十一年
笠松炭鉱
書綴　一綴
（四五）

一四一　日役計算帳
明治四十一年七月
笠松コーク製造所
書冊　一冊
（一三〇）

一四二　切符出納帳
明治四十一年八月
笠松コーク製造所
書冊　一冊
（一〇九）

一四三　骸炭運搬賃計算帳
明治四十一年七月ゟ
笠松コーク製造所
書冊　一冊
（一〇六）

一四五　石炭売立帳
明治四十一年九月
笠松炭坑
（一二〇）
書冊　一冊

一四六　撰炭賃計算帳
明治四十一年十月
笠松コーク製造所
（一二一）
書冊　一冊

一四七　採炭日計簿
明治四十一年十二月
（四七）
書冊　一冊

一四八　第二坑採炭日計簿
明治四十一年
笠松コーク製造所
（一四〇）
書冊　一冊

一四九　骸炭馬車賃計算帳
明治四十二年四月ゟ
笠松骸炭製造所
（一〇二）
書冊　一冊

一五〇　切符出納帳
明治四十二年五月ゟ
（九八）
書冊　一冊

一五一　撰炭賃計算帳
明治四十二年八月ゟ
笠松コーク製造所
（一四五）
書冊　一冊

一五二　白米分配帳
明治四十二年八月
笠松コーク場
（一四六）
書冊　一冊

一五三　採炭日計簿
明治四十二年
笠松骸炭製造所
（一三八）
書冊　一冊

一五四　切符出納簿
明治四十二年九月
笠松炭坑
（九二）
書冊　一冊

一五五　石炭差引帳
明治四十二年十月
笠松坑
（五〇）
書綴　一綴

一五六　工場日誌
明治四十二年十一月
原田太壮
（四八）
書冊　一冊

一五七　納家住居戸籍簿
明治四十二年
笠松炭坑
（二一八一）
書冊　一冊

一五八　（仮題）コーク到着報告綴
明治四十三年一～四月
笠松コーク製造所
（八四）
書綴　一綴

一五九　職工賃金計算帳
明治四十三年四月
笠松骸炭製造所
（一一〇）
書冊　一冊

一六〇　坑内日役簿　（一二四）
明治四十三年四月
笠松工場
書冊　一冊

一六一　採炭賃金計算帳　（五二）
明治四十三年
笠松炭坑。付、炭坑札九枚
書綴　一綴

一六二　骸炭馬車賃計算帳　（一一三）
明治四十三年五月
笠松骸炭製造所
書冊　一冊

一六三　雇人給料計算簿　（二一二七）
明治四十四年一月
書冊　一冊

一六四　物品売場控簿　（六六九）
明治四十四年
笠松炭坑分配部
書冊　一冊

一六五　骸炭製造費支払帳　（九一）
明治四十四年
笠松炭坑
書綴　一綴

一六六　骸炭製造関係書類　（九〇）
明治四十四年六月ゟ
笠松コーク製造所
書綴　一綴

一六七　骸炭販売簿　（八八）
明治四十五年
旭坑販売
書冊　一冊

一六八　職工賃金支払簿　（一〇七）
大正二年二月
笠松炭坑
書冊　一冊

一六九　石炭売立控帳　（五八）
大正二年
笠松炭坑
書冊　一冊

一七〇　新坑採炭賃計算帳　（四四）
大正二年
笠松炭鉱
書綴　一綴

一七一　日志記入帳簿　（六六八）
大正二年六月
笠松骸炭製造所
書冊　一冊

一七二　採炭賃計算帳　（四二）
大正二年六月
笠松炭坑
書冊　一冊

一七三　（仮題）採炭費等ノ支払帳　（四一）
大正二年六月一日
笠松炭坑
書冊　一冊

一六四　箱下撰炭日役計算帳　（三）
大正二年　書冊　一冊

一六五　坑夫賃金簿　（一二八）
大正二年三月　書冊　一冊
笠松合名骸炭製造所

一六六　支払表　（二六七五）
大正二年十二月十一日　一通
炭坑関係

一六七　事務所費帳　（二二七七）
大正二年十二月以降　書冊　一冊
笠原鉱業所

一六八　支払報告控　（六七五）
大正三年一月　書綴　一綴
笠松鉱業所

一六九　支払報告綴　（六七七）
大正三年二月　書綴　一綴
旭坑

一七〇　請負坑出炭控簿　（一四七）
大正三年三月　書冊　一冊
笠松鉱業所

一七一　杭木買入記入帳　（一四四）
大正三年一月ゟ　書冊　一冊
笠松炭坑

一七二　骸炭製造控　（一一七）
大正三年一月　書冊　一冊
笠松炭坑

一七三　第九坑就業者賃金支払明細簿　（一四一）
大正三年　書冊　一冊
笠松骸炭製造所

一七四　夫役賃金支払表　（六七六）
大正三年九月　書綴　一綴
笠松鉱業所

一七五　金銭出納簿　（九五）
大正三年　書冊　一冊
笠松鉱業所

一七六　請負口石炭受取及賃金支払帳　（六四）
大正三年三月　書冊　一冊
笠松炭鉱

一七七　物品購入明細簿　（七二）
大正三年四月　書冊　一冊
笠松鉱業所

一八八　諸品払下帳　（六三）
大正三年五月
笠松鉱業所用度
書冊　一冊

一八九　炭券交換引揚控　（九三）
大正三年八月
笠松鉱業所
書冊　一冊

一九〇　坑夫職工名簿　（六一）
大正三年
書冊　一冊

一九一　第九坑日報綴　（五五）
大正三年
笠松鉱業所
書綴　一綴

一九二　第九坑日報綴　（五六の一）
大正三年七月以降
笠松鉱
書綴　一綴

一九三　日誌　（五一）
大正三年二月以降
笠松鉱事務長筋田。坑夫貸借原簿外
書冊　一冊

一九四　坑外日役　（一三）
大正三年
笠松炭鉱
書綴　一綴

一九五　事業上報告控　（一二）
大正三年
笠松坑事業部
書綴　一綴

一九六　人別賃金支払帳　第九坑　（一一）
大正三年
笠松コーク製造所
書冊　一冊

一九七　坑内日役堀進控　（六）
大正三年一月
笠松炭坑
書冊　一冊

一九八　支払報告表　（三一六三）
大正三年
笠松鉱業所
書綴　二綴

一九九　切符現金出納簿　（九七）
大正五年九月ゟ
笠松コーク製造所。中身は大正三年度支出計算明細簿
書冊　一冊

二〇〇　口上　（三〇六八）
（明治以降）三月三日
入江卯太郎ゟ古野惣五郎宛。炭坑の件
一通

二〇一　差入証（案）　（二八九一）
（明治以降）
採堀受負許可相成に付
一通

二〇二　記　（二八二三）
（明治以降）
諸経費書上
一通

二〇三　契約証　（二〇七一）
（明治以降）　一通
若松港大坂某ゟ長野宛。京野坑採炭販売取扱に付

二〇四　諸払取替金計算表　（二〇六七）
（明治以降）　書綴　一綴
植木積替所ゟ京野坑宛

二〇五　金借用証　（一八一〇）
（明治以降）九月一日　二通
京野炭坑古野寛人ゟ若松港阿部商店支配人宛

二〇六　誓約之草稿　（一二四七）
（明治以降）　一通
京野炭の販売に付

二〇七　書状　（一二二四）
（明治以降）三月廿四日　（包紙入）二通
炭坑事務所入江卯太郎ゟ古野惣五郎宛。坑内増水に付

二〇八　送状　（一七六二）
（明治以降）三月廿九日　一通
住野鉄工場ゟ京野炭坑古野寛人宛

二〇九　上申　（一六五〇）
（明治以降）　書綴　一綴
京野炭坑。堤防官地拝借に付

二一〇　約定証　（一四五六）
（明治以降）　一通
古野寛人、長野。京野石炭金の件

二一一　差入証　（六七九の一）
（明治以降）　一通
笠松炭坑第七坑の範囲内に於て採堀請負許可相成ゐニ付

二一二　（仮題）笠松骸炭製造所帳簿　（六七九の二）
（明治以降）　一綴

二一三　賃金計算　（六七九の三）
（明治以降）　書冊　一冊
笠松炭坑

二一四　使役人人名簿　（七四）
（明治以降）　小横綴　一綴

二一五　書状　（三五）
（明治以降）　（包紙入）一通
古野伴六ゟ古野惣五郎宛。東蓮寺猿喰場借区承諾報酬残金の受取

二一六　（仮題）諸支払控　（三八）
（明治以降）　一袋
笠松コーク製造所。仲仕賃外

三七　支払計算表　（二一一）
（明治以降）　一通
古野鉱業

三八　四郎丸地内借地弁米帳　（二一二）
（明治以降）　書綴　一綴
京野炭砿

三九　日記　（一九）
（明治以降）七月一日～八月二日　書綴　一綴
鉱業日誌

三〇　船売渡証外　（一六）
（明治以降）　書綴　一綴
京野炭坑関係

三三　各坑所石炭差引帳　（二）
（明治以降）　書冊　一冊
笠松コーク製造所

三三　京野坑処務規程　（二一九〇）
（明治以降）　書綴　一綴

三三　日報　（二二八八）
（大正期）　一通
笠松支坑。採炭賃、諸経費外

古野家文書（二、明治以降史料）

三四　記　（二五五九）
（明治以降）　一通
赤間吉田店ゟ古野宗五郎宛。石炭函等

三五　（仮題）出願鉱区坪数覚　（二六五五）
（明治以降）　一通
笠松骸炭製造所ゟ

三六　書状　（三一九七）
（明治以降）　（包紙入）一通
入江卯太郎ゟ古野惣五郎宛。坑山会議開き方の件

三七　（仮題）石炭券　（三〇九一）
（明治以降）　一箱

三八　（仮題）京野附近図　（二八三一）
（明治以降）　一通

(2)　醤油・酒醸造

三九　醤油ニ関スル書類　（二八二）
明治十八年七月　書綴　一綴

三〇　記　（二九四六の一五）
明治五年外　長綴　一綴
鑑札受取、冥加金受取外

二三　（仮題）酒造免許鑑札写　（一四九）
明治六年　書綴　一綴
古野惣助

二三　歎願　（一五三）
明治六～九年　書綴　一綴
酒造関係

二三　記　（二九四六の八）
明治七年九月　一通
酒造元石高書上

二四　醸造桶類書上　（一七六）
（明治八年）　書冊　一冊

二五　醸造桶類書上　（一五一）
明治九年五月　書綴　一綴
酒造渡世古野惣助

二六　酒造ニ関スル御布達願伺届税金納証控　（一五二）
明治十年　書綴　一綴
古野惣助

二七　物価表　（二九四六の一）
明治十年　書綴　一綴

二八　（仮題）酒造関係書類　（一九一）
明治十一年　書綴　一綴
酒造営業に付約定証、酒造家申合規則外

二九　筑前国鞍手郡酒造家申合規則　（二六七）
明治十一年　書綴　一綴

二〇　物価表　（二九四六の六）
明治十一年　一通

二一　下村勝屋酒造器械買入ニ付書類　（二九七三）
明治十一年一月　一袋

二二　酒造器械受取帳　（九七七）
明治十一年一月　長帳　一冊

二三　定約証　（一八三九）
明治十二年十二月　書綴　一綴
郡中同職中。醤油代価並規則改

二四　欠席届　（二九一八）
明治十二年十二月九日　一通
野田芳太郎ほか鞍手郡酒造組合宛

二五　結約則　（二八五）
明治十三年六月　書綴　一綴
酒造家中

二六　造酒営業願　（二八八）
明治十三年十一月廿五日　書綴　一綴
古野惣助ほか

二四七　書状　（九〇五）

明治十五年九月　（封筒入）六通

鞍手郡役所ゟ古野惣助宛。酒類営業稼続願外

二四八　酒桶丈量早法　（一九七・一九八）

明治十五年十一月　書冊　二冊

尾崎謹次郎著

二四九　酒粕之儀ニ付御願　（二八七）

明治十五年十二月廿六日　書綴　一綴

直方町飯野双十郎外ゟ酒造検査官宛

二五〇　酒税減額請願　（二六六）

明治十六年一月　書綴　一綴

古野惣五郎外ゟ

二五一　酒造被雇人心得規則　（二二七）

明治十六年　書綴　一綴

古野惣五郎

二五二　酒造ニ関スル書類　（二九四五）

明治十六年十一月　（封筒入）八通

酒造御検査之儀ニ付上申、酒造営業代理届外

二五三　清酒造営業願　（二九四七の五）

明治十七年一月　一通

新北村坂田卯七郎ゟ

古野家文書（二、明治以降史料）

二五四　買入酒手控　（二二六）

明治十七年三月　小横綴　一綴

二五五　酒類税未納処分之儀ニ付伺外　（二五一）

明治十七年三月　書綴　一綴

古野惣五郎ゟ鞍手郡々長宛

二五六　酒類税未納処分之儀ニ付伺　（二七二一）

明治十七年三月廿六日　書綴　一綴

古野惣五郎ゟ鞍手郡々長矢野矢宛

二五七　清酒醸造見込減石高御届　（二九四七の四）

明治十七年四月　二通

古野惣助ゟ

二五八　（仮題）通知　（二九四七の六）

明治十七年六月十三日　一通

村役場ゟ古野惣助宛。酒造検査官の件

二五九　宗像郡津丸村松尾峯吉ヨリ買入酒之儀御調子ニ付届　（二七二四）

明治十七年七月廿五日　書綴　一綴

古野惣助代理人古野惣五郎ゟ飯塚警察福丸分署宛

二六〇　買入酒之儀手続書　（二七二三）

明治十七年七月卅一日　書綴　一綴

古野惣助代理古野惣五郎ゟ福岡県酒造検査官宛

二六一　受書　（一三〇六）
明治十七年八月三日　一通
古野慶二郎ゟ警部松崎八郎宛。封鎖相成ル清酒保管

二六二　書状　（一三〇〇）
明治十七年八月三日　（封筒入）七通
真鍋房吉ゟ源川千七宛。宗像郡津丸村酒造人松尾の酒税一件に付。付、買入清酒私宅へ付取高

二六三　受書　（一二九九）
明治十七年八月八日　二通
古野惣五郎ゟ福丸分署宛。宗像郡津丸村酒造人松尾より買入たる酒売却残余の件

二六四　酒造営業稼続願　（二七二六）
明治十七年九月廿二日　書綴　一綴
古野惣助ゟ

二六五　（仮題）願書　（二七一九）
明治十七年十月廿八日　一通
古野惣助ゟ鞍手郡々書記宛。酒造営業再願の件

二六六　書状　（一三〇一）
明治十七年十一月　（封筒入）一通
福岡県御用懸高松各蔵ゟ古野惣介宛。造酒見込届提出の事

二六七　自家用料酒鑑札料包紙　（二七六六）
明治十七年十一月十五日　一枚
倉久村古野件六外分

二六八　記　（二九一一）
明治十七年十一月十八日　一通
井原ゟ古野宛。酒槽・簀板・梯子送り状

二六九　酒類造石税特約弁償証書　（二七二〇）
明治十七年十一月　一通
古野惣五郎外ゟ

二七〇　（仮題）願書　（二七一八）
明治十七年十一月十三日　一通
古野惣五郎ゟ鞍手郡々役所収税科宛。酒造鑑札名換願

二七一　書状　（二七二五）
明治十七年十一月廿一日　書綴　一綴
収税科ゟ古野惣五郎宛。酒造々石税特約弁償証書の還附通知

二七二　醤油税則及営業人心得其他諸達　（二八一）
明治十八年五月八日　書冊　一冊

二七三　酒造営業願書　（一五四）
明治十八年度　一袋

二七四　記　（八七〇）
明治十九年五月九日　一通
福田吉蔵ゟ古野惣五郎宛。酒代渡

二五五　記　（八六八）
明治十九年五月九日　一通
福田吉蔵ゟ古野惣五郎宛

二五六　記　（八六七）
明治十九年六月十二日　一通
福田吉蔵ゟ古野惣五郎宛

二五七　記　（八六六）
明治十九年　一通
福田吉蔵ゟ古野惣五郎宛。酒代

二五八　小嶋登氏伝授　（二一〇七）
明治十九年六月十三日　書綴　一綴
酒火留め法

二五九　引続酒造営業御免許願　（二九四六の二〇）
明治十九年九月　一通
古野惣五郎ゟ

二六〇　書状　（一六七）
明治十九年九月十五日　一通
下有木村外四村戸長役場ゟ古野惣五郎宛。十九年度継続営業出願の件

二六一　書状　（二九四六の二三）
明治十九年九月廿四日　二通
戸長役場ゟ古野惣五郎宛。十九年酒造継続営業願の件

二六二　書状　（二九四六の二五）
明治十九年九月廿日　（封筒入）一通
有吉又作ゟ古野惣五郎宛。財産取調書入の部

二六三　書状　（二九四六の二一）
明治十九年十月六日　一通
鞍手郡々役所ゟ。鑑札料納付通知

二六四　書状　（二九四六の二八）
明治十九年十月八日　（封筒入）一通
戸長役場ゟ古野惣五郎宛。明治十九年度酒造税の件

二六五　（仮題）達　（二九四六の一九）
明治十九年十月十三日　一通
下有木村外四ケ村戸長役場ゟ古野惣五郎宛。願書及鑑札送付に付

二六六　興業会清酒早造法伝授手続者　（一九九）
明治十九年十二月　書冊　一冊
興業会事務所

二六七　酒造営業継続願ニ付伺　（一六八）
明治十九年　一通
古野惣五郎ゟ下有木外四ケ村戸長有吉又作宛

二六八　送り状　（八八四）
明治十九年　一通
福田吉蔵ゟ古野惣五郎宛。酒・石炭

二九九　記　（八八五）
明治十九年　一通
福田吉蔵ゟ古野惣五郎宛。酒代渡し

二九〇　焼酎蒸溜ニ付雑誌　（二二四）
明治廿一年四月　小横綴　一綴

二九一　甲良郡野方村佐竹正平氏ノ伝　（二九六九）
明治廿一年四月　書綴　一綴

二九二　（仮題）届書　（一八八五）
明治廿二年二月十八日　一通
古野惣五郎ゟ。粕の量

二九三　福岡県連合酒類製造同業組合会決議提要報告（二九四七の七）
明治廿二年九月廿七日　書綴　一綴

二九四　福岡県内連合酒類製造同業組合規約　（二五四）
明治廿二年十月　書冊十二冊合冊
付、定式会決議録・収支決算報告（明治廿五・廿六年）外

二九五　福岡県酒類製造連合組合の趣旨・規約　（二二二）
明治廿二年　書綴　一綴

二九六　酒造組合明治廿二年度経費決算・廿三年度経費予算・廿四年委員会決議・同年諸報告書　（二二八）
明治廿二～廿四年　書綴　一綴

二九七　明治廿二年度経費収支決算報告外　（二三七）
明治廿二～廿四年　書綴　一綴
福岡県酒造業組合事務所。付、臨時委員会決議録（明治廿四年五月）

二九八　清酒醸造改良事件に関シ演説筆記　（二〇二）
明治廿三年四月廿九日　書冊　一冊

二九九　清酒醸造改良事件に関シ演説筆記　（二〇三）
明治廿三年四月廿九日　書冊　一冊

三〇〇　酒造ニ関スル必要照会綴　（二八三）
明治廿三年五月　書綴　一綴

三〇一　酒造税則施行細則　（二八六）
明治廿三年九月十五日　書綴　一綴
笠松村役場

三〇二　清酒醸造見込石高及古酒現在高報告表　（二四八九）
明治廿四年十一月　一通
福岡県酒造業組合事務所

三〇三　福岡県酒造業組合定期委員会決議録　（二一六）
明治廿四年　書冊　一冊

三〇四　酒造関スル書類綴　（一七五）
明治廿四年　書綴　一綴
継続酒造営業願、酒造見込種目并石数届外

三〇五　福岡県酒造業組合規約　（二三一）
明治廿四年十月六日　書綴　一綴

三〇六　明治廿四年期酒類造石査定高並ニ前期比較増減報告表　（二四九〇）
明治廿五年七月　一通
福岡県酒造業組合事務所

三〇七　酒薬品目広告　（二一二）
明治廿四年　書綴　一綴
酒防腐酸

三〇八　酒造関スル書類綴　（一七七）
明治廿五年　書綴　一綴
継続酒造営業願・酒造見込種目并石数届外

三〇九　自家用料出願人員及十二月一日古酒現在高報告表　（二四八三）
明治廿五年一月　一通
福岡県酒造業組合事務所

三一〇　清酒運輸特約割引申込書　（二四八二）
明治廿五年三月　一通
福岡県酒造業組合事務所

三一一　書状　（五二〇）
明治廿五年三月十九日　（封筒入）一通
田辺五兵衛ゟ古野惣五郎宛。サリシール酸実験広告

三一二　福岡県酒造組合臨時委員会決議録　（二一九）
明治廿五年四月　書冊　一冊

三一三　（仮題）本組合員酒類運搬ニ付特約の事　（二四八一）
明治廿五年五月　二通
福岡県酒造業組合事務所

三一四　杜氏検定証書　（一六六）
明治廿五年十月　二通
小河内利八外分

三一五　杜氏検定証書　（二四八五）
明治廿五年十月　一通
鞍手郡笠松村吉安藤平

三一六　酒類造石見込高及古酒現在高並ニ自家用料酒出願人員前期比較増減報告表　（二九四七の一七）
明治廿五年十二月　一通
福岡県酒造業組合事務所

三一七　緊急報告　（二九四七の一〇）
明治廿五年十二月十二日　書綴　一綴
酒造税増加法律案に付

三一八　福岡県酒造業組合臨時会決議録　（二〇〇）
明治廿六年四月十二日　書冊　一冊

三九　（仮題）清酒並ニ空樽運搬ニ付九州鉄道会社トノ特約ノ報知　（二四八七）
明治廿六年四月九日　一通

三〇　報告書　（二九四七の九）
明治廿六年六月廿一日　書綴　一綴
大会開会に付

三一　酒造ニ関スル書上控　（一八五）
明治廿六年　書冊　一冊

三二　酒精営業ニ係ル諸願届書類ノ書式及差出方　（四五二）
明治廿六年六月　書綴　一綴

三三　清酒倉出控　（一九九八）
明治廿七年　小横帳　一冊

三四　酒造粕売糠売諸覚帳　（二二五）
明治廿七年　小横綴　一綴
神川屋売場担当

三五　福岡県酒造業組合規約幷ニ諸規則外　（一九五）
明治廿七～廿九年　書冊　一冊

三六　明治廿七年度経費収支決算報告書　（二七一）
明治廿九年九月　書綴　一綴
福岡県酒造業組合

三七　明治廿八年度収入一覧表　（一八六七）
明治廿八年　一通
福岡県酒造業組合事務所

三八　明治廿八年期酒類造石見込高及古酒現在高前期比較増減報告表　（二九四七の四〇）
明治廿八年十一月　一通

三九　明治廿八年期貯金出納報告　（二九四七の一三）
明治卅年六月二日　書綴　一綴
福岡県酒造業組合

三〇　明治廿八年度経費収支決算報告書　（二六四）
明治卅年六月三日　書綴　一綴

三一　明治廿八年度収入一覧表　（一五〇五）
（明治廿八年）　一通
福岡県酒造業組合事務所

三二　明治廿八年期経費収支決算報告　（二四一）
明治卅年六月二日　書綴　一綴
福岡県酒造組合

三三　酒造関スル諸願伺届綴　（一七八）
明治廿八年九月　書綴　一綴

三四　全国酒家大会記事要録　（二三九）
明治廿八年　書綴　一綴
酒造新報第三十九号附録

三三五　品評会費　（一二五〇七）
明治廿九年　一綴
酒造業組合

三三六　三郡酒造連合組合申合規則　（一二三三）
明治廿九年五月　書綴　一綴

三三七　四郡酒造業組合申合規約書　（一二三四）
明治廿九年六月　書綴　一綴

三三八　福岡県酒造業組合定式会決議録　（一二五六）
明治廿九年九月　書冊　一冊

三三九　御届　（一二五〇二）
明治廿九年　八通一綴
鞍手郡清酒品評会に付

三四〇　（仮題）通達　（一二四九三）
明治廿九年九月十一日　一通
福岡県酒造業組合ゟ。滓引減量控除金の件

三四一　徴収令書　（一二五〇六）
明治廿九年十月　一綴
福岡県酒造業組合ゟ

三四二　酒造被雇人心得規則書　（一二三二）
明治廿九年十月　書綴　一綴
四郡連合酒造業組合事務所

三四三　明治廿九年度経費収支決算報告外　（一二六二）
明治卅一年十月七日　書綴　一綴

三四四　四郡酒造連合組合収支決算報告書　（一二三五）
明治廿九年十二月　書綴　一綴

三四五　酒母醪清酒検査控　（一八三）
明治廿九年　書綴　一綴
古野醸造場

三四六　酒造ニ関スル申請申告書類綴　（一八八）
明治廿九年　書冊　一冊
古野清酒醸造場

三四七　明治廿九年度査定石高並ニ営業数増減前期比較表　（一二九四七の四一）
明治卅年八月　一通

三四八　書状　（一七五九）
明治卅年九月　（封筒入）二通
福岡県酒造業組合古野惣五郎。明治廿九年度前期後期組合経費貯金違約金収入一覧表

三四九　書状　（一二六一）
明治卅年九月　（封筒入）三通
古野惣五郎ゟ鞍手郡酒造家中宛。明治廿九年度第二回経費

三五〇　明治廿九年度収入一覧表　（二九四七の四二）
明治卅年十月六日　一通

三五一　明治廿九年期中福岡県酒造業組合事務報告（二九四七の一一）
明治卅年十月六日　書綴　一綴

三五二　明治廿九年度経費収支決算報告　（二三六）
明治卅年十月六日　書綴　一綴
福岡県酒造組合事務所

三五三　明治廿九年度収入一覧表　（二九四七の三八）
明治卅年十月六日　一通

三五四　明治廿九年度自六月至九月収入一覧表　（二九五四）
明治卅一年九月　三通
福岡県酒造組合事務所

三五五　明治廿九年度経費収支決算報告書　（二六〇）
明治卅年十月六日　書冊　一冊

三五六　明治廿九年期経費収支決算報告書　（二六八）
明治卅一年十月七日　書冊　一冊
福岡県酒造業組合

三五七　福岡県酒造業組合評議員当撰人名第一報　（二四九八）
明治卅年四月廿三日撰挙　三通
付、福岡県酒造業組合区長評議員名簿、評議員予備員名簿

三五八　福岡県酒造業組合財産目録　（二九四七の一四）
明治卅年六月二日　書綴　一綴

三五九　福岡県酒造業組合臨時評議員会決議録　（二五〇）
明治卅年六月　書綴　一綴

三六〇　福岡県酒造業組合財産目録　（二四九五）
明治卅年六月二日　一綴
福岡県酒造組合

三六一　処務事跡　（二七七）
明治卅年六月　書綴　一綴
福岡県酒造業組合第六区長

三六二　酒造家申請書改正様式　（二九四七の二〇）
明治卅年九月七日　書綴　一綴

三六三　酒造家申請書改正様式　（二九四七の三三）
明治卅年九月七日　一通

三六四　明治卅年九月各地酒価報告表　（二九四七の四三）
（明治卅年）　一通

三六五　明治卅年九月廿一日清酒品評会審査点数　（二七八）
明治卅年　書綴　一綴
鞍手郡酒造業組合。付、明治卅三年九月廿五日清酒品評会採点表

三六六　第五回品評会経費　（二八〇）
明治卅年九月廿一日　書綴　一綴

三六七　書状　（一七六〇）
明治卅年九月　〔封筒入〕一通
福岡県酒造業組合ゟ古野惣五郎宛。火災保険の件

三六八　福岡県酒造業組合事務規定　（二四九）
明治卅年十月　書綴　一綴

三六九　福岡県酒造業組合定式評議員会決議録　（二五五）
明治卅年十月　書冊　一冊

三七〇　明治卅年十月一日現在酒高外　（二四五）
（明治卅年）　書綴　一綴
廿九年度査定高

三七一　（仮題）酒造関係税法及施行規則の注意　（二九四七の四七）
明治卅年十一月四日　書綴　一綴

三七二　至急通知　（二九四六の一八）
明治卅年十一月五日　一通
全国酒造組合連合会ゟ各府県酒造組合宛

三七三　書状　（二九四七の五一）
明治卅年十一月八日　〔封筒入〕一通
古野惣五郎宛。古酒現在高等届

三七四　全国酒造組合連合会臨時大会議案　（二四八八）
明治卅年十一月廿八日　一通

三七五　組合増税運動臨時費決算報告書　（二四二）
明治卅年　書綴　一綴

三七六　酒造申請申告書控　（一八六）
明治卅年　書冊　一冊

三七七　酒造税臨時検簿　（一八七）
明治卅年　書綴　一綴
酒造製造主古野惣五郎

三七八　明治卅年期組合経常費収入一覧表　（二九四七の三五）
（明治卅年）　一通

三七九　明治卅年期酒類造石見込高比較及古酒現在高報告表　（二五〇一）
明治卅一年一月　一通

三八〇　明治卅年期酒類査定石高比較及ヒ古酒現在高報告表　（二九四七の三二）
明治卅一年六月　一通

三八一　卅年度酒類製造見込石高表　（二九四七の一六）
明治卅一年十一月　一通
福岡県酒造業組合事務所

三八二　明治卅年期組合増税運動臨時費決算報告書　（二九四七の二二）
明治卅二年十月十日　書綴　一綴

三八三　明治卅年期組合経常費歳入出決算報告書　（二四三）
明治卅二年十月　書綴　一綴
福岡県酒造業組合

三八四　明治卅年自十月至九月期組合経常臨時費欠損理由報告　（二九四七の二七）
明治卅二年十月九日　書綴　一綴

三八五　書状　（一七五八）
明治卅年八月卅日　（封筒入）二通
福岡県酒造業組合ゟ古野惣五郎宛。第二回経費納金の事

三八六　瓶号点附姓名簿　（八三五）
明治卅年　長帳　一冊
鞍手郡御酒品評会

三八七　葉書　（二八五四）
明治卅～卅二年　二十五葉
福岡県酒造業組合事務所ゟ古野惣五郎宛

三八八　（仮題）領収証　（二九四七の四九）
明治卅～卅五年　十一通

三八九　酒造申請申告控　（一八二）
明治卅一年度　書綴　一綴

三九〇　焼酎倉出売上帳　（一九四）
明治卅一年度　書綴　一綴
古野惣五郎

三九一　福岡県酒造業組合定式評議員会決議録　（二一〇）
明治卅一年　書冊　一冊

三九二　組合増税運動臨時費決算報告書　（二〇五）
明治卅一年期　書冊三冊合冊
付、組合経常費歳入出精算報告書、福岡県酒造組合臨時評議員会決議録

三九三　酒類粕漉帳　（一八九）
明治卅一年　書綴　一綴
古野惣五郎

三九四　（仮題）辞令　（二五〇〇）
明治卅一年一月　一通
福岡県酒造業組合事務所ゟ

三九五　五二会全国品評会出品関係書類　（二四九九）
明治卅一年二月　一綴

三九六　書状　（一七七一）
明治卅一年二月廿三日　一綴
福岡県酒造組合小林作五郎ゟ古野惣五郎宛。全国品評会へ出品の件

三九七　五二会品評会出品者惣代協議会決議録　（二九四七の一八）
明治卅一年三月　書綴　一綴

三九八　書状　（一八七一）
明治卅一年三月　一通
福岡県酒造業組合事務所ゟ古野惣五郎宛。全国品評会へ出品の件

三九九　書状　（二六五二）
明治卅一年三月廿三日　一通
全国品評会委員長ゟ。出品物価格其他審査準備に関する問合せ

四〇〇　（仮題）辞令　（一七七九の一）
明治卅一年三月廿八日　一通
福岡県酒造業組合小林作五郎ゟ古野惣五郎宛。全国品評会に付出品取締嘱託

四〇一　建議書　（一七七九の二）
（明治卅一年）　一通
県下清酒品評会の義

四〇二　第二回五二会全国品評会福岡県酒造業組合受賞者種類比較表　（二九四七の三一）
明治卅一年六月　二通

四〇三　第二回五二会全国品評会福岡県酒造業組合受賞者種類比較表　（二九四七の三七）
明治卅一年八月　一通

四〇四　第二回五二会全国品評会福岡県清酒出品ニ関シ出張員職務章程　（一八〇三）
（明治卅一年）　一通
福岡県酒造業組合事務所

四〇五　福岡県酒造業組合臨時評議員会決議録　（二六三）
明治卅一年八月　書綴　一綴

四〇六　九州酒造組合連合臨時会決議録　（二四七）
明治卅一年八月十八日　書綴　一綴

四〇七　御届　（二九五八）
明治卅一年九月　二綴
鞍手郡清酒品評会審査長古野惣五郎宛

四〇八　酒造関係書類　（一四五七）
明治卅一年九月　書綴　一綴

四〇九　酒造法規類纂附録　（二九四七の二一）
明治卅一年九月廿四日　書綴　一綴

四一〇　清酒品評会採点表　（二七九）
明治卅一年九月廿五日　書綴　一綴

四一一　第一回組合経常費領収証　（二五〇三）
明治卅一年十月　一綴
福岡県酒造業組合

四三　（仮題）酒造業組合宛領収書　（二五〇八）
明治卅一年　一綴

四三　（仮題）福岡県酒造業組合議案　（二五一二）
明治卅一年　一綴

四四　酒母仕込及検査表・醪仕込及検査表・清酒査定表・清酒製成歩合表　（一八〇）
明治卅一年度　書綴　一綴
古野醸造場

四五　明治卅一年度酒類腐敗ニ付免税及申請、焼酎蒸溜ニ関スル申告控　（二三九）
明治卅二年六月　書綴　一綴

四六　明治卅一年期組合増税運動臨時費決算報告書外　（二五九）
明治卅二年十月　書綴　一綴

四七　明治卅一年期中福岡県酒造組合事務報告　（二三三）
明治卅二年十月　書綴　一綴
組長小林作五郎

四八　明治卅一年自十月至九月期貯金出納報告　（二九四七の三四）
明治卅二年十月　書綴　一綴

四九　明治卅一年自十月至九月期標章売立一覧表　（二四九一）
明治卅二年十月　三通
福岡県酒造業組合事務所

五〇　組合経常費収入一覧表　（二九五七）
明治卅一～卅三年　三通
福岡県酒造組合事務所

五一　支那酒輸入港別　（二九四七の三六）
（明治卅一～卅二年）　一通

五二　明治卅二年期酒類造石見込高比較及古酒現在高報告表　（二九五六）
明治卅二年十一月　二通
福岡県酒造業組合事務所

五三　明治卅二年期酒類査定石高比較及古酒現在高報告表　（二九四七の一五）
明治卅三年五月　一通

五四　福岡県酒造業組合創立委員会決議録　（二一七）
明治卅二年　書冊　一冊

五五　福岡県酒造業組合創立委員会決議録　（二〇七）
明治卅二年　書冊　一冊

五六　福岡県酒造業組合定式評議員会決議録　（二〇九）
明治卅二年　書冊　一冊

五七　福岡県酒造業組合創立委員会決議録　（二一四）
明治卅二年　書冊　一冊

四二八　福岡県酒造業組合定式評議員会決議録　（二一一五）
明治卅二年　書冊　一冊

四二九　火災救助報告　（二一五七）
明治卅二年　書綴　一綴
付、福岡県酒造組合契約書ニ依リ諸般ノ事務ニ関スル施行規定

四三〇　第二回組合経費領収証　（二一五〇四）
明治卅二年五月　一綴
福岡県酒造業組合

四三一　酒類査定石高比較及古酒現在高報告表　（二一九四六の三六）
明治卅二年六月　一通

四三二　九州酒造組合連合会決議録　（二一三八）
明治卅二年六月　書綴　一綴

四三三　御届　（二一五〇九）
明治卅二年十月　三通一綴
品評会出品に付

四三四　火災救助報告　（二一九四七の二八）
明治卅二年十月九日　二通
福岡県酒造業組合

四三五　書状　（二一四九六）
明治卅二年十一月　一通
福岡県酒造業組合小林作五郎ゟ古野惣五郎宛

四三六　明治卅二年期組合経費歳入出精算報告書　（二一七四）
明治卅四年九月　書冊　一冊
福岡県酒造組合

四三七　福岡県聯合酒造営業者有志会決議録　（二一一八）
明治廿三年七月十六日　書綴　一綴

四三八　福岡県酒造組合臨時総会決議録　（二一七〇）
明治卅三年十二月　書綴　一綴

四三九　酒造ニ係ル申請申告控　（一八四）
明治卅三年期　書綴　一綴

四四〇　伝授書　（二一〇一三）
明治卅三年　書綴　一綴
榊谷政治。酒直し杜氏

四四一　明治卅三年度福岡県酒造組合事務報告　（二一四〇）
明治卅四年九月　書綴　一綴

四四二　納税保証人認可申請　（二一四四）
明治卅三月　書綴　一綴
付、酒類造石税免除申請外

四四三　明治卅三年期組合経費歳入出仮決算報告　（二一六一）
明治卅四年九月　書綴　一綴

四四四　明治卅三年自十月至九月期組合標章売立一覧表　（二九五五）
明治卅四年九月　一通
福岡県酒造組合事務所

四四五　明治卅三年度組合契約違犯者　（一九四七の二三）
（明治卅三年）　書綴　一綴

四四六　（仮題）福岡県酒造組合経理及び事務報告　（一九四六の三三）
明治卅三～卅五年　一綴

四四七　明治卅三年度清酒査定石高及古酒現在高前年度比較増減表　（一四八四）
明治卅四年五月　一通
福岡県酒造組合事務所

四四八　福岡県酒造組合定時総会決議録　（一〇六）
明治卅四年　一綴
付、明治卅三年度福岡県酒造組合事務報告

四四九　明治卅四年度福岡県酒造組合経費歳入歳出予算　（一六五）
明治卅四年　書綴　一綴
付、酒造従業者賞与ノ件

四五〇　第十一回九州沖縄八県聯合共進会清酒出品ニ関スル紛議顛末　（一七三）
明治卅四年三月十九日　書綴　一綴
福岡県酒造組合

四五一　福岡県酒造組合臨時総会決議録　（一六九）
明治卅四年　書綴　一綴

四五二　九州沖縄八県聯合共進会清酒出品費歳入出精算報告　（一七五）
明治卅四年九月廿日　書綴　一綴
福岡県酒造組合。付、明治卅年期組合経常費歳入出決算報告書外

四五三　臨時議案　（一四九二）
明治卅四年九月　一通
福岡県酒造組合

四五四　標章無貼用之部　（一九四七の二四）
明治卅四年九月　書綴　一綴

四五五　出品目録　（一九四七の二九）
明治卅四年十二月　一通
古野惣五郎ゟ。清酒

四五六　第二回福岡県重要物産品評会出品清酒解説書　（一九四七の三〇）
明治卅四年十二月十五日　一通
古野惣五郎ゟ

四五七　明治卅四年度福岡県酒造組合事務報告　（一七二）
明治卅五年九月　書綴　一綴

四五八　酒類製造関スル申告控　（一七九）
明治卅四年度　書綴　一綴

四五九　組合経費収入一覧表　（二九四六の二九）
明治卅四・卅五年度　三通
福岡県酒造組合事務所

四六〇　（仮題）清酒関係議案　（二六六五）
（明治卅五年）　二通

四六一　酒発　第二〇三号　（二四八〇）
明治卅五年一月九日　二通
福岡県酒造組合事務所ゟ。酒造用米の流通の件

四六二　福岡県酒造組合事務報告書　（二九四六の三〇）
明治卅五年度　書冊　二冊

四六三　福岡県酒造組合経費歳入出精算報告書　（二九四六の三一）
明治卅五年度　書冊　一冊

四六四　申請申告書控　（二一三）
明治卅五年期　書綴　一綴
酒類製造見込石数・製造方法・仕込数及着手時期申告

四六五　第五回内国勧業博覧会出品心得　（一七〇）
明治卅五年三月　書冊　一冊
福岡県酒造組合事務所

四六六　福岡県酒造組合定時総会決議録　（一七四）
明治卅五年九月　書冊　一冊

四六七　福岡県酒造組合臨時総会決議録　（一七三）
明治卅五年十月一日　書冊　一冊

四六八　清酒見込石高及古酒現在高前年比較増減表　（二九四六の三四）
明治卅五年十一月　一通
福岡県酒造組合事務所

四六九　酒類ニ関スル申告書控　（一八一）
明治卅六年度　書綴　一綴

四七〇　明治卅五年度組合経費収入一覧表　（二九四六の三五）
明治卅七年九月廿一日　一通

四七一　福岡県酒造組合定時総会決議録　（二九四七の一九・三一）
明治卅六年十月　書冊　二冊

四七二　明治卅六年度清酒課税石高及古酒現在高前年度比較増減表　（二九四六の三七）
明治卅七年五月　一通
福岡県酒造業組合事務所

四七三　清酒見込石高及古酒現在高前年度比較増減表　（二九四六の三八）
明治卅六年十一月　一通
福岡県酒造組合事務所

四七四　申請申告書控　（一九三）
明治卅七年度　書綴　一綴

四五五　福岡県酒造組合定時総会決議録　（一五五）
明治卅七年　書冊　一冊

四五六　申告書控　（一九〇）
明治卅七年　書冊　一冊
古野惣五郎

四七七　福岡県酒造組合定時総会決議録　（二八四）
明治卅八年九月　書綴　一綴

四五八　福岡県酒造組合臨時総会決議録　（一七一）
明治卅八年十月一日　書綴　一綴

四五九　申請申告書控　（一九二）
明治卅八年度　書綴　一綴
古野醸造場

四六〇　清酒入桶調査法　（二九四六の二）
（明治以降）　一通

四六一　記　（二九四六の三）
（明治以降）　長綴　一綴
酒樽の覚

四六二　（仮題）酒樽覚　（二九四六の四）
（明治以降）　一通

四六三　酒価平均書上控　（二九四六の五）
（明治以降）　一通

四六四　内蜜　（二九四六の七）
（明治以降）　一通
大蔵官員の酒家検査の件外

四六五　清酒醸造石高書上　（二九四六の九）
（明治以降）　一通

四六六　両市中手控写　（二九四六の一一）
（明治以降）　一通
酒造

四六七　（仮題）名前書上　（二九四六の一四）
（明治以降）　一通

四六八　桶入味計算表　（二九四六の二六）
（明治以降）　一通

四六九　此節鑑札現石　（二九四六の二七）
（明治以降）　一通

四七〇　鞍手郡酒造組合関スル書類　（二九四七）
（明治以降）　一袋

四七一　酒造被雇人心得規則　（二九四七の一）
（明治以降）　一通

四七二　酒桶容量法ニ付疑ノ廉々　（二九四七の二）
（明治以降）　一綴

四九三　杜氏連署　（二九四七の三）
（明治以降）　一通

四九四　酒造家申合内規約　（二九四七の八）
（明治以降）　書綴　一綴

四九五　福岡県酒造業組合定款中更正ノ件　（二九四七の二五）
（明治以降）　書綴　一綴

四九六　定款施行細則中更正ノ件　（二九四七の二六）
（明治以降）　書綴　一綴

四九七　改正ノ理由　（二九四七の三九）
（明治以降）　二通
酒造税

四九八　増税運動費外　（二九四七の四四）
（明治以降）　二通

四九九　酒類製造場建物目録　（二九四七の四五）
（明治以降）　一通

五〇〇　（仮題）酒造組合会議議案　（二九四七の四八）
（明治以降）　断簡　六枚

五〇一　（仮題）酒造組合関係書類　（二九四七の五三）
（明治以降）　一括

五〇二　（仮題）酒品評会得点　（二九四九）
（明治以降）　八綴

五〇三　酒造家申合内規約　（二九五〇）
（明治以降）　書綴　一綴

五〇四　（仮題）出品酒覚　（二九五一）
（明治以降）　二通

五〇五　（仮題）品評会規約　（二九五二）
（明治以降）　断簡　一綴

五〇六　吉野産桶定価表　（二九五三）
（明治以降）　一通
大阪辻村栄助商店

五〇七　（仮題）酒造関係書類　（二九五九）
（明治以降）　一括

五〇八　第十六議会ニ於ケル運動顛末報告書　（一六九）
（明治以降）　書冊　一冊
全国酒造組合連合会理事横田良介

五〇九　福岡県酒造業組合杜氏雇傭申合規則　（二〇一）
（明治以降）　書冊　一冊

五一〇　福岡県酒造業組合杜氏雇傭申合規則　（二七二）
（明治以降）　書冊　一冊

九二一　サリシールサン販売広告　（二〇八）
（明治以降）　書冊　一冊
酒類防腐特効薬

五三　撒里失爾酸実験及使用法　（二一一）
（明治以降）　書綴　一綴
酒類防腐特効薬

五三　酒造被雇人心得規則　（二八九）
（明治以降）　書綴　一綴

五四　福岡県酒造業組合定款施行細則　（二四八）
（明治以降）　書綴　一綴

五五　酒醸造概算記　（二五二）
（明治以降）　小横帳　一冊

五六　税法違犯者処分ノ件　（二五八）
（明治以降）　書綴　一綴

五七　林氏改良酒醸造法談話　（二〇四）
（明治以降）　書綴　一綴

五八　（仮題）酒精営業ニ係ル諸願届書類ノ書式及差出方ノ通達　（四五二）
（明治以降）　書綴　一綴

五九　杜氏連署　（一八〇九）
（明治以降）　一通

五〇　（仮題）審査表　（二四九四）
（明治以降）　一綴

五一　（仮題）郡内品評会の件　（二四九七）
（明治以降）　一通

五二　品評会関係書類　（二五一〇）
（明治以降）　三通

五三　（仮題）審査表　（二五一一）
（明治以降）　一綴
酒品評会

五四　（仮題）杜氏氏名書上　（二六七六）
（明治以降）　二通
雇主等書上

五五　清酒商標　（二七七七）
（明治以降）　一通
直方町醸造元柴田芳松。日若

五六　（仮題）酒造業組合処分書　（二八三〇）
（明治以降）　一通
組長小林作五郎ほか。酒税法違犯のため

五七　自家用料酒類製造届　（二八三二）
（明治以降）　一通

五二八　送り書写　（二八五七）
（明治以降）　一通
空樽運送

五二九　記　（二七一〇）
（明治以降）　十二通
桶代、送り状等

五三〇　記　（二七〇八）
（明治以降）七月十三日　一通
若松和田喜三郎ゟ舌間忠兵衛外宛。空樽送り状

五三一　送り状　（二七〇七）
（明治以降）　二通
有村儀五郎ゟ舌間忠七外宛。空樽外

五三二　送り状　（八八三）
（明治以降）五月十一日　一通
福田吉蔵ゟ古野宛。樽

五三三　記　（二八六三）
（明治以降）　三通
樽代価

五三四　記　（二九〇九）
（明治以降）酉二月　一通
カミ川屋古野惣五郎ゟ大庭幸右衛門宛。酒関係計算書

五三五　受取証　（二八五八）
（明治以降）九月十六日　一通
古野惣五郎宛。駄樽

五三六　（仮題）受取　（二七九三）
（明治以降）　二通
酒袋木綿外

五三七　書状　（一八六二）
（明治以降）二月廿四日　一通
福岡県酒造業組合事務所ゟ古野惣五郎宛

五三八　書状　（四九五）
（明治以降）十月十九日　（封筒入）一通
赤間井原健吾ゟ古野惣五郎宛。酒糟の義

五三九　書状　（一五三四）
（明治以降）七月四日　一通
若松港桶職小田専吉ゟ若宮四郎丸村酒屋宛。六尺樽の問合せ

五四〇　書状　（五二四）
（明治以降）三月十四日　（封筒入）二通
岩田亀助ゟ古野惣五郎宛。酒袋代金送付依頼

五四一　書状　（五〇〇）
（明治以降）十一月十七日　（包紙入）一通
井原健吾ゟ萩尾延右衛門宛。四郎丸村ゟ酒船買入依頼に付

吾四三　書状　（四九七）
（明治以降）十月廿三日　（包紙入）一通
深川省三ゟ古野惣五郎宛。酒糟売買の義

吾四三　書状　（四九八）
（明治以降）十月廿四日　一通
井原健吉ゟ古野惣五郎宛。酒糟の義

吾四四　書状　（二九四七の五〇）
（明治以降）　（封筒入）一通
福岡県酒造業組合事務所ゟ古野惣五郎宛。五二会全国品評会審査の件

吾四五　書状　（二九四七の五二）
（明治以降）三月廿一日　（封筒入）一通
全国品評会の件

吾四六　書状　（二九四七の四六）
（明治以降）二月三日　一通
古野惣五郎ゟ事務所宛。錆止め塗料希望の件

吾四七　書状　（二九四六の二二）
（明治以降）九月十六日　（封筒入）一通
有吉又作ゟ古野惣五郎宛。酒造営業継続願の照会状

吾四八　証　（二六四六）
（明治以降）　四通
池上源助宛。酒代等計算書

(3)　その他

吾四九　水車修繕ニ付諸記　（九七〇）
明治十八年　長綴　一綴

吾五〇　明治廿九年自六月至九月期経費収支予算（一）　（二六七一）
明治廿九年　一通

吾五一　鞍手土木株式会社仮社則　（二九六）
明治卅二年　書冊　一冊

吾五二　第一期営業報告書　（三五四）
明治卅二年七月～卅三年六月　書冊　一冊
鞍手土木株式会社

吾五三　鞍手土木株式会社定款　（三五五）
明治卅二年八月　書冊　一冊

吾五四　定款　（一九八八）
明治四十一年二月七日　書冊　一冊
若宮信用購買販売組合

吾五五　株主連名簿　（一六七三）
（明治以降）　書綴　一綴
博多貸倉会社支店

吾五六　福博商工業組合附属酒陸荷主組章標　（二五六一）
（明治以降）　三枚

三五 金銭出納雇人其他諸記　（一六二四）
明治卅六年五月　書冊　一冊
養鶏

三六 養鶏ニ関スル記事　（一六三〇）
明治卅六年一月以降　書冊　一冊

三七 鶏卵並ニ鶏糞売立帳　（一六二五）
明治卅七年　書綴　一綴
吉田茂三郎

6 交通・通信

(1) 鉄道・道路

一 鉄道会社創立附書類綴　（五二九の二）
明治十九年十月　書綴　一綴
九州鉄道会社

二 書状　（五二九の一）
明治十九年十二月　（封筒入）一通
下有木村外四ケ村戸長役場ゟ古野惣五郎宛。鉄道入金受取

三 九州鉄道布設之儀ニ付郡夫ヲ以土木工事支用ノ歎願　（四五一）
明治廿年七月四日　書綴　一綴
古野惣五郎ゟ九州鉄道社長高橋新吉外宛

四 九州鉄道会社書類　（五三〇の二）
明治廿一年七月卅一日　一袋
九州鉄道敷設地理調査表、総勘定表

五 九州鉄道布設ニ付諸受負願　（六三七）
明治廿年七月　一綴
香月新ゟ高橋新吉宛

六 書状　（五一二）
明治廿年七月十日　（封筒入）一通
鞍手郡畑村正母ゟ古野惣五郎宛。鉄道株の件

七 鞍手郡実力社結約書　（六三八）
明治廿年七月廿四日　書綴　一綴
九州鉄道会社事業のため

八 書状　（五一六）
明治廿年十月廿五日　（封筒入）一通
吉川正母ゟ古野惣五郎宛。九鉄株金払入の件

九 鞍手郡実力社定款　（一五三五）
明治廿年十一月　書綴　一綴
九州鉄道布設工事の諸受負等

一〇 書状　（五〇七）
明治廿一年二月十七日　（封筒入）一通
古川正母ゟ古野惣五郎宛。議員撰挙会に付

一二　書状　（五五〇）
明治廿一年三月十七日　（封筒入）一通
鞍手郡畑村吉川正母ゟ古野惣五郎宛。鉄道株の件

一三　受取証　（一七六六）
明治廿一年三月卅日　一通
占部三折外ゟ古野惣五郎宛。九州鉄道株の手附金落手

一三　株主名簿　（五二八）
明治卅六年二月　書冊　一冊
京釜鉄道株式会社

一四　書状　（五一九）
（明治以降）　（封筒入）一通
鞍手郡役所小島太郎ゟ古野惣五郎宛。九劭鉄道の件

一五　書状　（五一〇）
（明治以降）六月十三日　（封筒入）一通
小田甚作ゟ古野惣五郎宛。鉄道株の件

一六　書状　（五〇三）
（明治以降）六月四日　（封筒入）一通
石田ゟ古野惣五郎宛。鉄道株の件

一七　書状　（五〇五）
（明治以降）二月廿四日　（封筒入）一通
小田甚作ゟ古野惣五郎宛。鉄道株の件

一八　下郷発起人見込書　（一六九〇）
（明治以降）　一通
犬鳴道路の件カ

一九　犬鳴道路大修繕目論見前合計　（一六八九）
（明治以降）　書綴　一綴

二〇　（仮題）犬鳴道路開鑿発起人名撰定ノ事　（一六八一）
（明治以降）四月廿二日　書綴　一綴

三一　書状　（三〇七八）
（明治以降）　（封筒入）一通
鞍手郡土工取締爪生角太郎ゟ古野惣五郎宛。福地越道路の件

三二　自粕屋郡箱崎至鞍手郡直方更正県道目論見帳　（一六八〇）
明治廿年五月　書冊　一冊
県会議員古野惣五郎

三三　建白　（一六八八）
明治廿年九月廿八日　一通
鞍手郡湯原村小田甚作外ゟ鞍手郡長宛。犬鳴道路の件

二四　書状　（一六八三）
明治廿一年六月六日　（封筒入）一通
山口村外一村戸長大音重武ゟ古埜宛。犬鳴道路の件

二五 書状　（一六八二）
明治廿一年　（封筒入）一通
鞍手郡役所ゟ古野惣五郎宛。犬鳴道路開鑿の件

二六 （仮題）歎願書　（二五一六）
明治廿一年四月廿四日　書綴　一綴
古野惣五郎外ゟ福岡県知事宛。道路改修の事

二七 犬鳴峠実測之儀ニ付建議　（三〇四九）
明治廿二年一月十七日　一綴
小田甚作ゟ

二八 書状　（一六八四）
（明治以降）四月廿四日　（封筒入）一通
鞍手郡役所ゟ古野惣五郎宛。犬鳴道路改修願書の件

二九 書状　（一六八五）
（明治以降）六月六日　（封筒入）一通
鞍手郡役所ゟ古野惣五郎宛。犬鳴道路の件

三〇 書状　（一六八六）
（明治以降）十月十六日　（封筒入）一通
小田甚作ゟ古野惣五郎宛。犬鳴道路の件、治安裁判所の件

三一 書状　（一六八七）
（明治以降）十月十一日　（封筒入）一通
鞍手郡役所ゟ古野惣五郎宛。犬鳴道路の件

三二 郡道互接之橋梁修繕ニ付御願　（一三四六）
（明治以降）四月十七日　一通
土木懸吉田寛人ゟ郡長上野弥太郎宛

三三 記　（一四六〇）
明治廿一年六月十四日　一通
勝木茂一郎ゟ戸長役場宛。四郎丸村地内郡道用釘御下渡相成度

(2) 郵便切手売下所

三四 記　（二七七六）
明治十二年十一月廿七日　一通
畑丸局長ゟ古野惣介宛。切手、葉書預り証

三五 郵便切手売下ケ所及箱場御免許願　（一四一〇）
明治十七年十二月　一通
古野惣助ゟ品川弥三郎宛

三六 郵便切手売下ケ所及箱場御免許願　（一三七一）
明治十七年十二月　一通
古野惣助ゟ品川弥三郎宛

三七 （仮題）達　（二七六七）
明治十七年十二月廿九日外　二通
郵便切手売下所宛。達書類の保管に付

三八　郵便切手売下所免許之証　（一八八三）
明治十八年一月廿八日　一通

三九　（仮題）達　（二七七八）
明治十八年二月廿四日　一通
博多駅逓出張局ゟ郵便切手売下所宛。駅逓局報購求方の件

四〇　郵便切手売下諸書　（一九八四）
明治十八年二月　書綴　一綴
古野惣助ゟ

四一　貯金領収通知書　（二六〇九）
明治廿二年　二通
逓信省為替貯金局

四二　郵便切手売下人心得　（二〇〇五）
明治廿三年　書冊　一冊

四三　郵便切手受下簿　（二一一四）
明治廿五年三月起　書綴　一綴

四四　郵便切手売下ニ関スル書類　（一九九〇）
明治廿五年　書綴　一綴

四五　郵便切手及収入印紙売下規則　（二〇〇六）
明治卅二年　書冊　一冊

四六　収入印紙売下ニ関スル書類　（二一三二）
明治卅二年四月　書綴　一綴

四七　郵便局所収入印紙売捌規則・郵便切手類売捌規則　（一八六五）
明治卅三年九月　書冊　一冊

四八　郵便局所収入印紙売下規則・郵便切手類売下規則　（二〇〇七）
明治卅三年　書冊　一冊

四九　熊本郵便局報号外　（二七六五）
明治卅九年十月八日　一通
郵便切手類収入印紙買受方委託手続

五〇　書状　（一三七〇）
明治四十一年三月十二日　（封筒入）一通
福丸郵便局ゟ古野惣介宛。郵便切手等売下免許之証

五一　収入印紙売捌ニ関スル勅令・収入印紙売別規則・郵便切手類売捌規則　（二〇一二）
明治四十三年　書冊　一冊
逓信省通信局

7　金融

(1)　貸借

一　預り手形　（九五一）
明治七年二月十六日　二通
十五小区副戸長勝木利平ゟ副戸帳古野惣五郎宛

二 有吉卯三郎木野金作両名借財控 （一〇〇八）
明治八年十二月 長帳 一冊

三 起業公債証書売渡証 （一八三九）
明治十三年一月廿三日
上有木村有吉四郎平ゟ福本嘉平宛 一通

四 起業公債証書売渡証 （一八四一）
明治十三年五月十六日
古野惣五郎ゟ天津卯作宛 一通

五 受取証 （一八四〇）
明治十三年六月十二日
古野伴六ゟ古野惣五郎宛。起業公債証書売却代金受取 一通

六 明治六年十二月旧調所借入金始末書 （一六五一）
明治十四年四月 書綴 一綴

七 記 （一九九五）
明治十五年十二月廿五日
神谷幸助ゟ古野惣五郎宛。元利金覚 一通

八（仮題）元利計算書 （一七八四）
明治十七年十二月
入江伝十ゟ斉藤久平外宛 一通

九 記 （一〇三八）
明治十九年十二月卅日
春田恕生ゟ古野惣五郎外宛。元利金 一通

一〇 証拠 （一九九六）
明治廿一年四月三日
万願寺斉藤久平ゟ村用掛リ古野寛人宛。米、金子貸渡被下度 一通

一一 記 （一一六）
明治廿三年一月卅一日
安永和一郎外ゟ古川嘉平宛。預リ証 一通

一二 受取証 （一一五六七）
明治廿五年五月廿五日
春田恕生ゟ古野惣五郎宛 一通

一三 借用証 （三一三九）
明治廿六年二月十三日
有吉又十外ゟ笠松村村長古野惣五郎宛 一通

一四 約定証 （一一五五二）
明治廿七年八月卅日
元金の返金方法に付 一通

一五 借用証書 （一一〇六四）
明治廿八年八月十二日
古野惣五郎ゟ第十七国立銀行宛。付、委任状、承諾証書 四通

一六 委任状 （三〇八〇）
明治廿八年十二月廿五日
古野惣五郎。借用金返済に関する一切 一通

一七　金借用証　（一六三四）
明治廿九年　書綴　一綴
借用主倉田津九郎外6宗像郡各村組合事務管理者宮本保宛

一八　金員貸借契約証証書正式謄本　（一五九七）
明治卅年　書綴　一綴
債権者舌間稲平・債務者古野寛人

一九　金預リ証　（二四三六）
明治卅一年十一月廿二日　一通
安部和一郎外6春田恕生外宛

二〇　約束手形　（二五二二）
明治卅三年四月卅日　一通
宗像郡神興村倉田津久郎6古野惣五郎宛

二一　借用証書　（二〇七二）
明治卅三年七月　書綴　一綴
古野寛人6舌間稲平宛

二二　借用証書　（一六一七）
明治卅三年七月　一通
古野寛人6舌間稲平宛

二三　受取証　（二九一四）
明治卅三年八月十五日　二通
舌間稲平6古野寛人宛。返済金

二四　領収証　（三一三五）
明治卅六年四月十六日　一通
宗像郡長大倉周之介6古野惣五郎宛。郡有積立金倉田津九郎へ貸付分受取

二五　金借用証　（一八四〇）
明治四十一～四十二年　四通
古野惣助6

二六　神崎岩蔵分計算目録　（二六五一）
（明治以降）　一通

二七　記　（五三一の一一）
（明治以降）　長綴　一綴
魚住悟心へ立替費用の件

二八　判金歩入書付類　（二八四九）
（明治以降）　（包紙入）六通

二九　記　（二八四三）
（明治以降）五月三日　一通
上有木村有吉四郎平6古野惣五郎宛。公債証書利子分

三〇　記　（二八四二）
（明治以降）辰旧正月九日　一通
古野惣五郎6古野伴六外宛。公債証納付金関係

三（仮題）拝措金覚　（一九〇六）
（明治以降）十二月廿八日　一通
乙野村武四郎ゟ。火事のため

三記　（一八九九）
（明治以降）　二通
町借取約、通商局借入金外ケ条書

三借用金証書（案）外　（一八〇一）
（明治以降）　二通
若松港吉田組西浜半平宛

三御かり入金納不足　（一五七七）
（明治以降）　一綴
四郎丸村

三（仮題）鯨太左衛門手形　（一五五六）
（明治以降）　一通

三町借人数　（一九〇三）
（明治以降）　一通

三記　（三三三一）
（明治以降）　切紙　一通
元利計算書

(2) 銀行

三株式会社鞍手銀行定欵　（五三四）
明治廿三年　書綴　一綴

三葉書　（一七九四）
明治廿九～卅二年　一綴
鞍手銀行ゟ古野惣五郎宛。株主総会の件外

四株式会社福岡県農工銀行定款　（五三五）
明治卅年　書冊　一冊

四株式会社福岡県農工銀行定款　（一九八・三〇三・三〇八・三一五）
明治卅年十一月廿日　書冊　四冊

四第二期営業報告書　（一九七）
明治卅年六月卅日　書冊　一冊
鞍手銀行

四第三期営業報告書　（三一一）
明治卅年十二月卅一日　書冊　一冊
鞍手銀行

四株式会社福岡県農工銀行第壱期営業報告　（三〇七）
明治卅一年前半期　書冊　一冊

四豆　株式会社福岡県農工銀行第壱期営業報告　（二九九・三〇五）
明治卅一年　書冊　二冊

四四　第四期営業報告書　（三〇〇）
明治卅一年六月卅日　書冊　一冊
鞍手銀行

四四　第五期営業報告書　（三五八）
明治卅一年　書冊　一冊
株式会社鞍手銀行

四六　当座預金約定書、同借越約定証書控　（二二〇〇）
明治卅一年一月　書綴　一綴
十七銀行直方支店

四九　十七銀行直方支店当座預金借越計算書類　（二一九九）
明治卅一年十二月ゟ　書綴　一綴
古野惣五郎

五〇　株式会社福岡県農工銀行株式申込書　（三一四）
明治卅一年　書綴　一綴

五一　株式申込書　（二九三五）
明治卅一年一月　二通
古野惣五郎外ゟ福岡県農工銀行宛

五二　書状　（二九三七）
明治卅一年二月九日　一通
福岡県農工銀行ゟ古野惣五郎宛。創業総会開会通知

五三　株式会社福岡県農工銀行設立費支払報告外　（二九三四）
明治卅一年二月十八日　一通

五四　領収証　（二九三八）
明治卅一年四月四日　一通
鞍手銀行ゟ古野惣五郎宛。福岡県農工銀行株払込金

五五　書状　（二九三二）
明治卅一年七月三日　（封筒入）四通
福岡県農工銀行ゟ古野惣五郎外宛。第二回株金払込延期通知、株主総会開会通知

五六　葉書　（二九三三）
明治卅一～卅二年　十四葉
福岡県農工銀行ゟ。払込金の件外

五七　書状　（二〇五七）
明治卅一年六月　（封筒入）二通
十七銀行直方支店ゟ古野惣五郎宛。貸金並利息通知

五八　担保品差入証書外　（二一九八）
明治卅一～卅二年　書綴　一綴
古野惣五郎ゟ十七銀行宛

五九　第二期営業報告書　（三〇二）
明治卅二年二月十五日　書冊　一冊
福岡県農工銀行

六〇 第三期営業報告書　（三〇四・三〇九）
明治卅二年前半期　書冊　二冊
福岡県農工銀行

六一 第四期営業報告書　（三〇六・三一二）
明治卅二年後半期　書冊　二冊
福岡県農工銀行

六二 第六期営業報告書　（三五七）
明治卅二年　書冊　一冊
株式会社鞍手銀行

六三 第七期営業報告書　（三五六）
明治卅二年　書冊　一冊
株式会社鞍手銀行

六四 当座借越約定証書　（二二〇一）
明治卅二年　書綴　一綴
古野惣五郎ゟ十七銀行宛

六五 株金払込通知書　（二九三六）
明治卅二年二月十五日　一通
福岡県農工銀行ゟ古野惣五郎宛

六六 書状　（二九四一）
明治卅二年六月卅日　一通
福岡県農工銀行ゟ。株式総会開会通知

六七 （仮題）当座預金貸越勘定利息返却請求書類　（二二〇三）
明治卅二～卅五年　書綴　一綴
古野惣五郎。十七銀行分

六八 証書改定ノタメ旧証書及株券送付通知　（二一九七）
明治卅二年　書綴　一綴
十七銀行直方支店

六九 書状　（二九四三）
明治卅二年一月　一通
福岡県農工銀行ゟ古野惣五郎宛。株主総会開会通知

七〇 （仮題）通知書　（二九三〇）
明治卅二年六月卅日　一通
福岡県農工銀行ゟ古野惣五郎宛。株の払込金

七一 福岡農工銀行ニ係ル書綴　（三一三）
明治卅三年五月以降　書綴　一綴
株主総会等

七二 農工銀行第四回株金領収証　（二九四二）
明治卅三年七月　（封筒入）二通

七三 倉田振出約束手形裏書十七銀行ニ係ル書類　（三六〇）
明治卅三年　（袋入）九通
訴訟関係。付、株式会社鞍手銀行内規

四四　書状　（一五〇七）
明治卅三年六月廿八日　（封筒入）二通
百三十銀行山本育英ゟ古野惣五郎宛。約手償還請求通知

四五　書状　（一五〇六）
明治卅三年七月九日　（封筒入）一通
百三十銀行博多支店ゟ古野惣五郎宛。約束手形支払請求

四六　書状　（一五〇四）
明治卅三年七月廿四日　（封筒入）一通
百三十銀行博多支店ゟ古野惣五郎宛。約束手形支払の件

四七　書状　（六二九）
明治卅三年十一月七日　（封筒入）一通
百三十銀行北村直ゟ古野惣五郎宛。償還請求通知書

四八　第八期営業報告書　（三一〇）
明治卅四年後半期　書冊　一冊
福岡県農工銀行

四九　（仮題）当座預金貸越勘定利息返却請求書類　（二二〇二）
明治卅四年　書綴　一綴
十七銀行直方支店ゟ古野惣五郎宛

五〇　書状　（一五〇三）
明治卅四年十二月八日　（封筒入）一通
百三十銀行山本育英ゟ古野惣五郎宛。約束手形償還請求通知

五一　第九期営業報告書　（三〇一）
明治卅五年　書冊　一冊
福岡県農工銀行

五二　書状　（五五三）
明治卅五年十二月七日　（封筒入）一通
百三十銀行博多支店ゟ古野惣五郎宛。償還請求通知書送付に付

五三　書状　（四九〇）
明治卅五年十二月五日　（封筒入）一通
百三十銀行博多支店ゟ古野惣五郎宛。償還請求通知書

五四　書状　（四八五）
明治卅六年一月十七日　一通
百三十銀行博多支店ゟ古野惣五郎宛。約束手形の件

五五　書状　（六二七）
明治卅七年二月八日　（封筒入）一通
百三十銀行博多支店山本育英ゟ古野惣五郎宛。倉田津九郎振出約束手形の件

五六　書状　（六二四）
明治卅七年三月十一日　（封筒入）一通
百三十銀行博多支店山本育英ゟ古野惣五郎宛。倉田約束手形支払の件

八七 書状　（六二八）
明治卅七年四月十六日　（封筒入）一通
百三十銀行博多支店山本育英ゟ古野惣五郎宛。倉田氏約手の件

八八 支払済ニ係ル書類　（三五三）
明治卅七～卅八年　書綴　一綴
鞍手銀行福丸支店に係る分

八九 鞍手銀行ヨリ訴訟ニ係ル一件書類　（三五九）
明治卅八年　（袋入）二綴
直方銀行設立一件書類（明治廿八年）外

九〇 株式会社鞍手銀行業務総則　（三六一）
（明治以降）　書綴　一綴

九一 書状　（五二二）
（明治以降）八月卅一日　（封筒入）一通
神興村倉田津九郎ゟ古野惣五郎宛。百三十銀行に対する手形切替一件に付、裏書調印依頼

九二 記　（二九三一）
（明治以降）　一通
七十三株式覚

九三 記　（二九四四）
（明治以降）　三通
農工銀行分古野持株覚

九四 書状　（二九四〇）
（明治以降）二月廿八日　（封筒入）一通
福岡県農工銀行ゟ古野惣五郎宛。配当金の通知

(3) 講

九五 二十三番座親掛出割合　（二三八七）
明治八年七月廿一日　長綴　一綴

九六 龍徳原田講規則写　（二一八七）
明治十年　書冊　一冊

九七 倉田仕立講割合書帳　（二一四九）
明治十一年　書綴　一綴

九八 記　（二七七九）
明治十一年十一月　一通
四番座割方

九九 大村氏仕立講証書控及落札金掛金控　（一六七五）
明治十一年十一月　書綴　一綴

一〇〇 共栄社規則　（二一八八）
明治十二年十二月　書冊　一冊
講

一〇一 備金受取通　（四三七）
明治十二年十二月　一綴
共栄社支配人ゟ古野惣五郎宛

一〇三　永正社金規約条例　（五九〇）
明治十三年十月～十八年　書綴　一綴

一〇三　友盛社規則　（五八九）
明治十三年十二月～十九年　書綴　一綴
講

一〇四　第壱番飛梅講社名簿　（一三〇）
明治十四年八月　書冊　一冊
鞍手郡四郎丸村ゟ直轄太宰府教会宛

一〇五　口揃簿　（一六三七）
明治十五年十一月　書綴　一綴
発起春田恕生。四郎丸獣医育成のための講

一〇六　講金受取証　（一三六四）
明治十六年八月　一通
大村講世話人中ゟ四郎丸村大和和吉宛

一〇七　受領証　（一六一〇）
明治十六・十七年　二通
太宰府神社社務所ゟ古野惣五郎宛

一〇八　（仮題）永正講関係書付　（三一二九）
明治十七・十八年　三通

一〇九　飛梅講御初穂　（一六一二）
明治十七・十八年　三通

一一〇　本松講金預り算用　（一五六八）
明治十九年　二通

一一一　記　（一五八五）
明治十九年十二月十日　一通
古野惣五郎外ゟ大和正平宛。本松講関係

一一二　信誓社貯金取立簿　（一一一六）
明治廿一年　書冊　一冊

一一三　受取証外　（一六一六）
明治廿二年一月廿一日外　二通
信誓社社印の事

一一四　金預り証　（三一三一）
明治卅一年十一月十九日　一通
安部末吉外ゟ古野惣助宛。安部講金の内

一一五　預り証　（一一四八）
明治卅一年十二月七日　一通
預り主古野友五郎ゟ古野惣助宛。安部講金員預り

一一六　安部末吉講取当者控　（九九四）
明治卅一年十月二日　長綴　一綴

一二七　尾上講　（一六四八）
明治卅八年十二月ゟ　書綴　一綴

一二八（仮題）講関係書類　（二七九一）
（明治以降）　六通

一二九（仮題）講関係　（二七八一）
（明治以降）　一通
落札主並計算書

一三〇　記　（二七八九）
（明治以降）　三通
講関係

一三一（仮題）万願寺講会覚　（二五四一）
（明治以降）　一通

一三二（仮題）出世講廿三番座覚　（二五二六）
（明治以降）　一通

一三三（仮題）講関係書類　（二三八二）
（明治以降）　九綴

一三四　第一盟遠講規則　（二一八九）
（明治以降）　書冊　一冊

一三五　講券　（一八三三）
（明治以降）一月十一日　（封筒入）二通
高崎源右衛門ゟ古野惣五郎宛

一三六　大村講一時解崩ニ付取立金分配　（一六七五の二）
（明治以降）　書綴　一綴

一三七　飛梅講社鑑札　（一六〇二）
（明治以降）　（包紙入）四枚

一三八　太宰府神社教会飛梅講社事務取扱心得書　（四五四）
（明治以降）　書冊　一冊

一三九　太宰府神社教会飛梅講社規則　（四五六）
（明治以降）　書冊　一冊

(4) その他

一四〇　記　（二八三八）
（明治以降）十一月廿三日　三通
渡辺与三郎ゟ油屋庄兵衛宛。古金銀買取覚

一四一　覚　（二八四八）
（明治以降）六月十八日　一通
古野惣五郎ゟ井原宛。古金銀覚

一四二　合鑑　（一八三一）
（明治以降）午十一月十五日　八枚
富会所

8 商業

一 買物所札引替所分壬申八月諸品入札払約　（四九六）
（明治五年）　長綴　一綴

二 売渡証書　（五九二）
明治七年七月、明治九年二月
頓野村山長昌平ゟ古野惣五郎宛　二通

三 御米請取渡控帳　（一〇〇〇）
明治八年一月　長綴　一綴

四 記　（一五二三）
明治十年五月　一通
木野源右衛門ゟ勝屋平三宛。買入の代米の件

五 花ノ実売渡書証　（一五五六）
明治十三年八月廿八日　一通
山口村伸七ゟ古野惣五郎宛

六 樺実買入帳　（四四五）
明治十三年九月　小横帳　一冊

七 仕切記　（二八九三）
明治十三年十二月廿一日　一綴
山口四郎兵衛外ゟ古野惣五郎外宛。茴香売捌仕切

八 記　（二六四五）
明治十三年十二月廿一日　一通
山口由兵衛外ゟ井原健吾宛。茴香代

九 預ケ米頼高　（二〇一八）
明治十七年　書綴　一綴

一〇 諸品通　（一九八一）
明治十八年　小横帳　一冊

一一 仕切　（八四五）
明治十九年　（首欠）一通
福田吉蔵ゟ古野惣五郎宛

一二 記　（二七〇六）
（明治十九年）九月九日　一通
植木舌間忠兵衛ゟ古野惣五郎宛。空樽運賃、村費等渡方依頼

一三 金請取通　（二一四一）
明治廿年十二月　書冊　一冊
倉久村古野永七郎ゟ古野惣五郎宛

一四 現金物品通　（一九七九）
明治廿年　長帳　一冊

一五 記　（二八二二）
明治廿五年八月　一通
船板代勘定

一六 受取証 （一七七三）
明治廿七年五月五日 一通
村上福太郎ゟ古野寛人宛

一七 雇人給料計算・通帳 （二一一五）
明治卅九年七月 小横帳 一冊
古野商店

一八 売主惣勘定 （二六四八）
（明治以降） 長綴 一綴

一九 記 （二六二五）
（明治以降） 一通
計算書

二〇 記 （一一四四）
（明治以降）七月 長綴 一綴
馬関大津屋卯兵衛ゟ入江十三郎宛。米代金計算書

二一 （仮題）御通 （九六二）
（明治以降） 小横綴 二綴
諸物品の部、白米の部

二二 覚 （二九一三）
（明治以降） 二通
米

二三 覚 （二九一二）
（明治以降）旧十二月廿八日 一通
源兵衛ゟ神川屋宛。反物類等書上

二四 記 （二九〇七）
（明治以降）十月一五日 長綴 一綴
樺実代計算書

二五 記 （二九一〇）
（明治以降）辰九月廿三日 一通
㊟ゟ㊞宛。綿代等計算書

二六 （仮題）金銭書上 （五三一の八）
（明治以降） 長綴 一綴
数量・金額・名前書上

二七 （仮題）金銭書上 （五三〇の七）
（明治以降） 長綴 一綴

二八 金銭出納帳 （一六四二）
（明治以降） 書冊 一冊

二九 記 （一七七二）
（明治以降）十二月廿一日 一通
古田馬次郎ゟ古野惣五郎宛。計算書

三〇 証 （二六四七）
（明治以降）一二月四日 一通
長府屋孫八ゟ井原健吾宛。櫨実代等

9 教育

一 小学校一件書類　（二〇〇〇）
明治七年十一月　書綴　五綴

二 四郎丸小学校仕調幷機械代一切約帳　（九七五）
明治七年十一月　長帳　一冊

三 小学校設立願　（八八八）
明治七年十一月十七日　書綴　二綴
四郎丸村春田兵右衛門外ゟ福岡県令宛。付、教師繰替に付願

四 建議外　（二三二二）
明治十五年　書綴　一綴
有吉太一郎外。学区改正。付、九番学区村々連合会決議録

五 第九番学区学資予算外　（二三二一）
明治十六年一～十二月　書綴　一綴

六 十六年一月ヨリ六月迄四郎丸校予算　（二三四五）
明治十六年　書綴　一綴

七 私立養鋭学校改良募金方法書　（二二五〇）
明治十六年　書冊　一冊

八 教育費現金受払　（二〇一五）
明治十七年　書綴　一綴
役場関係

九 鞍手郡八局学区秋季試検諸費割方　（二〇二六）
明治十八年二月三日　書綴　一綴
上有木村村用掛り長浜太三郎ゟ戸長古野惣五郎宛

一〇 尋常小学校設置ノ件書付　（一一四五）
明治廿年　（袋入）三綴
古野

一一 委任状　（九六八）
明治廿年四月　書綴　一綴
四郎丸小学校尋常科設置願の件

一二 尋常校改築積書　（九九二）
明治廿年九月　書冊　一冊

一三 尋常校設置積書　（九六五）
明治廿年　書綴　一綴

一四 委任状　（九六九）
明治廿年五月三日　書綴　一綴
四郎丸小学校設置の件

一五 （仮題）専門学校設立上申書　（二二五二）
（明治以降）　書綴　一綴
小田竈吉外ゟ

一六 建議　（一二四四）
（明治以降）　一通
下有木村木野清三郎ほか。分校の事

一七 高等小学校新設費予算按　（一二五八）
（明治以降）　書綴　一綴

一八 （仮題）校則箇条書　（一〇六二）
（明治以降）　書綴　一綴

一九 （仮題）手牒　（一〇四五）
（明治以降）　書綴　一綴
生徒身上の諸件に就き学校と家庭と連絡

二〇 （仮題）農学校要覧　（一〇四〇）
（明治以降）　書綴　一綴

二一 尋常校経費予算　（九六四）
（明治以降）　書綴　一綴
四郎丸村外

二二 書状　（一一三七）
（明治以降）八月　一綴
古野惣五郎外ほか光安与二郎外宛。学事の件に付四ケ村連合協議会開催の事

二三 （仮題）覚　（三一一）
（明治以降）　一通
一月ほか五月迄生徒出校覚

古野家文書（二、明治以降史料）

10 寺社

一 記　（二六六六）
明治十二年九月卅日　一通
社用懸安永ほか四郎丸村用懸春田恕生宛。若宮八幡宮大祭費受取

二 氏神社担任詞掌設置ニ付受持替願　（一一四九）
明治十三年六月　書綴　一綴
安永礒太郎外ほか

三 天満宮・須賀神社神殿新築寄附帳　（一七三五）
明治十五年十一月　書綴　二綴
発記四郎丸本村組中

四 天満宮・須賀神社神殿新築寄附帳　（一一三三）
明治十五年十一月　書綴　一綴

五 （仮題）笠松宮祭典一件　（三〇四二）
明治十六年四月　一綴
戸長有吉又作ほか

六 福岡県神官取締規約　（八七五）
明治廿四年九月　書冊　一冊

七　春日神社御社器受渡書　（六三一）
明治廿五年九月　書綴　一綴
志井啓次郎外ゟ上野弥太郎宛

八　笠松神社祠掌之件ニ付斎藤武揚氏江約定書　（六三四）
明治廿五年七月　（包紙入）四通
古野惣五郎ゟ

九　笠松神社祠掌撰定神殿新築ニ関スル書類　（二六一七）
明治廿五年九月　二通
古野惣五郎。付、絵図一枚

一〇　笠松神社御社器受渡書　（六三三）
明治廿五年九月十六日　書綴　一綴
斎藤司ゟ鞍手郡長上野弥太郎宛

一一　笠松神社神殿再築目論見記　（六三二）
（明治以降）八月一日　書綴　一綴

一二　預り証　（六三六）
明治廿五年九月廿日　一綴
斎藤司ゟ笠松村神社祠掌志井啓次郎宛

一三　（仮題）笠松神社神地拡張ニ係ル協議集会人名　（六三五）
明治廿五年九月　書綴　一綴

一四　（仮題）覚　（六八七）
（明治以降）卯十月　書綴　一綴
不願出新ニ小社を取建新規神事仏事取起ゆ儀

一五　太宰府天満宮御守護御初穂控　（一六二二）
（明治以降）　長綴　一綴

一六　建議案　（二二六〇）
（明治以降）　一通
古野惣五郎。倉久・四郎丸村氏神春日宮拝殿修繕の件

一七　記　（二六一九）
（明治以降）二月十三日　一通
極楽寺ゟ古野惣五郎宛。受取

一八　記　（二六二一）
（明治以降）　一綴
清蓮寺ゟ四郎丸村役場宛。計算書

一九　（仮題）計算書　（二七五二）
（明治以降）　長綴　三綴
寺社関係諸費用

二〇　（仮題）笠松宮関係書類　（二七六二）
（明治以降）　一綴

二一　（仮題）神社敷地図　（二九七九）
（明治以降）　一通

二二　口上　（三〇一七）
（明治以降）五月廿三日　一通
新一郎ゟ古野惣五郎宛。極楽寺会議の件

三三　天満宮神殿・須賀神社新築寄附帳　（一一〇九）
（明治以降）　書綴　一綴

二四　寄附帳　（二〇六八）
（明治以降）　書冊　一冊
真寂坊

11　書籍・文芸

一　泰西勧善訓蒙　巻之中・下　（一九二九）
明治六年再刻　書冊　二冊

二　天然人造道理図解　（一九三〇）
明治二・六年刊　書冊　二冊

三　修身論前編巻一　（一九三四）
明治七年一月刊　書冊　一冊

四　小学読本　首・巻一～三　（一九三九）
明治七・八年刊　書冊　四冊

五　刻翻漢史一斑　（一九三二）
明治九年二月刊　書冊　一冊
小永井八郎編

六　扶桑新誌　（四一二～四三二）
明治十三年刊　書冊　二十一冊
九〇・九九～一〇九・一一一～一一九号

七　一元一次方程式題併問題　全　（一九三五）
明治十四年刊　書冊　一冊

八　日本略史　一～三　（一九三八）
明治十五年六月刊　書冊　三冊

九　小学日本地理誌　一　（一九四六）
明治十五年五月刊　書冊　一冊

一〇　中等読本　小学文編　一～三　（一九五七）
明治十六年刊　書冊　三冊
羽山尚徳編

一一　中等読本　小学文編　巻二　（一九四五）
明治十六年五月刊　書冊　一冊
羽山尚徳編

一三　吾妻新誌　第十八号　（三九九）
明治十六年九月刊　書冊　一冊
九春社

一三　第一世拿破崙言行録　（二二一二）
明治十六年八月写　書綴　一綴
古野慶次郎

一四　高等小学習字本　第一年科　（一九五八）
明治十九年刊　書冊　一冊

一五 牛馬蕃殖飼養法要略
明治廿年五月刊
農商務省農務局蔵版
（九六三）
書冊 一冊

一六 小学地誌要略内国誌 下巻
明治廿年十二月刊
大槻修二編
（一九五一）
書冊 一冊

一七 皇朝略史 巻三・四・六
明治廿一年刊
（一九四〇・一九五五）
書冊 二冊

一八 明治廿五年略本暦
明治廿四年刊
（一八二五）
小横帳 一冊

一九 若宮教育 第一号
明治四十年七月刊
福丸高等小学校
（九六一）
書冊 一冊

二〇 孝行徃来
（明治以降刊）
（二〇六三）
書冊 一冊

二一 小学読本 首巻
（明治以降刊）
（一九四一）
書冊 一冊

二二 国史略字類大全 下
（明治以降刊）
（一九四三）
書冊 一冊
堀井篤忠輯

二三 師範学校編輯万国地誌略 巻之一
（明治以降刊）
（一九四二）
書冊 一冊

二四 万国史略 二
明治七年十一月刊
文部省編纂
（一九四四）
書冊 一冊

二五 小学句読 外篇
（明治以降刊）
貝原点
（一九五二・一九五三）
書冊 二冊

二六 新校正小学句読
（明治以降刊）
益軒貝原先生訓点
（一九四八）
書冊 一冊

二七 日本外史
（明治以降刊）
頼久太郎著
（一九四七）
書冊 八冊

二八 截術 後集
（明治以降刊）
（二二一四）
書冊 一冊

二九 算法括要天元本術戊集
（明治以降刊）
（二二一六）
書冊 一冊

三〇 代数学 巻之六
（明治以降）
（二〇五九）
書綴 一綴

三一　算法括要　（一九〇二）
（明治以降刊）　書冊　一冊
天元術乙集

三二　算法括要天元術解式　（一九一五）
（明治以降刊）　書冊　一冊

三三　万国地誌略　（一九三三）
（明治以降刊）　書冊　一冊
師範学校編輯

三四　十八史略　巻之四・五　（一九五六）
（明治以降刊）　書冊　二冊

三五　折兼題言込之発句撰呼書抜蝶　（九九七）
明治七年六月　長帳　一冊

三六　今古三十六名家文抄　巻之中・下　（一九二八）
明治十二年一月刊　書冊　二冊

三七　発句折言込送笠兼題撰呼書抜帳　（九九九）
明治十四年四月二十七日ゟ　長綴　一綴
瓢翠

三八　発句折兼題秀吟簿　（二三一五）
明治十五年十二月　書紙綴　一綴

三九　奥秘極意与授　（三二一五）
明治廿一年　四通
西溟うめの家梅府叟ゟ槐斉雅美宛

四〇　詩集　（一六四九）
（明治以降）　書冊　一冊

四一　（仮題）歌集　（五三一〇の六）
（明治以降）　長綴　一綴

四二　（仮題）歌集　（五三一の一四）
（明治以降）　断簡　五枚

四三　（仮題）戯歌　（二四三七）
（明治以降）　長綴　一綴

四四　（仮題）句集　（二五九九）
（明治以降）　四通

四五　兼題和歌　威雄上　（一七九七）
（明治以降）　書冊　一冊

四六　誹諧名句集　（一九八〇）
（明治以降）　小横帳　一冊

四七　誹諧名句集　（一九八二）
（明治以降）　小横帳　一冊

四八　俳諧歳時記新栞草　巻之二　（一九六〇）
（明治以降刊）　書冊　一冊
京都山口素堂編輯

四九　新古今狂歌集　後編下　（一九五九）
（明治以降刊）　書冊　一冊

五〇　（仮題）和歌　（二六八六）
（明治以降）　二通

五一　（仮題）句集　（二六七七）
（明治以降）　一綴

五二　（仮題）俳諧関係書付　（二六八〇）
（明治以降）　一通

五三　（仮題）覚　（二五六二）
（明治以降）　四通
俳諧・和歌等

五四　（仮題）墨絵と歌　（二七九二）
（明治以降）　二通
宮崎宮社務所ゟ古野惣五郎宛

五五　万葉集類推抄外　（二七一七）
（明治以降）　五通

五六　酒徳の歌　（二九九七）
（明治以降）　一通

五七　喜多流小謡集　（一九六四）
（明治以降）　書冊　一冊

五八　（仮題）謡曲本　（一九六五）
（明治以降）　書冊　一冊

五九　醸造新報　（一九六・二三〇・二四六）
明治廿五～廿六年刊　書冊　三冊
帰一社発行。四・七・十六号

六〇　規矩要法条目伝図解　（二二一七・二二一八）
（明治以降刊）　書冊　二冊

六一　傍聴筆記法　（二〇五八）
（明治以降）　書綴　一綴

六二　暗号台帳　（二〇三三）
（明治以降）　書綴　一綴

六三　惨風悲雨世路日記　上編　（一六四五）
（明治以降）　書綴　一綴

六四　（仮題）文法　（三一三九）
（明治以降）　断簡

六五　（仮題）語彙集　（三〇八七）
（明治以降）　一巻

六六 万思録　（一九八三）
（明治以降刊）　小横帳　一冊
寒陋樵夫

六七 （仮題）語義覚　（二六九〇）
（明治以降）　一通

六八 稲作改良法心得書　（一七九八）
明治十二年十二月刊　一通
福岡県第二課

六九 将基絶妙　下　（一九六一）
（明治以降刊）　書冊　一冊
伊藤宗看先生撰

12 書状

一 書状　（一八四九）
明治五年五月　（包紙入）二通
戸長佐藤藤十郎ゟ。諸帳簿覚

二 書状　（一五一六）
明治八年　一通
民費書上の件

三 書状　（二八八六）
明治十一年八月十八日　（包紙入）一通
皆川直郎ゟ古野惣五郎宛

四 書状　（一八六四）
明治十二年一月四日　（包紙入）一通
小倉松尾伴七ゟ山口村松尾順助宛。裁判所出頭の件

五 書状　（一三六四）
明治十三年四月六日　（包紙入）一通
武谷与作ゟ古野惣五郎宛。講取当金の件外

六 書状　（一五五八）
明治十三年十二月九日　二通
大坂井原健吾ゟ古野惣五郎宛。大坂の商況等。付、大阪日報附録

七 書状　（一五五五）
明治十三年十二月十日　（封筒入）一通
井原金助ゟ古野惣五郎宛。教育の件

八 書状　（一五五七）
明治十三年十二月十四日　（封筒入）二通
大坂井原健吾ゟ古野惣五郎宛。品物甚不人気。付、大阪日報附録堂島米相場外相場

九 書状　（一八二二）
明治十三年十二月廿六日　（包紙入）一通
山口村松尾伴七ゟ古野惣五郎宛。樺ノ実の直段外

一〇 書状　（四七四）
明治十四年　（封筒入）一通
直轄太宰府教会ゟ古野惣五郎宛

一二　書状　（一五八三）
明治十四年二月十九日　一通
健作ゟ古野宛。縁談の件

一三　書状　（一八〇四）
明治十四年十月廿五日　一通
期盛会長久野寂也ゟ古野惣五郎宛。極楽寺に於て協同期盛会開会の報知

一三　書状　（四五八）
明治十四年十一月十三日外　（封筒入）二通
古野伴六外ゟ春田恕生宛。太宰府飛梅講社入社式に付参詣の件

一四　書状　（一八五七）
明治十四年十一月廿四日　（包紙入）五通
長浜太三郎外ゟ古野惣五郎宛。協同期成会の件外

一五　書状　（八九八）
明治十五年　（封筒入）三通
吉田新一郎ゟ大神昇誉宛。川上親睦会の件外

一六　書状　（四五七）
明治十五年三月廿八日　（封筒入）一通
太宰府神社社務所ゟ古野惣五郎宛。九八〇年遠忌に付大祭執行致ゟ条報知の事

一七　書状　（四五九）
明治十五年八月廿五日　（封筒入）一通
太宰府神社社務所ゟ古野惣五郎宛。官幣小社に昇格に付大祭執行の報知

一八　書状　（二八一三）
明治十五年八月廿八日　二通
報道会開会通知

一九　書状　（九〇〇）
明治十五年九月七日　（封筒入）五通
郡役所ゟ古野運平宛。出頭可致

二〇　書状　（九〇四）
明治十五年九月十五日　（包紙入）二通
長浜太三郎ゟ古野伴六外宛。四郎丸村倉久村戸長欠員ニ付長浜太三郎へ聞次戸長申談ゟ件

二一　書状　（八九九）
（明治十五年）十月廿九日　（封筒入）二通
有吉又作ゟ古野惣五郎宛。四郡連合親睦会の件

二二　書状　（四八三）
明治十五年十二月　一通
太宰府神社社務所ゟ古野宗五郎外宛

二三　書状　（一四三五）
明治十六年八月十四日　一通
倉久村柿原ゟ教員田代徳太郎宛。月給送付の事

二四 書状　（一〇九五）
明治十六年十二月廿九日　二通
伊藤寛作ゟ古野惣五郎宛。利子残り分受取

二五 書状　（一〇七五）
明治十七年一月三日　一通
神谷幸助ゟ惣五郎宛。借用金利金丈指上ル

二六 書状　（一四一六）
明治十七年二月　一通
古野惣五郎ゟ高崎源六郎外宛。野口貞次郎方寅次郎を聟に貰受度

二七 書状　（一一七七）
明治十七年四月五日（包紙入）一通
神谷幸助ゟ古野惣五郎宛。野口貞次郎弟縁談の事

二八 書状　（一四二八）
明治十七年四月（包紙入）三通
高崎源六郎ゟ古野惣五郎宛。養子の件

二九 書状　（一三一〇）
（明治十七年）五月廿七日（封筒入）二通
的場藤三郎ゟ古野惣助宛。清酒の件

三〇 書状　（一三一九）
明治十七年六月七日（封筒入）二通
遠賀郡高崎源六郎ゟ古野惣五郎宛。付、金子受取

三一 書状　（一三〇九）
明治十七年六月十一日（封筒入）一通
倉田主米造ゟ古野惣五郎宛。中身は宗像松尾峯吉書状。酒造売渡約定証、酒造代金払目録

三二 書状　（一三一五）
（明治十七年）八月七日（封筒入）三通
宗像郡御用掛花田ゟ倉田津九郎宛。封酒開披の儀に付伺外

三三 書状　（一三〇八）
明治十七年八月八日（封筒入）五通
福丸分署ゟ古野惣五郎宛。封酒の受書の事

三四 受取　（一三〇五）
明治十七年八月四日　一通
津屋崎村豊村喜三郎ゟ巡番差七宛。清酒差押への上御預け相成ル

三五 書状　（一三一三）
（明治十七年）八月八日（包紙入）一通
片江ゟ古野惣五郎宛。福丸分署の件

三六 書状　（一三一四）
（明治十七年）八月八日（封筒入）三通
倉田津九郎ゟ真鍋房吉外宛。松尾峯吉酒造税未納一件

三七 書状　（一四七三）
明治十七年八月廿二日（封筒入）三通
中西喜一郎ゟ古野惣五郎宛。小作米の件

三八　書状　（一二九五）
明治十七年八月廿八日　一通
伊藤寛作ゟ古野惣五郎宛。借入金の件

三九　書状　（一一五九）
明治十七年九月十三日外　（封筒入）二通
宮田村外三ケ村戸長渡辺壮兵衛ゟ有木村外四ケ村戸長古野惣五郎宛。土木委員長人選の義

四〇　書状　（一五〇〇）
明治十七年九月廿六日　（封筒入）一通
中西喜一郎ゟ古野惣五郎宛。借用願

四一　書状　（一四三三）
明治十七年九月　（包紙入）一通
倉久村山崎組中ゟ古野惣五郎宛。衛生委員人選の義

四二　書状　（一四三二）
明治十七年十月廿日　（包紙入）一通
山崎組合中ゟ柿原宅七宛。村用掛の義難相立ゟ

四三　書状　（一三二一）
明治十七年十月卅日　（封筒入）一通
鞍手郡役所ゟ古野惣五郎宛。学務委員の件

四四　書状　（一二九一）
明治十七年十月　一通
有吉与七ゟ伊藤寛作宛。金子返済催促

四五　書状　（一二九五）
明治十七年十一月八日　（封筒入）二通
福丸村外四ケ村役場ゟ古野惣五郎宛。学務委員選挙の件外

四六　書状　（一二五八）
明治十七年十二月二日　（封筒入）一通
鞍手郡役所ゟ下有木村役所宛

四七　書状　（一二九〇）
明治十七年十二月六日　一通
伊藤寛作ゟ古野惣五郎宛。返金の件

四八　書状　（一四二六）
明治十七年十二月九日　一通
片田正見外ゟ古野惣五郎宛。友盛社の件

四九　書状　（一一六二）
明治十八年一月十日　（封筒入）一通
郡長矢野矢ゟ古野惣五郎宛。出頭の事

五〇　書状　（一一六一）
明治十八年一月廿四日　（封筒入）一通
春田恕生ゟ戸長古野惣五郎宛。山ノ口溜池修繕夫賃金の渡方依頼

五一　書状　（一七三九）
明治十八年一月廿八日　一通
神谷幸助ゟ古野惣五郎宛。利子差上

三二　書状　（一一六三）
明治十八年二月十七日　（封筒入）一通
郡長矢野矢ゟ古野惣五郎宛。商標の件

三三　書状　（一四一九）
明治十八年三月六日　一通
鞍手郡役所ゟ古野惣五郎宛。土木破壊箇所修繕着手順序の義

三四　書状　（一一六〇）
明治十八年三月十日　（封筒入）一通
山口村外一ケ村戸長大音重武ゟ戸長古野惣五郎宛。集会日延の事

三五　書状　（一三三一）
明治十八年三月卅一日　（封筒入）一通
鞍手郡役所ゟ古野惣五郎宛。辞表再提出に付

三六　書状　（一三二八）
明治十八年四月一日　（包紙入）一通
村田嘉納ゟ戸長古野惣五郎宛。呼出状

三七　書状　（一一五一）
明治十八年四月六日　（封筒入）一通
郡役所村田嘉納ゟ古野惣五郎宛。行軍に付戸長以下拝観の件

三八　書状　（一三一二）
明治十八年四月八日　（封筒入）二通
学務委員不破保良ゟ戸長古野惣五郎宛。不景気に付分校願案不採用の事

三九　書状　（二八八八）
明治十八年四月廿日　一通
直方町占部三折ゟ古野惣五郎宛。退職を惜しむ弁

四〇　書状　（一八一七）
明治十八年旧正月廿八日　（封筒入）二通
入江伝十ゟ古野惣五郎宛。米借用証外

四一　書状　（一二二七）
明治十八年三月十八日　（封筒入）一通
吉田庄兵衛ゟ古野惣五郎宛。金策の件

四二　書状　（一二三一）
明治十八年三月廿三日　（包紙入）一通
後藤健作ゟ古野惣五郎宛。先日依頼の金談口

四三　書状　（一三八一）
明治十八年五月廿一日　（封筒入）四通
黒丸村安永丈志ゟ古野惣五郎宛。明栄社配当預り金返済延期の件

四四　書状　（二八六四）
明治十八年六月十一日　（封筒入）二通
福田吉蔵ゟ古野惣五郎宛。空樽の件、米値段外

五五　書状　（一八五五）
明治十八年九月四日　一通
岩尾清八ゟ古野宗五郎宛。酒代の件

六六　書状　（一八六七）
明治十八年九月十五日　（封筒入）一通
中西四郎平ゟ古野惣五郎宛。酒の質の件

六七　書状　（一八六二）
明治十八年十一月七日　一通
赤間村出光右兵ゟ古野惣助宛。醤油醪の件

六八　書状　（一二九六）
明治十八年十二月廿四日　一通
伊藤寛作ゟ古野惣五郎宛。金談の件

六九　書状　（一二九三）
明治十八年十二月十五日　一通
伊藤寛作ゟ古野惣五郎宛。借入金の件

七〇　書状　（一二九七）
明治十八年　（封筒入）二通
伊藤寛作ゟ古野惣五郎宛。口入金督促の件

七一　書状　（一八七〇）
明治十九年一月　一通
植木村戸長役場ゟ四郎丸村戸長役場宛。地券受取の件

七二　書状　（一二八四）
明治十九年七月十二日　一通
伊藤寛作ゟ古野惣五郎宛。浅木より口入金の返金分受取

七三　書状　（一二八三）
明治十九年十一月廿五日　一通
有吉与七ゟ伊藤寛作宛。若宮ゟの定約金催促の件

七四　書状　（一二八一）
明治十九年十二月十九日　一通
伊藤寛作ゟ古野惣五郎宛。金子受取外

七五　書状　（一二九八）
明治十九年十二月廿六日　（封筒入）四通
伊藤寛作ゟ古野惣五郎宛。津丸講、金策の件外

七六　書状　（六一二）
明治十九年四月　一通
頓野村早川義方ゟ古野惣五郎宛。土地の事

七七　書状　（一八七九）
明治廿年　（包紙入）一通
入江卯太郎ゟ古野惣五郎宛。松尾助右衛門へ係る預け米催促一件に付外

七八　書状　（一三四〇）
明治廿年　四通
戸長役場ゟ恕生宛。報労金上納督促の事、農業取締人の事外。付、四郎丸村固有村会議案

一九　書状　（一三四三）
明治廿年二月三日　一通
春田恕生ゟ吉田寛人宛。村協議費取替金借用願

二〇　書状　（一二八〇）
明治廿年二月十六日　一通
伊藤寛作ゟ古野惣五郎宛。金子受取

二一　書状　（一一〇三）
明治廿年三月十日　一通
戸長ゟ惣五郎宛。拝借の夜具返戻の事

二二　書状　（一三一七）
明治廿年三月廿六日　（封筒入）一通
安部藤五郎ゟ福岡大林区署宛。官林焼失木払下願

二三　書状　（六一九）
明治廿年七月廿四日　（封筒入）一通
占部三折ゟ古野惣五郎宛。願書の件

二四　書状　（一五三八）
明治廿年八月九日　（封筒入）一通
実力社長占部三折ゟ古野惣五郎宛。九州鉄道会社に対する受負請求書の件

二五　書状　（一八五〇）
明治廿年八月廿日　一通
戸長役場ゟ春田恕生宛。土地整理委員会での訓示の事

二六　書状　（一五三七）
（明治廿年）八月廿一日　（封筒入）一通
広野歩作ゟ古野惣五郎宛。実力社事業に付

二七　書状　（二七五四）
明治廿年十一月廿一日　（包紙入）一通
入江伝内ゟ吉田寛人宛。村協議費等取替分付出申ゟに付割方願

二八　書状　（一一五〇）
明治廿年十二月五日　一通
春田恕生ゟ古野寛人宛。村協議費約めの義外

二九　書状　（六一五）
明治廿年六月廿一日　（封筒入）二通・葉書一葉
小田甚作ゟ古野惣五郎宛。鉄道株の件

三〇　書状　（三〇六二）
明治廿一年二月廿一日　（包紙入）二通
戸長役場ゟ古野惣五郎宛。全郡連合会招集通知

三一　書状　（一二七九）
明治廿年十一月廿三日外　（封筒入）三通
伊藤寛作ゟ惣五郎宛。金子受取

三二　書状　（一三三七）
明治廿一年四月四日　一通
吉田寛人ゟ入江卯太郎外宛。廿一年度固有町村会開会通知

九三　書状　（一三三三）
明治廿一年五月十三日　（封筒入）三通
鞍手郡土工方勝木茂一郎ゟ四郎丸村土木懸吉田寛人宛。郡道修繕出夫通知書外

九四　書状　（一三三四）
明治廿一年六月廿三日　一通
勝木茂一郎ゟ吉田寛人宛。土木精算帳調製に付

九五　書状　（一二五九）
明治廿一年七月廿日　二通
古ノ寛人ゟ八尋村用懸宛。井堰打落ゟ件。付、断証

九六　書状　（一三四四）
明治廿一年七月廿一日　（封筒入）一通
八尋村用懸許斐次郎七ゟ吉田寛人宛。田代等が二ケ所の堰を落しゟ件

九七　書状　（一三六五）
明治廿一年十一月五日　（封筒入）四通
福丸郵便局ゟ古野惣助宛。切手売下所廃停の事

九八　書状　（一八四一）
明治廿一年十一月　（封筒入）三通
有吉又作ゟ吉田寛人宛。黒田隆政遠祭に付

九九　書状　（二二七四）
明治廿二年三月二日　（封筒入）一通
小田甚作ゟ古野惣五郎宛。犬鳴道路測量の件

一〇〇　書状　（一三七四）
明治廿二年四月十九日　（封筒入）一通
用掛有吉義三郎ゟ斉藤久平宛。笠松宮の祭礼間近に付

一〇一　書状　（一八四二）
明治廿二年五月九日　二通
戸長役場ゟ吉田寛人外宛。土木及び会議費の件外

一〇二　書状　（一八二四）
明治廿二年五月廿二日　一通
犬鳴道路開鑿工事取調古野惣五郎宛。辞令

一〇三　書状　（一三一八）
明治廿二年五月廿九日　（封筒入）一通
笠松村役場ゟ用係吉田寛人宛。清潔法検査に付

一〇四　書状　（一〇七六）
明治廿二年旧閏十二月廿七日　一通
極楽寺住職大神昇誉ゟ古野惣五郎宛。寄附願

一〇五　書状　（一三三六）
（明治廿三年）二月廿三日　一通
吉田寛人ゟ古野惣五郎宛。廿二年度所轄通常連合会開設の通知外

一〇六　書状　（一八五五）
明治廿三年四月　一通
古野惣五郎ゟ鞍手銀行徳永愛三郎宛。領収証

一〇七　書状　（一三五九）
明治廿三年六月八日　（封筒入）一通
倉田津九郎ゟ古野惣五郎宛。製糸事業への援助願

一〇八　書状　（三〇八四）
明治廿三年九月廿三日　（封筒入）一通
庄野金十郎外ゟ古野惣五郎宛。福岡くらぶ解散の件

一〇九　書状　（一三八三）
明治廿五年五月　（包紙入）二通
福丸郵便局ゟ四郎丸切手売下所宛。切手売下人心得の追加の事

一一〇　書状　（一二四八）
明治廿五年五月廿九日　（封筒入）一通
古野寛人ゟ荒巻常次郎宛。炭価の件外

一一一　書状　（一三八九）
明治廿六年七月三日　（封筒入）一通
武谷与作ゟ古野惣五郎宛。土木主任光安の兼任の件外

一一二　書状　（一三九〇）
明治廿六年七月四日　（封筒入）二通
武谷与作ゟ古野惣五郎宛。惣五郎の所得税調査委員辞退届外

一一三　書状　（一四〇六）
明治廿六年七月十五日　一通
笠松村役場ゟ古野惣五郎宛。辞令交付相成ル

一一四　書状　（一八二一）
明治廿六年八月　（封筒入）一通
福丸郵便局ゟ古野惣助宛。切手差出

一一五　書状　（一四二三）
明治廿七年四月二日　（包紙入）一通
村長武谷与作ゟ入江貞太郎外宛。堤防借地の件

一一六　書状　（一七九五）
（明治廿七年）六月十一日　二通
高田ゟ京野炭坑古野寛人宛。汽缶の件

一一七　書状　（一一九七）
明治廿七年七月六日　（封筒入）二通
古野寛人ゟ古野惣五郎宛。炭坑売買の件外

一一八　書状　（一二〇六）
明治廿七年七月九日　（封筒入）二通
古野寛人ゟ古野惣五郎宛。粮米買入、炭坑の件外

一一九　書状　（一二〇七）
明治廿七年七月十日　（封筒入）一通
久村融法ゟ古野惣五郎宛。柏原一件

一二〇　書状　（一一九八）
明治廿七年七月十一日　（封筒入）二通
古野寛人ゟ古野惣五郎宛。石炭代金の件外

一二一　書状　（一二〇五）
明治廿七年七月　（封筒入）二通
古野寛人ゟ古野惣五郎宛。衆議院議員候補の件

一二二　書状　（一二〇八）
明治廿七年七月廿二日　（封筒入）二通
神崎慶次郎ゟ古野惣五郎宛。筑豊鉄道株価の報知外

一二三　書状　（一四五四）
明治廿七年九月　（封筒入）一通
広橋ゟ戸田宛。往診願

一二四　書状　（九四五）
明治廿七年十月十七日　（封筒入）一通
野口友吉ゟ古野広人宛。野村久七郎書状入

一二五　書状　（九五九）
明治廿七年十一月七日　一通
与作ゟ古野寛人宛。賞状の件

一二六　書状　（九四三）
（明治廿七年）　（封筒入）一通
野口友吉ゟ古野広人宛

一二七　書状　（一七五二）
明治廿八年三月廿八日　一綴
古野寛人ゟ弁護士丸田重雄宛。長井鶴保証金訴訟の件、京野炭坑関係

一二八　書状　（二九二七）
明治廿九年三月十日　一通
古野惣五郎ゟ筑豊興業鉄道会社宛。常乗切符の件

一二九　書状　（二九二五）
明治廿九年三月十六日　一通
筑豊鉄道株式会社ゟ古野惣五郎宛。常乗車券紛失の件

一三〇　書状　（一八二三）
明治廿九年五月九日　（包紙入）四通
倉田津九郎ゟ古野惣助宛。郡衙差入の担保取消の件外

一三一　書状　（一一八四）
明治廿九年五月十九日　（封筒入）二通
古野惣助ゟ古野惣五郎宛。病人の事外。付、古野寛人宛書状

一三二　書状　（一二一八）
明治廿九年六月　（封筒入）一通
直方郵便局ゟ古野惣助宛。小包到着通知

一三三　書状　（一二一三）
明治廿九年六月廿五日　（封筒入）一通
山近保太郎ゟ古野惣五郎宛。寛人身上の件外

一三四　書状　（一二一二）
明治廿九年七月廿九日　（封筒入）一通
高崎源六郎ゟ古野惣五郎宛

一三五　書状　（一七七五）
明治廿九年八月十四日　一通
原田専三郎ゟ古野惣五郎宛。小倉神崎氏引受株に対する証拠金の件外

一三六　書状　（二五一四）
明治廿九年九月廿一日　（封筒入）一通
小倉神崎岩蔵ゟ古野惣五郎宛。鞍手銀行創立に付引受株の件

一三七　書状　（一八三六）
明治廿九年九月廿七日　一通
古野惣助ゟ原田重明宛。品評会宴会の代金請求

一三八　書状　（一八三四）
明治廿九年十月三日　一通
鞍手銀行ゟ古野監査役宛。小倉神崎氏の件

一三九　書状　（二八七一）
明治卅年六月廿六日　（封筒入）一通
古野惣五郎ゟ酒造同業組合中宛。酒値上の件

一四〇　書状　（一一七六）
明治卅年六月廿七日　（封筒入）一通
田代貞敏外ゟ古野惣五郎宛。酒値上の件

一四一　書状　（二八七二）
明治卅年七月廿五日　（封筒入）一通
麻生惣兵衛ゟ古野惣五郎宛。酒値上の件

一四二　書状　（一二六二）
明治卅年八月五日　（封筒入）二通
上田口太郎ゟ古野惣助宛。酒価の義

一四三　書状　（一一九九）
明治卅年八月六日　（封筒入）一通
神谷豊次郎ゟ古野惣五郎宛。出産報知

一四四　書状　（二八七四）
明治卅年九月十日　（封筒入）一通
酒造業組合山口正義ゟ古野惣助宛。不納金請求

一四五　書状　（一七五七）
明治卅年十二月十五日　（封筒入）一通
区長古野惣五郎ゟ原田重明宛。経費取立の件

一四六　書状　（一八二〇）
明治卅一年二月　（封筒入）一通
古野惣五郎ゟ秋子可蔵外宛。全国品評会へ清酒出品の義

一四七　書状　（一八七六）
明治卅一年二月　一通
古野惣五郎ゟ秋子可壮外宛。全国品評会へ出品の件

一四八　書状　（一八七三）
明治卅一年二月　（封筒入）一通
古野惣五郎ゟ元一外宛。全国品評会への出品の件

一四九　書状　（一八〇二）
明治卅一年二月九日　（封筒入）一通
酒造業組合小林作五郎ゟ古野惣五郎宛。衆議員候補者交渉委員を嘱託する件

一五〇　書状　（二八七三）
明治卅一年二月十四日　一通
小林作五郎ゟ。全国品評会へ出品、標章の件外

一五一　書状　（一一五二）
明治卅一年三月十五日　（封筒入）二通
古野惣五郎ゟ上田徳太郎宛。酒値上の件

一五二　書状　（二八七五）
明治卅一年三月廿七日　二通
小林作五郎ゟ古野惣五郎外宛。前田正名火事見舞の件

一五三　書状　（一七八八）
明治卅一年五月九日　（封筒入）一通
光安与三郎ゟ古野惣五郎宛。投票期日公告の義

一五四　書状　（一三六八）
明治卅一年五月十七日　（封筒入）二通
入江伝十ゟ古野惣五郎宛。委任状（鞍手銀行株主宛）の事

一五五　書状　（一三七八）
明治卅一年五月十七日　（封筒入）二通
木野克巳ゟ古野惣五郎宛。郡会告知の件外

一五六　書状　（一七八七）
明治卅一年五月　（筒封入）一通
光安与三郎ゟ古野惣五郎宛。綿屋源太郎方集会日延の件

一五七　書状　（一七八六）
明治卅一年五月六日　（封筒入）二通
木野克巳ゟ古野惣五郎宛。訴願書提出一件

一五八　書状　（一一八九）
明治卅一年八月廿二日　（封筒入）一通
福岡県酒造組合ゟ古野惣五郎宛

一五九　書状　（一一九一）
明治卅一年八月廿三日　（封筒入）二通
古野惣五郎ゟ鞍手郡酒造家宛。組合への納付金の事

一六〇　書状　（一一九〇）
明治卅一年八月廿六日　（封筒入）一通
福岡県酒造組合ゟ古野惣五郎宛

一六一　書状　（一一九二）
明治卅一年九月三日　（封筒入）一通
福岡県酒造組合ゟ古野惣五郎宛

一二三　書状　（一一九三）
明治卅一年九月　（封筒入）二通
福岡県酒造組合ゟ古野惣五郎宛。付、酒売却金配当人名

一二三　書状　（一一九四）
明治卅一年九月廿日　（封筒入）一通
福岡県酒造組合ゟ古野惣五郎宛。清酒県下品評会の件外

一二四　書状　（一一九二四）
明治卅一年九月廿七日　一通
小林作五郎ゟ。品評会及び評議員会の開会報知

一二五　書状　（三〇六一）
明治卅一年十月三日　（封筒入）一通
助役光安与三郎ゟ古野惣五郎宛。郡会開催通知外

一二六　書状　（一一七三）
明治卅二年五月　（封筒入）四通
直方税務署ゟ古野惣五郎宛。鞍手郡卅一年度査定石高及び古酒現在高外

一二七　書状　（一三四七）
明治卅二年七月廿九日　（封筒入）一通
倉田津九郎ゟ古野惣五郎宛。取引に必要な筆蹟、印鑑等の送付依頼

一二八　書状　（一三八二）
明治卅二年八月十日　（封筒入）三通
福丸局ゟ古野惣助宛。切手印紙売下免許証送付

一二九　書状　（一一七二）
明治卅二年九月十九日　（封筒入）二通
福岡県酒造組合ゟ古野惣五郎宛。重要物産品評会の件

一三〇　書状　（一一七〇）
明治卅二年九月廿五日　（封筒入）一通
原田重明ゟ古野惣助宛。重要物産品評会出品申込書

一三一　書状　（一一六六）
明治卅二年十月廿一日　（封筒入）二通
福岡県酒造組合ゟ古野惣五郎宛。島弥平に係る定款違約処分書の件外

一三二　書状　（一三五一）
明治卅三年二月十一日　（封筒入）二通
倉田津九郎ゟ古野惣五郎宛。帝国商業銀行へ振込の約束手形の件外

一三三　書状　（一三五〇）
明治卅三年二月廿二日　（封筒入）一通
神興村倉田津九郎ゟ古野惣五郎宛。約手裏書の分外

一三四　書状　（一三五四）
明治卅三年三月十三日　（封筒入）二通
倉田津九郎ゟ古野惣五郎宛。酒造家納税の件外

一三五　書状　（一三五二）
明治卅三年三月廿四日　（封筒入）一通
倉田津九郎ゟ古野惣五郎宛。百三十銀行交渉の件

一六六　書状　（一三五七）
明治卅三年五月廿五日　（封筒入）一通
倉田ゟ古野惣五郎宛。手形送付通知

一七七　書状　（一六二〇）
明治卅三年八月十五日　（封筒入）二通
舌間稲平ゟ古野惣五郎宛。金子受取

一七八　書状　（六二〇）
明治卅三年八月　（封筒入）一通
百三十銀行北村直ゟ古野惣五郎宛。倉田振出約束手形に付償還請求

一七九　書状　（六二一）
明治卅三年八月　（封筒入）三通
百三十銀行北村直ゟ古野惣五郎宛。倉田振出約束手形の件

一八〇　書状　（一五一一）
明治卅四年四月十五日　（封筒入）三通
舌間稲平ゟ古野惣五郎宛。年賦約定金請取

一八一　書状　（六二二）
明治卅四年十二月廿一日　（封筒入）一通
倉田津九郎ゟ古野惣五郎宛。競売の件外

一八二　書状　（一二七〇）
明治四十年十一月廿一日　（封筒入）一通
古野惣助ゟ古野惣五郎宛。病気の事

一八三　書状　（一二六九）
明治四十年十一月廿三日　（封筒入）一通
古野惣助ゟ古野惣五郎宛。病状の事外

一八四　書状　（一二六六）
明治四十年十一月廿八日　（封筒入）一通
笠松村役場萩本藤次郎ゟ古野惣五郎宛。病気見舞

一八五　書状　（一二六四）
明治四十年十一月卅日　（封筒入）一通
小林ゟ古野惣五郎宛。病気見舞

一八六　書状　（一二六三）
明治四十年十二月三日　（封筒入）一通
古野惣助ゟ古野惣五郎宛。石炭試堀の件外

一八七　書状　（一二五五四）
（明治以降）四月廿七日　（尾欠）一通
有吉万吉ゟ吉田寛人宛。憲法発布に付高令者に金円下賜の件

一八八　書状　（一〇八一）
（明治以降）五月廿七日　（包紙入）一通
かとや勝平ゟ役場宛。痘瘡人死去に付

一八九　書状　（一〇九一）
（明治以降）二月廿二日　一通
小林惣太ゟ古野惣五郎宛。薩州追討令の件外

一九〇　書状　（一二八二）

（明治以降）十一月廿九日　一通

伊藤寛作ゟ古野惣五郎宛。返金依頼外

一九一　書状　（一二八五）

（明治以降）七月十四日　二通

浅木有吉与七ゟ伊藤寛作宛。若宮口返済金請求

一九二　書状　（一二八六）

（明治以降）十月二日　一通

伊藤寛作ゟ古野惣五郎宛。浅木口返金請求

一九三　書状　（一二八七）

（明治以降）五月廿七日　一通

伊藤寛作ゟ古野惣五郎宛

一九四　書状　（一二八八）

（明治以降）五月廿七日　一通

伊藤寛作ゟ古野惣五郎宛。浅木口返済金の件

一九五　書状　（一二八九）

（明治以降）一月二日　一通

伊藤寛作ゟ古野惣五郎宛。浅木口返済金の件

一九六　書状　（一二九二）

（明治以降）十一月三日　一通

伊藤寛作ゟ古野惣五郎宛。浅木口返済金の件

一九七　書状　（一二九四）

（明治以降）十一月十三日　一通

伊藤寛作ゟ古野惣五郎宛。浅木口ゟ借入金の件

一九八　書状　（一一〇二）

（明治以降）旧一月十日　一通

伊藤寛作ゟ古野惣五郎宛。法事案内

一九九　書状　（一四三八）

（明治以降）　（包紙入）三通

伊藤寛作ゟ古野惣五郎宛。縁談の件

二〇〇　書状　（一四三九）

（明治以降）三月十九日　（封筒入）一通

伊藤寛作ゟ古野惣五郎宛。縁談の件

二〇一　書状　（一四三〇）

（明治以降）八月四日　（封筒入）一通

伊藤寛作ゟ古野惣五郎宛。神谷宅へ出浮の由承知

二〇二　書状　（一三九九）

（明治以降）三月二日　（包紙入）二通

伊藤寛作ゟ古野惣五郎宛。津丸講掛金の件

二〇三　書状　（一一一八）

（明治以降）八月廿日　一通

石井与一郎ゟ古野惣五郎宛。道具返納の事

二〇四　書状　（六四六）
（明治以降）六月十九日　一通
石井与一郎ゟ古野惣五郎宛

二〇五　書状　（一一〇一）
（明治以降）五月廿八日　一通
石井与一郎ゟ古野惣五郎宛。礼状

二〇六　書状　（一八五九）
（明治以降）八月廿九日　（封筒入）一通
秋子可荘ゟ古野惣五郎宛。酒価の義

二〇七　書状　（一八六〇）
（明治以降）九月七日　（封筒入）一通
秋子可荘ゟ古野惣助宛。酒価の件

二〇八　書状　（一八六一の一）
（明治以降）九月二日　一通
石井郎次ゟ秋子可荘宛

二〇九　書状　（一八六一の二）
（明治以降）九月五日　一通
秋子可荘ゟ古野惣五郎宛。酒値上げの件

二一〇　書状　（一四二二）
（明治以降）十一月卅日　（封筒入）一通
秋子ゟ古野惣五郎宛。返金済に付預り書返納

二一一　書状　（一一七四）
（明治以降）六月廿五日　（封筒入）一通
秋子可荘ゟ古野惣五郎宛。酒造業組合組織の義

二一二　書状　（六一四）
（明治以降）十月十六日　（封筒入）一通
秋子可荘ゟ古野惣五郎宛。清酒値上の事

二一三　書状　（六四七）
（明治以降）十二月四日　一通
保長入江伝十ゟ副戸長古野惣五郎宛

二一四　書状　（六四九）
（明治以降）六月十九日　一通
吉田新一郎ゟ古野惣五郎宛。暴動の件

二一五　書状　（六四三）
（明治以降）二月十六日　一通
新一郎ゟ惣五郎宛。造酒売立願案書の件

二一六　書状　（一〇七七）
（明治以降）十二月廿三日　一通
神屋幸助ゟ惣五郎宛。返金の件

二一七　書状　（三〇三二）
（明治以降）七月十三日　（封筒入）一通
神屋幸助ゟ古野惣五郎宛。供物の礼

二八　書状　（三〇一五）
（明治以降）旧閏五月廿七日　（封筒入）一通
神谷幸助ゟ古野惣五郎宛。法事の案内

二九　書状　（一五八〇）
（明治以降）七月十二日　（封筒入）一通
神谷幸助ゟ古野惣五郎宛。出産祝いの礼

三〇　書状　（一五七三）
（明治以降）十月廿九日　（封筒入）一通
原田伴三郎ゟ神谷幸助宛。仏事の案内

三一　書状　（一五六五）
（明治以降）五月卅日　一通
神谷幸助ゟ古野惣五郎宛。講掛金の件外

三二　書状　（一五六〇）
（明治以降）九月　一通
神谷幸助ゟ古野惣五郎宛。敬次郎依頼の上半紙送付通知

三三　書状　（一四四九）
（明治以降）十二月十二日　一通
神谷ゟ古野宛。戸籍引合せの件報告

三四　書状　（一四一五）
（明治以降）　（封筒入）一通
神谷幸介ゟ惣五郎宛。縁談の件

三五　書状　（一四〇三）
（明治以降）三月五日　（包紙入）一通
神谷幸助ゟ古野惣五郎宛。養子の件

三六　書状　（一三二六）
（明治以降）三月卅日　（封筒入）一通
神谷幸助ゟ古野惣五郎宛

三七　書状　（一三二四）
（明治以降）四月十四日　（封筒入）一通
神谷幸助ゟ古野惣五郎宛。遠賀取合の始末

三八　書状　（一二五一）
（明治以降）四月五日　一通
神谷幸助外ゟ古野惣五郎宛

三九　書状　（一二四九）
（明治以降）十月廿六日　（封筒入）一通
下村神谷幸助ゟ古野惣五郎宛。上有木村神谷徳四郎の義

三〇　書状　（一二三〇）
（明治以降）三月廿一日　（封筒入）二通
神谷幸助ゟ古野惣五郎宛。金策の申込断りの事

三一　書状　（一二二六）
（明治以降）三月廿七日　（封筒入）一通
神谷幸助ゟ古野惣五郎宛。地租金支払のための金策

二三　書状　（八四九）
（明治以降）三月廿八日　一通
井原源吾ゟ惣五郎宛。囲碁会案内

二三　書状　（五四〇）
（明治以降）十一月十七日　一通
井原健吾ゟ古野惣五郎宛。酒糟送方延引の件外

二四　書状　（二九九八）
（明治以降）七月十二日　（封筒入）一通
井原健吾ゟ古野惣五郎宛。法事案内への返事外

二五　書状　（一七三八）
（明治以降）十月十六日　一通
井原健吾ゟ古野惣五郎宛。依頼の酒糟の件

二六　書状　（一五六九）
（明治以降）十一月三日　（封筒入）一通
井原健吾ゟ古野惣五郎宛。荷物船積の件外

二七　書状　（一四八二）
（明治以降）七月廿七日　一通
井原健吾ゟ古野惣五郎宛。酒袋木綿直段の義外

二八　書状　（一四一七）
（明治以降）四月三日　（封筒入）一通
井原健吾ゟ古野惣五郎宛。養子の件

二九　書状　（一三一九）
（明治以降）七月廿九日　（包紙入）三通
井原健吾ゟ古野惣五郎宛。金子返済の件外

二〇　書状　（一三一五）
（明治以降）三月廿日　（封筒入）一通
井原健吾ゟ古野惣五郎宛。全快祝の踊興行に付

二一　書状　（一二七三）
（明治以降）十二月廿七日　一通
井原健吾ゟ古野惣五郎宛。現米直段外

二二　書状　（一二五七）
（明治以降）四月六日　（封筒入）一通
井原健吾ゟ古野惣五郎宛。波多野等との談判の件

二三　書状　（一二五二）
（明治以降）四月五日　（封筒入）一通
井原健吾ゟ古野惣五郎宛。養子の件

二四　書状　（一二一二）
（明治以降）三月十九日　（封筒入）一通
井原健吾ゟ古野惣五郎宛。金助逃亡致しゟ事

二五　書状　（一一七八）
（明治以降）四月七日　（封筒入）一通
井原健吾ゟ古野惣五郎宛。縁談の事

二四六　書状　（一二二五）
（明治以降）四月廿七日　（包紙入）一通
入江弥太郎ゟ古野惣五郎宛

二四七　書状　（一二二一）
（明治以降）三月十一日　（封筒入）一通
入江卯太郎ゟ古野惣五郎宛

二四八　書状　（二八一七）
（明治以降）八月卅日　一通
入江卯太郎ゟ古野惣五郎外宛。報道会出欠の件

二四九　書状　（一四四六）
（明治以降）八月廿四日　（封筒入）二通
入江卯太郎ゟ古野惣五郎宛。当村測量の件

二五〇　書状　（一二二八）
（明治以降）三月廿二日　（封筒入）一通
入江卯太郎ゟ古野惣五郎宛。金子差上

二五一　書状　（一五九一）
（明治以降）五月二日　（首欠）一通
梅本弥七郎ゟ古野惣五郎宛。和一郎祝の件

二五二　書状　（一二三九）
（明治以降）三月廿三日　（封筒入）一通
梅本弥七郎ゟ古野惣五郎宛。金子調達の件

二五三　書状　（一二四〇）
（明治以降）三月廿四日　（封筒入）一通
梅本弥七郎ゟ古野惣五郎宛。香月氏等へ金策掛合の事

二五四　書状　（一二四一）
（明治以降）三月十九日　（封筒入）一通
梅本弥七郎ゟ古野惣五郎宛。香月氏へ金策掛合の件

二五五　書状　（一二一九）
（明治以降）三月廿九日　（封筒入）一通
梅本弥七郎ゟ古野惣五郎宛。金策の事

二五六　書状　（六〇五）
（明治以降）九月八日　（封筒入）一通
梅本弥七郎ゟ古野惣五郎宛。鉄道工事受負の件

二五七　書状　（六〇六）
（明治以降）九月六日　（包紙入）一通
梅本弥七郎ゟ古野惣五郎宛。遠賀鞍手の有志鉄道土木引受一件

二五八　書状　（三一三三）
（明治以降）九月三日　（封筒入）一通
梅本弥七郎ゟ古郎惣五郎宛。博多奥村店示談聞済の件

二五九　書状　（一五六二）
（明治以降）五月廿五日　（封筒入）一通
梅本弥七郎ゟ古野惣五郎宛。留守中見舞差上

二六〇　書状　（一五五九）
（明治以降）六月廿五日　（封筒入）一通
梅本弥七郎ゟ古野惣五郎宛。初歩行祝の件

二六一　書状　（五二一）
（明治以降）五月廿五日　一通
桂浜永島庄七ゟ古野惣五郎宛。永正社親掛金の件

二六二　書状　（四八一）
（明治以降）十一月廿日　（封筒入）一通
太宰府教会高杉義彦ゟ古野惣五郎宛

二六三　書状　（四七一）
（明治以降）十月十六日　（封筒入）一通
高杉義彦ゟ古野惣五郎宛。飛梅講社の件

二六四　書状　（四六〇）
（明治以降）十月三日　（封筒入）一通
高杉義彦ゟ古野惣五郎宛。飛梅講社社長の辞令

二六五　書状　（二八三二）
（明治以降）　一通
桜井鎮二郎ゟ吉田寛人宛。土地台帳訂正の照会

二六六　書状　（六六四）
（明治以降）四月十六日　一通
古野惣五郎ゟ吉田新一郎宛。酒造家中桶講の義

二六七　書状　（一六三六）
（明治以降）二月八日　（封筒入）一通
吉田新一郎ゟ古野惣五郎宛。昨年十小区割為替の内受取不足の件

二六八　書状　（五六一）
（明治以降）五月廿四日　（包紙入）二通
六大区調所松尾ゟ三十小区副戸長古野惣五郎宛。金札、旧藩札引替の件

二六九　書状　（一一三九）
（明治以降）二月　一綴
副戸長不破保良ゟ戸長古野惣五郎宛。下有木村地券証差縄一件

二七〇　書状　（一一四六）
（明治以降）八月七日　（包紙入）一通
木野金作ゟ古野惣五郎宛。地券一件

二七一　書状　（一一四七）
（明治以降）八月二日　（包紙入）一通
有吉卯三郎ゟ古野惣五郎宛。地券一件

二七二　書状　（九二九）
（明治以降）三月十五日　一通
吉川屋勘内ゟ神川屋惣五郎宛。植木講懸金受取

二三三　書状　（二八五六）
（明治以降）　一通
酒の件

二三四　書状　（一一二三）
（明治以降）二月
米屋源二郎ゟ神川屋宛。相場の報告　一通

二三五　書状　（一一二四）
（明治以降）　（包紙入）五通
菊地ゟ古野宛。占い

二三六　書状　（一一二五）
（明治以降）八月　一通
舟津六七郎ゟ古野宛。下村講の件外

二三七　書状　（一一二六）
（明治以降）八月　三通
舟津ゟ古野宛。下村講の件

二三八　書状　（六五〇）
（明治以降）一月十一日　一通
舟津善次郎ゟ古野宛。礼状

二三九　書状　（一一二七）
（明治以降）七月　一通
舟津善次郎ゟ古野宛。講掛金の件

二四〇　書状　（一一二八）
（明治以降）七月　一通
舟津善次郎ゟ古野惣五郎宛。下村講の件

二四一　書状　（一一二九）
（明治以降）七月廿日　一通
舟津善次郎ゟ古野惣五郎宛。下村講一件

二四二　書状　（一一三〇）
（明治以降）八月　一通
原田ゟ舟津善次郎宛。利子の件外

二四三　書状　（一一〇四）
（明治以降）二月　一通
梅本茂平ゟ古野惣五郎宛。礼状

二四四　書状　（一一〇六）
（明治以降）三月　一通
永嶋庄七ゟ古野惣五郎宛。あしや様一件

二四五　書状　（一一〇七）
（明治以降）五月十六日　一通
後藤城右衛門母ゟ古野家内宛

二四六　書状　（一一〇八）
（明治以降）九月　一通
塩川甚三郎ゟ古野壮五郎宛。薬の所望

二六七　書状　（一一〇九）
（明治以降）十一月十五日　一通
大村ゟ古野宛。粉の件

二六八　書状　（三〇〇八）
（明治以降）十月十七日　一通
倉田津九郎ゟ古野惣五郎宛。法事案内への返事

二六九　書状　（三〇〇四）
（明治以降）十月五日　一通
倉田津九郎ゟ古野惣五郎宛。祖母様死去に付悔み

二七〇　書状　（二九九九）
（明治以降）十月十五日　（封筒入）一通
倉田都九郎ゟ古野惣五郎宛。病気見舞外

二七一　書状　（三〇〇〇）
（明治以降）一月十二日　一通
倉田津九郎ゟ古野惣五郎宛。社倉講掛米の件外

二七二　書状　（一七八〇）
（明治以降）十一月十二日　（封筒入）二通
倉田ゟ古野寛人宛。中村鉄工所への器械修繕代の件外。付、入江貞太郎書状

二七三　書状　（一五七九）
（明治以降）五月九日　一通
倉田津九郎ゟ古野宛。大豆三俵送付通知

二七四　書状　（一四五五）
（明治以降）九月十三日　（封筒入）一通
倉田津九郎ゟ古野惣五郎宛。おまさ容体伺い

二七五　書状　（一四〇五）
（明治以降）二月廿四日　（封筒入）一通
倉田津九郎ゟ古野惣五郎宛。酒造検査の件

二七六　書状　（一三八六）
（明治以降）四月十七日　（封筒入）一通
倉田津九郎ゟ古野惣五郎宛。仕立講掛金貸与願外

二七七　書状　（六六三）
（明治以降）四月卅日　一通
倉田ゟ古野宛。酒造検査延引の件外

二七八　書状　（一三四九）
（明治以降）十二月廿五日　（封筒入）二通
倉田津九郎ゟ古野惣五郎宛。炭価・米価下落外。付、倉田峰吉書状

二七九　書状　（一三五三）
（明治以降）三月廿七日　一通
倉田津九郎ゟ古野惣五郎宛。百三十銀行への談判の件

二八〇　書状　（一三五五）
（明治以降）四月十八日　（封筒入）一通
倉田津九郎ゟ古野惣五郎宛。山大との会合に付

三〇一　書状　（一三五六）

（明治以降）五月九日　一通

倉田ゟ古野惣五郎宛。銘酒分与被下度外

三〇二　書状　（一三五八）

（明治以降）四月廿九日　（封筒入）二通

倉田津九郎ゟ古野惣五郎宛。百三十銀行談判の件外

三〇三　書状　（一三四八）

（明治以降）十月十一日　（封筒入）一通

倉田津九郎ゟ古野惣五郎宛。十七銀行へ割引依頼の約束手形の件。付、約束手形裏書

三〇四　書状　（一三二三）

（明治以降）四月十五日　（封筒入）一通

倉田津九郎ゟ古野惣五郎宛。養子の件外

三〇五　書状　（一三〇四）

（明治以降）八月十五日　一通

倉田津九郎ゟ古野惣五郎宛。封酒開緘に相成外

三〇六　書状　（一三〇三）

（明治以降）八月十三日　（封筒入）一通

倉田津九郎ゟ古野惣五郎宛。封酒は開緘の達有之ゆ哉

三〇七　書状　（一三〇二）

（明治以降）八月十日　（封筒入）一通

倉田津九郎ゟ古野惣五郎宛。封酒の義外

三〇八　書状　（五六二）

（明治以降）二月廿三日　（封筒入）一通

倉田津九郎ゟ古野惣五郎外宛。不動産競売延期の件外

三〇九　書状　（一〇七九）

（明治以降）八月九日　一通

倉田津九郎ゟ古野惣五郎宛。小麦相場の件

三一〇　書状　（二二九七）

（明治以降）一月十三日　（封筒入）一通

笠松村役場ゟ倉田津九郎宛。古野惣五郎所有船・荷車の調査の件

三一一　書状　（一一〇五）

（明治以降）五月十六日　一通

倉田津九郎ゟ古野惣五郎宛。法事案内

三一二　書状　（一一一〇）

（明治以降）五月九日　一通

倉田津九郎ゟ古野惣五郎宛。酒造検査官の件

三一三　書状　（一一一二）

（明治以降）五月　一通

倉田津九郎ゟ古野惣五郎宛。酒造検査員の件

三一四　書状　（六四一）

（明治以降）十二月廿二日　（封筒入）一通

倉田津九郎ゟ古野惣五郎宛。注文の茶ノ実の事外

三二五　書状　（六三九）
（明治以降）六月十一日　（封筒入）一通
倉田津九郎ゟ古野惣五郎宛。人馬差立承諾仕ゟ外

三二六　書状　（六二三）
（明治以降）十二月廿五日　（封筒入）二通
倉田津九郎ゟ古野惣五郎宛。百三十銀行に対する手形切替一条外

三二七　書状　（六一七）
（明治以降）八月廿三日　（封筒入）一通
倉田津九郎ゟ古野惣五郎宛。金策の件

三二八　書状　（一七九〇）
（明治以降）七月廿四日　（封筒入）一通
倉田津九郎ゟ古野惣五郎宛。税金の件

三二九　書状　（一一一七）
（明治以降）八月　一通
久良多ゟふるの宛。小麦買入に付

三三〇　書状　（一一一二）
（明治以降）五月　一通
光安徳十郎ゟ古野惣五郎宛。花見案内

三三一　書状　（一一一三）
（明治以降）五月廿七日　一通
藤井好作ゟ古野惣五郎宛。礼状

三三二　書状　（一〇九九）
（明治以降）八月　一通
箱田新七ゟ古野惣五郎宛。悔状

三三三　書状　（一〇九六）
（明治以降）　（包紙入）二通
島屋謙平ゟ古野惣五郎宛。礼状

三三四　書状　（一〇九三）
（明治以降）臘月廿四日　（包紙入）二通
島屋謙平ゟ古野惣太宛。婚姻相整に付

三三五　書状　（一〇九〇）
（明治以降）九月　一通
庄七ゟ惣太宛。贈り物

三三六　書状　（一〇八七）
（明治以降）　一通
清酒の義に付受書差出の件

三三七　書状　（一〇八六）
（明治以降）九月八日　一通
小林惣太ゟ古野惣五郎宛。法事の件外

三三八　書状　（一〇八二）
（明治以降）十月　（封筒入）四通
末永茂世ゟ古野総五郎宛。面談申入

三二九　書状　（一〇七二）
（明治以降）十月廿五日　一通
萩本藤次郎ゟ萩本喜三宛。金子借用願

三三〇　書状　（九四六）
（明治以降）十一月八日　一通
荒巻常次郎ゟ古野宛。役場へ出頭、協議申ふ件

三三一　書状　（九四七）
（明治以降）旧十二月卅日　一通
安吉ゟ古野宛。当村諸口納金延引に相成

三三二　書状　（四八四）
（明治以降）三月廿九日　（封筒入）三通
小倉神崎慶治郎ゟ古野惣五郎宛。九鉄株の件外

三三三　書状　（五二六）
（明治以降）八月十日　（封筒入）一通
古野寛人ゟ古野惣五郎宛。払入金に付依頼の件

三三四　書状　（五九八）
（明治以降）三月十七日　（封筒入）一通
青柳俊作ゟ古野惣五郎宛。於直方油屋相会可申に付

三三五　書状　（一五〇二）
（明治以降）十一月廿四日　（封筒入）一通
仲西喜一郎ゟ古野惣五郎宛。田地一条

三三六　書状　（一四七九）
（明治以降）一月廿八日　（封筒入）一通
仲西喜一郎ゟ古野惣五郎宛。小作米の事

三三七　書状　（一五〇一）
（明治以降）六月十五日　（封筒入）二通
中西喜一郎ゟ古野惣五郎宛。小作米付出の件

三三八　書状　（六〇八）
（明治以降）六月十日　（封筒入）一通
中西喜一郎ゟ古野惣五郎宛。金子借用願

三三九　書状　（六〇九）
（明治以降）十二月廿一日　（封筒入）一通
中西喜一郎ゟ古野惣五郎宛。催合田地一条

三四〇　書状　（六一〇）
（明治以降）六月六日　（包紙入）五通
中西喜一郎ゟ古野惣五郎宛。小作米代価の件

三四一　書状　（六一一）
（明治以降）三月廿一日　（封筒入）一通
中西喜一郎ゟ古野惣五郎宛。土地関係の依頼

三四二　書状　（六一三）
（明治以降）二月廿日　（封筒入）一通
中西喜一郎ゟ古野惣五郎宛。土地の件

三四三　書状　（六一六）
（明治以降）三月卅日　（封筒入）一通
畑邨吉川正母ゟ古野惣五郎宛

三四四　書状　（六四〇）
（明治以降）四月四日　一通
石橋ゟ古野惣五郎宛。妻死去の事

三四五　書状　（六四二）
（明治以降）四月廿日　（封筒入）一通
相部衆右衛門ゟ石井与一郎宛。注文品送付通知外

三四六　書状　（六四四）
（明治以降）二月十八日　一通
第八扱所出仕北崎壮四郎ゟ戸長古野惣五郎宛。国民軍人員表取調に付出方の事

三四七　書状　（六四五）
（明治以降）六月十九日　一通
直方調所ゟ十六小区宛。暴動に付

三四八　書状　（六五一）
（明治以降）六月四日　一通
副戸長舟越俊次ゟ同古野惣五郎宛。社寺境内書上の義

三四九　書状　（二五一五）
（明治以降）六月卅日　巻紙　一通
神谷唯七ゟ古野惣五郎宛。打毀しに会いゟ模様報知

三五〇　書状　（六四八）
（明治以降）　一通
神谷唯七ゟ古野惣五郎宛。子供の様子伺い外

三五一　書状　（一五四八）
（明治以降）六月七日　一通
神谷唯七ゟ古野惣五郎宛。石代残金受取外

三五二　書状　（一五五二）
（明治以降）五月一日　一通
神谷唯七ゟ古野惣五郎宛。醤油杜氏の件外

三五三　書状　（六六一）
（明治以降）十二月廿六日　一通
神谷唯七ゟ古野惣五郎宛。盗難の義外

三五四　書状　（六六二）
（明治以降）十二月十九日　一通
神谷唯七ゟ古野惣五郎宛。招待状

三五五　書状　（六五五）
（明治以降）一月十五日　一通
神谷唯七ゟ古野惣五郎宛。辞表の件

三五六　書状　（六五二）
（明治以降）五月六日　一通
神谷唯七ゟ古野惣五郎宛。招待状

三五七　書状　（六五三）
（明治以降）四月廿九日　一通
磯光村後藤健作ゟ古野惣五郎宛。芝居見物招待

三五八　書状　（六五四）
（明治以降）一月十五日　一通
勝木利平ゟ古野惣五郎宛。十六小区割金員仕分依頼

三五九　書状　（六五七）
（明治以降）四月十三日　一通
副田源造ゟ惣五郎宛。礼状

三六〇　書状　（六五八）
（明治以降）　（尾欠）一通
病気見舞の礼、退職の件外

三六一　書状　（六五九）
（明治以降）三月十九日　一通
高崎源六郎ゟ古野惣五郎宛。礼状

三六二　書状　（六六〇）
（明治以降）五月十三日　一通
高崎源六郎ゟ惣五郎宛。区内改革免職人名書上外

三六三　書状　（一一一九）
（明治以降）八月六日　一通
高崎ゟ古野宛。手元発起講の義解崩の事外

三六四　書状　（二八六八）
（明治以降）八月廿三日　（封筒入）一通
高崎源六郎ゟ古野惣五郎宛。講、酒の件

三六五　書状　（一五三六）
（明治以降）七月十六日　一通
高崎源六郎ゟ古野惣五郎宛。法事不参の事

三六六　書状　（一五一四）
（明治以降）六月十九日　一通
高崎源六郎ゟ古野宛。県会出方の件外

三六七　書状　（一四七五）
（明治以降）七月廿五日　（封筒入）一通
高崎源六郎ゟ古野惣五郎宛。袋木綿注文の件外

三六八　書状　（一四五三）
（明治以降）四月廿日　一通
源六郎ゟ古野宛。石炭積下しに相成ゐハ、塩浜焚に貰申上度

三六九　書状　（一四四三）
（明治以降）十一月三日　一通
源六郎ゟ惣五郎宛。養子の件

三七〇　書状　（一四二九）
（明治以降）四月二日　（封筒入）一通
高崎源六郎ゟ古野惣五郎宛。縁談の件

三七一　書状　（一四〇七）
（明治以降）三月十日　（封筒入）一通
遠賀小石村高崎源六郎ゟ古野惣五郎宛。酒の件外

三七二　書状　（一四〇八）
（明治以降）二月廿五日　（封筒入）一通
高崎源六郎ゟ古野惣五郎宛。養子の件

三七三　書状　（三〇二八）
（明治以降）八月卅日　三通
高崎源六郎ゟ古野宛。作柄報告外

三七四　書状　（一四〇九）
（明治以降）三月廿二日　（封筒入）一通
高崎源六郎ゟ古野惣五郎宛。養子の件外

三七五　書状　（一四〇二）
（明治以降）五月五日　一通
高崎源六郎ゟ古野惣五郎宛。養子の事

三七六　書状　（一四〇〇）
（明治以降）二月廿九日　（封筒入）一通
高崎源六郎ゟ古野惣五郎宛。養子の事

三七七　書状　（一三九八）
（明治以降）二月四日　（封筒入）一通
高崎源六郎ゟ古野惣五郎宛。酒造の件外

三七八　書状　（一三九三）
（明治以降）十二月三日外　（封筒入）三通
高崎源六郎ゟ古野惣五郎宛。祖先三百年忌に付

三七九　書状　（一三九四）
（明治以降）十一月十五日　（封筒入）二通
高崎源六郎ゟ古野惣五郎宛。講掛金の件外

三八〇　書状　（一三八八）
（明治以降）五月十四日　（封筒入）二通
源六郎ゟ古野惣五郎宛。講会の件

三八一　書状　（一三八七）
（明治以降）六月八日　（封筒入）二通
高崎源六郎ゟ古野惣五郎宛。講の事

三八二　書状　（一二三六）
（明治以降）三月二日　（包紙入）一通
高崎源六郎ゟ古野惣五郎宛。縁談の義

三八三　書状　（一一八八）
（明治以降）一月廿八日　（封筒入）一通
源六郎ゟ古野惣五郎宛。古野家養子の件

三八四　書状　（一一八七）
（明治以降）一月七日　（封筒入）一通
高崎源六郎ゟ古野惣五郎宛。養子の件外

三六五　書状　（一一七五）
（明治以降）三月六日　（封筒入）一通
高崎源六郎ゟ古野惣五郎宛。縁談の事外

三六六　書状　（一五四五）
（明治以降）三月十四日　一通
高崎源六郎ゟ古野惣五郎宛。法事案内

三六七　書状　（七九二）
（明治以降）十八日　一通
水上友次郎ゟ古野坑主宛。杉材木代残金の件外

三六八　書状　（八九七）
（明治以降）九月　書綴　一綴
有吉又作ゟ古野惣五郎宛。選挙の事

三六九　書状　（九〇一）
（明治以降）九月二日　（封筒入）二通
有吉又作ゟ古野惣五郎宛。有志会開会の事

三七〇　書状　（八〇一）
（明治以降）十月廿六日　（封筒入）一通
入江実太郎ゟ古野寛人宛。住友主人代人出浮相成故不都合なき様

三七一　書状　（一一四九）
（明治以降）四月六日　一通
古野惣五郎ゟ惣助宛。酒造竈ゟ出火の件外

三七二　書状　（一一五三）
（明治以降）九月廿八日　（封筒入）一通
貞敏ゟ古野惣五郎宛。酒造家会合に欠席の事

三七三　書状　（一一五五）
（明治以降）九月　（包紙入）一通
古野惣五郎宛。上有木村の件

三七四　書状　（一一五四）
（明治以降）八月　（封筒入）一通
中村次郎助ゟ戸長古野惣五郎宛。朱肉の売込み

三七五　書状　（一一五七）
（明治以降）十月一日　（包紙入）一通
野口連ゟ古野惣五郎宛。教員検定試験に出願の事

三七六　書状　（一一五八）
（明治以降）九月　（封筒入）二通
片田ゟ古野惣五郎宛。酒類営業願の件外

三七七　書状　（一一六五）
（明治以降）十月十一日　（封筒入）一通
古野惣五郎ゟ古野惣助宛。出品酒の件

三七八　書状　（一一六七）
（明治以降）十月九日　一通
森田万太郎ゟ古野惣助宛。流会と相成

三九九　書状　（一一六八）
（明治以降）
古野きん方古野惣助宛。着物等の注文　（封筒入）二通

四〇〇　書状　（一一六九）
（明治以降）九月廿五日
柴田芳松方古野惣五郎宛。重要物産品評会への出品に付　（封筒入）二通

四〇一　書状　（一一七二）
（明治以降）九月廿四日
名島丈吉方古野惣五郎宛。重要物産品評会への出品の件　（封筒入）一通

四〇二　書状　（一一八五）
（明治以降）五月廿六日
明石半十郎方倉田津九郎宛。古野家祝儀の件　（封筒入）一通

四〇三　書状　（一一八〇）
（明治以降）五月四日
野口隆三方古野惣五郎宛。広人引越の件外　（封筒入）三通

四〇四　書状　（一一九五）
（明治以降）三月一日
野口隆三方古野惣五郎宛。養子の事外　（封筒入）一通

四〇五　書状　（一四四〇）
（明治以降）三月九日
野口隆三方古野惣五郎宛。養子縁辺の義　（封筒入）一通

四〇六　書状　（一七九三）
（明治以降）三月十二日
野口隆三方古野惣五郎宛。縁談の件　（封筒入）一通

四〇七　書状　（一五一五）
（明治以降）三月廿四日
野口新造方古野宛。法事日の問合せ　一通

四〇八　書状　（一一九六）
（明治以降）二月廿日
埜口隆三方古野惣五郎宛。養子の件外　（封筒入）一通

四〇九　書状　（一二〇一）
（明治以降）十月三日
森善七方古野惣五郎宛。品評会出品の件　（封筒入）一通

四一〇　書状　（一二〇二）
（明治以降）十月三日
古田馬次郎方古野惣助宛。出品酒の件　（封筒入）一通

四一一　書状　（一二〇三）
（明治以降）十月三日
区長古野惣助方直方古田馬次郎宛。品評会出品酒の件　（封筒入）一通

四一三　書状　（一二〇四）
（明治以降）七月廿日
古野惣五郎方神崎慶次郎宛。面談申入れ　（封筒入）一通

四三　書状　（一二〇九）
（明治以降）七月十二日　（封筒入）一通
倉田茂宝外6古野惣五郎宛。京野坑の事外

四四　書状　（一二一一）
（明治以降）廿五日　（封筒入）一通
小林作五郎6古野惣五郎宛。母親病気の事

四五　書状　（一五九三）
（明治以降）十二月廿四日　一通
小林作五郎6古野惣五郎宛。礼状

四六　書状　（一五四一）
（明治以降）四月九日　（封筒入）一通
小林作五郎6小林惣太宛。酒造検査の件

四七　書状　（六五六）
（明治以降）四月廿日　（封筒入）一通
小林作五郎6古野惣五郎宛。礼状

四八　書状　（一二一四）
（明治以降）七月一日　（封筒入）一通
香月次三郎6古野惣五郎宛

四九　書状　（一二一六）
（明治以降）六月八日　（封筒入）二通
武谷淳次6古野惣助宛。和服の寸法

五〇　書状　（一二一七）
（明治以降）九月十四日　（封筒入）一通
倉田茂実6古野大人宛。病気見舞

五一　書状　（一二二〇）
（明治以降）三月廿五日　（封筒入）一通
塩川茂三郎6古野惣五郎宛。金談の件

五二　書状　（一二二三）
（明治以降）三月廿九日　（封筒入）一通
古野慶二郎6古野惣五郎宛。金策の件

五三　書状　（一二二九）
（明治以降）三月十三日　（封筒入）一通
山本平四郎6古野惣五郎宛。金子有合不申に付

五四　書状　（一二四五）
（明治以降）六月廿三日　一通
香月亮介6古野惣五郎宛

五五　書状　（一二四六）
（明治以降）十月廿七日　一通
笠松村古野惣五郎6。高田乙吉爵金上納の件

五六　書状　（一二五三）
（明治以降）六月十二日　一通
許斐次郎七6四郎丸村用掛宛。田代・森両氏甚不都合の次第有之

四二七　書状　（一二五四）
（明治以降）二月十一日　一通
榎本篤次郎ゟ古野寛人宛。大石割除法に付

四二八　書状　（一二六〇）
（明治以降）十月二日　（包紙入）一通
戸長古野惣五郎宛。大祭費の件

四二九　書状　（一二六五）
（明治以降）十一月卅日　（封筒入）一通
古野惣助ゟ古野惣五郎宛。病気見舞

四三〇　書状　（一二六七）
（明治以降）廿七日　（封筒入）一通
古野惣助ゟ古野惣五郎宛。春日神社通帳の件

四三一　書状　（一二六八）
（明治以降）十一月廿四日　（封筒入）二通
古野惣助ゟ古野惣五郎宛。稲刈、米価の件外

四三二　書状　（一二一五）
（明治以降）六月十二日　（封筒入）七通
古野惣介ゟ古野惣五郎宛。石炭代の事外

四三三　書状　（一二一〇）
（明治以降）七月廿九日　（封筒入）四通
古野惣助ゟ古野惣五郎宛。見舞の事

四三四　書状　（一二〇〇）
（明治以降）七月　（封筒入）一通
古野惣助ゟ古野惣五郎宛。金子送付の事外

四三五　書状　（一一八六）
（明治以降）五月卅一日　（封筒入）一通
古野惣助ゟ古野惣五郎宛。塩田払分は持たせ遣し申ゟ

四三六　書状　（一一八三）
（明治以降）五月廿日　（封筒入）一通
古野惣助ゟ古野寛人宛。運動費の件

四三七　書状　（一三一一）
（明治以降）九月十六日　（封筒入）一通
倉久村古野伴六ゟ戸長古野惣五郎宛。郡内家屋取調子台帳調整相成ゟ件

四三八　書状　（一二七一）
（明治以降）五月二日　一通
柳原ゟ古野惣五郎宛。起業公債証書売却の件

四三九　書状　（一三〇七）
（明治以降）八月三日　一通
慶二郎ゟ古野惣五郎宛。封酒の受書の事

四四〇　書状　（一三一六）
（明治以降）三月　（封筒入）一通
下有木村外四ケ村戸長役場木野克巳ゟ吉田寛人宛

四一　書状　（一三二〇）
（明治以降）六月十一日
吉田英一ゟ古野惣五郎宛
（封筒入）一通

四二　書状　（一三二七）
（明治以降）六月十三日
原口時三郎ゟ古野惣五郎宛。仏事案内
（封筒入）一通

四三　書状　（一三三〇）
（明治以降）十一月五日
油屋正兵衛ゟ古野惣五郎宛。古金相場
（封筒入）二通

四四　書状　（一三三五）
（明治以降）一月十一日
古野永七郎ゟ吉田寛人宛。役場ゟ調査の件
一通

四五　書状　（一三三八）
（明治以降）一月十三日
入江貞太郎ゟ古野宛。出夫扣等の件外
一通

四六　書状　（一三三九）
（明治以降）十二月廿八日
貞太郎ゟ吉田寛人宛。丈量員数の件
三通

四七　書状　（一三四一）
（明治以降）十月十五日
入江貞太郎ゟ古野寛人宛。丈量員数の事外
（封筒入）一通

四八　書状　（一三四二）
（明治以降）六月八日
猪倉久古野永七郎ゟ古野惣五郎宛。金子借用願
一通

四九　書状　（一三六一）
（明治以降）四月五日
古野慶次郎ゟ古野惣五郎宛
（封筒入）二通

四〇　書状　（一三六二）
（明治以降）十月十五日
古野慶次郎ゟ古野惣五郎宛。安否伺い
（封筒入）一通

四一　書状　（一三六六）
（明治以降）四月五日
四小区扱所ゟ勝屋善九郎宛。農牛打擲の件
（封筒入）一通

四二　書状　（一三六七）
（明治以降）七月七日
徳永愛三郎ゟ古野惣五郎宛。慰労金の礼
（封筒入）一通

四三　書状　（一三六九）
（明治以降）二月六日
松尾伴七ゟ古野惣五郎宛。裁判の件
（封筒入）一通

四四　書状　（一三七〇）
（明治以降）
村上雄次郎ゟ古野惣助宛。請求書紛失に付
（封筒入）一通

四五五　書状　（一三七七）
（明治以降）一月廿五日　（包紙入）一通
上田孫次ゟ古野惣五郎宛。山口村旧縁の義

四五六　書状　（一三七九）
（明治以降）三月五日　（包紙入）一通
山口村松尾伴七ゟ古野惣五郎宛。平三義善九郎方へ踏込ゟに付件

四五七　書状　（一三八〇）
（明治以降）三月六日　（包紙入）一通
松尾伴七ゟ古野惣五郎宛。実父小倉表へ出頭出来兼ゟに付

四五八　書状　（一三九五）
（明治以降）六月廿八日　（封筒入）一通
真鍋房吉ゟ古野惣五郎宛

四五九　書状　（一四一一）
（明治以降）三月廿七日　（封筒入）二通
高倉実ゟ古野惣五郎宛。梅本弥七郎負債一件に付

四六〇　書状　（一四一三）
（明治以降）三月廿八日　（封筒入）一通
高倉実ゟ古野惣五郎宛。梅本弥七郎負債一件

四六一　書状　（一四一四）
（明治以降）五月十五日　（封筒入）一通
古野惣五郎ゟ木屋瀬村長香月耕作宛。上京の件

四六二　書状　（一四一八）
（明治以降）十月七日　（封筒入）一通
吉田寿作ゟ入江卯太郎宛。出願相成ゟ石炭借区検査の件

四六三　書状　（一四二五）
（明治以降）八月廿三日　一通
与作宛。井手口堤防使用の件

四六四　書状　（一四二七）
（明治以降）十二月二日　（封筒入）一通
永島庄七ゟ古野惣五郎宛。永正社落札金員渡申ゟ外

四六五　書状　（一四三七）
（明治以降）十二月六日　（封筒入）一通
武揚ゟ古野惣五郎宛。説教執行ゟに付案内

四六六　書状　（一四五一）
（明治以降）十二月六日　一通
古野伴六ゟ古野惣五郎宛。学事書籍代価不足分の督促の件

四六七　書状　（一四四八）
（明治以降）十二月十日　一通
古野伴六ゟ古野惣五郎宛

四六八　書状　（一一五六）
（明治以降）九月廿八日　（包紙入）一通
古野伴六ゟ古野惣五郎宛。家屋取調子の件伺い

四六九　書状　（一七六七）
（明治以降）廿一日　一通
古野伴六ゟ古野寛人宛。氏神祭典に付

四七〇　書状　（一二七二）
（明治以降）五月二日　一通
古野惣五郎ゟ古野伴六外宛。起業公債証書売却の件

四七一　書状　（一四四一）
（明治以降）十月六日　書綴　一綴
古野惣五郎宛。県郡第二回経費及び違約金積立金覚

四七二　書状　（一四四四）
（明治以降）十一月五日　（封筒入）一通
福丸村役場ゟ古野惣五郎宛。親睦会出席の件外

四七三　書状　（一四四五）
（明治以降）十一月　（封筒入）一通
有吉又作ゟ古野惣五郎宛。役場出頭の件外

四七四　書状　（一四五〇）
（明治以降）十二月十三日　一通
安永ゟ古野宛。下村戸籍帳借用願

四七五　書状　（一四五二）
（明治以降）四月十九日　一通
吉田寛人ゟ小林区署宛。春田卯之吉官林盗伐の件に付願

四七六　書状　（一四六一）
（明治以降）五月廿二日　一通
相部衆右衛門ゟ古野惣五郎宛。注文品送付

四七七　回章　（一四七二）
（明治以降）八月五日　一通
芳村専次郎外ゟ吉田和六外宛。講会の通知外

四七八　書状　（一四七六）
（明治以降）十一月十四日　一通
有吉又作ゟ古野惣五郎宛。神事案内への断り

四七九　書状　（一四七七）
（明治以降）四月廿二日　一通
吉田庄兵衛ゟ古野惣五郎宛

四八〇　書状　（一四七八）
（明治以降）六月廿六日　一通
梅本平七ゟ古野宛。新桶仕立売の件

四八一　書状　（一四八一）
（明治以降）七月九日　（封筒入）一通
儀造ゟ古野母宛

四八二　書状　（一六一五）
（明治以降）四月廿七日　（封筒入）一通
萩尾延右衛門ゟ古野惣五郎宛。裁判の件

四八三　書状　（一五八二）
（明治以降）六月廿三日　（包紙入）一通
萩尾延右衛門ゟ古野惣五郎宛

四八四　書状　（二六二九）
（明治以降）十月十四日　一通
萩尾庄右衛門ゟ古野惣五郎宛。小倉小林方道付の件

四八五　書状　（三〇〇九）
（明治以降）一月廿五日　一通
川口屋加平ゟ萩尾庄右衛門宛

四八六　書状　（一四七四）
（明治以降）六月廿七日　（封筒入）一通
萩尾延右衛門ゟ古野惣五郎宛。飯塚口ゟ出願の件

四八七　書状　（一四八〇）
（明治以降）十月六日　一通
萩尾延右衛門ゟ古野惣五郎宛。講会の案内

四八八　書状　（一四八三）
（明治以降）四月五日　一通
萩尾延右衛門ゟ古野惣五郎宛。講会の案内

四八九　書状　（一四九六）
（明治以降）　（包紙入）三通
加播軍次ゟ古野三郎宛。亡父様画像の件

四九〇　書状　（一四九九）
（明治以降）五月十三日　（封筒入）一通
安永丈志ゟ古野宛。病気見舞の礼

四九一　書状　（一五一七）
（明治以降）二月廿八日　一通
六□ゟ古野三郎宛。売払の田畠に付

四九二　書状　（一五二七）
（明治以降）六月　一綴
古野寛人ゟ古野惣五郎宛。控訴の件

四九三　書状　（一五三九）
（明治以降）　（包紙入）二通
山近与七郎ゟ古野惣五郎宛。借金の件

四九四　書状　（一五四六）
（明治以降）四月十一日　一通
古野惣五郎宛。踊興行への誘い

四九五　書状　（一五四七）
（明治以降）四月廿九日　一通
安永ゟ古野惣五郎宛。仕組講掛金の件外

四九六　書状　（一五四九）
（明治以降）五月卅一日　一通
しけゟおはな宛

四九七　書状　（一五五〇）

（明治以降）五月卅日　一通

はなゟ。踊興行の案内

四九八　書状　（一五五一）

（明治以降）四月廿八日　一通

太一郎ゟ古野惣五郎宛。講掛金座料渡方の件

四九九　書状　（一五五三）

（明治以降）五月十九日　一通

高崎ゟ古野惣五郎宛。出産報知

五〇〇　書状　（一五五四）

（明治以降）四月十七日　一通

岸本作右衛門ゟ古野惣五郎宛。礼状

五〇一　書状　（一五六一）

（明治以降）三月二日　（封筒入）一通

伊藤彦六ゟ井原健吾宛。初歩行の件（封筒表書は井原金助ゟ）

五〇三　書状　（一三三一）

（明治以降）　（包紙入）九通

伊藤彦六ゟ古野惣五郎宛。付、金借用証（明治十四年）外

五〇三　書状　（九二一）

（明治以降）三月廿四日　一通

伊藤彦六ゟ古野惣五郎宛。宮崎歩行の件

五〇四　書状　（三〇一〇）

（明治以降）一月六日　一通

伊藤彦六ゟ古野惣五郎宛。年賀

五〇五　書状　（三〇一一）

（明治以降）九月十日　一通

伊藤彦六ゟ古野惣五郎宛。盆参りの件

五〇六　書状　（三〇二〇）

（明治以降）十月廿二日　一通

伊藤彦六ゟ古野惣五郎宛。法事の案内

五〇七　書状　（三〇二九）

（明治以降）八月廿八日　二通

伊藤彦六ゟ古野惣五郎宛。香典、供物等の件

五〇八　書状　（三〇三一）

（明治以降）八月卅一日　一通

彦六ゟ惣五郎宛。乙丸行代価の件外

五〇九　書状　（一五六三）

（明治以降）九月　（包紙入）一通

大村梅軒ゟ古野惣五郎宛。講触切紙配当被下度

五一〇　書状　（一五六四）

（明治以降）十月十八日　（包紙入）一通

石井与三郎外ゟ古野惣五郎宛。小売酒等郡中直段申合せ

三二一　書状　（一五六六）
（明治以降）五月十八日　一通
惣五郎ゟ。迎の件

三二二　書状　（一五六七）
（明治以降）二月七日　一通
倉田忠左衛門ゟ古野惣助宛。太宰府参詣の件

三二三　書状　（一五六八）
（明治以降）十一月廿六日　一通
たつミ屋四郎左衛門ゟ神川屋惣五郎宛。松原払の件

三二四　書状　（一五七〇）
（明治以降）十二月十日　（封筒入）一通
池上源次ゟ古野惣五郎宛。茴香送荷の件

三二五　書状　（一五七二）
（明治以降）十月廿六日　（封筒入）一通
池上源次ゟ古野惣五郎宛。茴香荷の件（封筒表書は大庭貞治ゟ）

三二六　書状　（一五七一）
（明治以降）廿五日　（包紙入）一通
井原金助ゟ古野惣五郎宛。品物値段の件

三二七　書状　（一五七四）
（明治以降）四月廿三日　二通
勝木利平ゟ古野惣五郎宛。配分金の受取の件外

三二八　書状　（一五七五）
（明治以降）　（首欠）一通
四郎左衛門ゟ惣五郎宛

三二九　書状　（一五七六）
（明治以降）七月十六日　一通
汐川又七ゟ古野惣五郎宛。法事に付供物差上

三三〇　書状　（一五七七）
（明治以降）七月廿一日　（封筒入）一通
長井鶴村榎木学次郎ゟ古野惣五郎宛。小麦手付金不足に付

三三一　書状　（一五七八）
（明治以降）五月廿八日　一通
箱田ゟ古野惣五郎宛。参館の上万謝可申上ゟ

三三二　書状　（一五八一）
（明治以降）五月七日　（封筒入）一通
紅田新七ゟ古野惣五郎宛。贈物の礼

三三三　書状　（一五八四）
（明治以降）六月四日　（封筒入）一通
かけや仁右衛門ゟ古野惣五郎宛。振袖注文の件

三三四　書状　（一五八五）
（明治以降）七月十二日　（封筒入）一通
深川栄次郎ゟ古野惣五郎宛

三五五　書状　（一五八六）
（明治以降）七月十二日　（包紙入）一通
許斐鷹介ゟ古野惣五郎宛。息子敬二郎所持金紛失に付

三五六　書状　（一五九〇）
（明治以降）六月四日　一通
礼状

三五七　書状　（一五九四）
（明治以降）三月八日　一通
長野政吉ゟ古野寛人宛。返金請求

三五八　書状　（一五九八）
（明治以降）三月三日　（封筒入）三通
古野寛人ゟ古野惣五郎宛。株券事件に付外。付、山川久兵衛書状

三五九　書状　（一六〇七）
（明治以降）八月十六日　一通
藤ゟ占部三折外宛。鉄道工事請負の件

三六〇　書状　（一六〇八）
（明治以降）三月卅日　一通
克巳ゟ吉田宛。信誓社貯金受取

三六一　書状　（一六〇九）
（明治以降）二月廿八日　一通
木野克巳ゟ吉田寛人宛。信誓社貯金の件

三六二　書状　（一六一〇）
（明治以降）二月十六日　一通
木野克巳ゟ吉田寛人宛。信誓社集金の件

三六三　書状　（一六一一）
（明治以降）二月十九日　一通
木野克巳ゟ吉田寛人宛。信誓社集会の件

三六四　書状　（一六一二）
（明治以降）十一月廿六日　一通
克巳ゟ吉田宛。信誓社貯金の件

三六五　書状　（一六二二）
（明治以降）二月廿七日　一通
木野克巳ゟ吉田寛人宛。信誓社貯金の件

三六六　書状　（一七八九）
（明治以降）五月十六日　一通
きのゟ本部事務所宛。選挙の祝い

三六七　書状　（一一六四）
（明治以降）四月二日　（封筒入）一通
木野克巳ゟ古野惣助宛

三六八　書状　（一六一三）
（明治以降）十二月十三日　（封筒入）三通
松尾助右衛門ゟ古野惣五郎宛。受取書並運賃払替書指出申ﾚ間送金依頼

三九　書状　（一六一九）
（明治以降）五月二日　一通
さゑ方おば宛。

四〇　書状　（一六二三）
（明治以降）一月廿六日　一通
卯太郎方古野惣五郎宛。飛梅講方配札の件

四一　書状　（一六六二）
（明治以降）七月十四日　（封筒入）一通
戸長有吉又作方古野惣五郎宛。教育費納方依頼

四二　書状　（一七一五）
（明治以降）七日　（包紙入）二通
井上鉄美方古野三郎宛。薬の服用の件

四三　書状　（一七一七）
（明治以降）五月廿一日　一通
神谷方古野宛。計算書

四四　書状　（一七三七）
（明治以降）　一通
古野惣五郎方上田徳太郎外宛。区長在任中の未納分支払請求

四五　書状　（一七四六）
（明治以降）三月十日　一通
古野惣五郎方庄野金十郎宛。炭坑報酬金の件に付出訴致ゐ件

四六　書状　（一七五四）
（明治以降）九月十四日　（封筒入）一通
倉久村古野永七郎方古野惣五郎宛。借用依頼

四七　書状　（一七六四）
（明治以降）六月十九日　一通
四小区扱所方古野惣五郎外宛。勝屋平三方申出ゐ件

四八　書状　（一七六五）
（明治以降）五月十三日　一通
舌間要七方入江貞太郎宛。田地売買の件

四九　書状　（一七六九）
（明治以降）二月五日　一通
亮一郎方古野寛人宛

五〇　書状　（一七七〇）
（明治以降）九月七日　一通
栗田伴蔵方古野惣五郎宛。相談役設置の件

五一　書状　（一七七八）
（明治以降）八月十日　一通
第二科方古野惣五郎宛。九州鉄道会社役員撰挙の件

五二　書状　（一七八一）
（明治以降）十二月廿八日　一通
多助方惣太宛。酒の送付依頼

三五三　書状　（一七八三）
（明治以降）四月廿七日　（封筒入）一通
春田兼吉ゟ古野惣五郎宛。選挙関係

三五四　書状　（一七八四）
（明治以降）五月六日　（封筒入）一通
入江伝内ゟ古野惣五郎宛。選挙の件

三五五　書状　（一七八五）
（明治以降）五月五日　（封筒入）一通
光安与三郎ゟ郡会議員古野惣五郎宛。訴願一件

三五六　書状　（一七九四）
（明治以降）九月十一日　（封筒入）一通
吉田新一郎ゟ古野寛人外宛

三五七　書状　（一七九六）
（明治以降）六月十二日　一通
玉椿

三五八　書状　（一八一六）
（明治以降）四月十七日　（包紙入）一通
井原源右衛門ゟ中埜惣太宛。講会座通知

三五九　書状　（一八二九）
（明治以降）十月十四日　一通
松井吉太郎ゟ古野坑主宛。積込台帳の件

三六〇　書状　（一八三五）
（明治以降）九月廿七日　一通
古野惣五郎ゟ原田重明外宛。清酒品評会出品解説書提出の事

三六一　書状　（一八三八）
（明治以降）三月廿一日　一通
吉川正毎ゟ古野惣五郎宛。鉄道株譲渡の件

三六二　書状　（一八四四）
（明治以降）三月三日　一通
古田藤市外ゟ古野惣五郎外宛。新年祭協議の回覧

三六三　書状　（一八五二）
（明治以降）十二月　一通
古田茂造ゟ古田惣助宛。時間問合せ

三六四　書状　（一八五三）
（明治以降）十一月八日　（封筒入）一通
若松港大阪阿部支店岩井益治ゟ古野寛人宛。面談申入れ

三六五　書状　（一八六九）
（明治以降）九月十七日　（封筒入）一通
古野永七郎ゟ古野惣五郎宛。借用願

三六六　書状　（二〇五五）
（明治以降）十月十六日　三通
金物商中村ゟ京野炭坑宛。注文品の件。付、領収書

五六七　書状　（二二六六）
（明治以降）　一通
古野惣五郎ゟ古野伴六宛。帰県延引の問合せ

五六八　書状　（二三三三）
（明治以降）九月十八日　一通
神崎岩蔵ゟ鞍手銀行宛。銀行への払込金の件

五六九　書状　（二四三〇）
（明治以降）三月十四日　（封筒入）二通
植木積替所舌間稲平ゟ古野寛人外宛。支払催促

五七〇　書状　（二四七四）
（明治以降）十二日　一通
仲媒人ゟの書状の件

五七一　書状　（二五四五）
（明治以降）　一通
六区長古野惣五郎ゟ。組合契約書認可申請書調印の件

五七二　書状　（二五八九）
（明治以降）　一通

五七三　書状　（二六二〇）
（明治以降）八月十八日　一通
香月新ゟ古野惣五郎宛。藤氏ゟ照会の件

五七四　書状　（二六二八）
（明治以降）　一通
山口村松尾伴七ゟ古野惣五郎宛。残り花の実差出方

五七五　書状　（二六三〇）
（明治以降）七月十一日　一通
古野ゟ古野父翁宛

五七六　書状　（二六三一）
（明治以降）六月廿一日　一通
平七ゟ古野宛。桶商売の事

五七七　書状　（二六五八）
（明治以降）九月廿三日　一通
入江ゟ古野宛。土地調帳訂正の件

五七八　書状　（二六五九）
（明治以降）九月十九日　一通
醸造新報代金の件

五七九　書状　（二六六〇）
（明治以降）九月廿八日　一通
注文の酒袋の件

五八〇　書状　（二六六一）
明治廿六年十月三日　一通
醸造新報欠号の義

五八一　書状　（二六六二）
（明治以降）　一通
醸造新報代金の件

五八二　書状　（二六六四）
（明治以降）七月廿四日　一通
証文等送付

五八三　書状　（二六八二）
（明治以降）六月五日　一通
古野ゟ郡役所宛。住所問合せ

五八四　書状　（二七一三）
（明治以降）十一月十日　（封筒入）一通
若松村和田喜三郎ゟ古野惣五郎宛。空樽送付

五八五　書状　（二七七二）
（明治以降）　一通
取調金の明細書上

五八六　書状　（二七七四）
（明治以降）二月三日　一通
入江伝十ゟ神川屋古野惣五郎宛。金子借用依頼

五八七　書状　（二七九〇）
（明治以降）十一月十三日　一通
入江伝十ゟ古野惣五郎宛。米借用の件

五八八　書状　（一七五五）
（明治以降）六月十七日　一通
入江伝十ゟ古野惣五郎宛。証文県庁へ納ル件

五八九　書状　（一三八四）
（明治以降）八月廿六日　（封筒入）二通
入江伝十ゟ古野惣五郎宛。米代の事

五九〇　書状　（一三八五）
（明治以降）八月八日　（封筒入）一通
入江伝十ゟ古野惣五郎宛。米代残り送金依頼

五九一　書状　（二七九七）
（明治以降）八月九日　一通
春田百平外ゟ古野惣五郎外宛。有吉戸長辞職に付

五九二　書状　（二八一六）
（明治以降）八月廿九日　一通
有吉武三郎ゟ春田恕生外宛。報道会へ来会被下度

五九三　書状　（二八二〇）
（明治以降）　一通
借用依頼

五九四　書状　（二八二七）
（明治以降）　一通
安永藤四郎ゟ古野惣五郎宛。郡役所へ出頭の件

六〇五　書状　（二八五九）
（明治以降）十月廿七日　一通
送金通知

六〇六　書状　（二八六〇）
（明治以降）八月廿一日　（封筒入）一通
四斗樽送付の件

六〇七　書状　（二八六一）
（明治以降）　（封筒入）一通
山本七郎ゟ古野宛。四斗樽送付依頼

六〇八　書状　（二八六五）
（明治以降）八月十三日　（封筒入）一通
福田吉蔵ゟ古野惣五郎宛。酒、米相庭の件

六〇九　書状　（二八六六）
（明治以降）八月十五日　（封筒入）一通
宇嶋源六郎ゟ惣五郎宛。空樽の件

六一〇　書状　（二八七〇）
（明治以降）九月廿三日　一通
植木江藤茂左衛門ゟ古野惣五郎宛。一駄借用依頼

六一一　書状　（二八七六）
（明治以降）六月九日　一通
与左衛門ゟ惣五郎宛。願一件

六一二　書状　（二八七九）
（明治以降）旧八月十八日　（封筒入）二通
山本七助ゟ古野宛。四斗樽送付依頼

六一三　書状　（二八八〇）
（明治以降）九月十七日　（封筒入）一通
中西四郎平ゟ古野惣五郎宛。酒売捌の件

六一四　書状　（二八八一）
（明治以降）十月十七日　（封筒入）一通
出光右兵ゟ古野惣五郎宛。醤油醪取寄の件

六一五　書状　（二八八二）
（明治以降）三月卅日　（封筒入）一通
飯野双十郎ゟ春田丈平宛。日限の事

六一六　書状　（二八八三）
（明治以降）　（封筒入）一通
大音無心ゟ古野惣五郎宛。開会の報知

六一七　書状　（二八八七）
（明治以降）三月廿七日　一通
白水ゟ古野惣五郎宛。学校の件

六一八　書状　（二九一九）
（明治以降）一月廿八日　一通
公用書簡の件

六〇九　書状　（二九三九）
（明治以降）　（封筒入）一通
光安与三郎ゟ古野惣五郎宛。受領書送付の事

六一〇　書状　（三〇〇一）
（明治以降）　一通
金繰の件

六一一　書状　（三〇〇二）
（明治以降）三月二日　一通
借用依頼、社倉講掛米の件

六一二　書状　（三〇〇三）
（明治以降）二月三日　一通
もと正ゟいと正宛。退職一条外

六一三　書状　（三〇〇五）
（明治以降）旧七月十二日　一通
倉田意正ゟ古野威正宛。詫状

六一四　書状　（三〇〇七）
（明治以降）二月二日　一通
木原半次郎ゟ古野惣五郎宛。借用本の件

六一五　書状　（三〇一二）
（明治以降）九月四日　一通
惣太ゟ惣五郎宛。一揆騒動後の普請外

六一六　書状　（三〇一三）
（明治以降）十月廿五日　（封筒入）一通
吉田正兵衛ゟ古野惣五郎宛。礼状

六一七　書状　（三〇一四）
（明治以降）旧九月十八日　（封筒入）一通
大村梅軒ゟ古野惣五郎宛。神事への誘い

六一八　書状　（三〇一六）
（明治以降）八月廿日　一通
副戸長勝木利平ゟ。代理人差向けの伺い

六一九　書状　（三〇一八）
（明治以降）旧九月七日　一通
伊藤内ゟ古野姉宛。礼状

六二〇　書状　（三〇一九）
（明治以降）　一通
いわせたきゟ古野姉宛。礼状

六二一　書状　（三〇二二）
（明治以降）十月十五日　一通
副戸長勝木利平ゟ北崎壮四郎宛。地所反別地価取調帳調査の件

六二三　書状　（三〇二三）
（明治以降）十一月一日　一通
勝木利平外ゟ惣五郎宛。見舞状

六二三　書状　（三〇二三）
（明治以降）十月二日　一通
重松ゟ古野戸長宛。調所ゟの書状等送付の事

六二四　書状　（三〇二五）
（明治以降）九月十九日　一通
あふらや正兵衛ゟ神川屋宛。豊熟祭俄踊の模様外

六二五　書状　（三〇二六）
（明治以降）九月廿二日　一通
大地俊作ゟ古野惣五郎宛。安永死去通知

六二六　書状　（三〇二四）
（明治以降）十一月廿八日　二通
小林惣太ゟ古野惣五郎宛。秋月一乱の件外

六二七　書状　（一五四二）
（明治以降）七月十五日　（包紙入）一通
小林惣太ゟ古野惣五郎宛。地租改正の件

六二八　書状　（一五四三）
（明治以降）四月廿三日　一通
小林惣太ゟ古野惣五郎宛。白染一〆受取不足外

六二九　書状　（一五四四）
（明治以降）七月廿七日　（包紙入）一通
小林惣太ゟ古野惣五郎宛

六三〇　書状　（一五四〇）
（明治以降）五月四日　（封筒入）一通
小林惣太ゟ古野惣五郎宛。出浮被下度

六三一　書状　（三〇三三）
（明治以降）十月十一日　（封筒入）一通
小林惣太ゟ古野惣五郎宛

六三二　書状　（三〇三四）
（明治以降）八月十五日　一通
小林惣太ゟ古野宛。品物購入依頼

六三三　書状　（三〇三五）
（明治以降）八月十五日　一通
小林宗太ゟ古野惣五郎宛。代金受取外

六三四　書状　（三〇三六）
（明治以降）八月廿一日　一通
小林惣太ゟ古野惣五郎宛。注文の帯地の件外

六三五　書状　（三〇三七）
（明治以降）八月廿六日　一通
小林惣太ゟ古野宛。紅田注文帯地の件外

六三六　書状　（三〇六四）
（明治以降）　一通
大音重武ゟ古野惣五郎宛。帰村被下度

六三七　書状　（三〇三〇）
（明治以降）九月四日　一通
下村ゟ古野宛。津丸不幸有之に付

六三八　書状　（三一三八）
（明治以降）　一通
波多野ゟ古野惣五郎宛

六三九　書状　（三一二四）
（明治以降）　（包紙入）一通
杉静之介ゟ古野惣五郎宛

六四〇　書状　（三一三四）
（明治以降）八月卅一日　（封筒入）一通
奥村店常七ゟ梅本弥七郎宛。古野一件分利子金並添証書送来りゟ件

六四一　書状　（三二〇七）
（明治以降）十二月三日　書綴　一綴
有吉又作ゟ古野惣五郎宛。学資金未納の件外

六四二　書状　（一〇五一）
明治十八年二月廿二日　一通
本代送金

六四三　はがき　（三〇八五）
（明治以降）　一括
古野惣五郎宛

六四四　書状　（一七二五）
（明治以降）十一月十日　（包紙入）一通
乙丸まつゟ四郎丸おちう宛。かんさし送付の事

六四五　書状　（一七二六）
（明治以降）　（包紙入）一通
はなゟおちう宛

六四六　書状　（一七二八）
（明治以降）　（包紙入）一通
はなゟおちう宛

六四七　書状　（一七二九）
（明治以降）　（包紙入）一通
はなゟおちう宛

六四八　書状　（一七三〇・一七三一）
（明治以降）　二通
はなゟおちう宛

六四九　書状　（三一四〇）
（明治以降）　（包紙入）一通
はなゟおちう宛

六五〇　書状　（二六〇一）
（明治以降）　（首欠）一通
はなゟおちう宛

六五一　書状　（一四〇一）
（明治以降）五月五日　（封筒入）一通
はなゟ

13　家

一　出府日記　（四七八）
明治五年　長帳　一冊

二　誤書物　（七四四）
明治六年八月　（包紙入）一通
阿部和一郎外ゟ古野惣五郎宛。詫状

三　誤書物之事　（三一九五）
明治七年十月廿九日　一通
森本勝六ゟ古野惣五郎宛。不了簡の所業に付

四　心於保得　（一三六〇）
明治十三年五月　小横綴　一綴

五　附籍願外　（一八三〇）
明治十五年二月　四通
古野惣五郎ゟ郡長久野宛。付、松尾助衛門借用証、株数覚

六　身代限財産取調手続　（二一〇三〇）
明治十六年十一月十三日　書冊　一冊
鞍手郡々長矢野矢ゟ

七　御呉服染物通　（二二一四）
明治十六年三月　小横帳　一冊

八　当用雑記　（一九七八）
明治十六年秋　小横帳　一冊
日用品並作事等

九　入塾願　（一六六一）
明治十六年六月　一通
古野惣五郎ゟ鞍手中学宛

一〇　明治十六年癸未日誌　（二三四七）
明治十六年　書綴　一綴
祭式記録

一一　記　（二八二九）
明治十七年五月五日　一通
古野惣五郎ゟ高崎源六郎宛。買物代等支払

一二　雑録　（一九九七）
明治十七年七月八日起　書冊　一冊
古野惣五郎。鞍手郡戸長人名外

一三　懐雑誌　（一三七五）
明治十七年七月　小横帳　一冊
役場諸費、自家飲料酒鑑札料外

一四　書状　（一一三二）
明治十八年七月廿一日　一通
役場ゟ古野惣五郎宛。植木村戸長役場ゟ照会の件

一五　春田源平死去ニ付諸入費扨　（一一四二）
明治廿一年八月八日　長帳　一冊

一六　委任状　（一四二〇）
（明治廿一年）三月十日　二通
作牛馬売買に付

一七　記　（一一三一）
明治廿二年一月九日　一通
梅本弥七郎ゟ古野惣五郎宛。買物代金

一八　買物品附覚　（一一三四）
明治廿三年一月　小横帳　一冊

一九　覚書　（一一七六八）
明治廿六年七月四日　一通
笠松村役場ゟ古野惣五郎宛。村長満期に付慰労金

二〇　日誌　（一六七四）
明治廿七年九月　書冊　一冊

二一　（仮題）死去通知と処方箋　（一一七七一）
明治廿九年九月　（封筒入）二通

二二　受取証　（一九二〇）
明治廿九年七月廿七日外　十八通
諸雑貨代

二三　診断書　（一九二二）
明治廿九年十一月十七日　一通

二四　（仮題）受取証　（一九二六）
明治廿九年　十五通

二五　受取証　（一六八三）
明治卅二年外　一綴
鶴我倭文磨ゟ古田馬次郎外宛

二六　葬儀ニ係ル決定事項　（九八七）
明治卅七年　書冊　一冊

二七　雇人簿　（一六四六）
明治四十三年一月　書綴　一綴

二八　送り状　（一八六九）
（明治以降）八月十七日　一通
植木舌間忠七ゟ古野惣五郎宛。風呂釜

二九　（仮題）贈物配布覚　（一八八九）
（明治以降）　二通

三〇　覚　（一九〇四）
（明治以降）　一通
賃銭・年賦・献金等ケ条書

三一　覚　（二六五七）
（明治以降）　一綴
受領証・材木覚・石垣費用外

三二　日記手控帳　（九八五）
（明治以降）子三月　小横帳　一冊

三三　請取　（二八〇三）
（明治以降）　十一通

三四　入塾願　（二六八一）
（明治以降）　一通
惣五郎ゟ鞍手中学宛

三五　（仮題）覚　（二五五七）
（明治以降）　二通
名前と花押。威積・威賢

三六　後見人設定ニ関スル協議書　（一四一二）
（明治以降）　一通
伊豆伴次郎。亡亀次郎長男梅本昌雄の後見人の撰定

三七　買物之覚　（一二四四）
（明治以降）　小横綴　一綴

三八　証　（二七八三）
（明治以降）十一月十七日　一通
木屋瀬村戸長役場ゟ吉田寛人宛。蒲団受取

三九　覚　（二八三七）
（明治以降）五月十五日　一通
謙吾ゟ惣五郎宛。小判受取可被下ゆ

四〇　記　（二九二八）
（明治以降）三月九日　一通
岩崎惣太郎ゟ古野惣五郎宛。桧・障板代受取

四一　記　（三〇二七）
（明治以降）　一通
供物覚

四二　覚　（二九九四）
（明治以降）　一通
提重・大盃等買取可被下ゆ

四三　（仮題）諸費用書付　（二五三三）
（明治以降）　長綴　一綴

四四　（仮題）願書　（二五二三）
（明治以降）　書冊（首欠）一冊
東京専門学校遊学の意義等

四五　領収証　（二五六〇）
（明治以降）　二十三通

四六　（仮題）覚　（一三九一）
（明治以降）　長綴　一綴
村長の送別の辞、船の運転営業の事外

四七 (仮題)領収証　(明治以降)　(二八五〇)　(包紙入)一綴

四八 (仮題)領収証　(明治以降)　(二八五三)　一綴

四九 領収証　(明治以降)　(二九四八)　七綴

五〇 (仮題)屋敷図　(明治以降)　(二六五三)　一枚

五一 (仮題)屋敷図と方位　(明治以降)　(二六七二)　一枚

五二 (仮題)屋敷図　(明治以降)　(二五五一)　三枚

五三 (仮題)覚　(明治以降)　税金、貸金、講金等　(一八一四)　長冊　一冊

五四 (仮題)覚　(明治以降)　縁談の事、杜氏雇入の事外　(一一一五)　一通

五五 委任状　(明治以降)三月　収支覚　(三二四四)　小横綴　一綴

五六 記　(明治以降)旧七月十二日　津九郎ゟ惣五郎宛。供物覚　(三〇〇六)　一通

14 その他

一 発明会規約条例　明治十六年　(九九一)　書冊　一冊

二 九州猟友会規則　明治廿二年四月　(一八一五)　書冊　一冊

三 着類覚　(明治以降)　(二〇一六)　書綴　一綴

四 八十八の賀に八乃字を集　(明治以降)　(二九八四)　一通

五 大津恵婦し外　(明治以降)　(二七一四)　六通

六 (仮題)覚　(明治以降)　伊藤博文等の漢詩等　(二五五〇)　一通

七 歌舞妓芝居興行御届　明治七年二月　中村良七ゟ第六大区調所宛　(一六七一)　一通

八　こゝ路覚　（二一六五）
明治七年七月　小横帳　一冊
古野いと正

九　草稿　（一九八五）
明治十五年　書冊　一冊
白土稔。学問ノ大道

一〇　記　（一一二二）
明治十六年八月　二通
縁談等の占い願い

一一　万諸備忘録　（二九三）
明治十八年十月　小横綴　一綴

一二　雑記　（一九八六）
明治廿五年三月　小横帳　一冊

一三　集会到着簿　（六三〇）
明治廿五年九月　書冊　一冊

一四　万願寺斎藤伝次郎宅集会到着人名簿　（二一四八）
明治廿七年四月　書綴　一綴

一五　春遊ノ記外　（二〇三二）
（明治以降）　書冊　一冊
学問の大意等

一六　胡列羅病説　完　（一六六四）
（明治以降）　書冊　一冊

一七　身代疲弊之原因　（一八一八）
（明治以降）　長綴　一綴

一八　（仮題）名刺　（二〇四七）
（明治以降）　一枚
古野寛人宛

一九　（仮題）覚　（二五八二）
（明治以降）　一通
果樹、花等の栽培法外

二〇　（仮題）織機図　（二九二一）
（明治以降）　一通

二一　天命論　（二六六八）
（明治以降）　書冊　一冊

二二　（仮題）製法書　（二七一六）
（明治以降）　一通
青貝細工、止炭、朱等

二三　（仮題）作法覚　（二六九一）
（明治以降）　一通

二四　（仮題）治療法　（二六八七）
（明治以降）　一通

二五　（仮題）水質検査表　（二五四九）
（明治以降）　二通

二六　温旧会々則　（二四八六）
（明治以降）　一通
福丸高等小学校第九回卒同窓会

二七　（仮題）流水地蔵の事　（二四五一）
（明治以降）　一通

二八　愛宕山大権現御託宣　（二四三八）
（明治以降）　一通

二九　仏説大愛陀羅尼経　（二三二二）
（明治以降）　一通

三〇　般若心経　（二二八三）
書冊　一冊
（明治以降）

三一　（仮題）入賞書付　（二二五九）
（明治以降）

書綴　一綴

三二　□民こゝろえ□　上　（一九六三）
（明治以降）

書冊　一冊

三三　（仮題）武士像　（二六四九）
（明治以降）

一通

三四　京都名所旧跡略図　（二八〇〇）
（明治以降）

一通

三五　（仮題）芝居番付　（二〇七九）
（明治以降）

一枚

三六　（仮題）相撲番付　（二三八九）
（明治以降）

一通

三七　万字尽　（二三八一）
明治以降

小横帳　一冊

三八　一新構社　（二一五三）
明治十二年

小横帳　一冊

旅宿案内

三九　神風講社定宿　（二一六二）
（明治以降）

小横帳　一冊

四〇　一新講社　（二一六一）
明治十三年

小横帳　一冊

四一　一新講社　（二一五九）
明治十三年

小横帳　一冊

四二　大川組　（二一六〇）
明治十年

小横帳　一冊

旅宿案内

四三　大川組　（二一五二）
明治十年

小横帳　一冊

京都周旋人ますや吉五郎。旅宿案内

四　広告　（明治以降）　一枚　（二〇五〇）
東京滑稽

四一　（仮題）人名書上　（明治以降）　二通　（二九八〇）

四二　記　（明治以降）　三通　（二九一五）
名前書上げ

四三　寄合出席之名元　（明治以降）一月廿五日　一通　（二九〇一）

四四　記　（明治以降）五月十二日　一通　（二八八四）
古野ゟ篠原宛。名元苗字不分の分

四五　（仮題）梅本弥七郎親族名　（明治以降）　一通　（二八八五）

四六　（仮題）住所録　（明治以降）　一冊　（二七九五）

四七　（仮題）名前書上　（明治以降）　一冊　（二六八五）

四八　（仮題）人名書上　（明治以降）　一通　（二六七八）

四九　博覧会目録　（明治以降）　折本（尾欠）一冊　（二五八一）

五〇　上有木村常枝名開　（明治以降）　一通　（二三三六）
万句集

五一　（仮題）本代広告　（明治以降）　一通　（二三八八）

五二　魚住五郎君ヲ送ル序　（明治以降）　一通　（一三九七）

五三　占い　（明治以降）　一通　（二四三四）

五四　唐一行禅師□行日之吉凶秘事　（明治以降）　一通　（二五四六）

五五　吉凶占いの覚　（明治以降）　二通　（二五八三）

五六　人毎月二灸忌日　（明治以降）　一通　（二六八九）

五七　（仮題）卜占　（明治以降）　一通　（二六八八）

五八　八卦図　（明治以降）　二枚　（二九八一）

六三　記　（二六九三）
（明治以降）　一通
鞍手郡長谷村上田孫右衛門係累

六四　系図　（七二七）
（明治以降）　書綴　一綴

六五　新板はなし本　（二一五〇）
（明治以降）　書綴　一綴

六六　覚　（一一一四）
明治十六年八月　一通
縁談の占い

六七　（仮題）落書　（二六九二）
（明治以降）　二通
地租改正に付

六八　（仮題）覚　（二八一五）
（明治以降）　書冊　一冊
一級、二級別人名書付

六九　伊勢神宮御神号御軸物購得申込　（三一三八）
（明治以降）　書冊　一冊
神宮敬神社事務所

七〇　キ　（三一八一）
（明治以降）　一通
橋本店ゟ有邨慶太郎宛。受取

七一　小年友会設立主意書　（二〇〇二）
（明治以降）　書綴　一綴

三、他家文書

一 書状　（三一五七）
（江戸後期）正月廿九日　切紙　一通
銭屋隠居ゟ輪島久保喜兵衛宛。越後新潟吉川方へ書状届方依頼

二 書状　（三一六〇）
（江戸後期）五月九日　巻紙　一通
銭屋五兵衛ゟ久保喜兵衛宛。会津表破談の件、燃燭の件外

三 （仮題）達　（三一六二）
（江戸後期）　切紙　一通
郡役所ゟ。西国塩手船を以新潟へ積下しゟ件

四 永代相伝ニ売渡シ書物之事　（三一四七）
文化三年十二月　一紙　一通
惣十ゟ惣右衛門宛

五 証拠　（三一四五）
文化十四年十二月　一紙（包紙入）一通
長野ゟ釜屋惣右門宛。借用

六 借用仕証拠之事　（二二九一）
天保十年八月　一紙（包袋入）一通
志免村庄屋善助ゟ瀬戸惣太郎宛

七 香椎村からし銭借用証文　（三〇九九）
天保十一年二月　一紙　一通
香椎村庄屋清右衛門ゟ瀬戸惣太郎宛

八 借用証文　（二〇七七）
天保十二年二月廿二日　一紙　一通
久野喜兵衛・久野一松ゟ瀬戸惣太郎宛

九 定証文　（一〇三七）
天保十五年十二月　一紙　一通
源吉ゟ瀬戸喜助宛。改心の事

一〇 誤り書物之事　（二四三三）
嘉永五年十二月　一紙（包紙入）三通
櫨主与八外ゟ庄屋佐平外宛。瀬戸惣右衛門方へ渡す櫨実を脇方へ売払ゟに付

一一 奉申上口上之覚　（二三二六）
（江戸後期）十二月　折紙　一通
釜屋惣右衛門ゟ御仕組銭役所宛。仕組銭預り

一二 乍恐奉願上口上之覚　（八三七）
（江戸後期）未七月　巻紙　一通
釜屋惣右衛門ゟ船方役所宛。米屋善四郎名前を以出銀仕ゟ一件

一三　証文　（三一四四）
（江戸後期）寅七月　一紙（包紙入）一通
卯助ゟかま屋惣助宛。借用証文

一四　宗像郡津丸村御年貢米大豆払方御算用目録　（四九四）
慶応二年十二月　一紙　一通
城戸藤五郎ゟ両粕屋・宗像郡役所宛

一五　宗像郡津丸村御年貢米大豆払方御引合目録　（五九一）
慶応三年　書冊　一冊

一六　申極証文之事　（二〇七〇）
天保十年三月　一紙　一通
日向、玖珠、下毛、直入郡々惣代ゟ宇佐郡嶋原領出銀村〻宛。呉崎新開日田郡請地の分、新開仕立入用備銀の件

一七　覚　（二五三七）
（江戸後期）　書綴　一綴
爪生野札引場分の件外

一八　書状　（三一八七）
（江戸後期）六月四日　巻紙　一通
宗太夫ゟ中城久兵衛宛。井手筋普請の件加登屋幸六に伝達依頼ゟ

一九　西御丸大手御番所ゟ被仰出ゟ覚書　（二二八一）
正徳二年七月九日　書冊　一冊
正三

二〇　植崎氏上書　完　（五五一）
天明七年　書綴　一綴
松平越中守様西御丸下御宅江植崎九八郎持参指上ゟ密書之写

二一　差入申質地証文之事　（二三九〇）
明治四年十二月　一紙　一通
乙島村中屋勝太郎ゟ柏島村西山武臣宛

二二　多借ニ付金操控帳　（四七〇）
（江戸後期）　長綴　一綴

二三　償金約借財調　（五三一の五）
（明治初期）　長綴　一綴

昭和六十年三月二十二日　印刷
昭和六十年三月三十一日　発行

福岡市箱崎
発行所　九州大学文学部附属
九州文化史研究施設

印刷所　凸版印刷株式会社
福岡市中央区薬院一丁目
十七―二八